

修士課程：出願資格(6), 飛び級入学試験,
後期博士課程：出願資格(5), (6)に該当する出願者用

年　月　日

慶應義塾大学大学院

理 工 学 研 究 科 委 員 長 殿

フ リ ガ ナ	印
氏 名	
現住所	〒
TEL	()
E-mail	

出願資格認定申請書

私は、下記の通り慶應義塾大学大学院理 工 学 研 究 科 入 学 試 験 出 願 資 格 を 得 た く 申 請 い た し ま す。

記

課 程	課程
専 攻	専攻

課程欄には「修士」または「後期博士」を記入してください。

専攻欄には入学を希望する専攻名を記入してください。

添付書類：入学試験要項参照のこと。（添付した書類の番号を○で囲んでください。）

1. 出願資格認定申請用履歴書（学歴、職歴、研究歴）
2. 最終学歴を証明する書類（卒業証明書など）
3. 出願資格認定申請理由書
4. 業績リスト（公刊論文・著書、国際会議発表、国内口頭発表、特許、その他業績）
5. 研究・業績に関する参考資料（含：論文抜刷等のコピー）
6. 成績証明書（原本で提出してください。コピーの提出は認めません。）
7. 理工学に関する特定の分野で、特に優れた能力を有することを証明する資料：
表彰状のコピー、推薦書等（提出は任意）
8. その他（ ）

学生課受付印	
--------	--

単位修得証明書

氏名	_____
生年月日(西暦)	年月日
入学年月日(西暦)	年月日
卒業(見込)年月日(西暦)	年月日

	S (~)	A (~)	B (~)	C (~)	計	備考
① 一般教育科目等 (外国語科目, 保健体育科, 基礎教育科目を含む)						
② 専門教育科目						
小計(①+②)						
③ 卒業単位に含まれない科目 (自由 科目, 教職に関する科 目等)						
合計(①+②+③)						

上記のとおり相違ないことを証明する。

年　月　日

大　学　名

学長・学部長

職印

各大学証明書ご担当者 各位

貴大学で通常発行している成績証明書と併せて、本証明書を発行していただけるよう、ご協力をお願いいたします。
なお、発行していただくに当たって、以下の点にご留意をお願いいたします。

<留意事項>

1. それぞれの該当欄に、修得単位数を記入してください。単位制をとっていないため、単位数を記入できない場合は、科目数を記入の上、その旨を備考欄に記入してください。
2. 一般教育、専門教育等の区分を設けていない場合には、計の欄に成績別に合計単位数を記入してください。
3. 100~90 点を S, 89~80 点を A, 79~70 点を B, 69~60 点を C として記入してください。大学において、評価基準が異なる場合は点数を記入してください。
4. 貴学で通常発行している成績証明書とともに原本で提出してください。

速達

223-8522

切手
貼付

横浜市港北区日吉三丁目一四一

慶應義塾大学 大学院

理工学研究科 A.O. 御中

(理工学部学生課学事担当内)

簡易書留

大学院出願書類在中

住所

氏名

志望専攻

前期博士（修士）課程

※この用紙を角形2号（240×332mm）の封筒に貼付し、簡易書留・速達で郵送してください。
簡易書留・速達は、郵便局の窓口で料金を確認し、郵便局の窓口から郵送する必要があります（郵便ポストやコンビニエンスストアからは郵送できません）。
※カラーで印刷できない場合には、朱色の部分を赤字で上書きしてください。

<訂正> 2023.3.31掲載

P.52 総合教育科目（矢上設置科目）単位数修正

原子エネルギーの科学 誤4 正2

建築論 誤4 正2

建築空間論 誤6 正2

建築構法 誤6 正2

情報と職業 誤4 正2

人体の科学 誤4 正2

地球環境科学 誤4 正2

地球環境科学 誤4 正2

<訂正> 2023.4.7掲載

P.79 物理学科 学科専門科目標準課程表

素粒子物理学 休講

2023年度

履修案内 慶應義塾大学理工学部

(矢上キャンパス 第3・4学年)

Faculty of Science and Technology KEIO UNIVERSITY 2023

2023 年度理工学部履修案内

目 次

2023 年度 理工学部 授業実施カレンダー.....	1
学事日程一覧（2023 年度）.....	5
主な役職教員	6
はじめに	7
1. 学生課開室時間	
2. 振鈴表	
3. 揭示板	
学生証、諸届、証明書	8
1. 学生証（身分証明書）	
2. 諸届、各種証明書	
学生生活担当、国際担当について	11
1. 学生生活担当	
2. 国際担当	
各種窓口について	15
1. 事務取扱時間	
2. 総務課	
3. 管財課	
4. 大学保健管理センター矢上分室	
5. 矢上診療所	
6. 理工学メディアセンター（松下記念図書館）	
7. 理工学インフォメーションテクノロジーセンター（ITC）	
授業・試験・成績について	18
1. 実験・実習に当たっての注意	
2. 緊急時における授業の取扱い	
3. 早慶野球戦当日の授業および定期試験の取扱い	
4. 三田祭期間中の授業	
5. 裁判員候補者に選定された場合の取扱い	
6. 試験・レポート	
7. 学業成績表について	
8. 成績評語について	
9. 成績評語に関する質問制度について	
学籍（休学、留学、退学、再入学）	23
1. 休学（学部学則第 152 条）	
2. 留学（学部学則第 153 条）	
3. 退学（学部学則第 154 条、156 条、188 条）	
4. 再入学（学部学則第 155 条）	
進級・卒業、9 月卒業、在学期間延長制度等について	27
1. 科目の種類	
2. 4 年進級条件、卒業条件	
3. 9 月卒業制度	
4. 在学期間延長制度	
履修要領	31
1. 履修申告の注意事項	
2. 履修上限単位数について	
3. 授業科目ナンバリング（K-Number）について	
4. 「遠隔（オンライン）授業」の単位数上限について	
5. 履修申告の流れ	
6. 履修取消制度について	
7. 再履修方法	
8. 分野一覧	

9. 理工学部日吉設置科目・他学部設置科目について	
10. 大学院設置科目先取り履修について（4年生対象）	
11. 他学部他研究科学生の履修を制限する科目（学部）	
12. 他学部他研究科学生の履修登録取消が認められない科目（学部）	
Web システムについて	43
標準課程表	45
総合教育科目	45
機械工学科	54
電気情報工学科	64
応用化学科	68
物理情報工学科	70
管理工学科	72
数理科学科	76
物理学科	78
化学科	80
システムデザイン工学科	82
情報工学科	84
生命情報学科	86
工場見学、学外実習について	88
電気主任技術者免状取得について	90
電気情報工学科における第一級陸上無線技術士試験免除について	93
電気情報工学科における特殊無線技士国家試験免除について	94
情報工学科における特殊無線技士国家試験免除について	95
システムデザイン工学科における一級建築士試験の受験資格取得について	96
国際センター短期海外研修プログラムについて	99
グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）設置講座	101
塾生、保護者・保証人の方々にかかる個人情報の取扱い	102

2023年度 理工学部 授業実施カレンダー

【授業時間帯】

1 時限 9:00-10:30 2 時限 10:45-12:15 3 時限 13:00-14:30 4 時限 14:45-16:15 5 時限 16:30-18:00

**2023年
4月**

①-④: 2学期制科目の春・秋学期の回数
①-⑩: 4学期制科目の春前半・秋前半の回数
⑪-⑯: 4学期制科目の春後半・秋後半の回数

授業期間 休校期間 休日

日	月	火	水	木	金	土
						1 入学式 成績証明書発行開始 4年生用卒業見込証明書発行開始
2		3	4	5	6 許可者発表(18:00) 履修確認画面公開①(18:00予定) 春学期前半科目授業開始 履修調整結果反映 春学期履修申告期間(二次)(6日18:00~14日10:00)	7 8 ①-②
			12:30~5日16:45)			
9 ①-②	10 ①-②	11 ①-②	12 ①-②	13 2-③-④	14 2-③-④	15
16 ②-③-④	17 ②-③-④	18 ②-③-④ 履修確認画面公開②(16:00予定)	19 ②-③-④	20 3-⑤-⑥	21 3-⑤-⑥	22
23 開校記念日 ③-⑤-⑥	24 ③-⑤-⑥	25 ③-⑤-⑥	26 ③-⑤-⑥	27 4-⑦-⑧ 授業料等納入期限 (全納または春学期分納)	28 昭和の日	29
30				春学期履修登録取消期間(27日10:00~28日16:45) ※対象:通年(セット)・春学期・春学期前半科目		

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1 ④-⑦-⑧ 履修科目証明書発行開始(春学期分)	2 ④-⑦-⑧	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
7 ⑤-⑨-⑩	8 ⑤-⑨-⑩	9 ④-⑦-⑧	10 ④-⑦-⑧	11 ⑤-⑨-⑩	12 ⑤-⑨-⑩	13
14 ⑥-⑪-⑫	15 ⑥-⑪-⑫	16 ⑤-⑨-⑩	17 ⑤-⑨-⑩	18 ⑥-⑪-⑫	19 ⑥-⑪-⑫	20
21 ⑦-⑬-⑭	22 ⑦-⑬-⑭	23 ⑥-⑪-⑫	24 ⑥-⑪-⑫	25 ⑦-⑬-⑭	26 ⑦-⑬-⑭ 早慶野球戦(予定)	27
28 ⑧-⑩-⑪ 春学期後半科目授業開始	29 ⑧-⑩-⑪	30 ⑦-⑬-⑭ 休学願提出期限(春学期分)	31	中旬 春学期前半定期試験時間割発表		

6月

※「試験日」には4学期制前半科目の試験が行われる場合があります。

※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。

日	月	火	水	木	金	土
				1 ⑦-⑬-⑭ 春学期前半科目終了	2 試験日	3 試験日
4 ⑨-⑩-⑪	5 ⑨-⑩-⑪	6 ⑧-⑩-⑫	7 ⑧-⑩-⑫	8 ⑧-⑩-⑫ 健康診断証明書発行開始	9 ⑧-⑩-⑪	10
11 ⑩-⑬-⑯	12 ⑩-⑬-⑯	13 ⑨-⑩-⑪	14 ⑨-⑩-⑪	15 ⑨-⑩-⑪	16 ⑨-⑩-⑪	17
18 ⑪-⑬-⑯ 春学期前半科目成績公開	19 ⑪-⑬-⑯	20 ⑩-⑬-⑯	21 ⑩-⑬-⑯	22 ⑩-⑬-⑯	23 ⑩-⑬-⑯	24
25 ⑫-⑬-⑯ 春学期後半科目	26 ⑫-⑬-⑯	27 ⑪-⑬-⑯	28 ⑪-⑬-⑯	29 ⑪-⑬-⑯	30	

7月

※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。

日	月	火	水	木	金	土
中旬 春学期末定期試験時間割発表 中旬 春学期末追加試験申込受付						11 7 8 1
2 13 11 12 3 13 11 12 4 12 9 10 5 12 9 10 6 12 9 10 7 12 9 10 8						
9 14 10 11 10 14 13 14 11 13 11 12 12 13 11 12 13 13 11 12 14 13 12 15						
16 海の日 17 補講日 18 14 13 14 19 14 13 14 20 14 13 14 21 14 13 14 22 春学期授業終了 春学期後半科目授業終了						
23 24 25 26 27 28 29						
春学期末定期試験(24日～8月1日予定)(この期間に授業は行われません)						
30 31						

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1 夏季休校(～9月21日)	2	3	4	5
6	7	8 矢上キャンパス一斉休業(9日～16日) ※春学期末定期試験を行う科目のみ対象	9	10 山の日	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月

日	月	火	水	木	金	土
※対象者には成績表の「判定欄」に「卒業・進級」などの判定結果が記載されます。					1	2
3	4 9月卒業・進級発表※ 春学期末学業成績表(keio.jp)公開	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17 敬老の日	18	19 9月卒業式	20	21	22 9月入学式 成績証明書に春学期科目反映	23 秋分の日
24	25	26	27	28	29 許可者発表(18:00) 履修確認画面公開①(18:00予定) 履修調整結果反映	30 秋学期履修申告期間(二次)(9月29日18:00～10月9日10:00)
秋学期履修申告期間(一次)(26日12:30～28日16:45)						

10月

授業期間

休校期間

休日

日	月	火	水	木	金	土
1	①①② 秋学期授業開始 秋学期前半科目授業開始	2 ①①②	3 ①①②	4 ①①②	5 ①①②	6 ①①② 7
7	秋学期履修申告期間(二次)(9月29日18:00~10月9日10:00)					
8	②③④ スポーツの日 (授業を行います)	9 ②③④	10 ②③④	11 ②③④	12 ②③④ 履修確認画面公開②(16:00予定)	13 ②③④ 14
15	③⑤⑥	16 ③⑤⑥	17 ③⑤⑥	18 ③⑤⑥	19 ③⑤⑥	20 ③⑤⑥ 21
22	④⑦⑧	23 ④⑦⑧	24 ④⑦⑧	25 ④⑦⑧ 履修科目証明書発行開始 (秋学期分)	26 ④⑦⑧	27 ④⑦⑧ 早慶野球戦(予定) 28
29	⑤⑨⑩	30 ⑤⑨⑩ 授業料等納入期限 (秋学期分納)	31			

11月

※「試験日」には4学期制前半科目の試験が行われる場合があります。

※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。

日	月	火	水	木	金	土
1	上旬 秋学期前半定期試験時間割発表	5 ⑨⑩	1 ⑤⑨⑩	2 ⑤⑨⑩ 文化の日 (授業を行います)	3 ⑤⑨⑩	4
5	6 ⑥⑪⑫	6 ⑥⑪⑫	7 ⑥⑪⑫	8 ⑥⑪⑫	9 ⑥⑪⑫	10 ⑥⑪⑫ 11
12	13 ⑦⑬⑭	13 ⑦⑬⑭	14 ⑦⑬⑭	15 ⑦⑬⑭	16 ⑦⑬⑭	17 ⑦⑬⑭ 秋学期前半科目授業終了 18
19	19 ⑧⑩② 秋学期後半科目授業開始	20 試験日(午前) 三田祭準備	21 三田祭準備	22 勤労感謝の日 三田祭	23 三田祭	24 三田祭 25
26	26 三田祭片付け	27 試験日	28 ⑧⑩②	29 ⑧⑩② 休学願提出期限(秋学期分)	30	

12月

日	月	火	水	木	金	土
3	4 ⑨⑩⑪	4 ⑧⑩②	5 ⑨⑩④	6 ⑨⑩④	7 ⑨⑩④	8 ⑨⑩④ 2
10	10 ⑩⑤⑥	11 ⑨③④	12 ⑩⑤⑥ 秋学期前半科目成績公開	13 ⑩⑤⑥	14 ⑩⑤⑥	15 ⑩⑤⑥ 16
17	17 ⑪⑦⑧	18 ⑩⑤⑥	19 ⑪⑦⑧	20 ⑪⑦⑧	21 ⑪⑦⑧	22 ⑪⑦⑧ 23
24	24 ⑫⑨⑩	25 ⑪⑦⑧	26 ⑫⑨⑩	27 28 冬季休校(～1月4日)	29	30
31					矢上キャンパス一斉休業(28日～1月4日)	

2024年

1月

※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。

日	月	火	水	木	金	土
	1 元日	2	3	4	5 12・9・10	6
7 成人の日	8 12・9・10	9 福澤先生誕生日	10 12・9・10	11	12 13・11・12	13
14 補講日	15 13・11・12	16 13・11・12	17 13・11・12	18 14・13・14	19 14・13・14	20
21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 (26日～2月3日予定)この期間に授業は行われません	21 14・13・14	22 14・13・14	23 14・13・14	24 14・13・14 秋学期授業終了 秋学期後半科目授業終了	25 秋学期末定期試験	26 秋学期末定期試験時間割発表 秋学期末追加試験申込受付

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 福澤先生命日
4	5	6	7	8	9	10
11 建国記念の日	12 振替休日	13	14 秋学期末追加試験（8日～9日予定） ※秋学期末定期試験を行う科目のみ対象	15	16	17
18	19	20	21	22 天皇誕生日	23	24
25	26	27	28	29	30 上旬～3月下旬 春季休校	

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
※成績表の「判定欄」に「卒業・進級」などの判定結果が記載されます。						
3	4	5	6	7	8 卒業発表※ 秋学期学業成績表(keio.jp) 公開	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19 春分の日	20	21	22	23
24 卒業式	25	26	27	28	29	30
31 新年度ガイダンス						

【試験日】春学期：6/2(金), 3(土), 秋学期：11/21(火)午前, 28(火)

【補講日】春学期：7/18(火), 秋学期：11/19(日), 1/21(日)

【休日の授業】春学期：なし, 秋学期：スポーツの日：10/9(月), 文化の日：11/3(金)

【代替日】春学期：なし, 秋学期：なし

学事日程一覧 (2023年度)

春 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 総合教育科目（矢上）語学ガイダンス 3年生外国語科目（必修）再履修ガイダンス 学年別ガイダンス 	3月25日（土）（予定）オンデマンド資料の公開 3月25日（土）（予定）オンデマンド資料の公開 3月27日（月）（予定）
	<ul style="list-style-type: none"> 履修申告期間（1次） 履修申告期間（2次） 春学期授業開始 履修エラー修正期間 定期健康診断（矢上） 	4月3日（月）12時30分～4月5日（水）16時45分 4月6日（木）18時～4月14日（金）10時 4月7日（金） 4月20日（木）8時45分～4月21日（金）16時45分 4月21日（金）～4月26日（水）（予定） ※事前予約制。 4月23日（日） 4月27日（木）10時～4月28日（金）16時45分
	<ul style="list-style-type: none"> 開校記念日 履修取消申告期間（春学期前半・春学期科目） 	5月中旬（予定） 5月27日（土）、5月28日（日）（予定）
	<ul style="list-style-type: none"> 春学期前半科目試験時間割発表 早慶野球戦 	6月2日（金）、6月3日（土） 6月上～中旬（予定） 6月17日（土） 6月19日（月） 6月19日（月）9時～6月20日（火）16時45分 6月19日（月）10時～6月20日（火）16時45分
	<ul style="list-style-type: none"> 春学期前半科目試験日 春学期前半科目追加試験日 理工学部創立記念日（授業日） 春学期前半科目履修結果（成績）通知 春学期前半科目成績質問期間 履修取消申告期間（春学期後半） 	7月上旬（予定） 7月18日（火） 7月22日（土） 7月24日（月）～8月1日（火）（予定）
	<ul style="list-style-type: none"> 春学期末試験時間割発表 補講日 春学期授業終了 春学期末試験期間 	8月2日（水）～9月21日（木） 8月初旬（予定） 8月7日（月）～8月8日（火）（予定）
	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休校期間 春学期末追加試験時間割発表 春学期末追加試験期間（矢上） 	9月5日（火） 9月5日（火）9時～9月7日（木）16時45分 ※春前半科目は対象外
	<ul style="list-style-type: none"> 春学期末履修結果（成績）通知 春学期後半成績質問期間 	
秋 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 履修申告期間（1次） 履修申告期間（2次） 	9月26日（火）12時30分～9月28日（木）16時45分 9月29日（金）18時～10月9日（月）10時
	<ul style="list-style-type: none"> 秋学期授業開始 スポーツの日（授業日） 履修エラー修正期間 履修取消申告期間（秋学期前半・秋学期科目） 早慶野球戦 	10月2日（月） 10月9日（月） 10月16日（月）8時45分～10月17日（火）16時45分 10月23日（月）10時～10月24日（火）16時45分 10月28日（土）、10月29日（日）（予定）
	<ul style="list-style-type: none"> 文化の日（授業日） 秋学期前半科目試験時間割発表 秋学期補講日① 秋学期前半科目試験日 三田祭（休講）—準備— 一本祭— —後片付け— 秋学期前半科目追加試験日 	11月3日（金） 11月上旬（予定） 11月19日（日） 11月21日（火）（午前中）、11月28日（火） 11月21日（火）13時～11月22日（水） 11月23日（木）～11月26日（日） 11月27日（月） 11月下旬～12月上旬（予定）
	<ul style="list-style-type: none"> 秋学期前半科目履修結果（成績）通知 秋学期前半科目成績質問期間 履修取消申告期間（秋学期後半） 冬季休校期間 	12月13日（水） 12月13日（水）9時～12月14日（木）16時45分 12月13日（水）10時～12月14日（木）16時45分 12月28日（木）～1月4日（木）
	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始 秋学期末試験時間割発表 福澤先生誕生記念日 秋学期補講日② 秋学期授業終了 秋学期末試験期間 	1月5日（金） 1月上旬（予定） 1月10日（水） 1月21日（日） 1月25日（木） 1月26日（金）～2月3日（土）（予定）
	<ul style="list-style-type: none"> 福澤先生命日 秋学期末追加試験時間割発表 秋学期末追加試験期間 	2月3日（土） 2月上旬（予定） 2月8日（木）～2月9日（金）（予定）
	<ul style="list-style-type: none"> 秋学期履修結果（成績）通知 秋学期後半成績質問期間 	3月8日（金） 3月8日（金）9時～3月12日（火）16時45分 ※秋前半科目は対象外
	<ul style="list-style-type: none"> 藤原先生命日 卒業式 翌年度ガイダンス期間 	3月17日（日） 3月25日（月） 3月26日（火）～

注：理工学研究科修士課程入学試験に関する日程や、上表で日程が未定のものについては web ページや keio.jp の News、Message に注意してください。

主な役職教員

学部長 教授 村上俊之
日吉主任 教授 井上京子

学科主任

機械工学科	教 授	三木 則尚
電気情報工学科	教 授	眞田 幸俊
応用化学科	教 授	片山 靖憲
物理情報工学科	教 授	内山 孝秀
管理工学科	教 授	山田 明久
数理科学科	教 授	田村 洋士
物理学科	教 授	大橋 敦
化学科	教 授	中嶋 雅之
システムデザイン工学科	教 授	小檜山 雄
情報工学科	教 授	斎藤 英雄
生命情報学科	教 授	土居 信英

学習指導主任

専門門	教 授	白濱 圭也
専門基礎	教 授	横森 剛
総合教育	教 授	高桑 和巳

学習指導副主任

機械工学科	教 授	宮田 昌悟
電気情報工学科	教 授	田邊孝純
応用化学科	准教授	犀川陽子
物理情報工学科	教 授	海住英生
管理工学科	教 授	田中健一
数理科学科	教 授	小林景
物理学科	准教授	檜垣徹太郎
化学科	准教授	畠中美穂
システムデザイン工学科	准教授	嘉副裕
情報工学科	教 授	杉本麻樹
生命情報学科	教 授	荒井綠
専門基礎	教 授	杉浦孔明
専門基礎	教 授	山本零
外国語・総合教育	専任講師	杉山有紀子
外国語・総合教育	准教授	井本由紀
外国人留学生担当	准教授	アルマザンカバジエーロ、ホルヘ
教職課程	教 授	塚田孝祐
総合教育	教 授	岸本達也

はじめに

1. 学生課開室時間

	事務室	主な業務	事務取扱時間	場所
学生課	学事担当	履修・授業・ガイダンス・成績・休学・退学・教職課程・学外実習・工場見学・教室貸出・電気主任技術者・無線技術士・建築士	月～金 8：45～16：45 ※授業・定期試験期間以外は、昼休み 11：30～12：30 に閉室します	25棟 1階
	学生生活担当	就職・進路・学生生活・奨学金・学生健保		
	国際担当	留学		
	総合受付	遺失物取扱・証明書申請・諸届		

2. 振鈴表

時限	授業時間		定期試験時間	
	矢上・日吉	矢上	日吉	
第1時限	9：00～10：30	9：00～10：30	9：00～10：00	
第2時限	10：45～12：15	10：45～12：15	10：20～11：20	
第3時限	13：00～14：30	13：00～14：30	12：20～13：20	
第4時限	14：45～16：15	14：45～16：15	13：40～14：40	
第5時限	16：30～18：00	16：30～18：00	15：00～16：00	
第6時限	18：10～19：40	18：10～19：40	16：20～17：20	
第7時限			17：40～18：40	

※実験、製図などは休憩時間を短縮することもあります。

3. 掲示板

学生課掲示板は、学生課前廊下および24棟1階ピロティに設置しています。掲示板は、学事担当（学部共通）、各学科、学生生活、奨学金、就職関係、国際担当と分かれていますので、機会があるごとに掲示に注意してください。

なお、掲示内容の一部については、keio.jp、塾生サイト、理工学部Webサイトでも掲出することがあります。

掲示に注意しなかったために、諸君自身が不利益を被ることもあります。

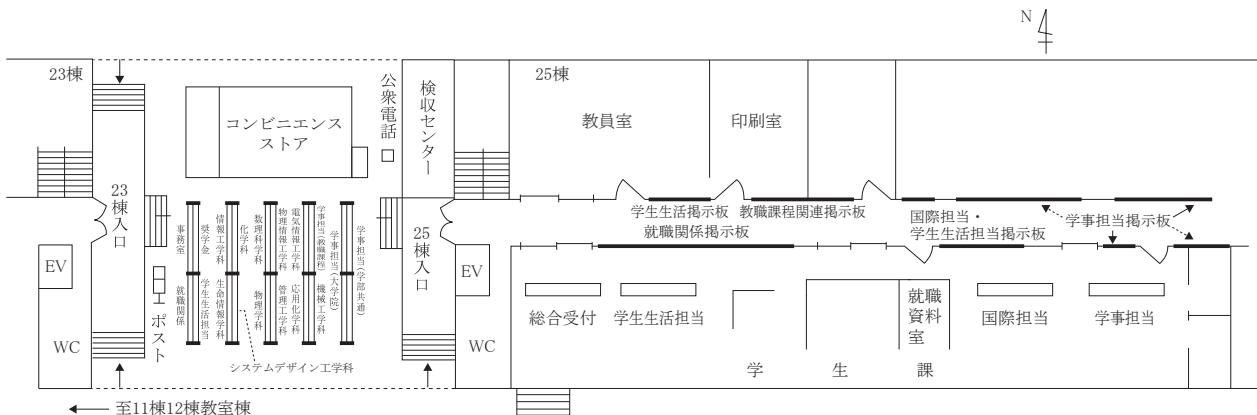
（主な掲示内容）

学事担当：授業に直接関係のある緊急連絡、各種試験の実施要項、学事日程、呼出しなど。

学生生活担当：現在、学生生活・奨学金・就職関係の情報は主にWebページに掲載していますので、以下に記載のWebサイトからご確認ください。

学生生活・奨学金 (<https://www.st.keio.ac.jp/students/life/>)

就職関係 (<https://www.st.keio.ac.jp/students/career/>)



「慶應義塾トップページ」→「在学生」→「塾生サイト」

「理工学部・理工学研究科トップページ」→「在学生」→「授業・履修・試験」/「学生生活・奨学金」/「キャリア支援」

学生証、諸届、証明書

1. 学生証（身分証明書）

- (1) 学生証は、諸君が本塾大学学生であることを証明する身分証明書であり、同時に本塾図書館利用券および本塾大学学生健康保険互助組合員証を兼ねています。他人に貸与または譲渡することはできません。
- (2) 学生証は登校の際、常に携帯し、次のような場合には提示しなければなりません。
- ① 本塾教職員の請求があった場合
 - ② 各種証明書および学割証の交付を受ける場合
 - ③ 各種試験を受験する場合
 - ④ 通学定期券、学生割引乗車券を購入する場合、およびそれを利用して乗車船し係員の請求があった場合
- (3) 学生証裏面シール（在学確認シール）の交付
- 2022年度以降、年度ごとのシール更新は行いません。休学・留学・原級等の理由で、シールの有効期限が切れる学生には、有効期限が切れる前に、有効期限を更新したシールを配布します。
- (4) 再交付手続
- 学生証の紛失や、汚損の場合は、写真1枚を添えて総合受付で再交付の手続き（手数料2,000円）をしてください。写真是次のものを用意してください。
- ① 大きさ縦4cm・横3cm（枠なし）② 光沢つやあり仕上げのカラー写真を使用（絹目仕上げは不可）
 - ③ 脱帽・正面向き・背景なし、3ヶ月以内に撮影したもの（以前の学生証に使用した写真は不可）
- (5) 返却
- 再交付を受けた後に、前の学生証が見つかった場合や、退学した場合は直ちに学事担当へ返却しなければなりません。

2. 諸届、各種証明書

- (1) 欠席届
- 授業に欠席した場合の対応は科目担当者に確認のうえ、必要に応じて「欠席届」を提出してください。
- (2) 住所変更（本人・保証人）
- ① 本人の住所変更の場合
 - 速やかにkeio.jpにて、住所変更の申請を行ってください。（URLおよびログイン方法はp.43参照）。不備がなければ、申請は通常、数日で承認されます。承認されると、keio.jpのメールアドレスに承認通知が届きます。住所変更に伴い通学定期の区間が変更となる場合は、承認通知メールが届いた翌朝7:00以降に、証明書発行サービスで通学証明書を申請してください。
 - ② 保証人の住所変更の場合
 - 速やかに総合受付へ届け出るか、塾生サイト（各種手続き→氏名・住所・保証人変更）から申請してください。
（必要書類） 学生証、住所変更届（所定用紙）、保証人の住民票（3ヶ月以内に発行されたもので、マイナンバー（個人番号）の記載のないものに限る）
本人・保証人の住居表示・地番・電話番号変更の場合も手続きを行ってください。これらの手続きが行われない場合は、履修その他の重要な連絡に重大な支障をきたすことがありますので、十分注意してください。
- (3) 保証人変更
- 保証人を変更する場合は、速やかに総合受付へ届け出るか、塾生サイト（各種手続き→氏名・住所・保証人変更）から申請してください。保証人は原則として日本国内に居住し一家計を立てている成年者で、本人の学費と一身上に関する一切の責任を負うことのできる者とし、父または母としてください。父母が保証人となり得ない場合は兄、姉、伯父、伯母等後見人またはこれに準ずる方としてください。
- （必要書類）** 学生証、保証人変更届（所定用紙）、新保証人の住民票（3ヶ月以内に発行されたもので、マイナンバー（個人番号）の記載のないものに限る）
- なお、国内に居住する者が保証人となりえない場合は、国外に居住する者を保証人とすることができます。ただし、この場合は、その国での公印付住民票に相当するものを提出し、本人に緊急事態が発生した場合の連絡先として、日本国内の住所を必ず「緊急連絡先」として届け出してください。「緊急連絡先」は、緊急時に速やかに連絡がつくことをその要件とします。また、保証人の住所が国外の場合、学費振込用紙は本人住所宛に送付します。
- (4) 改姓・改名
- 改姓・改名した場合は、速やかに総合受付へ届け出してください。届出後、履修中の科目担当者にその旨申し出てください。

〈必要書類〉学生証、改姓（名）届（所定用紙）、学生証再交付願（所定用紙）

※本人の改姓・改名時のみ（写真貼付（縦4cm、横3cm、カラー光沢仕上げ、脱帽、上半身正面、背景なし、3ヶ月以内に撮影されたもの）、手数料不要）、新姓名の戸籍抄本、もしくは旧姓併記の住民票（3ヶ月以内発行原本）／旧姓併記の運転免許証（写）

(5) 学外研究・学会活動届

慶應義塾以外の機関で研究・学会活動をする場合は、「学外研究・学会活動届」を理工学部 Web サイトからダウンロードして記入し、学生課総合受付窓口に提出してください。

(6) 学割

学割は、各キャンパス（矢上は14棟1階学生コミュニケーションルーム）の証明書発行機にて発行できます（コンビニエンスストアでの発行は不可）。有効期間は発行日から3ヶ月以内です。使用学割は、JR管理局で不正使用の有無を厳重に調査され、その事実があった場合には、本人の処罰はもちろん、学校全体が学割発行停止処分を受けるような重大な結果となることがあります。使用に当たっては十分注意してください。

(7) 在学・成績・卒業見込証明書

各キャンパスの証明書発行機、もしくは全国のコンビニエンスストアにて証明書を発行できます。詳細は塾生サイト（「塾生サイト」→「各種手続き」→「証明書」→「証明書の発行」）を確認してください。

① コンビニエンスストアでの発行

全国のコンビニエンスストア（セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン）にて、各種証明書を発行できます。発行には事前の申請・手数料の支払いが必要です。

※学割証はコンビニエンスストアで発行できません。証明書発行機を利用してください。

② 証明書発行機での発行

設置場所	稼働時間
矢上 14棟1階学生コミュニケーションルーム	月～土 8:45～20:00 (授業・定期試験のない土曜日、また祝日・一斉休業期間・システムメンテナンス中は利用できません)

※他キャンパス（三田・日吉・藤沢・芝共立）に設置されている発行機も利用できます。

※メンテナンス・故障等による利用停止情報等は、適時 Web 等でお知らせします。

③ 電子証明書（PDF）のオンライン送付

電子証明書（証明書の PDF データ）のダウンロードリンクを就職先企業、海外の教育機関等に直接送付する機能です。

詳細は塾生サイトで確認してください。

(8) 通学証明書（通学定期券の購入）

2022年度より、通学定期券の購入手順が変更されました。以下の手順で、紙の「通学証明書」をあらかじめ発行してから、通学定期券を購入してください。

① 証明書発行サービス（塾生サイト→各種手続き→証明書→証明書の発行からアクセス）にログインし、「通学証明書」を申請する。

② コンビニエンスストア、もしくは学内証明書発行機で「通学証明書」を印刷する。

③ 通学証明書に通学区間等を記入し、駅窓口等に通学証明書を提出して通学定期券を購入する。

※「通学証明書」の発行手数料は無料ですが、コンビニエンスストアで印刷する場合、印刷料金がかかります。

※通学区間は「自宅最寄駅」から「学校最寄駅（日吉）」の最も経済的な経路に限ります（バス利用の場合は最寄りの停留所）。

不正が判明した場合、通学証明書の発行を停止したり、学則に基づき処分することがあります。

※自宅住所を変更する場合、keio.jp「住所確認・変更」にて、住所変更の申請を行ってください。通学証明書に新住所が反映されるのは、住所変更の承認通知メールが届いた翌朝 7:00 以降です。

なお、授業科目履修のために所属以外のキャンパスに通学するための手続きは、塾生サイトでお知らせします。

<証明書一覧>

証明書	言語	手数料	発行場所	発行日数	発行開始	備考
在学証明書	和文	300 円	学内発行機 コンビニ オンライン	即 日	4月 1 日	
	英文					
成績証明書	和文	300 円	学内発行機 コンビニ オンライン	即 日	4月 1 日	
	英文					
卒業見込証明書	和文	300 円	学内発行機 コンビニ オンライン	即 日	4月 1 日	4年生のみ発行されます。 休学中・留学中の場合は、学部窓口で申請してください。
	英文 ^(注)					
履修科目証明書	和文	300 円	学内発行機 コンビニ オンライン	即 日	5月 1 日 10月 26 日	休学中・留学中の場合は、学部窓口で申請してください。
	英文					
健康診断証明書	和文	300 円	学内発行機 コンビニ オンライン	即 日	6月 10 日	受診した年度の年度末まで発行されます。
	英文					
学割証	和文	無 料	学内発行機	即 日	4月 1 日	定期健康診断を未受診でも発行できます。
通学証明書	和文	無 料	学内発行機 コンビニ	数 日 ^(注)	4月 1 日	
各種資格試験等受験用単位取得証明書	和文	300 円	総合受付	数 日 ^(注)	—	
提出先所定の用紙（リクエストフォーム）に証明・記入を要するもの、その他	和文	300 円	総合受付	数 日 ^(注)	—	
	英文					

※発行までに時間がかかる場合がありますので、余裕を持って申請してください。

※証明書発行には学生証が必要です。

※学割証の有効期限は発効日から3ヶ月以内です（有効期限内でも学籍を失った場合は無効）。必要な枚数だけを発行するようにしてください。

※団体旅行申込書（団体割引）を発行する場合は、学生生活担当に申し出てください。

※学費未納の場合は、すべての証明書が発行できません。納入後、総合受付に申し出ることで発行が可能ですが、発行まで数日を要する場合があります。

※コンビニ発行の場合は、証明書発行手数料の他に別途印刷費（60円／枚）がかかります。

※生命情報学科4年生は、英文の卒業見込証明書をコンビニで発行することができません。発行をご希望の場合、総合受付にご相談ください。

学生生活担当、国際担当について

1. 学生生活担当

学生生活担当は、奨学金制度、福利厚生、課外活動及び課外教養等、さらに就職、進路の問題など学生生活上の諸問題について総合的に対応しています。学生生活担当の窓口業務を中心に簡単に紹介します。

(1) 奨学金制度

奨学金には、日本学生支援機構奨学金、慶應義塾大学給費奨学金、慶應義塾維持会奨学金、慶應義塾創立150年記念奨学金、指定寄付奨学金、慶應義塾大学修学支援奨学金および地方公共団体・民間団体奨学金（学外奨学金）等があります。奨学金は人物、学業成績が優秀な学生に対して与えられるものと、前記に加えて経済的理由により修学が困難な学生に対して与えられるものに分かれています。いずれの奨学金もこれらの学生に給付または貸与することにより、勉学に専念できる環境を整え、将来良識のある社会人として活躍できる人材を育成する事を目的としています。詳細については「奨学金案内」を参照してください。奨学金の募集は下記のWebサイトで閲覧できます。

塾生サイト（奨学制度総合Webサイト・奨学金案内・Web申請システム・募集要項）

<https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/apply/form.html>

理工学部学生生活担当Webサイト（申請期間・申請方法等確認画面）<https://www.st.keio.ac.jp/students/life/>



理工学部
Webサイト

(2) 福利厚生

① 学生健康保険互助組合

組合員の皆さんのが医療機関で保険証を提示して診療を受けた際に支払った自己負担額の一部を給付する【医療給付】が受けられます。給付対象・自己負担額・申請方法に関しては「健保の手引き」を参照してください。

組合ではこの他、トレーニングルーム（日吉塾生会館内）、契約旅館の申込も受け付けています。こちらについても詳細は「健保の手引き」を参照してください。

② 学生教育研究災害傷害保険（略称＝学研災）

大学の教育研究活動中に生じた不慮の事故により、身体に傷害を受けた場合の救済措置として、全塾生を対象に大学が保険料を負担してこの保険に加入しています。ここで教育研究活動中とは、大学内外での正課、大学行事、課外活動（学外の場合は事前に大学への届け出が必要、(3)課外活動②を参照のこと）をいいます。また、保険金は、学生健康保険互助組合の給付および他の保険に学生自身が自主的に加入している場合の給付とは関係なく支払われます。詳しい内容は「加入者のしおり」（理工学部Webサイト内「学生生活・奨学金」ページに掲載）を参照してください。

③ 学研災 付帯賠償責任保険

正課、学校行事における「インターンシップ活動」や、課外活動として「ボランティア活動」を目的とした公認団体の活動等に参加する場合、賠償責任保険により活動中他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険です。理工学部・理工学研究科では、矢上キャンパスに在籍をしている学部3年生以上の正規生を対象に、大学が保険料を負担してこの保険に加入しています。詳しい内容は「加入者のしおり」（理工学部Webサイト内「学生生活・奨学金」ページに掲載）を参照してください。

④ その他の保険

次の2つの補償制度（任意加入）に加入を希望する場合は、直接それぞれに資料請求をしてください。

「学生総合補償保険」→（株）慶應学術事業会 TEL.03-3453-6098

「学生総合共済」→慶應義塾生活共同組合（日吉）TEL.045-563-8489

⑤ 立科山荘

立科山荘は、昭和48年に開設された校外教育施設です。課外活動、研究室合宿などに利用してください。なお、宿泊を伴う活動の可否は、学生総合センター・指導教員の指示に従ってください。利用する場合は、学生生活担当で相談の上、所定の「利用予約申込書」に必要事項を記入のうえ、申し込んでください。

⑥ 学生ラウンジ（34棟2F）

このラウンジは教職員および学生の懇談と親交の場として、互いに迷惑をかけぬよう使用してください。ただし、学生団体等の集会などには使用できません。

⑦ 学生コミュニケーションルーム（創想館—14棟—1F）

「学生がみんなで集まりたくなるような魅力的なエントランス」というコンセプトで設計されている明るく広々としたスペースです。

また、ルーム内にはグランドピアノも置かれており、学生諸君は定期試験期間以外いつでも自由に弾くことができます。午後4時30分以降に懇談会等集会に利用する場合は学生課学生生活担当窓口で申し込んでください。利用にあたって

は指導教員の同席が必要です。詳細は学生生活担当へ相談してください。

⑧ 授業料等延納申請

やむを得ない事情で授業料を期日までに納入できなくなった場合は、所定の「授業料等延納申請書」を春学期分は5月15日、秋学期分は11月15日までに学生生活担当に提出してください。

「授業料等延納申請書」はWebサイト(<https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/tuition/extension.html>)からダウンロードできます。

(3) 課外活動

① 教室などの使用申込

公認学生団体が、集会あるいは会合のために教室などを使用したいときは、事前に学生生活担当へ申請してください。研究室で使用したいときは、指導教員に相談してください。ただし、授業期間以外の使用はできません。なお、他大学学生は使用できません。詳細はWebサイト(<https://www.st.keio.ac.jp/students/life/guide/shisetsu.html>)をご確認ください。

② 学外行事届

学生団体、研究室などが、試合、研究活動、合宿、コンサート等の行事を学外で行う場合には「学外行事届」(keio.jpポータルサイト内「学生団体活動支援システム」と参加者名簿をその営業日4日前までに教員の承認を得たうえで届け出してください。また、団体割引、減税証明書などの必要があれば申し出てください。なお、海外での学外行事は必ず海外旅行保険に加入してください。

③ 学生団体公認申請

クラブ、サークルなどで学生団体を継続・新設する場合は、所定の組織届を提出してください。組織届の提出がないと学内施設の使用の便宜を受けることができません。

④ 揭示・配布物などの届出

ポスターやビラなどを学内で掲示・配布する場合は、学生生活担当に届け出て、受付印を受けた上、場所などの指示を受けることが必要です。

⑤ 備品の使用申請

学生団体で、机、椅子、立看板などの備品を借用したい場合は、使用希望日の4日前までに申請してください。

⑥ 郵便物の取扱（公認団体）

外部からのクラブ、サークルへの郵便物は、学生課事務室内のメールボックスに区分けしてありますので、各団体の学生責任者は定期的に取りに来てください。

⑦ 運動施設の使用

矢上キャンパスには「グランド」「テニスコート」および「体育館」があります。いずれの施設も学生・教職員がスポーツを目的として使用することができます。

各運動施設の使用の申し込みは学生生活担当で受け付けています。なお、各施設の使用に際しては使用心得を遵守してください。

(4) 学生生活（その他）

① 車両入構申請

a) 駐車場の利用について

学生の車両入構は認められていませんが、学生団体や研究室などで、やむを得ず、車両入構の必要がある場合は、入構希望日の3日前までに、学生団体は学生生活担当に、研究室は管財課に指導教員経由で申請してください。

b) バイク・自転車の利用について

駐輪場利用登録申請を学生生活担当で必ず行ってください。登録料は年度毎に500円です。ステッカーを発行します。当該年度のステッカーを貼っていないバイク、自転車は撤去します。決められた場所に駐輪してください。

なお、自動車、バイク、自転車などの運転に際しては、常に交通規則を守ることは当然ですが、特に塾生としての自覚を持った運転に心掛け、周辺の住民に迷惑を及ぼしたり、違法駐車など無用なトラブルを引き起こしたりするがないよう、充分に留意してください。

② 遺失物・拾得物

学内での遺失物・拾得物は学生課総合受付に届けてください。届けられた拾得物は3か月間事務室内に保管しております。

③ 住居（下宿等）とアルバイトの紹介

下宿とアルバイトの紹介は、学生が自主的に運営している福利厚生機関の共済部が行っています。希望者は、共済部Webサイト(<https://kyosaibu.jimdo.com/>)を確認するか日吉キャンパスにある塾生会館内の共済部部室(TEL045-561-3102)へ問い合わせてください。

(5) 学生相談室

学生相談室は、学生の皆さんのが快適な学生生活を送れるように援助する場です。学業、課外活動、適性や進路、対人関係、性格、心身の健康、その他生活一般について困ったとき広く話し合い、解決に向けての糸口とともに探っていきたく思っております。

なお、相談内容につきましては、固く秘密を守りますので、どうぞお気軽にご相談ください。

・相談の内容について

相談の受付は学生相談室（26棟101号室）の窓口へ直接お越しitただくか、もしくは電話でも受け付けております。希望の日時を申し出てください。学部学生・大学院生及び学生に関することであればそのご家族、教員などなたでもご利用いただけます。

受付時間：平日 10:00～17:00

学生相談室：26棟101号室

相談室電話：直通 045-566-1431

(6) 就職・進路

就職・進路関係業務については、学生生活担当内のキャリア支援オフィスにて取扱います。

① 「就職活動早わかり」（リーフレット）

就職年次の学生に配布いたします。就職活動に関する重要事項が記載されています。理工学部キャリア支援 Web サイト (<https://www.st.keio.ac.jp/students/career/index.html>) から入手してください。

② 就職ガイダンス（就職に関する説明会）

最新情報は掲示と理工学部キャリア支援 Web サイトにて確認してください。

以下は予定です。

a) 全体就職ガイダンス：9月～10月に行う予定です。

b) 各種講座・セミナー：全体ガイダンス後、就職支援関連各種講座、企業セミナー等を順次行います。

c) 各系（学科）別ガイダンス：1月以降に各系（学科）ごとに行う予定です。

③ 求人票について

大学宛求人（自由応募）については、keio.jp を利用したキャリタス UC でインターネットより検索できます。理工学部では学校推薦制度も運用しています。学校推薦対象企業については、理工学部キャリア支援 Web サイト及び、就職資料室の学校推薦関連資料をご覧ください。

④ 進路希望調査

企業への応募形態には自由応募と学校推薦があります。

各系（学科）別に調査を行いますので、進路については、事前に十分考えておくことが望まれます。進路希望調査期間についてはキャリア支援 Web サイト等に掲出します。

⑤ 推薦状の発行

学校推薦が決定した場合には、キャリア支援オフィスで発行いたします。詳細は理工学部キャリア支援 Web サイト等で案内します。

⑥ 就職資料室（25棟学生課事務室内）

各会社の求人票がファイルされ、常時公開しています。学校推薦対象企業のファイルも閲覧できます（最新情報は理工学部キャリア支援 Web サイトで確認してください）。

⑦ 相談

キャリア支援オフィスでは、進路や就職などの悩みについて、常に対応できる体制を整えています。また、各系（学科）別に就職担当の委員がいて、就職の相談に応じています。

⑧ 進路届登録

キャリア支援オフィスでは進路についての統計をとり、文部科学省・公共職業安定所・私立大学連盟等に報告する義務があります。このため、例年進路が決定した時期に、最終学年全員が「進路決定届」登録をすることになっています。キャリア支援オフィスより、登録方法について適宜ご案内いたしますので、進学や留学等、就職以外の進路の方も必ず登録してください。

(7) 就職・進路（文系就職希望者への各種案内）

① 就職ガイドブック Web 版（文系就職用）

塾生サイト「就職・進路」カテゴリ内の「就職関連情報」から閲覧できます。

② 就職ガイダンス（三田キャンパス）

学内就職ガイダンスを各種開催しています。詳しくは塾生サイトに掲載していますので、興味のある方は参加してください

さい。

2. 国際担当

国際担当では、理工学部・理工学研究科に在籍する日本人学生および外国人留学生に対し、留学や国外研修、奨学金等に関する情報提供やアドバイスなどを行っています。詳細は Web サイト (<https://www.st.keio.ac.jp/students/ic/index.html>) でご確認ください。

電話 : 045-566-1468 FAX : 045-566-1469 E-MAIL : ic-yagami@adst.keio.ac.jp

留学生談話室 12棟201号室 (利用時間 8:30~20:00)



各種窓口について

1. 事務取扱時間

窓口取扱時間

総務課	月～金：8：30～16：30（現金等の取り扱いは15：00まで） ※日休み 11：30～12：30
管財課 管財担当・施設担当 検収センター	月～金：9：00～16：30 ※日休み 11：30～12：30
健康管理センター 応急処置	月～金：8：30～17：00 ※日休み 11：30～12：30
矢上診療所 一般診療	健康管理センターのWebサイトでご確認ください。 http://www.hcc.keio.ac.jp/ja/clinic/yagami-schedule.html

休業日：

土・日曜、祝日、夏季・冬季一斉休業期間、義塾の定めた休校日（福澤先生誕生記念日：1月10日、開校記念日：4月23日）
※理工学メディアセンター、並びに理工学ITCは各Webサイトを参照してください。

2. 総務課

学費は毎年4月中旬に保証人宛に本塾経理部から授業料等払込のご案内を送付しますので、最寄りの銀行で振り込んでください。また、分納した場合は、10月中旬に秋学期分を送付します。保証人が海外に居住している場合は、国内の学生本人住所に送付します。

3. 管財課

予算管理、物品購入・調達および支払管理、資産管理、物品納品の検収、建物・設備の維持管理、清掃・警備の委託管理
学生に關係する主な業務は次のとおり

- ① 研究室の予算管理
- ② 物品等の発注
- ③ 物品の納品検収（検収センター：24棟1階）
- ④ 施設・設備の営繕・維持
- ⑤ 会議室の使用申請および付帯設備に要する物品の貸出
- ⑥ 残留届（22時以降の残留）・休日届の受付
- ⑦ 研究室などの鍵の管理
- ⑧ 入退室管理システムのセキュリティカード交付（学生対象）
- ⑨ 空調、蛍光灯切れ、テンキー電池切れは、サービス受付：内線40930（25棟地下1階）
- ⑩ 廃棄物（感染性廃棄物）の申請は、サービス受付：内線40930（25棟地下1階）
- ⑪ 防火防災のための避難訓練の実施
- ⑫ 免税アルコールの新規申請・年度報告の提出

4. 大学保健管理センター矢上分室

- ① 定期健康診断（2023年4月から矢上地区で実施します）
- ② 保健管理（健康相談および医療機関への紹介）
- ③ 特殊健康診断（電離放射線取扱者、特定化学物質、有機溶剤、鉛化合物取扱者、遺伝子組換え・病原体実験実施者が対象）
- ④ 応急処置
- ⑤ 感染症罹患者に対する学校医、産業医による就学、就業可否の判定

5. 矢上診療所

一般診療（内科のみ）、診断書作成（和文・英文）

6. 理工学メディアセンター（松下記念図書館）

メディアセンターへの入退館および資料の貸出・返却には学生証が必要です。

在学中は各キャンパスメディアセンターへの入館および貸出等のサービスを受けられます。

サービスの詳細はメディアセンター Web サイト (<https://www.lib.keio.ac.jp/>) をご覧ください。

※キャンパスの方針等により開館時間、サービスを変更する場合があります。最新情報は各メディアセンター Web サイトをご確認ください。

(1) 開館時間

平日：8：45～21：30 土曜日：8：45～20：00（夏季休校期間は8：45～18：00） 試験期間（1月・7月）の日曜日は開館

休館日：日曜、祝日（授業日を除く）、夏季・冬季一斉休業期間、福澤先生誕生記念日（1月10日）

(2) 施設概要

PC 設置席のほか、グループ学習室、セミナールーム、夜間も利用できる自習室など多彩な学習環境を整備しています。

(3) 資料の貸出・返却・更新

貸出期間：図書14日（返却期限の更新は最大90日まで）雑誌7日（更新不可）貸出冊数：制限なし（一部例外あり）

・資料はどのメディアセンターでも返却することができます（一部例外あり）。

・返却期限日を過ぎると、1日につき1冊10円の延滞料金がかかります（休館日を含む）。

・KOSMOS（蔵書検索システム）から、貸出状況および貸出履歴の確認、返却期限の更新、塾内他キャンパス資料の取寄せ（一部不可あり）等の申込みができます。

(4) データベース・電子ジャーナル・電子ブック・Σ Star・KOARA の利用

慶應義塾が契約しているデータベースや電子ジャーナル・電子ブックを利用できます。慶應IDの認証で自宅や研究室からのアクセスも可能です。Σ Star（理工学メディアセンター機関リポジトリ）から修士論文の全文や要旨を利用できます（アクセスは矢上キャンパス内限定）。博士論文はKOARA（慶應義塾大学学術情報リポジトリ）をご利用ください。

(5) その他のサービス

・ラーニングサポートスタッフ（院生）が研究・学習に関する相談に応じます。

・各種データベース、電子ジャーナル、文献管理ソフト等の利用説明会を実施しています。

・未所蔵の資料については他機関の所蔵を調査し、資料や文献コピーを取り寄せます（費用の補助あり）。

・文献コピーの取寄せ、調査・質問、資料の購入希望、他大学への紹介状発行などは Web サイトのフォームから申込みができます。

・新川崎タウンキャンパス（K²）での資料の貸出返却、文献コピーの受け取りが可能です。

お問い合わせ先 Web サイト <https://www.lib.keio.ac.jp/scitech/>

E-mail rmc-info-group@keio.jp

直通電話（045）566-1477（平日8：45～17：00）

レファレンスデスク内線40307

7. 理工学インフォメーションテクノロジーセンター (ITC)

ITC はキャンパスネットワーク、コンピューターをはじめとした情報通信技術（ICT）環境にかかるサービスを総合的に提供している部門です。

(1) サービス概要

- ・ワークステーション、および PC による教育研究環境の提供
- ・キャンパス内の情報コンセント、無線 LAN アクセスポイントによるネットワーク利用環境の提供

(2) 施設概要

理工学 ITC では Linux および Windows 環境のワークステーションを設置した“ワークステーション室”8室を運用しております、授業に使用される時間以外の開室時間中は自由に利用できるよう開放しています。場所・開放予定等の詳細は理工学 ITC Web サイトをご覧ください。

(3) ご相談・お問い合わせ先

- ・直接お越しただく場合：理工学 ITC 事務室（14-B104）

各種申請等の事務手続受付時間	月～金 9:00～17:00 (※日休み 11:30～12:30)
ワークステーション室利用中の機器トラブル等の受付時間	月～金 9:00～20:00 土 9:00～17:00 (授業期間のみ)

※休校期間等、上記の時間は変更される場合があります。サービスの詳細および最新情報については、理工学 ITC Web サイトをご覧ください。

理工学 ITC Web サイト：<https://www.st.itc.keio.ac.jp/> お問い合わせ先：st-itc@itc.keio.ac.jp

授業・試験・成績について

1. 実験・実習に当たっての注意

専門課程に進級した3年生の学生諸君は、専門課程における実験・実習科目を履修することになりますが、これらの授業科目は日吉在籍当時とは違って、その内容が高度なものとなるため、危険性に対する充分な注意が必要です。一方、4年生の学生諸君は、各研究室に所属し、卒業論文作成のため、さらに高度な実験・実習を通じて、研究に着手することになります。

ここで、実験・実習に当たっては、すでに内容は熟知しているとして安易に考え、「慣れ」に走ることのないよう、各学科における「教職員の指示」、「ガイダンスにおける指示」および「マニュアル」に従い、真摯な態度で臨んでください。一層の注意を喚起します。

装置・器具・物質など取扱上、特に注意が必要なものを次に列挙します。

- (1) 危険な装置
(電気装置、機械装置、高圧装置、高温・低温装置、高エネルギー装置、ガラス器具、その他)
- (2) 危険な物質
(発火性物質、引火性物質、爆発性物質、有毒性物質、その他)
- (3) 実験室廃棄物の処理
(無機系実験廃液の処理、有機系実験廃液の処理、その他)

2. 緊急時における授業の取扱い

台風・大雨・大雪・地震等の各種自然災害や、大規模な事故等による鉄道等交通機関の運行停止、その他緊急事態の発生により、休講措置をとらざるを得ない場合は塾生サイトを通じてお知らせします。

<https://www.students.keio.ac.jp/yg/class/schedule/emergency.html>

※ keio.jp における「News」や「Message」でもお知らせがある場合がありますので、併せてご確認ください。

〈その他の注意事項〉

授業開始後に緊急事態が発生した場合は、状況により授業の短縮や早退など別途措置を講じます。

掲示や構内放送、上記の Web サイトによる大学からの指示に従ってください。

3. 早慶野球戦当日の授業および定期試験の取扱い

(1) 授業

試合開催日の授業は1時間のみとし、2時間以降は応援のため休講とします。3回戦以降もこれに準じます。雨天等で中止になった場合は、平常どおり授業を行います。

早慶戦当日の休講取扱いは、当日朝9時に以下の keio.jp の「News」および塾生サイトにて告知いたします。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/schedule/sokei.html>

試合結果は、東京六大学野球連盟オフィシャルサイト (<https://big6.gr.jp/>) で確認してください。

※理工学研究科設置科目は早慶戦の有無にかかわらず、平常どおり授業を行います。

※各学科における学生実験については、ガイダンスで指示されたとおりとします。

※他キャンパスの科目については、各キャンパスの指示のとおりとします。

(2) 定期試験

試合開催日であっても、定期試験を行いますので十分にご注意ください。

4. 三田祭期間中の授業

三田祭は4日間行われますが、授業は準備期間の初日の3時間以降から後片付けの日まで休講になります。

※理工学研究科設置科目は本祭期間のみ休講になります。

5. 裁判員候補者に選定された場合の取扱い

慶應義塾大学は、いわゆる「公欠」という考え方をとっていません。裁判員候補者に選定され、授業の出欠に迷う場合は、学事担当へご相談ください。なお、授業の性質上欠席が認められない場合がありますので、ご留意ください。

6. 試験・レポート

(1) 定期試験

- ・日程は、「学事日程一覧」を参照してください。
 - ・試験時間割や注意事項は、Webにより発表します。
- ※試験時間割は、平常の授業時間帯と異なる場合がありますのでご注意ください。
- 試験に関する URL : <https://www.students.keio.ac.jp/yg/class/exam/>
- ・早慶野球戦が同日に行われる場合でも、定期試験を行います。

<定期試験に関する注意事項>

① 学生証

- ・学生証を必ず携帯してください。
- ・万が一、学生証を携帯しなかった場合は、総合受付で必ず「仮学生証」（発行当日に限り全キャンパスで定期試験・図書館入館にのみ有効。発行手数料 500 円）の交付を受けてください。
- ・学生証または仮学生証を携帯せずに試験教室に入室することは一切認められません。

② 遅刻・退室

- ・試験開始後 20 分以内であれば、試験を受験できます。
- ・仮学生証発行手続により、試験教室への入室が遅れても試験時間の延長はありません。試験開始 20 分以内に試験教室に入室できず試験を受験できなかった場合でも、追加試験の対象とはなりません。
- ・電車遅延発生により、試験開始時刻を遅らせる場合がありますので、必ず試験会場に向かってください。
- ・電車遅延等、追加試験対象の遅刻の場合、当該試験を受験するか、追加試験を受験するかは本人の判断によります。ただし、試験開始後 20 分以内に入室した場合は追加試験の対象とはなりません。また、試験時間延長もありません。
- ・間違った教室に入って試験問題を見てしまった場合、試験開始後 20 分間は退室できませんので、試験教室を充分に確認してください。
- ・試験開始後に体調不良などの理由で途中退室する場合は、追加試験の対象とはなりません。
- ・いかなる理由であっても、途中退出すると教室に戻ることはできません。
- ・試験時間中の中途退室は試験開始後 30 分から試験終了 10 分前までは可能です。退室する場合は監督者に答案用紙を提出し手荷物を持参してから退室してください。

③ 不正行為等

- 受験に際しては不正行為のないように、真摯な態度で臨んでください。不正行為は、処分の対象となります。
- ・携帯電話などの通信機器は電源を切ってかばんの中になってしまってください。時計や電卓としての使用も認めません。
 - ・試験教室では、学生証または仮学生証を机の右上に置いてください。持ち込みを許可されているもの以外、机の上・机の中に置かず、バッグ等に片付けてください。
 - ・試験開始後に出席表を配布します。氏名・学籍番号・学生証の有無を書き後席に廻してください。
 - ・答案用紙の担当者および科目名、学籍欄の記入事項は、すべて略さずに正確に記入してください。
 - ・試験終了の合図があったら、ただちに答案を書くのをやめてください。
 - ・答案は必ず提出してください。持ち帰った場合は不正行為と判断されます。
 - ・試験終了後、回収した答案用紙の枚数と出席表の合計数を確認しますので、許可があるまでは退室できません。
- 以上の事項に加え、受験に関する注意事項等の詳細は、Web サイトの試験時間割で必ず確認してください。

(2) 授業内試験

随時、授業時間内で行われます。

(3) 追加試験

追加試験は、履修申告した授業科目のうち、日吉の定期試験と時間割が重複した場合や病気や不慮の事故等、やむを得ない事情により定期試験を受験できなかった者に対して行われる試験です。

①下記以外の理由により追加試験受験を希望する場合は、1科目につき 2000 円の受験料が必要になります。

- ・日吉の定期試験と時間割が重複した場合
- ・電車が遅延した場合

②下記の理由により追加試験受験を希望する場合は、定期試験を欠席した理由を証明する書類の提出が必要になります。下記以外の理由の取扱いについては、矢上学生課学事担当に問い合わせください。

理由	提出が必要な書類
病気や不慮の事故	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の診断書（加療期間（試験欠席日を含むこと）が明記されていること） ・診断書を発行した病院の領収書（診断書の発行が確認できること）
電車の遅延	<p>遅延時間の記載されている遅延証明書 ※交通機関に照会を行い、確認の上で申込を受け付けます。 ※追加試験の申請は原則として遅延の当日中です。 ※認められるのは自宅（大学に登録されている自宅住所）からの経路に限ります。 ※バスなど、電車以外の遅延は認められません。</p>
冠婚葬祭（2親等以内）	<ul style="list-style-type: none"> ・保証人の理由書 ・会葬礼状等

③日吉の定期試験との時間割重複や電車の遅延以外の場合は、状況により学習指導副主任が面接をして受験の可否を判断します。面接の結果、受験不可となる場合もあります。

④日吉において履修した授業科目の追加試験の申請（矢上設置科目との時間割重複の場合を除く）も、所定の手続きを矢上で行う必要があります。試験会場は原則として日吉となります。所定の手続きを行わず追加試験を受けても無効となります。

⑤追加試験を欠席するときは、事前に矢上学生課学事担当にご連絡ください。無断で欠席した場合、不正行為とみなされることがあります。

⑥1月末～2月上旬に行われる卒業論文発表会と試験が重複した場合、追試の対象とはなりません。必ず指導教員にご相談ください。

(4) レポート

最終試験と同様に取り扱われますので、提出にあたっては次の手続きを厳守してください。

①指定された日時に、指定された場所に提出してください。特に学生課窓口では、指定日時以外は一切受け付けませんので、掲示およびWebで確認してください。

・学生課レポートボックス受付時間 授業期間中：平日 8時45分～16時45分

※その他の事務取扱時間についてはp.7参照

②学生課窓口への提出を指示された場合は、学生課指定のレポート提出用紙（2枚複写式）に必要事項を記入し、2枚とも添付してください。レポート提出用紙は学生課カウンターに備えてあります。

③一度提出したレポートの変更・訂正は、提出期間内であっても一切認めません。

(5) 不正行為

定期試験、授業内試験、レポート等は、大学での勉学の成果の証となる重要なものであり、そこでの不正行為は絶対に許されるものではありません。学則第188条には、「この学則若しくは、これに基づいて定められた学内諸規則に違反し、または学業を怠り、気品を害ね、その他学生としての本分にもとる行為のあった者については、懲戒として情状により譴責・減点・停学または退学の処分をする」とあります。試験やレポートなどにおける不正行為は、ここでいう「学内諸規則に違反し」、「学業を怠り、気品を害ね」、「学生としての本分にもとる」行為にあたり、塾生としての品位に欠ける、極めて悪質な行為であると言わざるをえません。

不正行為があった場合はこの学則第188条に基づいて、当該科目を不合格、その学期に履修合格した他の全科目的評価を1ランク下げる、さらに停学または退学などの処分が下される場合もあります。

定期試験、授業内試験（小テスト）で不正行為とみなされる行為には以下のようないことがあります。

・カンニング ・代筆 ・答案用紙持ち帰り

・試験監督者の指示に意図的に従わない行為 ・スマートフォン、時計型端末の持ち込み

また、試験に臨む時は、不正行為と誤認されるような紛らわしい態度を取らないようにしなければなりません。

レポートにおいては、担当教員による特別な指示（グループワークや共同研究）がある場合を除き、成績評価の対象となるレポートを他の人と協力して作成することは不正行為とみなされます。具体的には以下の行為が含まれます。

・他の人と協力してレポートを作成すること

・部分的であれ、他の人のレポートを写すこと、また逆に他の人にレポートを見せること

・他の人のレポートファイルをもとに文言を修正して自らのレポートを作成すること

・他の人にレポートを作成（または代筆）してもらうこと

・他の人のレポートを作成（または代筆）すること

なお、レポート等で不正行為とみなされる行為には上記の他にも以下のようなものがあります。

- ・盗用（または剽窃）：活字媒体やWebサイト等に掲載された他人の文章や資料、自分＊が別の機会に作成した文章や資料等を出典を示さずにそのまま使うこと
 - *自分が過去に書いた文章や公表した研究成果を、出典等を示さずに使うことを自己盗用と言います。自分の過去のレポートやゼミでの公表物を、引用、出典を示さずに他の授業のレポートに用いたり、そのまま提出すると不正行為とみなされます。もちろん、同じ内容のレポートを同時に複数の授業の課題として提出することも不正行為です。
- ・改ざん：主張の根拠となる資料やデータを故意に書き換えて使用すること
- ・ねつ造：実際には存在しない資料やデータをあたかも存在するように偽って使用すること
- ・その他これらに類する行為

レポートや論文における剽窃・盗用は不正行為です。他人の意見・文章を断りなく用いた場合は、自分では意図していないでも盗用、剽窃とみなされ、定期試験、授業内試験での不正行為と同等のあるいはより深刻な不正行為として、処分の対象となります。

以下に重要なポイントを挙げておきます。

1. 自分の意見や考えとそれ以外の部分を明確に分ける。
2. 他人の文章や見解などを参照・引用する場合は必ず出典（文献名と著者およびページ、ウェブサイトの場合にはURLとページタイトル、およびその取得日）を明らかにする。
3. 文言を引用するときは、誤字も含めて一字一句正確に引用する。
4. 参考にした文献やウェブサイトがある場合には、2.と同様に必ず参考資料として（文献名、著者、ページ、ウェブサイトの場合にはURLとページタイトル、およびその取得日を）記載する。
5. 出典の示し方はルールに従う（下記の文献も参照のこと）。

出典の示し方の一般的な方法については、以下の参考書やチュートリアルなどで学んでください。

佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦著『アカデミック・スキルズ（第3版）—大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2020年）

河野哲也著『レポート・論文の書き方入門（第4版）』（慶應義塾大学出版会、2018年）情報リテラシーのためのウェブチュートリアルシステム『KITIE』（慶應義塾大学日吉メディアセンター、2019年）<http://project.lib.keio.ac.jp/kicie>

不正行為によって処分対象となった場合、周囲に対する自らの信用・信頼を失するだけでなく、これまで勉学を応援してくれた周囲の方々にも多大な迷惑をかけることになります。

不正行為は絶対にしてはいけません。

7. 学業成績表について

学業成績表はWeb上で閲覧可能です。2021年度より、学業成績表の保証人宛の郵送は行っておりません。春学期終了科目については9月上旬に、春秋セット科目や通年科目、秋学期終了科目も含めた当該年度最終の学業成績表については3月中旬に公開します。学期前半科目については、前半科目成績公開時に公開します。また、事前、事後の成績照会は一切受け付けません。

学業成績表のWeb閲覧にあたっては「keio.jp」のID・パスワードが必要です。閲覧方法や期間等の詳細は塾生サイトで告知します。パスワードの再発行等、Webシステムの利用案内については、p.43「Webシステムについて」をご確認ください。

なお、保証人は保証人IDを利用して学業成績表をWeb上で閲覧することができます。保証人IDは2019年3月、もしくは入学時に保証人宛に郵送で通知しております。

- ・(学生向け) 学業成績表オンライン閲覧マニュアル <https://www.students.keio.ac.jp/com/class/grade/manual.html>
- ・(保証人向け) 学業成績表オンライン閲覧マニュアル <https://www.studentds.keio.ac.jp/other/guarantor/grade-manual.html>

8. 成績評語について

(1) 成績評語

所定の授業に出席し評価試験（定期試験またはレポート）を受けた後に評語が決まります。学業成績の評語は、S・A・B・C・Dの5段階を基本とし、S・A・B・Cを合格、Dを不合格とします。ただし、特定の科目は、評語をP・Fの2種とし、この場合、Pを合格、Fを不合格とします。なお、他大学等で履修した科目をS・A・B・CまたはPの評語を用いずに認定する場合は、Gとします。

※ 2016 年度以前の履修科目の成績評語

学業成績の評語は、A・B・C・D/★の4段階とし、A・B・Cを合格、Dを不合格、★を未受験とします。なお、特定の科目は上記と同様です。

(2) GPA (Grade Point Average) ※ 2017 年度以降入学者のみ

GPA は、履修登録した科目毎の 5 段階評価を 4.0 から 0.0 までの GP (Grade point) (S : 4.0、A : 3.0、B : 2.0、C : 1.0、D : 0.0) に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点で、成績を数値で表したものです。

$$\text{GPA} = (\text{履修した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目の GP}) \text{ の総和} \div \text{履修した授業科目の単位数の合計}$$

GPA 算出にあたり、P (合格) の科目や F (不合格) の科目、G (認定) の科目、および自由科目は除かれます。

GPA には、当該学期における「学期 GPA」と在学中の全期間における「累積 GPA」の二種類があります。学業成績表には学期 GPA と累積 GPA が記載され、成績証明書には累積 GPA が記載されます。

なお、GPA は学習指導のためにも活用され、著しく低い場合には、退学が勧告される等の指導を受ける場合があります。

9. 成績評語に関する質問制度について

自身の履修状況（試験内容・結果、課題提出状況やその内容、出席状況など）を具体的かつ正確に記し、根拠をもって成績評語について科目担当教員に質問することができる制度です。申請方法や受付期間については、成績公開の際に keio.jp の News や Message を用いて告知します。期限を過ぎた申請は一切受け付けません。

本制度は、異議申し立てを目的とするものではありませんので、諸事情に起因する言い訳や懇願、脅し、授業内容に関する文句が質問内容に含まれていると判断される場合は質問を受け付けません。また、質問内容によっては、教員から回答を得られないこともあります。なお、この制度を利用せずに、メールやその他の方法で科目担当教員に直接問い合わせることは認められていません。この場合は不正行為とみなされることがあります、学則第 188 条により厳しく処分されます。

学籍（休学、留学、退学、再入学）

申請に必要な所定用紙は下記 URL からダウンロードできます。なお、手続き方法については履修案内熟読の上、学事担当窓口にて手続きを確認してください。

- ・「休学願」：<https://www.st.keio.ac.jp/students/ApplicationForTemporaryLeaveOfAbsence.pdf>
- ・「国外留学申請書」：<https://www.st.keio.ac.jp/students/ApplicationForStudyAbroad.pdf>
- ・「退学届」：<https://www.st.keio.ac.jp/students/NotificationOfWithdrawal.pdf>
- ・「就学届」：<https://www.st.keio.ac.jp/students/NotificationOfReturningToStudy.pdf>

1. 休学（学部学則第 152 条）

病気やその他やむを得ない理由により欠席が長期にわたる場合は、学習指導会議の了承を経て休学することができます。休学期間は在学可能な年数制限（学則第 156 条）には算入されません。

(1) 休学の期間

通 年：4月 1 日～翌年 3 月 31 日、春学期：4月 1 日～9月 21 日、秋学期：9月 22 日～3月 31 日

(2) 「休学願」の提出

休学希望者は、所定の「休学願」に保証人連署のうえ、休学事由を証する書類（病気・怪我の場合は医師の診断書、語学研修等の場合は入学願書の写し等）を添えて、学事担当へ提出してください。記載事項に不備があつたり、学習指導副主任の承認を得ていない場合（下記(3)参照）、「休学願」の提出が認められませんのでご注意ください。休学が次の学期・年度に及ぶ場合はあらためて「休学願」を提出してください。「休学願」の提出なしに、休学期間が延長されることはありません。

2023 年度 春学期休学願提出期限：2023 年 5 月 31 日（水）16：45 まで（厳守）

2023 年度 通年・秋学期休学願提出期限：2023 年 11 月 30 日（木）16：45 まで（厳守）

(3) 学習指導面接

「休学願」提出前に所属学科の学習指導副主任と面接し、「休学願」に承認印をもらう必要があります。面接日時等の詳細は学事担当窓口で相談してください。

(4) 「就学届」の提出

休学期間終了後、再び学業に戻る場合は、速やかに「就学届」を提出してください。なお、病気・怪我を理由に休学していた場合は、医師の診断書を添付してください。4 年生は、再び学業に戻ることを指導教員および学習指導副主任に報告してください。

(5) 休学終了後の健康診断について

春学期休学により、健康診断を受けていない場合、保健管理センターにご相談ください。就学届提出時に学事担当窓口でご相談いただいても構いません。

(6) 休学期間の上限

2023 年より学則 152 条が改正されたことに伴い以下のとおりとします。

休学期間は通算して 4 年を超えることはできません。休学期間が 4 年を超過しても就学しない場合、退学処分となります。

※ 2022 年度以前の入学者については、2023 年 4 月 1 日以降の休学から、休学期間の通算に含めます。

※ 休学の事由が母国における兵役義務による場合、その事由の期間は休学期間の通算に含めません。

※ 編入者および再入学者の休学期間の上限については上記と異なります。詳細は学生課学事担当へ問い合わせてください。

(7) 休学期間中における活動の単位認定について

休学中に実施した活動に対しては、単位の付与は行いません。例えば春学期休学を取得した方が、夏季休校中にインターンシップに参加しても、秋学期科目の学外実習を履修することはできません。同様に休学を利用して留学した場合も単位認定の対象外となります。

2. 留学（学部学則第 153 条）

外国の教育機関に留学する場合の取り扱いについて本大学が教育上有益と認めたときは休学することなく、外国の大学に留学することを許可することができます。

(1) 学籍について

在学期間に留学を希望する場合、学籍状態が①「留学」と②「休学」に分けられます。

①「留学」は学部学習指導会議において適正と認められた、海外の大学で正式な手続きを経て正規生と同じ授業を受ける場合を指します。「交換留学」、「私費留学」の 2 つに分類されます。年度の途中に開始し、翌年度の途中に終了することができるです。

(例：2023.4.1～2023.10.1、2023.9.1～2024.8.1など)

②「休学」は①「留学」と認定されない場合を指します。休学理由は「語学研修」となります。(前項参照)

(2) 国外留学申請書の提出について

「留学」を希望する学生は、留学先大学の入学許可を取得し所定の「国外留学申請書」を提出してください。

(3) 学習指導面接

「国外留学申請書」提出前に所属学科の学習指導副主任が面接します。「国外留学申請書」提出後、学部学習指導会議の承認を受けてから、留学希望先大学での正式手続きを経て、留学先大学正規生と同じ授業を受ける場合に限り「留学」として許可される可能性があります。(語学留学のみの留学は、「留学」に該当せず「休学」対象になります。)

(4) 留学先大学での取得単位

「留学」と認められた場合、留学した大学で取得した単位は、帰国後、30単位を超えない範囲で慶應義塾大学の単位として認定される場合があります。認定を希望する場合は、帰国後速やかに学事担当に申請してください。認定は原則として、帰国した年度内に限ります。認定対象科目は、総合教育科目（講義系科目のみ、語学・セミナー・実習科目は対象外）、専門基礎科目、学科専門科目（他学部の関連科目は対象外）です。理工学部設置科目に読み替え、評語はS、A、B、C、Gとなります。「休学」の場合は、単位認定を申請することはできません。

(5) 在学年数について

「留学」と認められた場合、1年間に限り留学期間を慶應義塾大学の在学年数に算入することが可能です。留学期間中は進級できませんが、たとえば、3年次に留学前に取得した単位と留学先で取得した単位で認定されたものを合わせて4年への進級条件を満たせば、帰国した年度の途中であっても進級すること（遡及進級）ができます。ただし、4年生においては、帰国した年度の途中に卒業すること（遡及卒業）は認められません。（「休学」の場合、在学年数に算入されません。詳しく述べは学事担当窓口にご相談ください。）

(6) 帰国後の健康診断について

留学から帰国後、保健管理センターにご相談ください。就学届提出時に学事担当窓口でご相談いただいても構いません。

【留学・休学の扱いについて】

留 学		休 学	
1. 種 別	「交換留学（ダブルディグリーを含む）」「私費留学」の2種類。どちらの場合も、学部学習指導会議において適正と認められた、海外の大学で正式な手続きを経て正規生と同じ授業を受ける場合。	休学理由	必要書類
		語学研修	入学許可書の写し等
		病気・怪我	医師の診断書
		上記以外の理由	休学の可否を含め、学事担当までお問い合わせください。
2. 期 間	「留学」の開始日から最長1年間まで。 年度途中に開始し、年度途中に終了することが可能です。 明確な申請期日はありませんが、出発日までに理工学部の会議で承認されている必要があります。会議日については、学事担当窓口で確認してください。	・休学は、通常もしくは学期単位での申請となります。 （通年：4月1日～翌年3月31日 春学期：4月1日～9月21日 秋学期：9月22日～3月31日 (申請期日は、履修案内の「休学」の項参照。) ＊申請期限にかかるわらば、履修申告をせずに休学する場合は、履修申告期間最終日までに休学願を提出してください。 休学の申請日（実質的な休学の開始日）がいつであっても、該当学期はすべて休学の扱いになります。	
	希望する場合は所定の「国外留学申請書」の再提出が必要です。延長は1回まで可能です。最長で留学開始日から2年間までです。（ダブルディグリーを除く）3年目以降は「休学」となります。	年度をまたいで休学する場合、新年度に「休学願」の再提出が必要です。 なお延長回数についての制限はありません。	
3. 学 費	【交換留学（ダブルディグリー含む）】 原則として減免制度はありません。ただし、学費の相互免除が含まれない交換留学については、代理徴収費用（研究会費・自治会費・学生健康保険互助組合費等）を除き、学費の全額を減免します。 【私費留学（延長を含む）】 各学期において授業料・施設設備費・実験実習費の全額を減免します。納付が必要な費用は在籍基本料および代理徴収費用（研究会費・自治会費・学生健康保険互助組合費等）となります。 減免される期間は、最長4学期まで（交換留学・ダブルディグリーの期間含む）。 ただし、本大学での学習を奨励するため、入学1年目の私費留学については、学費は減免されません。	【入学1年目】 本大学での学習を奨励するため、入学1年目の休学については、学費は減免されません。 ただし、兵役と正課・課外活動中の事故による傷害、地震・台風等の大規模な自然災害（激甚災害）の影響の場合は授業料・施設設備費・実験実習費が減免されることがあります。 【入学2年目以降】 各学期において授業料・施設設備費・実験実習費の全額を減免します。納付が必要な費用は在籍基本料および代理徴収費用（研究会費・自治会費・学生健康保険互助組合費等）となります。	

	留 学	休 学												
	<p>※学費減免措置は、適用される学費体系によって必要な手続・書類が異なります（第2学年編入・学士入学・再入学の場合は在籍学年にかかわらず、入学年度は入学1年目として扱われます）。</p> <p>減免を受けるための手続き等の詳細については、学生課学部担当窓口で確認してください。</p> <p>学費の詳細および金額については、「慶應義塾ウェブサイト」→「入学案内」→「学費」ページを確認してください。</p> <p>なお、留学・休学中も、本大学の学事・学生生活支援、図書館、情報環境等に関する諸サービスの利用が可能であるため、在籍基本料は減免の対象となりません（交換留学のうち、学費の相互免除が含まれないものを除く）。</p>													
4. 手 続き	<ol style="list-style-type: none"> 「国外留学申請書」を入手する。（窓口もしくは Web） 必要事項を記入、必要書類を準備 学事担当で書類確認 学習指導面談を受け、「国外留学申請書」の下欄「②学習指導・専攻担任」欄に印を受ける 学事担当に提出 学部会議で承認後、承認通知が保証人宛に届く。 <p>◆ 申請には余裕をもって、早めに準備してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 「休学願」を入手する。（窓口もしくは Web） 必要事項を記入、必要書類を準備 学習指導面談を受け、「休学願」の承認印欄に印を受ける。 学事担当に提出 学部会議で承認後、承認通知が保証人宛に届く。 <p>◆ 申請には余裕をもって、早めに準備してください。</p>												
5. 覆 修	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">留学・休学を開始する年度（学期）</th> <th rowspan="2">留学開始時期 め年度から始める</th> <th>履修申告は不要です。国外留学申請書を履修申告日迄に提出してください。</th> <th rowspan="2">実質的な休学開始時期 （いつでも該学期はすべて休学の扱いになります）</th> <th>履修申告は不要です。休学願を履修申告日までに提出してください。</th> </tr> <tr> <th>4月の履修申告期間に、履修申告をしてください。ただし、以下の点に注意してください。</th> <th>4月の履修申告期間に、履修申告をしてください。ただし、以下の点に注意してください。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>年度途中から</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 春学期末定期試験終了日以降に留学を開始する場合は、4月に履修申告した春学期科目は有効です。なお、通年科目は自動的に削除されます。 秋学期定期試験終了日以降に留学を開始する場合は、履修申告した科目はすべて有効です。なお、進級・卒業について、年度末日の在学を必須とします。（ただし、在学期間延長者を始めとする、卒業研究・輪講の単位取得済み者についてはこの限りではありません。） </td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 春学期休学の場合は、4月に履修申告した春学期科目および通年科目はすべて無効です。 秋学期休学の場合は、4月に履修申告した春学期科目は有効です。 通年休学の場合は、当該年度の春学期に単位取得済みの科目があっても全て無効となります。 </td></tr> </tbody> </table> <p>【①履修修正期間（4月中旬）最終日迄に就学】 …春学期科目や通年科目も申告可能です。ただし、総合教育科目は4月上旬に履修調整を行うため、履修調整終了後に、定員を超えた科目を履修することはできません。なお、教職科目については別途お問い合わせください。</p> <p>【②履修修正期間（4月中旬）終了後から秋学期履修申告期間（9月下旬～10月上旬）最終日迄に就学】 …秋学期科目の申告が可能です。</p> <p>【③秋学期履修申告期間（9月下旬～10月上旬）終了後から秋学期履修修正期間（10月中旬）最終日迄に就学】 …②と同様ですが、日吉・矢上設置の秋学期・総合教育科目は秋学期始めに履修調整を行いうため、履修調整終了後に定員を超えた科目を履修することはできません。</p>	留学・休学を開始する年度（学期）	留学開始時期 め年度から始める	履修申告は不要です。国外留学申請書を履修申告日迄に提出してください。	実質的な休学開始時期 （いつでも該学期はすべて休学の扱いになります）	履修申告は不要です。休学願を履修申告日までに提出してください。	4月の履修申告期間に、履修申告をしてください。ただし、以下の点に注意してください。	4月の履修申告期間に、履修申告をしてください。ただし、以下の点に注意してください。		年度途中から	<ul style="list-style-type: none"> 春学期末定期試験終了日以降に留学を開始する場合は、4月に履修申告した春学期科目は有効です。なお、通年科目は自動的に削除されます。 秋学期定期試験終了日以降に留学を開始する場合は、履修申告した科目はすべて有効です。なお、進級・卒業について、年度末日の在学を必須とします。（ただし、在学期間延長者を始めとする、卒業研究・輪講の単位取得済み者についてはこの限りではありません。） 		<ul style="list-style-type: none"> 春学期休学の場合は、4月に履修申告した春学期科目および通年科目はすべて無効です。 秋学期休学の場合は、4月に履修申告した春学期科目は有効です。 通年休学の場合は、当該年度の春学期に単位取得済みの科目があっても全て無効となります。 	<p>【春学期を休学した後、秋学期に就学する場合】 …秋学期科目の申告が可能です。</p> <p>(注1) 日吉・矢上設置の秋学期・総合教育科目は秋学期始めに履修調整を行います。</p> <p>(注2) 年度始め以外の時期に、教職科目の履修申告することは原則としてできません。履修を希望する場合は、履修の可否を教職・学習指導教員が判断します。就学時に教職の学習指導面談を受けてください。</p>
留学・休学を開始する年度（学期）	留学開始時期 め年度から始める			履修申告は不要です。国外留学申請書を履修申告日迄に提出してください。		実質的な休学開始時期 （いつでも該学期はすべて休学の扱いになります）	履修申告は不要です。休学願を履修申告日までに提出してください。							
		4月の履修申告期間に、履修申告をしてください。ただし、以下の点に注意してください。	4月の履修申告期間に、履修申告をしてください。ただし、以下の点に注意してください。											
	年度途中から	<ul style="list-style-type: none"> 春学期末定期試験終了日以降に留学を開始する場合は、4月に履修申告した春学期科目は有効です。なお、通年科目は自動的に削除されます。 秋学期定期試験終了日以降に留学を開始する場合は、履修申告した科目はすべて有効です。なお、進級・卒業について、年度末日の在学を必須とします。（ただし、在学期間延長者を始めとする、卒業研究・輪講の単位取得済み者についてはこの限りではありません。） 		<ul style="list-style-type: none"> 春学期休学の場合は、4月に履修申告した春学期科目および通年科目はすべて無効です。 秋学期休学の場合は、4月に履修申告した春学期科目は有効です。 通年休学の場合は、当該年度の春学期に単位取得済みの科目があっても全て無効となります。 										
6. 単位認定	<p>留学先での取得単位は、30単位を超えない範囲で慶應義塾大学の単位として認定される場合があります。認定を希望する場合は、帰国後速やかに学事担当に申請してください。認定は原則として、帰国した年度内に限りります。認定対象科目は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「総合教育科目」ただし講義系科目のみとし、語学・セミナー・実習科目は対象外とする。 「専門基礎科目」 理工学部設置の「学科専門科目」ただし他学部の関連科目は対象外とする。 <p>なお、取得済の科目と同一科目名での認定、および認定科目と同一名称科目の履修申告は、できません。</p> <p>不明な点は、早めに学事担当にご相談ください。また、留学前に検討することを強く薦めます。</p>	単位認定制度はありません。												
7. 入学（在学年数への算入・進級・卒業）	<p>1年間に限り留学期間が慶應義塾大学の在学年数に算入され、遡及して進級できる場合があります。ただし、遡及卒業はできません。</p> <p>[例] 第3学年夏から留学し、1年後帰国した場合、進級諸条件を充たしていれば第4学年への遡及進級となり、その年度末に卒業することが可能です。</p> <p>なお、第4学年夏に留学し、1年後帰国した場合は、再度第4学年に在籍することになります（卒業は帰国年度の年度末です）。</p>	<p>在学年数への算入はできません。休学終了後は、原級にとどまることになります。ただし、下記【例】の場合は進級可能です。遡及卒業はできません。</p> <p>[例] 原級による2回目の第3学年の春学期で、進級に必要な在学年数と単位数を満たせた場合、その年度の秋学期を休学しても次年度に遡及進級することは可能です。</p>												

※4年必修科目である、「卒業研究」や「輪講」は通年科目ですが、帰国後遡及進級により4年生になる場合、また、4年生の途中で留学を開始し、その後就学した場合のみ、②・③の時期であっても、履修が認められる可能性があります。

(第3学年の途中に留学を開始し、かつ、留学期間中に理工学研究科の6月入試出願を希望する場合は、別途、学事担当にお問い合わせください。)

3. 退学（学部学則第 154 条、156 条、188 条）

事情により退学しなければならなくなった場合は、所定の「退学届」に退学理由を具体的に明記し、保証人連署のうえ、所属学科の学習指導副主任と面接をし退学届に承認印をもらった後に、学生証を添えて学事担当へ提出してください。

退学年月日が 3 月 31 日の場合、当該年度に取得した成績および在籍は有効とされます。退学年月日が学期中の場合、当該学期に取得した成績および在籍は無効とされます。

また、授業料その他必要諸経費を所定の期日までに納入しない時は、退学となることがあります（学部学則第 171 条）。退学後に完納された場合でも、無効となった在籍および成績は有効にはなりません。

【学則第 156 条による退学処分】

第 1・第 2 学年併せて 4 年在学し当該年度末に第 3 学年に進級し得ない者、第 3・第 4 学年併せて 4 年在学し当該年度末に卒業し得ない者は退学処分となります。また、第 1 学年もしくは第 3 学年在籍者で、第 1 学年もしくは第 3 学年に 3 年在学し当該年度末に進級し得ない者についても、学則第 156 条にもとづき退学処分となります。

<半期休学した場合の注意>

- ・第 1 学年および第 3 学年の在籍者

年度末において第 1 学年の在学年数が 2.5 年の者、もしくは第 3 学年の在学年数が 2.5 年の者が原級となった場合、翌年度末まで在籍が認められます。

- ・第 2 学年および第 4 学年在籍者

年度末において第 1・第 2 学年の在学年数が 3.5 年の者、もしくは第 3・第 4 学年の在学年数が 3.5 年の者が原級となった場合、翌年度末まで在籍が認められます。

また、第 1 学年もしくは第 3 学年に 3.5 年在籍し、第 2 学年もしくは第 4 学年に進級した者については、第 2 学年もしくは第 4 学年で春学期のみ、または秋学期のみの半期休学は認められません。（1 年間の休学は認められます。）

【学則第 188 条による退学処分】

大学の学則もしくは諸規律に違反したと認められた時、履修申告を期日までに行わず就学の意志が確認できない時などには学部学則第 188 条により退学処分となります。

<学部学則第 188 条（抜粋）>

この学則若しくはこれに基づいて定められた学内諸規則に違反し、または学業を怠り、気品を害ね、その他学生としての本分にもとる行為のあったものについては、懲戒として情状により譴責、減点、停学または退学の処分をする。ただし、懲戒退学は、次の各号の一つに該当する者に対してのみ、これを命ずるものとする。

- 1 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- 2 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- 3 正当な理由がなくで出席常でない者
- 4 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4. 再入学（学部学則第 155 条）

[学部学則第 155 条（抜粋）]

退学した者が再入学しようとする場合には、事情を考慮した上で原級に編入することがある。

（注：学部学則第 156 条、第 171 条、および第 188 条により処分退学になった者に、この学則第 155 条の適用はできない。）

（注：学力不振で自主退学した学生がこの制度で再入学できる可能性は極めて低い。）

進級・卒業、9月卒業、在学期間延長制度等について

1. 科目の種類

必修科目	必ず履修して合格しなければいけない科目 (外国語科目、専門基礎必修科目、学科専門必修科目など)
選択科目	学生各自の希望により選択し、規定単位数以上を合格しなければいけない科目 (総合教育科目、専門基礎選択科目、学科専門選択科目など)
自主選択科目	卒業に必要な総単位数に8単位を限度として加算される科目
自由科目	4年進級・卒業に必要な単位に加算されない科目 (教職課程科目、諸研究所設置科目など)

2. 4年進級条件、卒業条件

標準課程の授業科目は、各学科の授業科目の履修順序を考慮のうえ、第3学年以後について定めています。各学年の標準課程と履修方法に従って履修しなければなりません。なお、進級の時期は年度末とします。

【4年進級条件】

(2023年度3年生用 4年進級条件) (学士入学者を除く)

第3学年に1年以上在学し下記に定めた単位数を得たものは、第4学年に進級する。ただし、関連科目として取得した単位数を学科専門科目の選択科目に4単位まで加算する。

種類	機械工学科	電気情報工学科	応用化学科	物理情報工学科	管理工学科	数理科学科	物理解科	化学科	システムデザイン工学科	情報工学科	生命情報学科	
総合教育科目	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
外国語科目	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
基礎教育科目	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	
専門教育科目	専門基礎科目	28 (18)	28 (14)	28 (20)	28 (4)	24 (10)	28 (14)	28 (12)	29 (19)	26 (12)	28 (24)	
	学科専門科目	23 ([†] 3)	23 (6)	22.5 (*4.5)	25 ([#] 7)	24 (6)	21 (0)	22 (8)	24 ([†] 9)	24 (4)	26 (4)	24.5 (* ^{**} 4.5)
計		105	105	104.5	107	106	99	104	106	107	106	106.5

() は内数で必修単位数を表わす

†印には機械工学総合実験、機械工学デザイン演習のいずれかを含むこと。

*印には応用化学実験A、応用化学実験B、応用化学実験C および応用化学実験D のうち3科目を含むこと。

#印には物理情報工学実験A、物理情報工学実験B、物理情報工学実験C および物理情報工学実験D を含むこと。

##印には特別選択科目18単位を含むこと。

†印には化学実験第1 および化学実験第2 を含むこと。

**印には生命情報実験A、生命情報実験B、生命情報実験C および生命情報実験D のうち3科目を含むこと。

※各学科とも他に条件があるので、所属学科の標準課程表を必ず確認してください。

(学士入学者・2023年度3年生用4年進級条件)

1年以上在学し下記に定めた単位数を得たものは、第4学年に進級する。ただし、関連科目として取得した単位数を学科専門科目の選択科目に4単位まで加算する。

種類	機械工学科	電気情報工学科	応用化学科	物理情報工学科	管理工学科	数理科学科	物理解科	化学科	システムデザイン工学科	情報工学科	生命情報学科
学科専門科目	23 ([†] 3)	23 (6)	22.5 (*4.5)	25 ([#] 7)	24 (6)	21 (0)	22 (8)	24 ([†] 9)	24 (4)	26 (4)	24.5 (* ^{**} 4.5)
計	23	23	22.5	25	24	21	22	24	24	26	24.5

() は内数で必修単位数を表わす

†印には機械工学総合実験、機械工学デザイン演習のいずれかを含むこと。

*印には応用化学実験A、応用化学実験B、応用化学実験C および応用化学実験D のうち3科目を含むこと。

#印には物理情報工学実験A、物理情報工学実験B、物理情報工学実験C および物理情報工学実験D を含むこと。

†印には化学実験第1 および化学実験第2 を含むこと。

**印には生命情報実験A、生命情報実験B、生命情報実験C および生命情報実験D のうち3科目を含むこと。

※各学科とも他に条件があるので、所属学科の標準課程表を必ず確認してください。

【卒業条件】

(2023年度3年生用卒業条件) (学士入学者を除く)

4年以上在学し、学則128条に定める授業科目の中から、自由科目を除き、下記の単位数を含めて合計138単位以上を取得したものを卒業とする。ただし、関連科目・自主選択科目・大学院理工学研究科設置科目として取得した単位数をp.37-38の通り加算する。

種類		機械工学科	電気情報工学科	応用化学科	物理情報工学科	管理工学科	数理科学科	物理学科	化学科	システムデザイン工学科	情報工学科	生命情報学科	
総合教育科目		18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
外国語科目		16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
基礎教育科目		28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	
専門教育科目	専門基礎科目	必修	18	14	20	20	4	10	14	12	19	12	24
		選択	10	14	8	8	# ²⁴	14	14	16	10	14	4
	学科専門科目	必修	13	17	17	16	13	8	17	21	12	14	15
		選択	27	23	23	24	* ²⁷	bb ³⁶	23	19	27	28	25
自主選択科目		8											
計		138											

#印には特別選択科目20単位を含むこと。

★印では、設定されている4分野（分野1～分野4）それぞれにおいて、2科目以上に合格していなければならない。

bb印では、各専攻で指定された科目に合格し、一定の単位数を取得しなければならない。

※各学科とも他に条件があるので、所属学科の標準課程表を必ず確認してください。

※自主選択科目とは、「各分野の卒業条件の単位を満たし、超過した単位全て（自由科目を除く）」を指します。詳細はp.37参照。

(学士入学者・2023年度3年生用卒業条件)

2年以上在学し、下記に定めた単位数を得たものを卒業とする。ただし、関連科目・自主選択科目・大学院理工学研究科設置科目として取得した単位数をp.37-38の通り加算する。

種類		機械工学科	電気情報工学科	応用化学科	物理情報工学科	管理工学科	数理科学科	物理学科	化学科	システムデザイン工学科	情報工学科	生命情報学科	
専門教育科目	学科専門科目	必修	13	17	17	16	13	8	17	21	12	14	15
		選択	27	23	23	24	* ²⁷	bb ³⁶	23	19	27	28	25
	自主選択科目		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
	計		48	48	48	48	48	52	48	48	47	50	48

★印では、設定されている4分野（分野1～分野4）それぞれにおいて、2科目以上に合格しなければならない。

bb印では、各専攻で指定された科目に合格し、一定の単位数を取得しなければならない。

※各学科とも他に条件があるので、所属学科の標準課程表を必ず確認してください。

※自主選択科目とは、「各分野の卒業条件の単位を満たし、超過した単位全て（自由科目を除く）」を指しますが、総合教育科目、基礎教育科目、専門基礎科目を履修し単位を取得した場合も自主選択科目として、卒業単位に算入されます。詳細はp.37参照。

【卒業条件】

(2023年度4年生用卒業条件) (学士入学者を除く)

4年以上在学し、学則128条に定める授業科目の中から、自由科目を除き、下記の単位数を含めて合計138単位以上を取得したものを卒業とする。ただし、関連科目・自主選択科目・大学院理工学研究科設置科目として取得した単位数をp.37-38の通り加算する。

種類		機械工学科	電気情報工学科	応用化学科	物理情報工学科	管理工学科	数理科学科	物理学科	化学科	システムデザイン工学科	情報工学科	生命情報学科	
総合教育科目		18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
外国語科目		16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
基礎教育科目		28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	
専門教育科目	専門基礎科目	必修	18	14	20	18	4	10	14	12	19	12	24
		選択	10	14	8	10	# # 24	14	14	16	10	14	4
	学科専門科目	必修	13	17	17	16	13	8	17	21	12	14	15
		選択	27	23	23	24	* 27	bb 36	23	19	27	28	25
自主選択科目		8											
計		138											

#印には特別選択科目20単位を含むこと。

★印では、設定されている4分野（分野1～分野4）それぞれにおいて、2科目以上に合格していなければならない。

bb印では、各専攻で指定された科目に合格し、一定の単位数を取得しなければならない。

※各学科とも他に条件があるので、所属学科の標準課程表を必ず確認してください。

※自主選択科目とは、「各分野の卒業条件の単位を満たし、超過した単位全て（自由科目を除く）」を指します。詳細はp.37参照。

(学士入学者・2023年度4年生用卒業条件)

2年以上在学し、下記に定めた単位数を得たものを卒業とする。ただし、関連科目・自主選択科目・大学院理工学研究科設置科目として取得した単位数をp.37-38の通り加算する。

種類		機械工学科	電気情報工学科	応用化学科	物理情報工学科	管理工学科	数理科学科	物理学科	化学科	システムデザイン工学科	情報工学科	生命情報学科	
専門教育科目	学科専門科目	必修	13	17	17	16	13	8	17	21	12	14	15
		選択	27	23	23	24	* 27	bb 36	23	19	27	28	25
	自主選択科目		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
	計		48	48	48	48	48	52	48	48	47	50	48

★印では、設定されている4分野（分野1～分野4）それぞれにおいて、2科目以上に合格しなければならない。

bb印では、各専攻で指定された科目に合格し、一定の単位数を取得しなければならない。

※各学科とも他に条件があるので、所属学科の標準課程表を必ず確認してください。

※自主選択科目とは、「各分野の卒業条件の単位を満たし、超過した単位全て（自由科目を除く）」を指しますが、総合教育科目、基礎教育科目、専門基礎科目を履修し単位を取得した場合も自主選択科目として、卒業単位に算入されます。詳細はp.37参照。

3. 9月卒業制度

第4学年を1年以上在学し（休学期間は在学年数に含まれません）、春学期終了時点で卒業に必要な単位を満たした場合、9月卒業となります。（注意：「卒業研究」や第4学年設置の「輪講」は通年科目であり、年度途中に成績評価が行われることはありませんので、それらの科目的単位を取得していない場合は、9月卒業とはなりません。）

また、9月卒業の場合、卒業年度の学費（授業料、その他必要諸経費）は春学期分のみとなり、秋学期分は不要です。

なお、9月卒業予定の者が、翌年3月の卒業を希望する場合は、次項「在学期間延長制度」を参照の上、手続きを行ってください。

（参考）

2023年度	9月卒業	3月卒業
卒業決定者発表	2023年9月5日（火）	2024年3月8日（金）
卒業日付	2023年9月5日付	2024年3月10日付
卒業式	2023年9月20日（水）	2024年3月25日（月）

4. 在学期間延長制度

4年生が卒業に必要な単位を満たした場合でも、在学期間延長を申請し許可を得られれば、学則第156条に抵触しない範囲内において引き続き次の学期末または翌年度末まで在学することが可能です。（参考：学則第169条）

（1）申請方法

- 「在学許可願」（所定用紙：学事担当窓口で交付／本人・保証人の連署・捺印）を指導教員、および所属学科の学習指導副主任の確認印を受けた上で、所定の期日までに提出してください。期日を過ぎてからの提出は認めませんので、十分に余裕をもって対応してください。「在学許可願」は許可された場合の「誓約書」も兼ねます。
- 卒業判定会議で協議され、保証人宛に結果が通知されます。

（2）関連日程

対象者	2023年9月卒業予定者	2024年3月卒業予定者	2024年9月卒業予定者
	↓	↓	↓
在学延長希望期間	2023年度 秋学期	春学期 春・秋学期	秋学期
	↓	↓	↓
申請期限	2023年9月1日（金）11:30	2024年2月16日（金）11:30	2024年8月下旬（予定）
結果通知	2023年9月5日（火）	2024年3月8日（金）	2024年9月上旬（予定）

（3）在学が許可された年度（学期）の注意：

- 在学中は義務諸規則を守ってください。
- 在学期間を延長した学生の学年は第4学年となります。
- 在学期間を延長した学生は、第4学年在学者として授業料等の必要諸経費を納入しなければなりません。（9月卒業の場合、当該年度の学費（授業料、その他必要諸経費）は春学期分のみとなり、秋学期分は不要です。）
- 在学を許可された年度（学期）には、1学期以上在学しなければなりません。在学を許可された年度（学期）の途中で籍を離れる場合は退学となります。
- 在学を許可された年度（学期）には、1科目以上の科目を履修しなければなりません。

A欄や一部のB欄で履修登録した場合、その科目はGPA算出に含まれます。GPAに算入したくない場合は、自由科目として履修してください。

- 在学を許可された年度（学期）中の、私費留学、休学は認められません。交換留学は認められます。
- 在学期間の再延長は学則第156条に抵触しない範囲内において申請することができます。

（4）【参考】

学則第156条（抜粋）：理工学部では、第1・第2学年併せて4年在学し第3学年に進級し得ない者、第3・第4学年併せて4年在学し卒業し得ない者は退学させる。

学則第169条（抜粋）：各学部が定めるところにより、第156条の定める範囲内において次の学期末または年度末まで引き続き在学することができる。ただし、卒業は当該学期末または年度末に在学していることを要件とする。

履修要領

1. 履修申告の注意事項

- (1) 2021年度より、履修申告の仕組みが変更となりました。春学期の履修申告時には、春学期科目・春学期前半科目・春学期後半科目・通年科目（セット科目含む）のみが対象となり、秋学期科目・秋学期前半科目・秋学期後半科目は、秋学期の履修申告時に申告します。下記「2. 履修上限単位数について」も併せて確認し、春学期の履修申告の時点で多くの科目を申告し、秋学期に必要な科目を秋学期履修申告時に履修することができなくなることのないようご注意ください。
- (2) 履修申告に際しては、送付された学業成績表の履修結果を確認のうえ、履修申告の要領（ガイドンスの時に配布）、および、その他関連の項を熟読して、履修申告してください。曜日时限重複・申告漏れなどないよう十分注意してください。
- (3) 履修に関する疑問点などは履修申告終了日までに、学習指導教員または学事担当窓口に問い合わせてください。
- (4) 時間割の変更などがありますので、申告日までに時間割を塾生サイトで確認して、曜日时限重複のないようにしてください。
- (5) 履修申告後は登録済科目一覧を印刷して保管しておいてください。
- (6) 一度合格した授業科目を進級、卒業要件に含める形で再度履修することはできません（体育実技Aは除く）。授業科目名が変更になった場合でも授業内容が同じ科目については、履修することはできません。
- (7) 履修申告をしていない授業科目を受験しても、一切無効であり単位は取得できません。
- (8) 履修申告した授業科目を受験しなかった場合、当該科目は不合格評価となります。
- (9) 進級、卒業条件を満たさなくなるような履修申告・修正・取消は認められません。
- (10) 揭示板や塾生サイト、keio.jpは、その他の最新情報や追加情報も掲載されることがありますので、注意してください。塾生サイトでは「所定用紙」のダウンロード、「よくある質問」等について確認することができます。

URL : <https://www.students.keio.ac.jp/yg/st/class/registration/>

- (11) 「遠隔（オンライン）授業」の履修について

K-LMS等に掲載されている、「オンライン授業受講ガイドライン」をご確認ください。異なる地区において連続した時限に開講される授業であっても、一方または両方が遠隔（オンライン）授業（例：1時限目に日吉の対面授業、2時限目に三田の遠隔授業）の場合、履修することは可能とします。ただし、遠隔（オンライン）授業であっても一部対面授業を実施する、授業内試験を対面で実施する等、履修上の不都合が発生する場合もあります。異なる地区において連続した時限で開講される授業で、一方または両方が遠隔（オンライン）授業である場合には、シラバスで授業実施形態の詳細を確認すると同時に、科目担当者への確認等を行い、不都合がないことを確認したうえで、自身の責任のもと履修してください。

2. 履修上限単位数について

2017年度の第1学年より、履修申告単位に上限が設定され、年間54単位となりました（自由科目は除く）。

- いかなる事情でも、上限を超過した履修申告は認められません。
- 秋学期に必要な科目を履修することができなくなることのないよう、計画的に履修してください。
- 春学期に履修して不合格となった科目（成績評語「D」）も年間の履修単位に含まれます。
- 履修取消を前提に54単位を超える履修申告を行うことはできません。

3. 授業科目ナンバリング（K-Number）について

2022年度より、全授業科目に対して、レベルや学問分野、授業形態等を示す番号を付番する授業科目ナンバリング制度（K-Number）を導入します。K-Numberによって興味関心のある学問分野を検索し、体系的な学修計画に基づいた学びが可能となります。

なお、複数の学部・研究科に併設された授業科目については、各学部・研究科ごとに異なるK-Numberが付与されます。詳細はWeb等を参照してください。

☆ K-Number の構成 <理工学部設置科目の見方>

FST – ST – 1 1 11 1 – 1 1 1 – 11
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

		種類	内容	
科目設置	①	学部・研究科	理工学部設置科目は FST と表記されます。 ※他学部・研究科の表記は Web 等参照	
	②	学科・専攻	ST : 理工学部共通 EE : 電気情報工学科 AP : 物理情報工学科 MA : 数理科学科 CH : 化学科 IC : 情報工学科 ME : 機械工学科 AC : 応用化学科 IS : 管理工学科 PH : 物理学科 SD : システムデザイン工学科 BI : 生命情報学科	
科目主番号	③	レベル (履修学年の目安)	0 : 学部共通 1 : 1 年次配当レベル (または入門／導入レベル) 2 : 2 年次配当レベル (または基礎レベル) 3 : 3 年次配当レベル (または応用／発展レベル) 4 : 4 年次配当レベル (または専門／実践レベル) 9 : その他	
	④	分野	大分類	Web 等参照
科目補足	⑤		小分類	
	⑥	科目種別	1 : 必修科目 3 : 選択科目	2 : 選択必修科目 4 : 自由科目 9 : その他
科目補足	⑦	授業区分 (全塾共通)	1 : 語学 4 : 実験・実習・実技 7 : 講義および実習	2 : 講義 5 : 論文 9 : その他
	⑧	授業形態 (全塾共通)	1 : 対面授業 (主として対面授業) 2 : オンライン授業 (主としてリアルタイム形式) 3 : オンライン授業 (主としてオンデマンド形式) 4 : オンライン授業 (全回オンデマンド形式)	3 : 演習 6 : 研究指導 9 : その他
学問分野	⑨	授業言語 (全塾共通)	1 : 日本語	2 : 英語 3 : その他
	⑩	学問分野 (全塾共通)	Web 等参照	

4. 「遠隔（オンライン）授業」の単位数上限について

2022 年度以降の授業について、「大学設置基準」(文部科学省令)に基づき、大学学部（学士課程）に卒業要件単位数として含めることができる「遠隔（オンライン）授業」(※) の単位数上限は、60 単位と学部学則に明記されました。

各自、授業科目ナンバリング (K-Number) の授業形態項目などを確認し、卒業まで計画的な履修を行ってください。

参考：文部科学省 告示・通達 大学等における遠隔授業の取扱いについて（周知）

https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/mext_00027.html

(※) 「遠隔（オンライン）授業」とは、全体の講義回数のうち、対面以外で実施される講義回数が半数を超える授業と定められています。

ただし、2020 年度および 2021 年度にオンライン授業で修得した単位については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による特例措置として、上限の対象外となります。

5. 履修申告の流れ

(春学期)

4月3日（月）12:30 ～5日（水）16:45	【春学期】履修申告期間（一次申告） 対象科目：春学期科目・春学期前半科目・春学期後半科目・通年科目（セット科目含む） <ul style="list-style-type: none"> ・履修を希望する科目は、この期間にすべて履修申告してください。登録方法などの詳細は塾生サイトの「履修申告操作マニュアル」で確認してください。 ・履修申告画面に表示される登録科目は、履修が決定したものではありません。その後の履修調整により不許可になる可能性や、履修申告不備のため修正が必要となる可能性があります。 ・一次申告の結果、履修定員に達した科目は二次申告期間に追加申告できなくなりますのでご注意ください。 ・申告が完了しましたら、科目や分野の間違いや登録漏れがないか必ず確認してください。なお、必修科目等の一部の科目は予め履修登録されている場合があります。 ・一次申告時に履修申告した科目は、二次申告期間に取り消すことが可能です。 ・履修上限単位数に注意し、秋学期に必要な科目を履修申告できなくなることのないよう計画的に履修してください。
-----------------------------	---



4月 6 日 (木) 18:00 (予定)	履修申告調整結果発表 履修申告（一次申告）の結果、履修定員を超えた科目は履修者数調整を行います。調整結果は、keio.jp ポータルの「授業」カテゴリにある「履修申告」画面で確認してください。
-----------------------	--



4月 6 日 (木) 18:00 ～14日 (金) 10:00	【春学期】履修申告期間（二次申告） 対象科目： 春学期科目・春学期前半科目・春学期後半科目・通年科目（セット科目含む） <ul style="list-style-type: none"> 登録方法などの詳細は塾生サイトの「履修申告操作マニュアル」で確認してください。 履修申告調整結果を受け、科目の追加・削除を行う場合はこの期間に行ってください。 keio.jp の「K-LMS (Cavas LMS, 旧授業支援)」は履修申告をした翌日より利用可能となりますので、初回授業日の前日までには履修申告を行ってください。 一次申告の時点で定員に達した科目は追加できません。Web システム上、選択可能な科目が追加可能です。 初回授業後などの二次申告期間中に履修者の調整が行われる科目がある場合があります。 申告が完了しましたら、科目や分野の違い、申告漏れがないか必ず確認してください。 二次申告期間後は、指定された履修エラー修正期間、履修登録取消期間を除き、履修申告内容の変更はできませんので、十分に慎重を期して履修申告してください。
4月 7 日 (金) ~	授業開始



4月 19 日 (水) 16:00～	履修申告科目確認期間 <ul style="list-style-type: none"> keio.jp の「登録済科目確認」から登録科目一覧画面を印刷し必ず内容を確認してください。 この確認を怠り、履修エラー修正を所定期間に行わなかった場合は、塾生本人の責任になりますので注意してください。
--------------------	---



4月 20 日 (木) 8:45 ～21日 (金) 16:45	履修エラー修正期間 <ul style="list-style-type: none"> 詳細は keio.jp の News もしくは Message にてお知らせします。 修正申告対象者は、履修申告に不備（エラー）がある学生です。履修申告の不備（エラー）がある場合は、この期間内に正しく修正の手続きを行ってください。 履修申告に不備がある場合を除き、個人的な理由による履修科目の追加や変更、削除、すでに自由科目として履修申告した科目の分野変更はできません。
------------------------------------	---



4月 27 日 (木) 10:00 ～28日 (金) 16:45	履修取消期間（前半） 上限 8 単位 対象科目： 春学期科目・春学期前半科目・通年科目（セット科目含む） <ul style="list-style-type: none"> 履修取消制度については、「6. 履修取消制度について」も確認してください。 春学期後半科目は、「履修取消期間（後半）」で取り消し可能です。 取り消した科目の成績はつきません。また、新たな科目的追加はできません。 理工学部設置科目のうち、所属学科の必修科目、理工学基礎実験、総合教育セミナー、グローバルリーダーシップセミナー、機械工学ものづくりプロジェクトは取り消し禁止です。「12. 他学部他研究科学生の履修取消が認められない科目（学部）」も確認してください。
-------------------------------------	--



6月 19 日 (月) 10:00 ～20日 (火) 16:45	履修取消期間（後半） 上限 8 単位 対象科目： 春学期後半科目 <ul style="list-style-type: none"> 履修取消制度については、「6. 履修取消制度について」も確認してください。 春学期後半科目以外は、この期間に取り消しすることはできません。 取り消した科目の成績はつきません。また、新たな科目的追加はできません。
-------------------------------------	--

(秋学期)

9月 26 日 (火) 12 : 30 ～28 日 (木) 16 : 45	<p>【秋学期】履修申告期間 (一次申告)</p> <p>対象科目：秋学期科目・秋学期前半科目・秋学期後半科目</p> <ul style="list-style-type: none">・履修を希望する科目は、この期間にすべて履修申告してください。登録方法などの詳細は塾生サイトの「履修申告操作マニュアル」で確認してください。・履修申告画面に表示される登録科目は、履修が決定したものではありません。今後の履修調整により不許可になる可能性や、履修申告不備のため修正が必要となる可能性があります。・一次申告の結果、履修定員に達した科目は二次申告期間に追加申告できなくなりますのでご注意ください。・申告が完了しましたら、科目や分野の間違いや登録漏れがないか必ず確認してください。なお、必修科目等の一部の科目は予め履修登録されている場合があります。・一次申告時に履修申告した科目は、二次申告期間に取り消すことが可能です。・履修上限単位数に注意し、秋学期に必要な科目を履修申告できなくなることのないよう計画的に履修してください。
--	---



9月 29 日 (金) 18 : 00 (予定)	<p>履修申告調整結果発表</p> <p>履修申告 (一次申告) の結果、履修定員を超えた科目は履修者数調整を行います。調整結果は、keio.jp の「授業」カテゴリにある「履修申告」画面で確認してください。</p>
--------------------------	---



9月 29 日 (金) 18 : 00 ～10月 9 日 (月) 10 : 00	<p>【秋学期】履修申告期間 (二次申告)</p> <p>対象科目：秋学期科目・秋学期前半科目・秋学期後半科目</p> <ul style="list-style-type: none">・登録方法などの詳細は塾生サイトの「履修申告操作マニュアル」で確認してください。・履修申告調整結果を受け、科目の追加・削除を行う場合はこの期間に行ってください。・keio.jp の「K-LMS (Cavas LMS, 旧授業支援)」は履修申告をした翌日より利用可能となりますので、初回授業日の前日までには履修申告を行ってください。・一次申告の時点で定員に達した科目は追加できません。Web システム上、選択可能な科目が追加可能です。・初回授業後などの二次申告期間中に履修者の調整が行われる科目があります。・申告が完了しましたら、科目や分野の違い、申告漏れがないか必ず確認してください。・二次申告期間後は、指定された履修エラー修正期間、履修登録取消期間を除き、履修申告内容の変更はできませんので、十分に慎重を期して履修申告してください。
10月 2 日 (月) ~	<p>授業開始</p>



10月 13 日 (金) 16 : 00	<p>履修申告科目確認期間</p> <ul style="list-style-type: none">・keio.jp の「登録済科目確認」から登録科目一覧画面を印刷し必ず内容を確認してください。・この確認を怠り、履修エラー修正を所定期間に行わなかった場合は、塾生本人の責任になりますので注意してください。
----------------------	--



10月 16 日 (月) 8 : 45 ～17 日 (火) 16 : 45	<p>履修エラー修正期間</p> <ul style="list-style-type: none">・詳細は keio.jp の News もしくは Message にてお知らせします。・修正申告対象者は、履修申告に不備 (エラー) がある学生です。履修申告の不備 (エラー) がある場合は、この期間内に正しく修正の手続きを行ってください。・履修申告に不備がある場合を除き、個人的な理由による履修科目の追加や変更、削除、すでに自由科目として履修申告した科目の分野変更はできません。
--	--



10月 23 日 (月) 10 : 00 ～24 日 (火) 16 : 45	<p>履修取消期間 (前半) 上限 8 単位</p> <p>対象科目：秋学期科目・秋学期前半科目</p> <ul style="list-style-type: none">・履修取消制度については、「6. 履修取消制度について」も確認してください。・秋学期後半科目は、「履修取消期間 (後半)」で取り消し可能です。・取り消した科目的成績はつきません。また、新たな科目的追加はできません。・理工学部設置科目のうち、所属学科の必修科目、理工学基礎実験、総合教育セミナー、グローバルリーダーシップセミナー、機械系のための電気・電子回路、機械工学ものづくりプロジェクトは取り消し禁止です。「12. 他学部他研究科学生の履修取消が認められない科目 (学部)」も確認してください。
---	--



12月13日（水）10:00 ~14日（木）16:45	履修取消期間（後半）上限8単位 対象科目：秋学期後半科目 ・履修取消制度については、下記「6. 履修取消制度について」も確認してください。 ・秋学期後半科目以外は、この期間に取り消しすることはできません。 ・取り消した科目的成績はつきません。また、新たな科目の追加はできません。
--------------------------------	---

掲示版や keio.jp ポータル、塾生サイトは、最新情報や追加情報も掲載されることがありますので、注意してください。

keio.jp : <http://keio.jp/>

塾生サイト（矢上）：<https://www.students.keio.ac.jp/yg/st/class/registration/>

塾生サイト（日吉）：<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/restriction.html>

履修申告画面操作マニュアル：<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/system/course-reg-manual.html>

6. 履修取消制度について

一度履修申告した科目を、前項の所定期間内の手続きにより取り消すことができます。春前半・春後半・秋前半・秋後半の4回設けられており、各回取消可能上限は8単位です（自由科目を含む）。取り消した科目は学業成績表・成績証明書にも記載されません。

・集中講義の履修取消について：原則、当該科目的履修確定日の翌日から当該科目的授業開始日の翌日までに履修登録取消の手続きを窓口にて行うことができます。一部例外や科目別の手続きが必要な場合がありますので keio.jp の News や Message、Web サイトに注意して下さい。尚、窓口で取消手続きを行った場合は履修取消上限に含まれませんが、Web 履修システムから取消した場合には取消上限に含まれますので注意してください。

（参考）「電気機器設計法」は8月7日（月）まで、その他の理工学部設置、理工学研究科設置集中講義は当該科目的授業開始日の翌日まで取消可。

7. 再履修方法　日吉設置科目の時間割は配付いたしませんので、Web サイトから適宜出力してください。

【再履修科目のクラス指定】未取得科目は以下のクラス指定に従って再履修してください。

種類	科目名	
外国語科目	英語1・2・3・4	学習指導教員の指示に従う＊1
	ドイツ語2・4	日吉設置・特修（再履修）クラス
	中国語2・4	日吉設置・特修（再履修）クラス
	フランス語2・4	日吉設置・特修（再履修）クラス
	ロシア語1・2・3・4	学習指導教員の指示に従う＊2
	朝鮮語1・2・3・4	学習指導教員の指示に従う＊2
専門基礎科目	理工学基礎実験	理工学基礎実験の再履修者は、履修申告のほかに、実験室の履修者名簿への登録が必要です。 基礎教室ホームページ>在学生ページ（keio.jp 認証）>指定クラス変更・再履修登録ページ の内容を確認し、期限までに必ず申告してください。 （基礎教室ホームページ） http://www.eesc.st.keio.ac.jp/fsl/kisokyoushitu/Top.html 
	【機械工学科】 機械力学の基礎 材料力学の基礎 熱力学の基礎 流体力学の基礎	第2学年時に所属したクラス
	上記以外	クラス指定なし (自由にクラスを選択することができます。)

*1 2023年3月25日（土）に公開予定である「3年生外国語科目（必修）再履修ガイダンス」のオンデマンド資料を必ずご確認のうえ、適切なクラスを履修してください。

*2 学事担当に確認し、指示を受けてください。

【再履修科目の申告方法】

再履修科目の履修申告も、通常の履修申告と同じ方法で行ってください。（A欄申告）

【その他】

(1) 前述の「外国語科目」と矢上「学科専門科目（必修）」の時間割が重複した場合：以下のガイダンス資料を確認したうえで、外国語・総合教育学習指導副主任に相談してください。

- ・3月25日（土）公開予定の前述のガイダンス
- (2) 「専門基礎科目（必修）」と矢上「学科専門科目（必修）」の時間割が重複した場合：以下のいずれかの日程に、所属学科の学習指導副主任から指示を受けてください。
- ・3月27日（月）以降に実施される学科別ガイダンス
- ・3月下旬～4月上旬に行なわれる学習指導副主任面談

8. 分野一覧

科目によって登録方法が異なります。A欄で科目を選択した後、B欄分野を選択して登録する科目については以下を参照してください。（「B欄分野」に「不要」と記載してあるものは、A欄で登録してください。）

種類	設置地区	分野名	算入可能上限	B欄 分野	分野コード	標準所要単位				所要単位（算入可能上限 単位がある場合はその単 位）を超えて履修・取得 した単位の取り扱い
						1年	2年	3年	4年	
総合教育科目 (注1)	日吉	系列X（人文・社会・学際系列）…△	※卒業には▲とあわせて4単位以上必要	不要	01-01-11	10				自主選択科目8単位に算入
		系列Y (自然科学系列・総合教育セミナー・外国語)			01-01-12					自主選択科目8単位に算入
		体育実技科目…■	◎とあわせて2単位まで		01-01-13					自由科目
	日吉	系列X 3・4年次取得科目 (人文・社会・学際系列)…▲	※卒業には△とあわせて4単位以上必要	71	01-01-14	8				自主選択科目8単位に算入
		系列Y 3・4年次取得科目 (自然科学系列・総合教育セミナー・外国語)		72	01-01-15					自主選択科目8単位に算入
		体育実技科目…◎	■とあわせて2単位まで	73	01-01-16					自由科目
	矢上	矢上設置科目		不要	01-02-11	8 (うち 1語種)				自主選択科目8単位に算入
外国語科目	日吉	英語		不要	02-01-01		4	4		
		ドイツ語			02-02-01					
		フランス語			02-03-01					
		中国語			02-04-01					
		ロシア語			02-05-01					
		朝鮮語			02-06-01					
		日本語			02-07-01					
基礎教育科目	日吉	必修		不要	03-01-01	28				
		数学			03-01-02					
		物理学			03-01-03					
		化学			03-01-04					
専門基礎科目	日吉	必修		不要	04-01-01		*			自主選択科目8単位に算入
		選択			04-01-02		*			
学科専門科目	矢上	必修（3年）		不要	04-02-01		*			自主選択科目8単位に算入
	矢上	必修（4年）			04-02-02					
	矢上	選択			04-02-11					
	矢上	選択（分野1）（管理工学科）			04-02-13					
	矢上	選択（分野2）（管理工学科）			04-02-14					
	矢上	選択（分野3）（管理工学科）			04-02-15					
	矢上	選択（分野4）（管理工学科）			04-02-16					
	(他学部)	関連科目（注2）	4単位まで	39	04-02-31					4単位を超えた取得分は進級・卒業所要単位には算入されません。
	矢上	理工学研究科設置科目（注3）	10単位まで	31	04-02-32					10単位を超えた取得分は進級・卒業所要単位には算入されません。
自主選択科目		自主選択科目（注4）	8単位まで	(注4) 参照	04-02-33	8				8単位を超えた取得分は進級・卒業所要単位には算入されません。
自由科目 (進級・卒業単位算入対象外)	(注5)			03	05-01-01					
	矢上	理工学研究科設置科目（注3）（理工学研究科進学後大学院単位として認定。 認定上限は8単位。履修上限はなし。）		35	05-02-01					

* 所要単位数は、所属学科によって異なります。詳細は p.27-29 を参照してください。

(注 1) 総合教育科目：第1～4学年を通じて履修することを前提とした科目

履修科目・パターン	Web の履修登録方法	
	A 欄 / B 欄	B 欄分野
矢上設置科目（下記①）	A 欄	分野選択不要
日吉設置科目（体育実技 A を含む）を1・2年次取得分として履修（下記②・③）	A 欄	分野選択不要
日吉設置科目（系列 X）を3・4年次取得分として履修（下記①・④）	B 欄	分野 71 選択
日吉設置科目（系列 Y）を3・4年次取得分として履修（下記①）	B 欄	分野 72 選択
日吉設置体育実技 A を3・4年次取得分として履修（下記①・③）	B 欄	分野 73 選択
日吉体育研究所設置科目（体育実技）を自由科目として履修（下記③）	B 欄	分野 03 選択

- 注意** : ①総合教育科目は3、4年次において8単位以上履修・取得しなければいけません。この内訳は、日吉設置科目でも矢上設置科目でも構いません。
 ②1、2年次に総合教育科目を8単位しか取得しなかった場合、3、4年次において日吉設置の総合教育科目を2単位以上取得しなければなりません。
 ③体育実技 A を2単位まで取得した場合は、3単位目からは自由科目として履修申告してください。体育実技 B はすべて自由科目として履修申告してください。
 ④系列 X の科目は、1・2年次取得分と3・4年次取得分を合計して4単位以上履修・取得しなければいけません。

(注 2) 関連科目：4単位を限度として学科専門科目（選択）に加算される科目

履修科目・パターン	Web 履修登録方法	
	A 欄 / B 欄	B 欄分野
他学部の専門教育科目で科目担当者および学習指導副主任が適当と認めた授業科目	B 欄	分野 39 選択

- 注意** : 「科目担当教員」および「所属学科の学習指導副主任」の承認を得た上で、履修申告期間（一次申告）終了までに、学生課学事担当に報告してください。対応しない場合、関連科目としての履修が認められないのでご注意ください。

<参考>各学部で専門教育科目に該当するもの

文	専門教育科目	商	専攻科目	科目等詳細については、設置学部の履修案内・時間割で確認して下さい。
経済	専門教育科目	総合政策	先端科目	
法（法律）	法律学科目	環境情報	先端科目	
法（政治）	政治学科目	看護医療	専門教育科目	

(注 3) 理工学研究科設置科目（第4学年対象）：下記のどちらかを選択

履修科目・パターン	Web 履修登録方法	
	A 欄 / B 欄	B 欄分野
10 単位を限度として学科専門科目（選択）に加算する。	B 欄	分野 31 選択
大学院入学後、大学院の単位として8単位を限度に申請する。この場合、学部4年時は卒業必要単位数に含まない自由科目として履修する。	B 欄	分野 35 選択

- 注意** : 大学院理工学研究科設置科目のうち科目担当者が不適当と認めた科目（大学院の総合科目、課題研究、特別研究第1、その他専攻が指定した科目）を学部生が履修することはできません。詳細は p.38～40 を参照してください。

(注 4) 自主選択科目：卒業に必要な総単位数に8単位を限度として加算される科目

履修科目・パターン	Web 履修登録方法	
	A 欄 / B 欄	B 欄分野
卒業条件の単位を満たし、超過した単位全て（自由科目を除く）		
注意 : 履修方法は通常の履修方法に従ってください。卒業判定時に超過した単位を自動的に振り替えます。	A 欄	分野選択不要
※自学科の専門基礎科目（選択）や学科専門科目（選択）はB 欄分野 02 選択不要です。		
他学科の専門基礎科目（選択科目のみ）	B 欄	分野 02 選択
他学科の学科専門科目（選択科目のみ）	B 欄	分野 02 選択
以下の大学付設の研究所・機関設置科目 ・国際センター・福澤研究センター ・外国語教育研究センター ・教養研究センター・斯道文庫 ・保健管理センター・グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）	B 欄	分野 02 選択

(注 5) 自由科目：進級・卒業に必要な単位に加算されない科目 ※

履修科目・パターン	Web 履修登録方法	
	A 欄／B 欄	B 欄分野
学生総合センター設置科目	B 欄	分野 03 選択
教職課程センター設置科目	B 欄	分野 03 選択
他研究科設置科目	B 欄	分野 03 選択
他学部の授業科目（前頁「関連科目」を除く）	B 欄	分野 03 選択
他学科の専門基礎科目（選択）	B 欄	分野 03 選択
他学科の学科専門科目（必修・選択）	B 欄	分野 03 選択
諸研究所設置講座（自主選択科目として履修しない科目）	B 欄	分野 03 選択
すでに取得済の科目と同一名称の授業科目（「体育実技 A」を除く）	B 欄	分野 03 選択

※ 履修登録が認められない科目もあります。

※ 未取得の自学科設置科目を自由科目として履修することはできません。

※ 自由科目として履修登録した科目を、進級・卒業単位に加えるような分野変更はできません。

※ 他学科の専門基礎科目（必修）は、教職を理由とする場合にのみ、自由科目での履修が認められます。

9. 理工学部日吉設置科目・他学部設置科目について

理工学部日吉設置科目・他学部設置科目については、履修案内・講義要綱（シラバス）・時間割を Web サイトから見ることができます。

URL : <https://www.students.keio.ac.jp/yg/st/class/registration/>

なお、学則改正により科目名や進級・卒業必要単位数が学年毎に異なっていることがありますので注意してください。

10. 大学院設置科目先取り履修について（4 年生対象）

理工学部 4 年生が理工学研究科設置科目を履修したい場合は、学事 Web システムから申告を行ってください。ただし、総合科目や指定された科目（p.39、40 参照）はいかなる理由があっても履修できませんので注意してください。

【Web 履修申告】

履修申告期間内に必ず行ってください。申告時に下記 B 欄分野番号のいずれかを選択して登録してください。なお、履修登録後の分野の変更は一切認められませんのでよく確認してください。

<B 欄分野 31> 学部卒業に必要な単位として申請する。（上限 10 単位）単位は学科専門選択科目として加算されます。理工学研究科設置のオンライン授業を履修し単位を取得した場合、オンライン授業上限 60 単位に含まれます。

<B 欄分野 35> 大学院進学後、大学院の単位として申請する。学部時は自由科目。（上限 8 単位）認定を希望する場合、大学院進学後に所定の期限までに学事担当に申請してください。

【履修申告後の取り下げ】

履修取消期間に履修申告システムから取消申告をしてください。集中講義を除き、取消期間外の取消は一切認められませんので注意してください。

【大学院進学後に大学院科目とする場合の手続き】

1. 大学院進学後、学部時に「B 欄分野 35」で取得した大学院科目のうち、大学院の単位としたい科目を、「大学院科目単位認定申請書」（院入学後のガイダンスで配付）に記入し、指導教授の承認印を得て、学事担当に提出してください。（8 単位を限度とします。）

2. 学事担当で認定処理後、大学院科目として成績表、成績証明書に成績がつき、単位が加算されます。

【学業成績表での表示形式】

<B 欄分野 31> 学部の学業成績表は「学科専門科目—理工学研究科設置科目」分野で表示されます。

<B 欄分野 35> 学部の学業成績表は「自由科目—理工学研究科設置科目」分野、大学院の学業成績表は「理工学研究科設置科目（学部 4 年次修得科目認定）」分野で表示されます。（大学院と学部両方に掲載されることになります。）

学部4年生の先取りを禁止する大学院設置科目（2023年度）

専攻	授業科目名	開講学期	単位
総合科目	全科目		
語学科目	日本語		
各専攻	課題研究	定時外	4
各専攻	特別研究第1・第2	定時外	6
各専攻	国外研究A(2単位)・B(4単位)	定時外	
各専攻	交換協定課題研究A・B	定時外	2
基礎理工学専攻	学外特別研修(インターンシップ)	春・秋	2
基礎理工学専攻	学外特別研修(中期インターンシップ)	春・秋	2
基礎理工学専攻	学外特別研修(長期インターンシップ)	秋	4
基礎理工学専攻	統合数理科学特別講義第1	春集	2
基礎理工学専攻	統合数理科学特別講義第2	—	2
基礎理工学専攻	天然物合成化学特論	秋	2
基礎理工学専攻	有機合成化学特論	春	2
基礎理工学専攻	有機反応機構特論	春	2
基礎理工学専攻	有機金属化学特論第2	春後半	2
基礎理工学専攻	実践化学プレゼンテーション1	—	2
基礎理工学専攻	実践化学プレゼンテーション2	—	2
基礎理工学専攻	有機化学セミナー1	—	2
基礎理工学専攻	有機化学セミナー2	—	2
基礎理工学専攻	メゾスコピック物質科学特論	秋	2
基礎理工学専攻	システムバイオロジー特論	秋	2
基礎理工学専攻	ポストゲノム生命科学方法論	春	2
基礎理工学専攻	ニューロインフォマティクス	春	2
基礎理工学専攻	先端創薬科学	秋	2
基礎理工学専攻	知能化機械システム	秋前半	2
総合デザイン工学専攻	学外特別研修(インターンシップ)	春・秋	2
総合デザイン工学専攻	学外特別研修(中期インターンシップ)	春・秋	2
総合デザイン工学専攻	学外特別研修(長期インターンシップ)	秋	4
総合デザイン工学専攻	マルチディシプリナリ・デザイン科学特別講義	春	2
総合デザイン工学専攻	システム制御設計論	春	2
総合デザイン工学専攻	高度設計生産システム	—	2
総合デザイン工学専攻	実時間信号処理	秋	2
総合デザイン工学専攻	知能化機械システム	秋前半	2
総合デザイン工学専攻	熱エネルギーシステム論	—	2
総合デザイン工学専攻	熱流体システムデザイン論	—	2
総合デザイン工学専攻	先進システムデザイン工学	春	2
総合デザイン工学専攻	応用システムデザイン工学	秋	2
総合デザイン工学専攻	マイクロ・ナノ空間システム統合工学	春	2
総合デザイン工学専攻	電機統合システム	秋後半	2
総合デザイン工学専攻	マイクロデバイスシステムデザイン	秋	2
総合デザイン工学専攻	応用パワーエレクトロニクス	春	2
総合デザイン工学専攻	光応用システム工学	秋	2
総合デザイン工学専攻	生命システムの物理と化学	秋	2
総合デザイン工学専攻	電気電子デバイス・システム特別講義	春	2
総合デザイン工学専攻	システムエレクトロニクス特論	秋	2
総合デザイン工学専攻	機器分析総論	春	2
総合デザイン工学専攻	機能デザイン工学	秋	2
総合デザイン工学専攻	機能物質概論	春	2
総合デザイン工学専攻	化学・バイオセンサーとセンシングマテリアル	春	2

専攻	授業科目名	開講学期	単位
総合デザイン工学専攻	マテリアルデザイン科学ジョイントセミナー ナノスケール科学ジョイントセミナー	春隔週	1
総合デザイン工学専攻	居住環境デザイン工学	秋	2
総合デザイン工学専攻	ソフトコンピューティング	秋	2
開放環境科学専攻	学外特別研修（インターンシップ）	春・秋	2
開放環境科学専攻	学外特別研修（中期インターンシップ）	春・秋	2
開放環境科学専攻	学外特別研修（長期インターンシップ）	秋	4
開放環境科学専攻	サブメジャー研究（グローバル環境システムリーダープログラム）	一	2
開放環境科学専攻	環境情報システム構築法	春	2
開放環境科学専攻	グローバル環境政策特論	一	2
開放環境科学専攻	環境科学技術・政策特論	春	2
開放環境科学専攻	大規模環境システム構築法	一	2
開放環境科学専攻	インターンシップ A・B・C・D（グローバル環境システムリーダープログラム）	春・秋	2
開放環境科学専攻	フィールドワーク A・B（グローバル環境システムリーダープログラム）	春・秋	2
開放環境科学専攻	生活セントリックデザインと社会実装	春	2
開放環境科学専攻	居住環境デザイン工学	秋	2
開放環境科学専攻	空間・環境デザイン工学特別講義第1	春	2
開放環境科学専攻	建築デザイン工学	秋前半	2
開放環境科学専攻	建築安全工学	一	2
開放環境科学専攻	建築動力学	一	2
開放環境科学専攻	車両・交通工学	春	2
開放環境科学専攻	建築設計スタジオA	春	4
開放環境科学専攻	建築設計スタジオB	一	4
開放環境科学専攻	建築設計学外研修 A・B・C・D	春・秋	4
開放環境科学専攻	現代建築意匠特論	一	2
開放環境科学専攻	建築形態分析	秋	2
開放環境科学専攻	環境エネルギー科学特論第1	春	2
開放環境科学専攻	製品・物質循環論	一	2
開放環境科学専攻	応用力学・計算力学特論第1	春	4
開放環境科学専攻	応用力学・計算力学特論第2	秋	2
開放環境科学専攻	コンピュータサイエンス同演習	秋	2
開放環境科学専攻	実世界指向コミュニケーション特論	春	2
開放環境科学専攻	ネットワークサービス特論	秋	2
開放環境科学専攻	実世界インタラクティブシステム	秋	2
開放環境科学専攻	ソフトコンピューティング	秋	2
開放環境科学専攻	ヒューマンエージェントインタラクション	春	2
開放環境科学専攻	ファイナンシャル・エンジニアリング特論第1	春	2
開放環境科学専攻	ファイナンシャル・エンジニアリング特論第2	秋	2
開放環境科学専攻	人間工学特論II	一	2
開放環境科学専攻	システム分析・評価特論	春	2
開放環境科学専攻	情報経済学特論	春	2
開放環境科学専攻	インダストリアル・エンジニアリング特論	秋	2
開放環境科学専攻	オペレーションズ・リサーチ特論	秋	2
開放環境科学専攻	人工知能と複雑ネットワーク	秋	2
開放環境科学専攻	オープンシステムマネジメント同実験・演習	秋隔週	2
開放環境科学専攻	ビジネスエコノミクス特論第1	春	2
開放環境科学専攻	ビジネスエコノミクス特論第2	秋	2
開放環境科学専攻	パターン認識と学習	秋	2

11. 他学部他研究科学生の履修を制限する科目（学部）

【注意事項（全学部・全研究科）】

※最新情報を必ず以下のURLで確認してください。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/registration/other-faculties.html>

1. 必ず事前に履修案内等を熟読し、他学部他研究科設置科目履修に必要な手続きをしてください。

下記の科目以外にも、個々の授業によって履修の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してください。

2. 初回の授業で履修に関するガイダンスや履修の制限を行う場合があります。必ず初回の授業に出席してください。

3. 所属学年による制限もあります。学年条件を満たしていない場合は、制限科目でなくとも履修できません。

4. 秋からは履修できない科目もありますので、シラバスや時間割等で確認してください。

地区	学部	履修可能 な学年	履修制限科目	地区	学部	履修制限科目	地区	学部	履修制限科目
三田	文学部	学部2年生以上	<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆必修語学科目（文学部履修案内 第9「2・3・4年生設置科目」参照） ◆総合教育科目的系列科目（文学部履修案内 第9「2・3・4年生設置科目」参照） ◆卒業論文・卒業試験（研究会は履修可能） <p>2. 条件付不可</p> <p>なし</p> <p>3. 優先される科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆必修科目や、履修者数が多い場合は、文学部生優先となる場合があります。 <p>*上記以外で履修を制限する科目については、別途Webあるいはシラバスにてお知らせします。</p> <p>*セット科目・要件科目は科目の性質上、履修できない場合があります。</p>	経済学部	文学部	<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)必修語学科目（文学部履修案内参照） (2)特論科目すべて ・人文科学特論Ⅰ(2単位)・人文科学特論Ⅱ(2単位) ・社会科学特論Ⅰ(2単位)・社会科学特論Ⅱ(2単位) ・自然科学特論Ⅰ(2単位)・自然科学特論Ⅱ(2単位) (3)基礎情報処理(2単位) <p>2. 条件付不可</p> <p>なし</p> <p>3. 優先される科目（文学部1年生）</p> <p>履修者数が多い場合は、文学部生優先となります。</p>	理工学部	日吉	<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバルリーダーシップセミナー グローバルリーダーシップセミナー実地研修 プログラミング言語 <p>2. 条件付不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必修科目 ・実験科目（必修または選択） ・演習科目（必修または選択） <p>教職に必要な場合に限り、科目担当者と学習指導が判断し、履修を許可する場合があります。</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>履修者数が多い場合は、理工学部生優先となる科目があります。</p>
			<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆基礎教育科目的必修科目 ◆外国語科目的必修科目、選択必修科目 ◆専門教育科目的必修科目 <p>2. 条件付不可</p> <p>PEARL 設置科目を履修する場合は、科目担当者及びPEARL アカデミック・ディレクターの許可を得る必要があります。</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、経済学部生優先となる科目があります。</p>			<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実習科目 ◆美学研究のためのコミュニケーションスキル1A/1B/2A/2B <p>2. 条件付不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆講義・演習科目 <p>（科目担当者の許可が必要です。）下記リンクから科目担当者に連絡してください。</p> <p>https://www.pha.keio.ac.jp/inquiry/</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>◆履修者が多い場合は、薬学部生が優先されます。</p>			
	経済学部		<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆外国語科目的選択必修科目 * 外国語科目の選択必修科目と併設する選択科目は履修可能です（登録番号が異なります）。 ◆東京工業大学設置科目 <p>*上記以外で履修を制限する科目については、別途Webにてお知らせします。</p> <p>2. 条件付不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆PCP科目、研究プロジェクト科目 <p>*一部の科目を除き、事前選考に合格した学生のみが履修できます。</p>			<p>1. 不可</p> <p>PEARTH 設置科目を履修する場合は、科目担当者及びPEARL アカデミック・ディレクターの許可を得る必要があります。</p> <p>2. 優先される科目</p> <p>履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、経済学部生優先となる科目があります。</p>		<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラミング第2回演習A/B、情報工学実験第1A/B、情報工学実験第2A/B、パターン情報処理 <p>2. 要許可</p> <p>履修希望学生の学力や、学習環境をもとに、科目担当者が判断し、履修許可します。</p> <p>科目の履修にあたり科目担当者の許可が必要となりますので、履修希望者は https://www.students.keio.ac.jp/yg/st/class/registration/ にアクセスのうえ所定の手続きをしてください。</p>	
			<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆会計学Ⅰ／Ⅱ」「経営学Ⅰ／Ⅱ」「金融論Ⅰ」 ◆「国際私法Ⅰ／Ⅱ」 ◆「経済史Ⅰ／Ⅱ」（政治学科の学生のみが履修できます） ◆「ローマ法」 ◆「西洋法制史」 <p>2. 条件付不可</p> <p>なし</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>履修者数が多い場合は、原則として法学部生優先となります。</p>		法学部	<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> 【法律学科】 ◆外国語科目的必修科目 ◆社会科学科目的必修科目： 「法学Ⅰ(憲法を含む)」「法学Ⅱ(憲法を含む)」 ◆法律学科の必修科目： 「憲法(総論・人権)」「憲法(総論・人権)Ⅱ」「民法(総論)」「民法(総論)Ⅱ」「刑法(総論)」「刑法(総論)Ⅱ」 <p>【政治学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆外国語科目的必修科目 ◆社会科学科目的必修科目： 「社会学」「法学(憲法を含む)」「経済原論Ⅰ」「憲法」「経済原論Ⅱ」 ◆政治学科の必修科目： 「政治学基礎」 <p>2. 条件付不可</p> <p>なし</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、法学部生優先となる科目もあります。</p>	総合政策学部・環境情報学部	<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆卒業プロジェクト1 ◆卒業プロジェクト2 ◆心身ウェルネス <p>◆体育1</p> <p>◆体育2</p> <p>◆体育3</p> <p>◆体育4</p> <p>◆体育5</p> <p>◆SFC実践英語入門</p> <p>◆外国語ベーシック</p> <p>◆外国語インテンシブ</p> <p>◆外国語海外研修</p> <p>◆フィールド研究1/2</p>	
			<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆必修外国語科目 <p>◆基礎科目・専攻科目・総合教育科目的下記科目</p> <p>「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」「経営学基礎」「商業学基礎」「会計学基礎(基本簿記)」「財務諸表の見方」「微積分基礎」「統計学基礎」「経営学(組織と戦略)」「経営学(企業をめぐる諸問題)」「商業学(マクロ・マーケティング)」「商業学(マイクロ・マーケティング)」「会計学(財務会計論Ⅰ)」「会計学(財務会計論Ⅱ)」「会計学(管理会計基礎)」「経済学(マイクロ経済学)」「経済学(マクロ経済学)」「情報リテラシー基礎」「データとの対話」</p> <p>2. 条件付不可</p> <p>なし</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>上記以外の科目でも履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、商学部生優先となる科目もあります。</p>			<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習科目 ・以下の講義・演習科目 <p>「生活援助技術」「医療支援技術」「ヘルスアセスメント」「看護過程」「母性発達援助論」「在宅看護技術演習」「成人看護技術演習」「急性期病態学総論」「急性期病態学各論」「急性期看護学演習」「慢性期病態学各論」「慢性期看護学演習」「精神看護学演習」「末期看護学演習」「小児看護学演習」「助産理論」「助産ケア学Ⅰ」「助産ケア学Ⅱ」「助産診断・技術学」「助産技術学」「助産学」「助産管理」</p> <p>2. 条件付不可</p> <p>その他の科目は、科目担当者が許可しない場合は履修不可</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>なし</p>			
	商学部		<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「計量経済学各論(データ分析)」 ◆「グローバル・ラーニングD/S」 ◆「インターンシップ」「国際ビジネス研究」 ◆「研究会 Da・b(タイプ3)」 <p>2. 条件付不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「研究演習D/S」 <p>* 抽選後人数に余裕があり、授業担当者の了承を得られれば履修可能ですが、必ず事前に空き状況を三田学生部商学部担当に確認してください。（追加願(所定用紙)に授業担当者の了承印が必要です）。</p> <p>◆ GPP 科目</p> <p>* 「Passport Members' Activity D/S」、「Passport Members' Workshop D/S」はGPP生のみが履修できます。その他のコースワーク科目は、GPP生以外でも履修可能です。</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>◆履修者数が多い科目は、原則商学部生優先となる場合があります。</p>			<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆必修外國語科目 <p>◆基礎科目・専攻科目・総合教育科目的下記科目</p> <p>「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」「経営学基礎」「商業学基礎」「会計学基礎(基本簿記)」「財務諸表の見方」「微積分基礎」「統計学基礎」「経営学(組織と戦略)」「経営学(企業をめぐる諸問題)」「商業学(マクロ・マーケティング)」「商業学(マイクロ・マーケティング)」「会計学(財務会計論Ⅰ)」「会計学(財務会計論Ⅱ)」「会計学(管理会計基礎)」「経済学(マイクロ経済学)」「経済学(マクロ経済学)」「情報リテラシー基礎」「データとの対話」</p> <p>2. 条件付不可</p> <p>なし</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>上記以外の科目でも履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、商学部生優先となる科目もあります。</p>	<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実習科目(実習相当科目含む) ◆科学と社会 A/B/C/D <p>2. 条件付不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆講義・演習科目 <p>科目担当者の許可が必要です。下記リンクから科目担当者に連絡してください。</p> <p>https://www.pha.keio.ac.jp/inquiry/</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>◆履修者が多い場合は、薬学部生が優先されます。</p> <p>*他の地区と学事日程が異なるため、授業日・定期試験日程等、各自、塾生サイトをよく確認してください。</p> <p>*各学期前半科目的成績は学期末に公開されます。</p>		
			<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語科目 ・医学基礎教育科目 ・基礎科学必修科目のうち実験科目 <p>2. 条件付不可</p> <p>基礎科学必修科目のうち講義科目</p> <p>*科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。</p> <p>(上限あり。講義要綱・シラバス参照)</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>なし</p>			<p>すべて不可</p>	<p>1. 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実習科目(実習相当科目含む) ◆科学と社会 A/B/C/D <p>2. 条件付不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆講義・演習科目 <p>科目担当者の許可が必要です。下記リンクから科目担当者に連絡してください。</p> <p>https://www.pha.keio.ac.jp/inquiry/</p> <p>3. 優先される科目</p> <p>◆履修者が多い場合は、薬学部生が優先されます。</p> <p>*他の地区と学事日程が異なるため、授業日・定期試験日程等、各自、塾生サイトをよく確認してください。</p> <p>*各学期前半科目的成績は学期末に公開されます。</p>		

12. 他学部他研究科学生の履修登録取消が認められない科目（学部）

【注意事項（全学部・全研究科）】

1. 下記の科目以外にも、個々の授業によって履修登録取消の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してください。
2. 新規に履修登録取消が制限される場合がありますので、最新情報を掲示等で必ず確認してください。
3. 履修する分野や所属学年による制限もありますので、注意してください。

地区	学部	履修取消不可科目	備考
三田	文学部	博物館学実習	
	経済学部	すべて取消可	
	法学部	すべて取消可	
	商学部	研究演習 D/S、専門外国書研究 Da/Db	取消には所定の手続きが必要（Web上のみの取消は不可）
日吉	文学部	すべて取消可	
	経済学部	すべて取消可	
	法学部	すべて取消可	
	商学部	すべて取消可	
	医学部	すべて取消可	
	理工学部	グローバルリーダーシップセミナー 理工学基礎実験	
	薬学部	科目担当者の判断により履修を許可されたすべての科目	
矢上	理工学部	・機械系のための電気・電子回路 ・機械工学ものづくりプロジェクト	
信濃町	医学部	—	信濃町医学部設置科目は、他学部生の履修は不可
芝共立	薬学部	すべて取消不可	

地区	学部	履修取消不可科目	備考
湘南藤沢 (信濃町 看護舎 む)	総合政策学部 環境情報学部	言語コミュニケーション科目の海外研修科目、特別研究プロジェクト A/B、日本語インテンシブ 1 (春季休校期間集中開講)、その他休校期間中に実施する科目	
	看護医療学部	性と生殖における健康と権利	
諸研究所・センター	外研（日吉）	すべて取消可	
	外研（三田）	すべて取消可	
	福セ	すべて取消可	
	斯道文庫	すべて取消可	
	アートセンター	すべて取消可	
	メディアコム	すべて取消可	
	言文研	すべて取消可	
	KGRI	リーダーシップ基礎（日吉） すべて取消可（三田）	
	教職課程センター	詳細は履修案内を参照してください。 教職課程センターの一部科目は取消許可が必要となります。	
	国際センター	すべて取消可	
学生総合センター	学生総合センター	すべて取消可	
	体育研究所	すべて取消可	

Web システムについて

1. Web システム概要

各システムの操作方法や設定方法は、各システムのマニュアル Web サイトにて詳しく説明しています。その他にも新しい機能を随時提供する可能性があります。その場合は、下記「塾生の皆様へ」や「keio.jp」トップページなどで随時お知らせいたします。

① 塾生サイト	
URL	https://www.students.keio.ac.jp
概要	塾生の皆様に向けた各種情報を提供しています。
主な提供サービス	<ul style="list-style-type: none">■ 授業／履修／試験<ul style="list-style-type: none">・履修案内／時間割・定期試験時間割発表など■ 学生生活／就職・進路<ul style="list-style-type: none">・窓口利用案内／イベントや奨学金についての情報など

② keio.jp	
URL	http://keio.jp/
ID/Password	慶應 ID／パスワード
マニュアル	http://www.itc.keio.ac.jp/ja/keiojp_manual.html
概要	義塾が提供する各種オンラインサービスを安全かつ便利に利用するための認証システムです。利用するには、慶應 ID の取得（アクティベーション）が必要です。
主な提供サービス	<ul style="list-style-type: none">■ News／Message<ul style="list-style-type: none">大学の重要なお知らせが keio.jp のトップページに掲出されるので、頻繁に確認するようにしてください。■ K-LMS (Canvas LMS、旧授業支援)<ul style="list-style-type: none">主に学修支援を目的としたシステムです。教材配布・レポート提出・お知らせ・ディスカッション等の機能を提供しています。※学科からの重要なお知らせを通知するために「コミュニティ」として利用する学科があります。■ 履修申告<ul style="list-style-type: none">履修申告・追加履修申告・履修取消などを行うシステムです。履修申告期間に何度も申告内容の修正が行えます。■ 登録済科目確認<ul style="list-style-type: none">履修中科目の一覧を表示します。科目が正しく登録できているか必ず確認してください。また、教室情報の確認も可能です。■ 休講・補講情報<ul style="list-style-type: none">休講・補講のある授業の一覧が表示されます。休講・補講の情報は変更されることがあるため、当該授業の前にも確認するようにしてください。■ Web エントリーシステム<ul style="list-style-type: none">事前抽選が必要な科目的抽選申込み（エントリー）を行うシステムです。ただし、科目によっては「履修希望科目事前登録」を使用する場合や、Web を使わずにエントリーシートを窓口に提出する場合もあります。また、受付期間が科目ごとに異なります。■ 住所確認・変更<ul style="list-style-type: none">本人および保証人の連絡先を確認できます。住所に変更がある場合は、keio.jp トップ画面の上部メニュー「各種変更」から「住所確認・変更」を選択し、速やかに手続きを行ってください。■ 学業成績表<ul style="list-style-type: none">学業成績表の閲覧が可能です。利用可能時間を含め、詳細は塾生サイトで告知します。■ 証明書発行サービス<ul style="list-style-type: none">学内証明書発行機、全国のコンビニエンスストアで証明書を発行できるサービスです。■ 健診結果のお知らせ<ul style="list-style-type: none">当該年度に受診した学生のみ健康診断の結果の閲覧ができます。閲覧開始時期は健診受診時にお知らせします。結果についての質問等は保健管理センターに問い合わせてください。■ 各種就職活動支援用システム<ul style="list-style-type: none">卒業生による就職活動体験記の閲覧、メールでの OB・OG 訪問依頼、求人票や企業情報の検索が各システムを通じて可能です。詳細は塾生サイト「就職・進路」メニュー>「就職活動支援ツール」をご覧ください。■ Google Workspace<ul style="list-style-type: none">Google 社が提供する Web アプリで、メール（慶應メール）、ドライブ、カレンダー、グループ、連絡先などのサービスを利用できます。■ Box<ul style="list-style-type: none">クラウド型のオンラインストレージサービスで、ファイルのバックアップやアーカイブといった用途に加え、教職員や学生間、外部の方とファイルを共有する目的でも利用できます。■ その他<ul style="list-style-type: none">詳しくはマニュアルページで確認してください。
慶應 ID について	取得した慶應 ID はメールアドレスとしても使用します。原則変更はできません。慶應 ID やパスワードを忘れた場合は、学生証を持参の上、最寄りの ITC 窓口にお越しください。

以下、③は、理工学部独自システムです。

③ 理工学部・理工学研究科 FD 授業アンケートシステム		
URL	https://fd-enquete.st.keio.ac.jp/ 塾生 Web サイトの日吉キャンパス・理工学部からもリンクがあります。 利用マニュアルは Web サイトに掲載されています。 QR コード（右）からも、スマートフォンを使ってアクセスできます。	
ID/Password	慶應 ID／パスワード	
概要	理工学部では、ファカルティ・ディベロップメントの一環として、2006 年度より FD 授業アンケートシステムによる授業アンケートを実施しています。以下の要領に従って全員必ず授業アンケートに回答して下さい。 FD 授業アンケートシステムとは、アンケートにより学生が授業評価を行うシステムです。学生が設定された設問に回答し、科目担当教員がその集計結果に対するコメントを公開することで、授業改善やより確かな履修選択につなげることを目指しています。	
アンケート実施科目	原則として、理工学部設置の全授業科目です。ただし、学期によって本システムによらない方法で授業アンケートが行われる場合がありますので、詳細は掲示や本システム Web サイトにてお知らせします。	
アンケート実施時期	各学期末です。詳細は掲示や本システム Web サイトにてお知らせします。	
科目担当教員コメントの公開時期	学生回答締め切りの約 1 ヶ月後からコメントを公開します。前年度のコメントもそのまま公開されていますので、授業選択の参考としてください。	

2. パスワード再発行

各 Web システムのパスワード再発行窓口は以下のとおりです。

ログイン ID	再発行窓口	必要書類
慶應 ID		
ITC アカウント	湘南藤沢を除く各キャンパス ITC 窓口	学生証

※ITC アカウント（キャンパス設置 PC・プリンタ利用）の ID 発行／照会およびパスワードの再発行は、理工学 ITC で受け付けます。

標準課程表

総合教育科目

概要

「総合教育科目」は、人間・社会・自然に対する深い洞察力の養成を目的としています。絶えず進化し続ける自然科学や工学の各学問領域の間や、さらには人文・社会科学の領域との間をつなぐ科目、また、国際化する理工学分野において、地球的規模でのコミュニケーションと文化理解に不可欠な能力を養成する外国语科目等が設置されています。これらの科目は単に教養としての知識を与えるにとどまらず、知を活性化させ、創造への意欲を刺激することでしょう。個別的な知識を有機的に統合することを、これらの科目は目指しています。

総合教育科目は、第1・第2学年の日吉で10単位以上、第3・第4学年の矢上で8単位以上と、両キャンパスを通して平均的に履修するようになっています。各学科の専門領域への理解を深めることと並行して、その専門性を有機的に生かす学識をこれら総合教育科目で身につける努力をしてください。そのためには、これまでの総合教育科目の履修内容を振り返り、それらを土壤として新たな芽を吹かせてみるようにしてください。多岐にわたる分野の科目を履修するのも結構ですが、日吉で履修した科目と連携させた系統立った履修を勧めます。また、矢上に在籍しながら日吉の総合教育科目を履修することもできます。日吉で開設されている総合教育科目でも、第3・第4学年で履修すれば、矢上での履修単位（8単位）に加えることもできます。詳しくは履修要領を参照してください。

履修上の諸注意

- ・第1、第2学年で日吉設置科目10単位をまだ履修し終えていない学生は、日吉設置の総合教育科目を履修します。
- ・春学期と秋学期に分散して履修するよう心がけてください。
- ・系列Xの科目は卒業までに4単位以上取得しなければなりません。
- ・年度始めに、3、4年生総合教育科目のガイダンス資料を必ずWebで確認してください。

2023年3月25日（土）より閲覧開始予定です。

外国语科目的履修制限について

- ・外国语科目では原則として1クラス約30人（教室収容人数）を定員とします。履修希望者がこれを超過した場合には、履修許可学生を選考します。
- ・選考は、履修申告期間（1次）の履修登録状況によって行いますので、春学期・秋学期とも、履修申告期間（1次）に必ず履修申告してください。
- ・履修許可学生として選考された学生のみが、そのクラスを履修することができます（履修許可学生として選考されなかつた学生が履修申告しても認められません）。
- ・履修を許可されなかつた科目は必ず履修申告期間中に履修科目から取り消してください。
- ・選考結果はkeio.jpのNewsもしくはMessageおよび塾生サイトにてお知らせします。

外国语科目以外の履修制限について

教室収容人数を超過する多数の履修申告者があった場合には、履修申告期間（1次）後に履修者を抽選で選抜します。抽選結果はkeio.jpのNewsもしくはMessageおよび塾生サイトでお知らせします。水曜日2・3時限目の科目に履修希望者が集中する傾向があるので、それらの科目は履修制限をする可能性が高くなります。抽選に漏れた場合は、その後、定員に空きのある他の科目を履修申告できます。

※人文社会科学演習（言語科学、社会科学、地域研究、哲学思想、表象文化、領域横断）

教室収容人数に関わらず、履修希望者が30名を超えた場合は履修者の選抜を行います。

総合教育科目的履修について

<https://www.students.keio.ac.jp/yg/st/class/registration/>

外国語科目

・英語科目について

1) 教育目標

矢上設置総合教育科目の英語は、日吉設置の必修選択英語と総合教育科目の英語の履修で涵養された英語運用力の、よりいっそうの向上をはかり、コミュニケーション能力に秀でた人材の養成を目指します。

2) 科目概要

[ディスカッション]

レベル4—リスニングとスピーキングのコースを総合し、ディスカッション能力を養成します。

レベル5—他者の意見を聞いてそれに的確に応答できる高度なディスカッション能力を養成します。

[リーディング]

レベル4—やや高度な内容のテキストを論理的・批評的に読解する力を養成します。

レベル5—高度な内容のテキストを論理的・批評的に読解する力と共に、大量かつ集中的に読みこなす力を養成します。

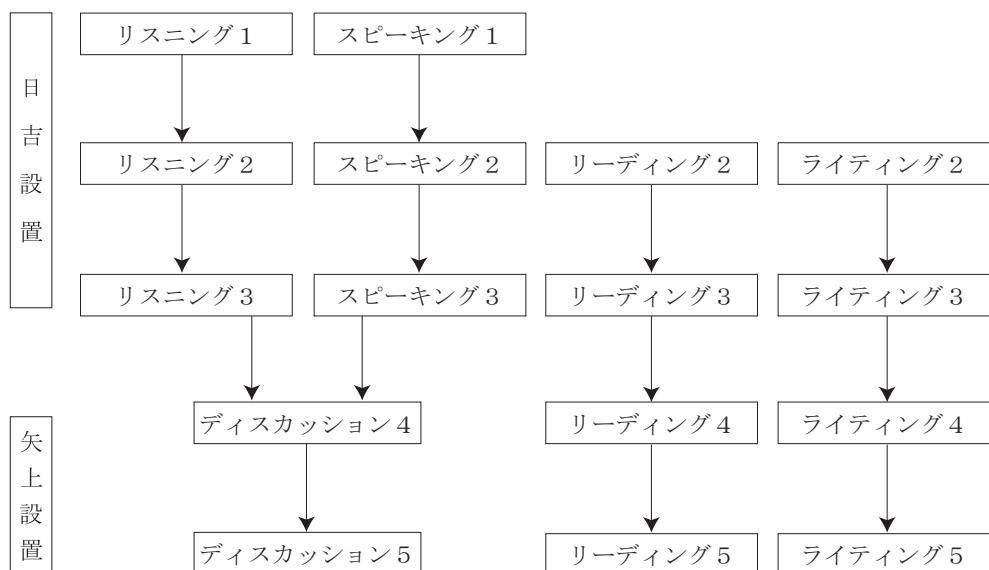
[ライティング]

レベル4—英文によるレポート、意見文、レターの作成などに必要となる、発想法、論旨の展開方法、表現法を実践的に養成します。

レベル5—学生の専門分野あるいはそれに近い分野で論文を書くことのできる力を養成します。

※矢上設置総合教育科目の英語はレベル4とレベル5のみです。日吉でレベル3まで履修していない学生も多いと思われますが、意欲のある学生は、敬遠せずに積極的に履修することを期待します。

総合教育科目の英語履修チャート



(註) このチャートは総合教育英語科目の標準的な履修パターンをまとめたものです。矢上設置総合教育科目の英語のクラス編成を行う際、レベル3のクラスの単位取得を選考基準にする場合があります。ただし、矢上設置総合教育科目の英語を履修する上で、上記の単位取得が必ずしも前提条件となるわけではありません。個々の科目のレベルや内容については講義要綱を参照し、不明な点があれば科目担当者に問い合わせてください。

・諸外国語科目について

諸外国語習得の意義

今日、企業人にとっても研究者にとっても、日本人の海外での活躍の場は英語圏だけでなく非英語圏に広がっています。もちろん英語でも現地の人たちと意思の疎通はできるかもしれません、本当の意味での相互理解は、やはり相手の国の言葉を知り、文化を知ることから始まるのではないかでしょうか。したがって真に「国際的に」活躍するには、英語のみならず、ひとつでも多くの外国語を学ぶことが重要です。また複数の言語を知ることは、様々な考え方を知ることでもあります。複数の「ことば」の勉強を通して、複眼的な視点を持ってほしいと願っています。

矢上キャンパスにはドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語が総合教育科目として設置されています。1・2年生で学んだ外国語の知識にさらに磨きをかけるのも良し、今まで知らなかつた語種に新たに挑戦するのも良し、諸君の積極的な参加を期待しています。

ドイツ語科目について

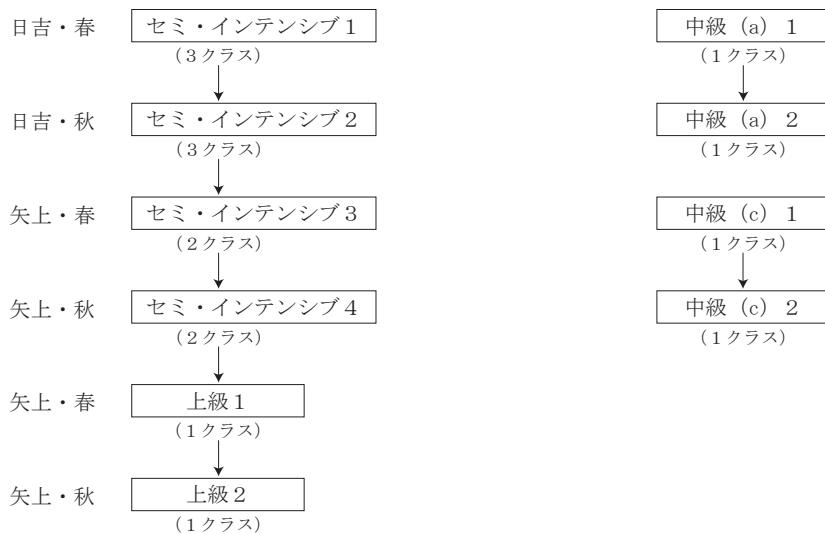
理工学部の総合教育ドイツ語科目には、学生諸君のドイツ語を学ぶ多様な動機・目的にきめこまかく対応できるよう、矢上にもバラエティーに富んだメニューが用意されています。日吉で身につけたドイツ語の知識に磨きをかけたい人はもちろんのこと、1年生の時に必修科目として履修したきりのドイツ語に再挑戦しようという人も、きっと自分に合った科目を見つけることができるでしょう。矢上に設置されている総合教育科目としてのドイツ語科目的概要は以下のとおりです。後掲の履修チャートおよび各科目の講義要綱・シラバス（Web）とあわせて履修計画を立てる際の参考にしてください。

「ドイツ語セミ・インテンシブ3」（春学期、週2コマ、4単位）、「ドイツ語セミ・インテンシブ4」（秋学期、週2コマ、4単位）では、将来の留学やドイツ語圏との交流も視野に入れた、実用に耐えるドイツ語運用能力の養成を目指します。本気でドイツ語をものにする意欲のある諸君、これまでのドイツ語の勉強を徒労に終わらせたくないという諸君の積極的な参加を期待しています。また、「ドイツ語上級1」（春学期、週1コマ、2単位）、「ドイツ語上級2」（秋学期、週1コマ、2単位）では、ドイツ語運用能力のいっそうの向上を目指します。

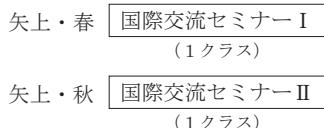
「ドイツ語中級(c)1」（春学期、週1コマ、2単位）、「ドイツ語中級(c)2」（秋学期、週1コマ、2単位）は、時間割などの都合で「セミ・インテンシブ」を履修できないけれど、ドイツ語の勉強をあきらめたくない諸君に履修してほしいクラスです。

総合教育科目のドイツ語履修チャート

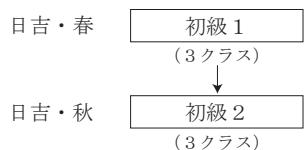
「ドイツ語1・2・3・4」の単位を取得した人、ドイツ語の基礎を学んだ人



(参考) 理工学研究科総合科目



大学で初めてドイツ語を学ぶ学生



このチャートは総合教育科目ドイツ語の標準的な履修のしかたをまとめたものです。個々の科目のレベルや内容についてはそれぞれの講義要綱・シラバス（Web）を参照し、不明の点があれば科目担当者に問い合わせてください。なお、「ドイツ語インテンシブ1～4」「ドイツ語中級（b）1」「ドイツ語中級（b）2」は本年度休講です。

フランス語科目について

矢上設置の総合教育科目としてのフランス語科目には、以下の二つのコースと、在外研修があります。

1) 「セミ・インテンシブ」コース

フランス語を集中的に学びたい人のためのコースで、総合的なフランス語能力を習得します。フランス語の基礎を習得済みの学生（フランス語学習歴1年～2年以上）を対象とします。（週2コマ・4単位）

- ◆ 「フランス語セミ・インテンシブ3」（春学期・月曜1限＋水曜1限）
- ◆ 「フランス語セミ・インテンシブ4」（秋学期・月曜1限＋水曜1限）

※以下の「レベル別コース」と組み合わせて履修することもできます。

2) レベル別コース

「セミ・インテンシブ」以外の授業として、以下の科目が設置されています。レベルに応じて選択して下さい。複数の科目を組み合わせることもできます。（各2単位）

- ◆ 「フランス語初級（c）1」（春学期・水曜3限）初めてフランス語に触れる人のための授業です。初心者専用です。
- ◆ 「フランス語初級（c）2」（秋学期・水曜3限）春学期と秋学期を通して学ぶことでフランス語の基礎が習得できます。
- ◆ 「フランス語中級1」（春学期・水曜3限）フランス語の基礎の確認をして、より実践的な運用能力を習得します。
- ◆ 「フランス語中級2」（秋学期・水曜3限）フランス語の基礎の確認をしつつ、更に高度な運用能力を習得します。
- ◆ 「フランス語上級1」（春学期・水曜2限）テーマに基づいて自由に議論ができるようになるための練習をします。
- ◆ 「フランス語上級2」（秋学期・水曜2限）テーマに基づいて更に自由に議論ができるようになるための練習をします。

3) 在外研修「フランス語在外インテンシブ」

この科目は、エコール・サントラル・ナント (ECN) での「フランス語・フランス文化研修」に参加した学生が、研修終了後に履修登録をして、単位を申請するものです（4 単位）。春休みにフランスで 6 週間のホームステイを行い、フランス語の授業や様々な課外活動などに参加します。

ロシア語科目について

矢上でもロシア語を学べます。はじめての人にも、既習の人にも講義があります。

はじめてロシア語を勉強しようという人のためには「ロシア語初級」が秋学期に開講されます。半年間だけの授業です。とりあえずあの独特の文字を読めるようになりたい、広く浅くロシア語の文法を知りたいという人におすすめです。

日吉、矢上ですでに半年から 1 年以上ロシア語を勉強した学生には「ロシア語セミ・インテンシブ 3・4」があります。週 2 コマと一見きつそうですが、ときにはロシア文化に親しむ時間を取り入れたり、楽しく授業を進めています。水曜はロシア語でリフレッシュしましょう！

すでに一通りのロシア語学習をおえた人には、「ロシア語上級 1・2」があります。週 1 コマの授業です。受講者の希望を聞きながら、なるべくそれに沿えるような授業にします。

中国語科目について

矢上には「中国語上級 1」（春学期、週 1 コマ）と「中国語上級 2」（秋学期、週 1 コマ）、「中国語セミ・インテンシブ 3」（春学期、週 2 コマ）、「中国語セミ・インテンシブ 4」（秋学期、週 2 コマ）が開講されます。1 年生の時に必修で中国語を勉強した学生、1・2 年生の総合教育科目で「中国語初級 1・2」または「中国語中級 (a) 1・2」「中国語中級 (b) 1・2」「中国語セミ・インテンシブ 1・2」などを履修した学生、中国語および中国語圏の文化に関心のある学生は積極的にトライしてみてください。

朝鮮語科目について

矢上では「朝鮮語上級 1」（春学期、週 1 コマ）と「朝鮮語上級 2」（秋学期、週 1 コマ）が開講されます。1 年生の時に必修で朝鮮語を勉強した学生、1・2 年生の総合教育科目で「朝鮮語中級 1・2」を履修した学生にお勧めしたい授業です。全員の初心者は受講できないので、注意してください。朝鮮語は少しでも学んでおくと、韓国の大衆文化や食文化など朝鮮半島の文化に触れる楽しみも広がり、隣国の人々に対する理解が深まります。もう少し身につくまで続けてトライしてみてください。

系列(X) 総合教育科目（人文・社会・学際系科目）

設置	科 目 名	授業形態	単位	設置	科 目 名	授業形態	単位
理 工 学 部 主 設 置 （理 工 学 部 のみ / 共 通 科 目）	映像・音響文化論	春／秋	2	他 学 部 主 設 置 （共 通 科 目）	健 康・身 体 活 動 I	春／秋	2
	グローバルリーダーシップセミナー	春／秋	4		現 代 ビ ジ ネ ス 論 I	春／秋	2
	近 代 現 代 建 築	秋学期	2		現 代 ビ ジ ネ ス 論 II	秋学期	2
	健 康 科	春学期	2		ジ ジ エ ネ ベ ン ダ ー リ ー ダ ー	春学期	2
	言語	春学期	2		ジ ジ エ ネ ベ ン ダ ー リ ー ダ ー	秋学期	2
	現 代 認 識	春／秋	2		ジ ジ エ ネ ベ ン ダ ー リ ー ダ ー	春／秋	2
	現 代 芸 術	春学期	2		ジ ジ エ ネ ベ ン ダ ー リ ー ダ ー	秋学期	2
	現 代 思 想	春／秋	2		ジ ジ エ ネ ベ ン ダ ー リ ー ダ ー	春／秋	2
	現 代 社 会	春学期	2		ジ ジ エ ネ ベ ン ダ ー リ ー ダ ー	秋学期	2
	現 代 世 界	春学期	2		ジ ジ エ ネ ベ ン ダ ー リ ー ダ ー	春／秋	2
	現 代 日 本	春学期	2		ジ ジ エ ネ ベ ン ダ ー リ ー ダ ー	秋学期	2
	現 代 メ イ デ ナ ル	秋学期	2		障 害 者 雇 用 の 現 状 と 将 来	春学期	2
	現 代 女 性	春／秋	2		女 性 学 (GIC)	休 講	2
	身 心 体	春学期	2		政 治 学	春 学 期	2
	心 理 理	春学期	2		政 治 学	秋 学 期	2
	西 世 洋	春学期	2		生 命 的 教 育	春 学 期	2
	界 域 形	春学期	2		命 的 教 育	秋 学 期	2
	造 地 日 本	春学期	2		地 地 哲 哲	春 学 期	2
	比 較 文 化	春／秋	2		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	秋 学 期	2
他 学 部 主 設 置 （共 通 科 目）	アカデミック・リテラシー	春／秋	2		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	春 学 期	2
	異文化コミュニケーションI	春学期	2		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	秋 学 期	2
	異文化コミュニケーションII	秋学期	2		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	春 学 期	2
	音 楽	I	春／秋		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	秋 学 期	2
	音 楽	II	秋学期		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	春 学 期	2
	科 学 技 術 と 現 代 社 会	I	春学期		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	秋 学 期	2
	科 学 史	II	春学期		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	春 学 期	2
	科 学 と 環 境	I	春／秋		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	秋 学 期	2
	科 学 と 環 境	II	春／秋		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	春 学 期	2
	教 育	I	春学期		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	秋 学 期	2
	教 育	II	秋学期		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	春 学 期	2
	近 代 思 想	I	春学期		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	秋 学 期	2
	近 代 思 想	II	秋学期		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	春 学 期	2
	経 済	I	春学期		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	秋 学 期	2
	経 済	II	秋学期		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	春 学 期	2
	芸 術 文 化	I	春学期		ア フ リ カ リ フ リ オ リ フ リ	秋 学 期	2

(注) 系列(X)「理 工 学 部 主 設 置」科 目 お よ び 系 列(Y)（「体育実技A」を除く）は時 間 割 上 特 定 の 曜 日 時 限 に 設 置 さ れ て い ます。

系列(Y) 総合教育科目（自然科学・語学・セミナー・体育実技A・その他）

科 目 名	授業形態	単位	科 目 名	授業形態	単位
宇宙科学	春学期	2	ドイツ語・エンジニアリング在外研修	秋学期	2
グローバルリーダーシップセミナー実地研修	春／秋	1	ドイツ語・ドイツ文化在外研修	春学期	2
現代化学概論	秋学期	2	フランス語 初級(a) 1	春学期	2
現代生物学概論	春学期	2	フランス語 初級(a) 2	秋学期	2
自然人類学	春学期	2	フランス語 初級(b) 1	春学期	2
人体の生理	春学期	2	フランス語 初級(b) 2	秋学期	2
生物学実験	春学期	2	フランス語 留学準備1	春学期	2
生物学実験集中	春学期	2	フランス語 留学準備2	秋学期	2
生命現象の分子科学	春学期	2	フランス語セミ・インテンシブ1	春学期	4
総合教育セミナーI	春学期	2	フランス語セミ・インテンシブ2	秋学期	4
総合教育セミナーII	秋学期	2	フランス語インテンシブ1	春学期	6
地球科学概論 I	春学期	2	フランス語インテンシブ2	秋学期	6
地球科学概論 II	秋学期	2	ロシア語 初級	秋学期	2
天文学	秋学期	2	ロシア語 中級(a) 1	春学期	2
複合領域の理工学入門	春学期	2	ロシア語 中級(a) 2	秋学期	2
物性科学	春学期	2	ロシア語 中級(b) 1	春学期	2
体育実技A	春／秋	1	ロシア語 中級(b) 2	秋学期	2
英語リスニング1	春／秋	2	ロシア語セミ・インテンシブ1	休講	4
英語リスニング2	春／秋	2	ロシア語セミ・インテンシブ2	休講	4
英語リスニング3	春／秋	2	中国語 初級1	春学期	2
英語スピーキング1	春／秋	2	中国語 初級2	秋学期	2
英語スピーキング2	春／秋	2	中国語 中級(a) 1	春学期	2
英語スピーキング3	春／秋	2	中国語 中級(a) 2	秋学期	2
英語リーディング2	春／秋	2	中国語 中級(b) 1	春学期	2
英語リーディング3	春／秋	2	中国語 中級(b) 2	秋学期	2
英語ライティング2	春／秋	2	中国語セミ・インテンシブ1	春学期	4
英語ライティング3	春／秋	2	中国語セミ・インテンシブ2	秋学期	4
英語インテンシブ・リーディング	休講	4	朝鮮語 中級1	春学期	2
ドイツ語 初級1	春学期	2	朝鮮語 中級2	秋学期	2
ドイツ語 初級2	秋学期	2	スペイン語 初級1	春学期	2
ドイツ語 中級(a) 1	春学期	2	スペイン語 初級2	秋学期	2
ドイツ語 中級(a) 2	秋学期	2	イタリア語 初級1	春学期	2
ドイツ語セミ・インテンシブ1	春学期	4	イタリア語 初級2	秋学期	2
ドイツ語セミ・インテンシブ2	秋学期	4	アラビア語 初級1	春学期	2
ドイツ語インテンシブ1	休講	6	アラビア語 初級2	秋学期	2
ドイツ語インテンシブ2	休講	6			

総合教育科目（矢上設置科目）

科 目 名	授業形態	単位	科 目 名	授業形態	単位
英語ディスカッション4	春／秋	2	会計学	一律	秋学期
英語ディスカッション5	春／秋	2	技術と社会	Ⅰ	秋学期
英語ライティング4	春／秋	2	科学と社会	Ⅱ	春学期
英語ライティング5	春／秋	2	科学と社会	会	秋学期
英語リーディング4	春／秋	2	哲学	学	秋学期
英語リーディング5	春／秋	2	金融リテラシー	一学	春学期
ドイツ語セミ・インテンシブ3	春学期	4	芸術と文化	論	秋学期
ドイツ語セミ・インテンシブ4	秋学期	4	言語化	秋学期	2
ドイツ語インテンシブ3	休講	6	原子工エネルギーの科学	春学期	4
ドイツ語インテンシブ4	休講	6	建築	論	秋学期
ドイツ語中級(b)1	休講	2	建築	空間	春学期
ドイツ語中級(b)2	休講	2	建築	構造	春学期
ドイツ語中級(c)1	春学期	2	国際政治	学	秋学期
ドイツ語中級(c)2	秋学期	2	コミュニケーション・ネットワーク論	春学期	2
ドイツ語上級1	春学期	2	公共政策の科学	休講	2
ドイツ語上級2	秋学期	2	再生・遺伝子の科学	秋学期	2
フランス語セミ・インテンシブ3	春学期	4	情報社会と情報倫理	春学期	2
フランス語セミ・インテンシブ4	秋学期	4	情報報道と職業	秋学期	4
フランス語在外インテンシブ	春学期	4	人體の科学	秋学期	4
フランス語初級(c)1	春学期	2	人文社会科学演習(言語科学)	春学期	2
フランス語初級(c)2	秋学期	2	人文社会科学演習(社会科学)	秋学期	2
フランス語中級1	春学期	2	人文社会科学演習(地域研究)	秋学期	2
フランス語中級2	秋学期	2	人文社会科学演習(哲学思想)	秋学期	2
フランス語上級1	春学期	2	人文社会科学演習(表象文化)	春／秋	2
フランス語上級2	秋学期	2	人文社会科学演習(領域横断)	春学期	2
ロシア語セミ・インテンシブ3	春学期	4	地球環境科学I	春学期	4
ロシア語セミ・インテンシブ4	秋学期	4	地球環境科学II	秋学期	4
ロシア語初級	秋学期	2	都市工学	春学期	2
ロシア語上級1	春学期	2	人間関係論I	春学期	2
ロシア語上級2	秋学期	2	人間関係論II	秋学期	2
中国語セミ・インテンシブ3	春学期	4	認知科学	春学期	2
中国語セミ・インテンシブ4	秋学期	4	比較宗教	秋学期	2
中国語上級1	春学期	2	微生物	春学期	2
中国語上級2	秋学期	2	紛争解決	秋学期	2
朝鮮語上級1	春学期	2	マクロ経済学とその応用	休講	2
朝鮮語上級2	秋学期	2	メデイア文化論	春学期	2
宇宙生物学	春学期	2			

機械工学科 学科専門科目標準課程表

3年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	春・秋	機械工学総合実験 機械工学デザイン演習	2 2	
	春	工場見学	1	定時外
	秋後半	創造と倫理	2	
選択科目 04-02-11	春前半	エネルギー変換工学 振動工学 流体力学 最適デザイン科学 熱工学 機械加工学の基礎 材料力学 機械工学特別講義	2 2 2 2 2 2 2 2	
	春後半	機械力学 連続体の力学 構造材料の科学 創発デザイン科学 精密加工学 熱・物質移動論 コンピュータシミュレーションの基礎	2 2 2 2 2 2 2	
	春	機械工学演習1 機械工学演習2	2 2	休 講 休 講
	秋前半	応用流体力学 コンピュータシミュレーションの応用 反応システムと環境 マテリアルデザイン	2 2 2 2	
	秋後半	統計解析の基礎 分子動力学 機械工学ものづくりプロジェクト ダイナミカルシステムと安定性	2 2 2 2	
	秋	機械系のための電気・電子回路 制御工学 ロボティクス・メカトロニクス 材料と構造の強度学 機械工学演習3 機械工学演習4 学外実習	2 2 2 2 2 2 1	休 講 休 講 定時外

〈参考〉 p.27、p.29より抜粋 機械工学科

種類	〈2023年度3年生用〉 3年→4年 進級単位	〈2023年度4年生用〉 4年 卒業単位	
総合教育科目	10	18	
外国語科目	16	16	
基礎教育科目	28	28	
専門教育科目	専門基礎科目 28 (18)	必修	18
		選択	10
学科専門科目	学科専門科目 23 (b3)	必修	13
		選択	27
自主選択科目	—	8	
計	105	138	

() は内数で必修単位数を表わす
b印には機械工学総合実験、機械工学デザイン演習のいずれかを含むこと。

4年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位数	備考
必修科目 04-02-02	通年	卒業研究	6	定時外
選択科目 04-02-11	春後半	人間工学	2	
	春	航空宇宙工学	2	
	秋	コンピュータグラフィクス 設計・計画の最適化数理	2	休講

1. 4年進級条件

別項（p.27）の必要単位を取得していなければなりません。

専門教育科目のうち必修科目については、専門基礎科目の18単位、学科専門科目の3単位（機械工学総合実験、機械工学デザイン演習のいずれかを含むこと）を少なくとも取得していなければなりません。

2. 卒業条件

別項（p.29）の必要単位を取得していなければなりません。

3. 履修の仕方

機械工学科では、「学習・教育目標」（次ページ）を明確に定め、詳細なシラバスとともに開示しています。自分が学習・教育目標を現在どの程度達成し、今後どのような科目を履修すべきかを判断し易いように、付表「学習・教育目標を達成するため必要な授業科目の流れ」（次ページ以降）を掲載しています。また、学科Webサイトには自己達成度評価用システムも用意されています。これらを参考に、計画性をもって科目を履修するようしてください。

なお、3年生が4年次選択科目を履修することは可能ですが（必修科目は不可）。

4. 学則改正について

学則改正により以下の変更があります。

名称変更 計算力学の基礎→コンピュータシミュレーションの基礎（2017年度より）

計算力学→コンピュータシミュレーションの応用（2017年度より）

機械工学実験→機械工学総合実験（2019年度より）

プロダクションエンジニアリング→機械工学デザイン演習（2019年度より）

廃止科目 高速空気力学（2017年度より）

塑性加工学（2019年度より）

弾塑性力学（2022年度より）

新設科目 機械工学ものづくりプロジェクト（2018年度より）

機械工学特別講義（2019年度より）

機械工学演習1（2019年度より）

機械工学演習2（2019年度より）

機械工学演習3（2020年度より）

機械工学演習4（2020年度より）

機械工学科の学習・教育目標

慶應義塾は1858年以来、「気品の泉源」、「知徳の模範」を目指す学塾として、「独立自尊」を体現する人材の育成を行ってきた。機械工学科においても、この精神のもと、自らの力で世界を先導することのできる創造性と総合力のある技術者・研究者の育成を目指している。すなわち、実体験、基礎、個性、コミュニケーション重視のもとに、機械工学の基盤である力学体系を理解するとともに、技術者倫理を踏まえ、地球環境・社会環境も視野に入れた総合的な現象解明や創造的な設計・もの創りを行う能力のある技術者・研究者の育成を行うことを本学科の学習・教育目標としている。以下に学習・教育目標の詳細を箇条書きにして示す。

(A) 基礎的理解

- (A-1) 数学、物理学、化学、生物学などの自然科学の基本を理解していること。
- (A-2) 機械工学の根幹をなす力学体系に関する基本理論を理解するとともに、これを問題に適用して理論解析できる能力を身に付けていること。
- (A-3) 機械工学の基礎となる設計法・加工法の基本を理解するとともに、設計目的や加工法を考慮して設計を行える能力を身に付けていること。
- (A-4) 幅広い教養（多様な文化、歴史、経済、福祉等の問題を理解する能力）を身に付けるとともに、機械工学を取り巻く技術者倫理問題、地球環境問題、社会環境問題の基本を理解していること。

(B) モデル化能力・解析力・数値計算力

- (B-1) 機械工学の基盤である力学体系に即した現象のモデル化手法および数値解析法を理解するとともに、実際に解析する能力を身に付けていること。
- (B-2) 機械工学の基盤である設計法に関し、計算機援用設計法・加工法・解析法（CAD、CAM、CAE）を理解するとともに、実際にこれらを用いる能力を身に付けていること。
- (B-3) 機械システムなどの人工物を、様々な設計目的、設計条件（地球環境問題、社会環境問題、製造者責任、経済性などの環境条件を含む）のもとで適切に設計するための、総合的な設計問題モデル化能力を身に付けていること。

(C) 問題発掘力・創造力・遂行力

- (C-1) 地球環境問題・社会環境問題・技術者倫理問題も含めた幅広い分野に関する実態や動向について調査し、問題を発掘する能力を身に付けていること。
- (C-2) 演繹的、帰納的、仮説的な推論を繰り返しながら、問題解決のための合理的な方策を考案あるいは創造する能力を身に付けていること。
- (C-3) 問題解決に至るプロセスを、自主的に、あるいは他者との協働により遂行し、結果をまとめることのできる能力を身に付けていること。

(D) 表現力・コミュニケーション能力

- (D-1) 実験、解析、設計、研究の経過や成果等について、他者に論理的に伝える文章能力ならびにプレゼンテーション能力を身に付けていること。
- (D-2) 多様な価値観を持つ他者と議論し相互理解できるコミュニケーション能力を身に付けていること。
- (D-3) 英語力の基礎を身に付けていること。また、専門的な内容について英語でコミュニケーションする能力の基礎を身に付けていること。

付表：学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ（アンダーラインは必修科目、＊は春学期または秋学期のいずれかに受講する科目）
 ○は学習・教育目標を達成するために特に重要な科目、○は比較的重要な科目である。

学習・教育目標	授業科目名				
	1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春
数学1A (○) 数学2A (○) 物理 A (○) 物理 B (○) 化学 A (○) 生物学序論* (○) 自然科学実験* (○)	数学1B (○) 数学2B (○) 物理 C (○) 物理 D (○) 化学 B (○) 生物学序論* (○) 自然科学実験* (○)	応用解析力学 (○) 確率 (○) 集合と論理 (○) 数学解析第1 (○) 線形代数 (○) 複素解析 (○)	応用数学 (○) 統計解析第2 (○) 幾何学序論 (○) 応用解析第2 (○) 応用確率論 (○)	統計解析の基礎 (○) コンピュータシミュレーションの基礎 (○)	統計解析の基礎 (○) コンピュータシミュレーションの基礎 (○)
(A-1)	機械力学の基礎 (○) 材料力学の基礎 (○) 理工学基礎実験 (○) 計算機力学基礎 (○) 量子力学入門 (○)	機械工学創造演習 (○) 熱力学の基礎 (○) 流体力学の基礎 (○) ダイナミカルシステム制御の基礎 (○) 電子回路基礎 (○)	機械工学総合実験 (○) エネルギー—変換工学 (○) 構造材料の科学 (○) 材料力学 (○) 振動工学 (○) 熱工学 (○) 流体力学 (○) 連続体の力学 (○) 機械力学 (○) 熱・物質移動論 (○) 創発デザイン科学 (○)	機械工学総合実験 (○) 応用流体力学 (○) 材料と構造の強度 (○) 制御工学 (○) 機械系のための電気・電子回路 (○) 反応システムと環境 (○) マテリアルデザイナー (○) ロボティクス・メカトロニクス (○) コンピュータシミュレーションの応用 (○) 分子動力学 (○) ダイナミカルシステムと安定性 (○)	卒業研究 (○) 航空宇宙工学 (○) コンピュータグラフィックス (○) 卒業研究 (○)

学習・教育目標	授業科目名					
	1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春	3年秋
(A-2) <u>自然科学実験*</u> <u>(○)</u>	<u>機械力学の基礎</u> <u>(○)</u> <u>材料力学の基礎</u> <u>(○)</u> <u>理工学基礎実験</u> <u>(○)</u>	<u>熱力学の基礎</u> <u>(○)</u> <u>流体力学の基礎</u> <u>(○)</u>	<u>機械工学総合実験</u> <u>(○)</u> <u>エネルギー変換工学</u> <u>(○)</u> <u>構造材料の科学</u> <u>(○)</u>	<u>機械工学総合実験</u> <u>(○)</u> <u>応用流体力学</u> <u>(○)</u> <u>制御工学</u> <u>(○)</u> <u>熱・物質移動論</u> <u>(○)</u>	<u>卒業研究(○)</u>	<u>卒業研究(○)</u>
	<u>自然科学実験*</u> <u>(○)</u>	<u>応用解析力学</u> <u>(○)</u>	<u>機械工学創造演習</u> <u>(○)</u> <u>応用数学</u> <u>(○)</u>	<u>機械工学デザイン</u> <u>(○)</u> <u>コンピュータシミュレーションの基礎</u> <u>(○)</u> <u>精密加工学</u> <u>(○)</u>	<u>機械工学デザイン</u> <u>演習*</u> <u>(○)</u> <u>学外実習</u> <u>(○)</u> <u>反応システムと環境</u> <u>(○)</u> <u>マテリアルデザイ</u> <u>(○)</u> <u>ロボティクス・メカトロニクス</u> <u>(○)</u> <u>コンピュータシミュレーションの応用</u> <u>(○)</u> <u>分子動力学</u> <u>(○)</u> <u>機械工学ものづくりプロジェクト</u> <u>(○)</u> <u>ダイナミカルシステムと安定性</u> <u>(○)</u>	<u>航空宇宙工学(○)</u>

学習・教育目標	授業科目名						
	1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春	3年秋	
(A-3)				機械工学デザイン 演習* (○) 機械加工工学の基礎 (○) 最適デザイン科学 (○) 精密加工学 (○)	機械工学デザイン 演習* (○) 機械加工工学の基礎 (○) 最適デザイン科学 (○) 精密加工学 (○)	機械工学デザイン 演習* (○) 機械加工工学の基礎 (○) 最適デザイン科学 (○) 創発デザイン科学 (○)	機械工学総合実験 (○) 構造材料の科学 (○) 機械力学の基礎 (○)
(A-4)	理工学概論* (○)	理工学概論* (○)			工場見学 (○)	創造と倫理 (○) 学外実習 (○)	卒業研究 (○)
				機械工学創造演習 熱力学の基礎 (○)	機械工学デザイン 演習* (○) エネルギー変換工 学 (○) 熱工学 (○) 最適デザイン科学 (○)	機械工学デザイン 演習* (○) 応用流体力学 (○) 反応システムと環 境 (○) マテリアルデザイ ン (○) 機械工学特別講義 熱・物質移動論 (○)	人間工学 (○)

学習・教育目標	授業科目名					卒業研究(○)	
	1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春		
(B-1)	自然科学実験*(○) 情報学基礎(○)	応用解析第1(○) 理工学基礎実験(○) 解析力学(○) 計算機基礎(○) 機械力学の基礎(○) 材料力学の基礎(○)	機械工学創造演習(○) ダイナミカルシステム制御の基礎(○) 熱力学の基礎(○) 流体力学の基礎(○)	機械工学総合実験(○) 機械工学デザイン演習*(○) エネルギー変換工学(○) 振動工学(○) 熱工学(○) 機械力学(○) 連続体の力学(○) 流体力学(○) 機械工学もと定性論 熱・物質移動論(○)	コンピュータシミュレーションの基礎(○) 分子動力学(○)	コンピュータシミュレーションの応用(○)	卒業研究(○)
(B-2)	情報学基礎(○)	図形情報処理(○)	機械工学創造演習(○)	機械加工学の基礎(○) 最適デザイン科学(○)	機械工学デザイン演習*(○) 創発デザイン科学(○)	コンピュータシミュレーションの応用(○) 機械工学もと定性論 電子回路(○)	卒業研究(○)

学習・教育目標	授業科目名					卒業研究 (◎)	
	1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春		
理工学概論* (○)	機械力学の基礎 (○) 材料力学の基礎 (○)	機械工学創造演習 (○)	機械工学基礎の基礎 (○) 材料力学の基礎 (○)	機械工学総合実験 (○) 工場見学 (○) エネルギー変換工 程学 (○) 熱工学 (○) 材料力学 (○) 振動工学 (○) 創発デザイン科学 (○)	機械工学デザイン 演習* (○) 最適デザイン科学 (○)	機械工学デザイン 演習* (○) 最適デザインと倫理 (○)	機械工学デザイン 演習* (○) 最適デザインと倫理 (○)
(B-3)							
自然科学実験* (○)	自然科学実験* (○)	理工学基礎実験 (○)			機械工学総合実験 (○) 機械工学デザイン 演習* (○)	機械工学総合実験 (○) 機械工学デザイン 演習* (○)	
(C-1)	理工学概論* (○)	理工学概論* (○)	機械工学創造演習 (○) 形状情報の表現 (○) 流体力学の基礎 (○)	流体力学 (○) 工場見学 (○) 機械工学演習 I	分子動力学 (○) 反応システムと環 境 (○) ロボティクス・ メカトロニクス (○) マテリアルデザイ ン (○) 機械工学ものづく りプロジェクト (○)	人間工学 (○)	

学習・教育目標	授業科目名					
	1年春	1年秋	2年春	2年秋	3年春	3年秋
(C-2)			<u>機械工学創造演習</u> (○)		機械工学ものづくりプロジェクト (○)	卒業研究(○) 卒業研究(○)
				<u>機械工学総合実験</u> (○) <u>機械工学デザイン</u> 演習*(○) 最適デザイン科学 (○)	機械工学総合実験 (○) 機械工学デザイン 演習*(○) 創造と倫理(○) 学外実習(○) 応用流体力学(○) コンピュータシ ミュレーションの 応用(○) 反応システムと環 境(○)	
				<u>機械工学演習2</u>		
(C-3)				<u>機械工学創造演習</u> (○)	<u>機械工学デザイン</u> 演習*(○) 機械工学ものづくり プロジェクト (○)	卒業研究(○) 卒業研究(○)
					<u>構造材料の科学</u> (○) 流体力学(○)	創造と倫理(○) コンピュータシ ミュレーションの 応用(○)
					<u>機械工学創造演習</u> (○)	機械工学デザイン 演習*(○)
(D-1)	<u>自然科学実験*</u> (○) <u>情報学基礎</u> (○)		<u>理工学基礎実験</u> (○)	<u>機械工学総合実験</u> (○) <u>工場見学</u> (○)	<u>機械工学デザイン</u> 演習*(○) 創造と倫理(○) 学外実習(○) コンピュータシ ミュレーションの 応用(○) 機械工学ものづくり プロジェクト (○)	卒業研究(○) 卒業研究(○)
	英語1(○)	英語2(○)	英語3(○)	英語4(○)	<u>機械工学デザイン</u> 演習*(○) 機械工学ものづくり プロジェクト (○)	
	英語1(○)	英語2(○)	英語3(○)	英語4(○)	流体力学(○) 応用流体力学(○)	卒業研究(○) 卒業研究(○)
(D-2)					流体力学(○) 応用流体力学(○)	
					流体力学(○) 応用流体力学(○)	
(D-3)					流体力学(○) 応用流体力学(○)	

M

電気情報工学科 学科専門科目標準課程表

3年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	春	電気情報工学実験第1 情報工学	3 2	
	秋	制御工学 電気情報工学実験第2	2 3	
選択科目 04-02-11	春	LSI回路設計I コンピュータシミュレーション同実習 シグナルプロセッシング 電気電子計測 量子工学 光・量子エレクトロニクス 電気情報工学特別講義	2 2 2 2 2 2 2	
		LSI回路設計II 画像工学 計算機構成 コミュニケーションシステム 固体物性工学 フォトニクス ワイヤレスコミュニケーション 機械学習基礎 電気情報数学 学外実習	2 2 2 2 2 2 2 2 2	定時外
	秋			定時外

4年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-02	通年	卒業研究	6	定時外
		電気情報工学輪講	1	定時外
選択科目 04-02-11	春	電気機器設計法 電気情報工学特別演習 データベース概論 電気法規及び施設管理 電波法規 電力システム制御 ナノスケール・エレクトロニクス マルチメディアデザイン	2 1 2 2 2 2 2	定時外 定時外
	春前半	ネットワーク工学IA	1	
		ネットワーク工学IB	1	

【電気情報工学科】

1. 4年進級条件

別項（p.27）の必要単位を取得していかなければなりません。

3年生が4年生設置選択科目を履修したい場合は下記を参照してください。必修科目的履修はできません。

- ・時間割上の問題がなければ履修可能な科目

「電気法規及び施設管理」「電波法規」「電力システム制御」「電気機器設計法」

- ・3年生の履修不可の科目

「ナノスケール・エレクトロニクス」「マルチメディアデザイン」、「ネットワーク工学 IA／IB」

・「電気情報工学特別演習」は3年次の2月頃に実施し、4年進級後に履修登録します。

2. 卒業条件

別項（p.29）の必要単位を取得していかなければなりません。

3. 電気主任技術者について

理工学部電気情報工学科において所定の科目を履修、合格し卒業した者で、法令で定められた年限以上、電子に関する工事または維持、運用の実務経験を有する者は、法令の定める種類の主任技術者免状を経済産業大臣より受けることができます。また、前述にかかわらず、電気主任技術者国家試験に合格した者も、その交付を受けることができます。所轄官公庁は、経済産業省関東東北産業保安監督部電力安全課です。

4. 第一級陸上無線技術士試験免除について

理工学部電気情報工学科において所定の科目を履修、合格し卒業した者は、所定の手続きによって、第一級陸上無線技術士資格取得のための「無線工学の基礎」の試験を免除されます。

5. 特殊無線技士（第一級陸上特殊無線技士、第三級海上特殊無線技士）の資格取得について

第一級陸上特殊無線技士、および第三級海上特殊無線技士については、理工学部電気情報工学科の所定の科目を履修合格し、所轄の官公庁に所定の規則に基づき申請すると、その資格が試験なしで取得できます。第一級陸上特殊無線技士、および第三級海上特殊無線技士、それぞれ別個に申請する必要があります。

6. 学則改正について

学則改正により以下の変更があります。

廃止科目 電子物理学（2020年度より）

科目名変更 ネットワーク工学

→ネットワーク工学 IA／IB（2018年度より）

電気電子工学実験第1

→電気情報工学実験第1（2020年度より）

電気電子工学実験第2

→電気情報工学実験第2（2020年度より）

電気電子工学特別講義

→電気情報工学特別講義（2020年度より）

電気電子工学特別演習

→電気情報工学特別演習（2020年度より）

電気電子工学輪講

→電気情報工学輪講（2020年度より）

半導体物理

→固体物性工学（2020年度より）

新設科目 電気情報数学（2021年度より）

機械学習基礎（2021年度より）

★電気情報工学科は、2022年度より新しいカリキュラムの運用が開始されています。

(実際の運用は2020年度1年生から始まっています)

※2022年度4年生が原級し2023年度も4年生となった場合、新カリキュラム適用対象者となります。

1. 2022年度の卒業条件

2022年度の卒業条件は以下のとおりです。

種類		〈2022年度4年生用〉 4年 卒業単位	
総合教育科目		18	
外国語科目		16	
基礎教育科目		28	
専門教育科目	専門基礎科目	必修	16
		選択	12
	学科専門科目	必修	17
		選択	23
自主選択科目		8	
計		138	

() は内数で必修単位数を表す

2. 2023年度以降の卒業条件

2023年度の卒業条件は以下のとおりです。

種類		〈2023年度4年生用〉 4年 卒業単位	
総合教育科目		18	
外国語科目		16	
基礎教育科目		28	
専門教育科目	専門基礎科目	必修	14
		選択	14
	学科専門科目	必修	17
		選択	23
自主選択科目		8	
計		138	

() は内数で必修単位数を表す

E

応用化学科 学科専門科目標準課程表

3年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	春	応用化学実験 A	1.5	
		応用化学実験 B	1.5	
		化学工学	2	
		有機化学	2	
	秋	応用化学実験 C	1.5	
		応用化学実験 D	1.5	
選択科目 04-02-11	春	化学工学演習	1	
		化学防災と安全工学	2	
		環境化学	2	
		高分子化学	2	
		生物化学	2	
		電気化学	2	
		分子生命化学 1	2	
		マテリアル科学 1	2	
		有機工業化学	2	
		有機システム化学	2	
	秋	無機工業化学	2	
		応用化学系英語	2	
		応用化学工学	2	
		応用高分子化学	2	
		細胞生物化学	2	
		反応物理化学	2	
		分子生命化学 2	2	
		マテリアル科学 2	2	
		マテリアル科学 3	2	
		マテリアル合成	2	
		有機構造解析	2	
		有機合成化学	2	
		有機反応機構	2	
		環境分析化学	2	
		学外実習	1	定時外

4年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-02	定時外	応用化学輪講 卒業研究	1 6	
選択科目 04-02-11	春	応用化学特別講義 反応工学	2 2	休講

1. 4年進級条件

別項(p.27)の必要単位を取得していなければなりません。

必修科目4.5単位以上には、「応用化学実験A」、「応用化学実験B」、「応用化学実験C」、および「応用化学実験D」のうち3科目を含むこと。

3年生が4年生設置選択科目を履修することは可能です。

2. 卒業条件

別項(p.29)の必要単位を取得していなければなりません。

〈参考〉 p.27、p.29より抜粋 応用化学科

種類	〈2023年度3年生用〉 3年→4年 進級単位	〈2023年度4年生用〉 4年 卒業単位	
総合教育科目	10	18	
外国語科目	16	16	
基礎教育科目	28	28	
専門教育科目	28 (20)	必修	20
		選択	8
学科専門科目	22.5 (*4.5)	必修	17
		選択	23
自主選択科目	—	8	
計	104.5	138	

() は内数で必修単位数を表わす

*印には応用化学実験A、応用化学実験B、応用化学実験Cおよび応用化学実験Dのうち3科目を含むこと。

3. 学則改正について

学則改正により以下の変更があります。

新設科目 環境分析化学 (2020年度より)

廃止科目 分析化学2 (2022年度より)

環境化学2 (2022年度より)

科目名変更 環境化学1 → 環境化学 (2022年度より)

C

物理情報工学科 学科専門科目標準課程表

3年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	春前半	制御工学同演習	2	
		物性物理 I	2	
		物理情報工学実験 A	1	
	春後半	物理情報工学実験 B	1	
	秋前半	物理情報工学実験 C	1	
		物理情報工学ソフトウェア開発演習	1	
	秋後半	物理情報工学実験 D	1	
	選択科目 04-02-11	数値計算法	2	
		統計物理	2	
		量子力学	2	
		界面科学	2	休 講
		数理物理	2	
		フォトニクス	2	
		物性物理 II	2	
		計算物理	2	
		量子コンピューティング	2	
	春	計測信号処理	2	休 講
	秋前半	半導体工学	2	
		応用量子物性	2	
		メディカルフィジクス	2	休 講
		物理分析	2	
		モデリングと制御	2	
	秋後半	磁気物理	2	
		バイオシステム	2	
		プラズマ物理	2	
		アルゴリズムとデータ構造	2	
		光物性物理	2	
	秋	学外実習	2	定時外

4年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-02	通年	プレゼンテーション技法	1	定時外 定時外
		卒業研究	6	
選択科目 04-02-11	春	物理情報工学特別講義	2	

【物理情報工学科】

1. 4年進級条件

別項（p.27）の必要単位を取得していなければなりません。

必修科目7単位以上には、物理情報工学実験A、物理情報工学実験B、物理情報工学実験Cおよび物理情報工学実験Dを含むこと。ただし、海外でサマースクール・インターンシップなどを受講・実施する場合には、事前の申請によって物理情報工学実験Bを含まなくても進級を認めることができます。

3年生は4年生設置選択科目を履修することは可能ですが、4年生設置必修科目は履修することができません。

2. 卒業条件

別項（p.29）の必要単位を取得していなければなりません。

3. 履修の仕方

総合教育科目の「物性科学」は、必修科目である「物性物理I」等の内容理解のためにも、できるだけ履修してください。

4. 学則改正について

学則改正により以下の変更があります。

新設科目 物理分析（2019年度より）

量子コンピューティング（2020年度より）

物理情報工学ソフトウェア開発演習（2021年度より）

光物性物理（2021年度より）

科目名変更 計算機プログラミング

→アルゴリズムとデータ構造（2020年度より）

物性物理同演習

→物性物理I（2021年度より）

物性工学

→物性物理II（2021年度より）

マグネティクス

→磁気物理（2021年度より）

廃止科目 フォトニクスピリマー（2021年度より）

有機エレクトロニクス（2021年度より）

物理情報工学演習（2022年度より）

（参考） p.27、p.29より抜粋 物理情報工学科

種類	〈2023年度3年生用〉 3年→4年 進級単位	〈2023年度4年生用〉 4年 卒業単位	
総合教育科目	10	18	
外国語科目	16	16	
基礎教育科目	28	28	
専門教育科目	28 (20)	必修	18
		選択	10
学科専門科目	25 (#7)	必修	16
		選択	24
自主選択科目	—	8	
計	107	138	

（ ）は内数で必修単位数を表わす

#印には物理情報工学実験A、物理情報工学実験B、物理情報工学実験Cおよび物理情報工学実験Dを含むこと。

管理工学科 学科専門科目標準課程表

3年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	春	管理工学実験・演習1	1	
		管理工学実験・演習2	1	
		管理工学実験・演習3	1	
	秋	管理工学実験・演習4	1	
		管理工学実験・演習5	1	
		管理工学実験・演習6	1	
選択科目	分野1 04-02-13	分散AIプログラミング実習	2	
		情報システム第1 知能アーキテクチャーデザイン 機械学習	2 2 2	
	分野2 04-02-14	オペレーションズ・リサーチ第2 多変量解析第1 品質管理	2 2 2	
		応用統計学 オペレーションズ・リサーチ第3 オペレーションズ・リサーチ第4 品質マネジメント	2 2 2 2	
		ビジネス・アカウンティング ファイナンシャル・エンジニアリング第1 ビジネスエコノミクス第2	2 2 2	
	分野3 04-02-15	経営計画・評価論 ファイナンシャル・エンジニアリング第2 ビジネスエコノミクス第3	2 2 2	
		人間工学II 人間工学III 人間工学IV	2 2 2	
	分野4 04-02-16	人間工学V 人間工学VI 生産管理 プロジェクト・マネジメント	2 2 2 2	
		管理工学特別講義I	2	休 講
	04-02-11	管理工学特別講義II 計算機構成 学外実習	2 2 1	休 講 定時外

4年生

種類・分野コード		学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-02		通年	管理工学輪講 卒業研究	1 6	定時外 定時外
選択科目	分野 1 04-02-13	春	情報工学 情報ネットワーク データベース概論	2 2 2	
		秋	データハンドリング	2	休 講
	分野 2 04-02-14	春	多変量解析第 2 データ解析	2 2	休 講
		秋	統計調査論	2	
	分野 3 04-02-15	春	マーケティング	2	
		秋	金融データ分析	2	
	分野 4 04-02-16	春	生産情報システム	2	休 講
		秋	プロダクション・システム・デザイン	2	休 講

〈参考〉 p.27、p.29より抜粋 管理工学科

種類		〈2023年度4年生用〉 3年→4年 進級単位	〈2023年度4年生用〉 4年 卒業単位	
総合教育科目		10	18	
外国語科目		16	16	
基礎教育科目		28	28	
専門 教 育 科 目	専門基礎科目	# # 28 (4)	必修	4
	学科専門科目	24 (6)	選択	# # # 24
自主選択科目		—	必修 13	
計		106	選択 ★27	

() は内数で必修単位数を表わす

には特別選択科目18単位を含むこと。

には特別選択科目20単位を含むこと。

★印では、設定されている4分野(分野1～分野4)それぞれにおいて、2科目以上合格していかなければならない。

A

【管理工学科】

1. 4年進級条件

別項（p.27）の必要単位を取得していかなければなりません。

必修科目6科目すべてに合格していかなければなりません。

特別に指定された選択科目（第2学年に設置されている経済性工学、統計解析、経営管理論、人間工学I、インダストリアル・エンジニアリング、ソフトウェア工学、アルゴリズム論、管理工学用数学、オペレーションズ・リサーチ第1、ビジネスエコノミクス第1、確率、プログラミング言語）の計24単位中18単位以上に合格していかなければいけません。

2. 卒業条件

別項（p.29）の卒業条件に記された必要単位を取得していかなければなりません。

すべての必修科目に合格していかなければなりません。

特別に指定された選択科目（第2学年に設置されている経済性工学、統計解析、経営管理論、人間工学I、インダストリアル・エンジニアリング、ソフトウェア工学、アルゴリズム論、管理工学用数学、オペレーションズ・リサーチ第1、ビジネスエコノミクス第1、確率、プログラミング言語）の計24単位中20単位以上に合格していかなければいけません。

学科専門科目（3、4年における選択科目）において設定されている次の4分野の各々から2科目以上に合格していかなければなりません。ただし、分野は次の通りです。

分野1（3年科目：分散AIプログラミング実習、知能アーキテクチャーデザイン、情報システム第1、機械学習
4年科目：データハンドリング、情報工学、データベース概論、情報ネットワーク）

分野2（3年科目：応用統計学、多変量解析第1、オペレーションズ・リサーチ第2、オペレーションズ・リサーチ第3、
オペレーションズ・リサーチ第4、品質管理、品質マネジメント
4年科目：多変量解析第2、データ解析、統計調査論）

分野3（3年科目：ビジネス・アカウンティング、経営計画・評価論、フィナンシャル・エンジニアリング第1、フィ
ナンシャル・エンジニアリング第2、ビジネスエコノミクス第2、ビジネスエコノミクス第3
4年科目：マーケティング、金融データ分析）

分野4（3年科目：人間工学II、人間工学III、人間工学VI、人間工学V、人間工学IV、生産管理、プロジェクト・マネ
ジメント
4年科目：生産情報システム、プロダクション・システム・デザイン）

※学則改正により廃止された科目、名称変更された科目的単位を取得済みであれば、その単位数も条件に計上されます。

3. 科目の履修方法

原則として、標準課程表（3年生）に記載されている科目に引き続き、標準課程表（4年生）に記載されている科目を履
修するものとします。

4. 学則改正について

名称変更 ヒューマンファクターズ→人間工学I（2019年度より）

管理工学用数学第1→管理工学用数学（2022年度より）

経営計算第1→ビジネス・アカウンティング（2018年度より）

管理工学実験・演習I→管理工学実験・演習1、管理工学実験・演習2（2019年度より）

管理工学実験・演習II→管理工学実験・演習3、管理工学実験・演習4（2019年度より）

管理工学実験・演習III→管理工学実験・演習5、管理工学実験・演習6（2019年度より）

ヒューマンインターフェース設計・評価論→人間工学II（2019年度より）

プロセスシミュレーション→人間工学III（2019年度より）

計量心理学→人間工学IV（2019年度より）

ヒューマンエラーマネジメント→人間工学V（2019年度より）

時系列パターンの解析→人間工学VI（2019年度より）

e-ビジネスソフトウェア論→人工知能と人・社会（2019年度より）

知的情報処理→知能アーキテクチャーデザイン（2019年度より）

ソフトウェア工学実習→分散AIプログラミング実習（2019年度より）

高度プログラミング→データハンドリング（2019年度より）

パターン認識→機械学習（2019年度より）
数理経済学→ビジネスエコノミクス第2（2023年度より）
経済システム・モデリング→ビジネスエコノミクス第3（2023年度より）
情報経済学→ビジネスエコノミクス第1（2023年度より）

分野変更 経済性工学（学科専門科目→専門基礎科目に変更 2019年度2年生より）
廃止科目 経営計算第2（2018年度より）
産業心理学（2018年度より）
信頼性解析（2018年度より）
人工知能と人・社会（2022年度より）
管理工学用数学第2（2022年度より）
情報システム第2（2022年度より）
経済原論（2023年度より）
新設科目 計算機構成（2018年度より）

数理科学科 学科専門科目標準課程表

3年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	春	数理科学基礎第3	2	
選択科目 04-02-11	春	アルゴリズム論 確率概論 関数方程式概論 関数論第1同演習 幾何学概論 数理最適化 計算数学 実解析第1同演習 数理統計学第1同演習 代数学第1同演習 統計科学同演習 有限数学第1	2 2 2 3 2 2 2 3 3 3 3 2	
	秋	確率論第1同演習 関数方程式第1同演習 関数論第2 幾何学第1同演習 計算機システム論 実解析第2同演習 情報処理 情報数学第1 数理統計学第2 代数学第2 データ解析同演習 統計科学輪講 有限数学第2 学外実習	3 3 2 3 2 3 2 2 2 3 1 2 1	休講 定時外

〈参考〉 p.27、p.29より抜粋 数理科学科

種類	〈2023年度3年生用〉 3年→4年 進級単位	〈2023年度4年生用〉 4年 卒業単位
総合教育科目	10	18
外国語科目	16	16
基礎教育科目	28	28
専門教育科目	専門基礎科目 24 (10)	必修 10 選択 14
	学科専門科目 21 (0)	必修 8 選択 11
自主選択科目	—	8
計	99	138

() は内数で必修単位数を表わす

印では、各専攻で指定された科目に合格し、一定の単位数を取得しなければならない。

・数学専攻

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-02	通年	卒業研究	6	定時外
選択科目 04-02-11	春	確率論第2 関数解析第1 関数方程式第2 幾何学第2 情報数学第2 代数学統論 数理科学特別演習	2 2 2 2 2 2 1	定時外
	春前半	図形処理A 保険数学	1 2	
	春後半	図形処理B	1	
	秋	関数解析第2 数理科学特別講義第2 数理論理学	2 2 2	
	秋前半	数値解析 リスク数理	2 2	
	秋後半	数理科学特別講義第1	2	

・統計学専攻

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-02	通年	卒業研究	6	定時外
選択科目 04-02-11	春	確率論第2 時系列モデル 情報数学第2 統計的推測と応用 数理科学特別演習	2 2 2 2 1	定時外
	春前半	図形処理A 保険数学	1 2	
	春後半	図形処理B	1	
	秋	数理科学特別講義第2 統計数学統論第1 統計数学統論第2	2 2 2	
	秋前半	数値解析 リスク数理	2 2	
	秋後半	数理科学特別講義第1	2	

1. 4年進級条件

別項(p.27)の必要単位を取得していなければなりません。

2. 卒業条件

別項(p.29)の必要単位を取得していなければなりません。

加えて、以下のとおり各専攻で指定された科目に合格し、一定の単位数を取得していなければなりません。

数学専攻：「実解析第1同演習」「有限数学第1」「確率論第1同演習」「代数学第1同演習」「幾何学第1同演習」「関数方程式第1同演習」の中から7単位以上取得。

統計学専攻：「実解析第1同演習」「有限数学第1」「確率論第1同演習」「統計科学同演習」「数理最適化」「情報数学第1」の中から7単位以上取得。

【注意】

数理科学科では2017年度入学者よりカリキュラムが変更になっています。

3. 学則変更について

科目名変更 計画数学→数理最適化(2022年度より)

非線形モデル→統計的推測と応用(2023年度より)

新設科目 学外実習(2023年度より)

物理学科 学科専門科目標準課程表

3年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	春	熱統計力学第1 物理学実験第1	2 4	
	秋	物理学実験第2	4	
選択科目 04-02-11	春	応用物理学第2（3、4年設置）	1	(2024年度休講予定) (隔年開講)
		情報工学（3、4年設置）	2	
		電磁気学第2	2	
		光学	2	
		物理学演習第3	1	
		量子力学第2	2	
		地球物理学（3、4年設置）	2	(2024年度休講予定) (隔年開講)
	秋	計算物理学実習	2	
		生物物理学	2	
		相対性理論	2	
		天体物理学（3、4年設置）	2	
		熱統計力学第2	2	
		物性物理学第1	2	
		流体弹性体力学	2	
		量子力学第3	2	
		物理学セミナー第1	1	
		物理学セミナー第2	1	
		物理学セミナー第3	1	
		物理学セミナー第4	1	
		学外実習	1	定時外
	秋後半	プラズマ物理学（3、4年設置）	2	
	休講	物理学セミナー第5	1	
		物理学セミナー第6	1	
		応用物理学第1（3、4年設置）	1	(2024年度開講予定) (隔年開講)

4年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-02	通年	卒業研究 論文講読発表	6 1	定時外 定時外
選択科目 04-02-11	春	応用物理学第2（3、4年設置） 原子核物理学 情報工学（3、4年設置） 素粒子物理学 物性物理学第2 地球物理学（3、4年設置）	1 2 2 2 2	(2024年度休講予定) (隔年開講) 休講（素粒子物理学） (2024年度休講予定) (隔年開講)
	秋	天体物理学（3、4年設置） 物性物理学第3	2 2	
	秋後半	プラズマ物理学（3、4年設置）	2	
	休講	一般相対性理論 応用物理学第1（3、4年設置）	2 1	(2024年度開講予定) (隔年開講)

1. 4年進級条件

別項（p.27）の必要単位を取得していなければなりません。

2. 卒業条件

別項（p.29）の必要単位を取得していなければなりません。

3. 履修の仕方

原則として標準課程表3年生、4年生の順に従って履修しなければなりません。ただし、隔年開講の「地球物理学」、「応用物理学第1」、「応用物理学第2」については、開講される年に履修します。

4. 学則改正について

学則改正により以下の変更があります。

廃止科目 時系列パターンの解析（2019年度より）

分野変更 物理数学（学科専門科目→専門基礎科目に変更。2020年度2年生より）

〈参考〉 p.27、p.29より抜粋 物理学科

種類	〈2023年度3年生用〉 3年→4年 進級単位	〈2023年度4年生用〉 4年 卒業単位	
総合教育科目	10	18	
外国語科目	16	16	
基礎教育科目	28	28	
専門教育科目	28 (14)	必修	14
		選択	14
学科専門科目	22 (8)	必修	17
		選択	23
自主選択科目	—	8	
計	104	138	

() は内数で必修単位数を表わす

B

化 学 科 学科専門科目標準課程表

3年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	春	化学実験第1	3	
		天然物化学（生命化学第1）	2	
	秋	分子量子化学（物理化学第1）	2	
		有機分子変換（有機化学第1）	2	
選択科目 04-02-11	春	化学実験第2	3	
		電気化学（無機分析第1）	2	
		応用有機化学	2	
		化学反応速度論	2	
		高分子化学	2	
		物理化学演習第1	1	
	秋	精密有機合成（有機化学第2）	2	
		有機構造決定法	2	
		錯体化学（無機分析第2）	2	
		固体化学（無機分析第3）	2	
		生物活性化学（生命化学第2）	2	
		物理化学演習第2	1	
		量子統計化学（物理化学第2）	2	
		電子状態理論（物理化学第3）	2	
		分子生物学（生命化学第3）	2	
		合成デザイン（有機化学第3）	2	
		学外実習	1	定時外

4年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-02	通年	化学輪講	1	定時外
		卒業研究	6	定時外
選択科目 04-02-11	通年	化学特別講義	1	
		生体反応化学（生命化学第4）	2	
	春	光及び放射線化学	2	休講
		分子分光学	2	
		有機合成化学研究法	2	休講
		有機合成反応総論	2	

〈参考〉 p.27、p.29より抜粋 化学科

種類	<2023年度3年生用> 3年→4年 進級単位	<2023年度4年生用> 4年 卒業単位	
		必修	選択
総合教育科目	10	18	
外国語科目	16	16	
基礎教育科目	28	28	
専門教育科目	専門基礎科目 28 (12)	必修	12
		選択	16
学科専門科目	24 (†9)	必修	21
		選択	19
自主選択科目	—	8	
計	106	138	

() は内数で必修単位数を表わす

†印には化学実験第1および化学実験第2を含むこと。

【化学科】

1. 4年進級条件

別項（p.27）の必要単位を取得していなければなりません。

化学実験第1、化学実験第2の両方とも合格していなければなりません。

2. 卒業条件

別項（p.29）の必要単位を取得していなければなりません。

3. 履修の仕方

3年次には、物理化学、無機・分析化学、有機化学および生命化学に関する学科専門科目を履修する。また、化学実験第1、化学実験第2は必修科目として化学実験の基礎を学ぶ。

4年次には、より深くさまざまな化学の分野についての知識を広げるために、選択科目を履修する。

「学外実習」は3年生のみ履修可。

4年生科目は3年生科目の履修を前提としているため、3年次での履修は原則として認めない。また、4年生科目「化学特別講義」は、講演会形式であるため、3年生についても聴講は可能（科目としての履修は不可）。

この他、3、4年次で必要に応じて総合教育科目を履修すること。

履修科目の選定に当たっては、学習指導副主任その他が、ガイダンスの際に助言します。

4. 学則改正

科目名変更（すべて2020年度より）

物理化学第1→分子量子化学（物理化学第1）

物理化学第2→量子統計化学（物理化学第2）

物理化学第3→電子状態理論（物理化学第3）

電子化学→電気化学（無機分析第1）

錯体化学→錯体化学（無機分析第2）

周期表の化学第2→固体化学（無機分析第3）

有機化学第1（分子変換）→有機分子変換（有機化学第1）

有機化学第2（精密合成）→精密有機合成（有機化学第2）

有機化学第3（合成デザイン）→合成デザイン（有機化学第3）

天然物有機化学→天然物化学（生命化学第1）

生物活性分子の化学→生物活性化学（生命化学第2）

分子生物学→分子生物学（生命化学第3）

酵素と生体反応→生体反応化学（生命化学第4）

新設科目

学外実習（2022年度より）

システムデザイン工学科 学科専門科目標準課程表

3年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	春	システムデザイン工学実験第1	2	
		システムデザイン工学実験第2	2	
	秋	システムデザイン工学演習	2	
選択科目 04-02-11	春	エレクトロニクスデザイン	2	
		空間デザイン学	2	
		グラフィック表現論	2	
		建築熱・空気環境工学	2	
		サステナブル建築・都市デザイン	2	
		信号処理	2	
		生産システム	2	
		線形制御理論	2	
		電気機器システム	2	
		熱エネルギー工学	2	
		マシンデザイン	2	
		空間デザイン海外研修	1	許可者のみ履修可
		空間構造力学	2	
		力学的シンセシス	2	
	秋	情報処理システム	2	
		複雑システムのシミュレーション	2	
		エネルギー変換システム	2	休 講
	秋	音・光環境工学	2	
		居住設備デザイン工学	2	
		都市・建築のレジリエンス	2	
		空間設計製図II	3	
		建築デザイン論	2	
		光学システム	2	
		構造システム工学	2	
		システム計測	2	
		システム工学	2	
		システム生命工学	2	
		社会・経済・文化と工学	2	
		制御システム設計論	2	
		設計・計画の最適化数理	2	
		熱機関システム	2	休 講
	通年	パワーエレクトロニクス	2	
		分散処理システム	2	
		マニュファクチャリングアナリシス	2	
		メカトロニクス	2	
		データシステムの知能化とデザイン 学外実習	1	定時外
		システムデザイン工学研修	1	定時外

4年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-02	通年	卒業研究	6	定時外
選択科目 04-02-11	春	空間設計製図III	4	
		建築行政	2	
		建築生産	2	
		地震工学	2	
		鉄筋コンクリート構造工学	2	
		非線形工学	2	
		ヒューマンインターフェイス	2	休講
		マルチメディアデザイン	2	
		ライフサイクル工学	2	
	春前半	通信理論 A	1	
	春後半	通信理論 B	1	
	秋	アドバンスドマニュファクチャリング演習	2	
		エネルギーネットシステム	2	
		建築・都市の社会・経済	2	
		製品企画論	2	
		都市インフラストラクチャシステム	2	
		テクニカルコミュニケーション	2	休講
		鉄骨構造工学	2	
	通年	システムデザイン工学輪講	1	定時外

1. 4年進級条件

別項 (p.27) の必要単位を取得していなければなりません。

3年生は4年生の科目を履修することが可能です。

2. 卒業条件

別項 (p.29) の必要単位を取得していなければなりません。

3. 電気主任技術者について

別項（電気主任技術者免状取得について）参照のこと。

4. 一級建築士試験の受験資格取得について

別項（システムデザイン工学科における一級建築士試験の受験資格取得について）参照のこと。詳しくは学習指導副主任に相談すること。

5. 学則改正について

学則改正により以下の変更があります。

科目名変更 通信理論

→通信理論 A／B (2018年度より)
都市・建築レジリエンス概論
→都市・建築のレジリエンス
(2020年度より)

新設科目 データシステムの知能化とデザイン
(2020年度より)
複雑システムのシミュレーション
(2023年度より)

廃止科目 インテリジェントデザイン (2023年度より)

分野変更 情報処理システム

専門基礎科目（選択）
→学科専門科目（選択）
(2020年度の1年生より)

（参考） p.27、p.29より抜粋 システムデザイン工学科

種類	（2023年度3年生用） 3年→4年 進級単位	（2023年度4年生用） 4年 卒業単位
総合教育科目	10	18
外国語科目	16	16
基礎教育科目	28	28
専門教育科目	29 (19)	必修 19
		選択 10
学科専門科目	24 (4)	必修 12
		選択 27
自主選択科目	—	8
計	107	138

() は内数で必修単位数を表わす

情報工学科 学科専門科目標準課程表

3年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	春前半	情報工学実験第1A プログラミング第2同演習A	1 2	
	春後半	情報工学実験第1B プログラミング第2同演習B	1 1	
	秋前半	情報工学実験第2A	1	
	秋後半	情報工学実験第2B	1	
選択科目 04-02-11	春前半	アルゴリズム第2A 組込みリアルタイムシステム コンピュータアーキテクチャA 通信理論A ディジタル信号処理A ネットワーク工学IA ヒューマンインターフェースA ビジュアルコンピューティングIA	1 2 1 1 1 1 1 1	
	春後半	アルゴリズム第2B コンピュータアーキテクチャB 通信理論B ディジタル信号処理B ネットワーク工学IB ヒューマンインターフェースB ビジュアルコンピューティングIB	1 1 1 1 1 1 1	
	春	数値解析	2	
	秋	オペレーティングシステム 計算理論 コンパイラ構成論 ビジュアルコンピューティングII 人工知能プログラミング ネットワーク工学II パターン情報処理 フォトニックネットワーク 符号理論 プログラミング方法論 データ解析論 計算モデル論 プログラミング第3同演習 学外実習A 学外実習B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 1 2	定時外 定時外
	休講	情報工学講義第1 情報工学講義第2 情報工学講義第3	2 2 2	

4年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	通年	情報工学輪講 卒業研究	1 6	定時外 定時外
選択科目 04-02-11	春前半	自然言語処理 人工知能	2 2	
	春	情報セキュリティ UNIX システムプログラミング データモデリング 情報工学特別演習	2 2 2 1	定時外
	秋	情報工学特別講義	2	
	休講	データベースシステム VLSI 設計演習	2 2	

1. 4年進級条件

別項 (p.27) の必要単位を取得していなければなりません。

2. 卒業条件

別項 (p.29) の必要単位を取得していなければなりません。

3. 履修の仕方

情報工学科の科目は、情報、通信、計算機その他広い範囲に渡っています。科目系統図中*に示す科目間の関連を考え、特定の分野に偏らずに履修することをお勧めします。ただし、3年生は、3年生科目を前提科目と指定している4年生選択科目を履修することはできません。* <https://www.ics.keio.ac.jp/>

4. 特殊無線技士の資格について

所定の単位について卒業時までに履修すれば第一級陸上特殊無線技士および第三級海上特殊無線技士の免許を申請取得することができます。詳細は学事担当または大槻知明教授へお問い合わせください。

5. 学則改正について

学則改正により以下の変更があります。

名称変更 データモデリング A、データモデリング B → データモデリング (2022年度より)

情報工学実験第2 → 情報工学実験第2A、情報工学実験第2B (2023年度より)

廃止科目 インタラクティブシステム (2018年度より)

〈参考〉 p.27、29より抜粋 情報工学科

種類	〈2023年度3年生用〉 3年→4年 進級単位	〈2023年度4年生用〉 4年 卒業単位	
総合教育科目	10	18	
外国語科目	16	16	
基礎教育科目	28	28	
専門教育科目	専門基礎科目 26 (12)	必修	12
		選択	14
専門教育科目	学科専門科目 26 (4)	必修	14
		選択	28
自主選択科目	—	8	
計	106	138	

() は内数で必修単位数を表わす

生命情報学科 学科専門科目標準課程表

3年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-01	春前半	生命情報実験 A	1.5	
	春後半	生命情報実験 B	1.5	
	秋前半	生命情報実験 C	1.5	
	秋後半	生命情報実験 D	1.5	
選択科目 04-02-11	春	生命倫理学	2	
		ゲノム科学	2	休講
		細胞生物学第 2	2	
		基礎システム制御論	2	
		生体反応論第 2	2	
		生体分子分析	2	
		生物有機化学	2	
		バイオインフォマティクス	2	
		バイオサイバネティクス	2	
	秋	分子生物学第 2	2	
	秋	ケミカルバイオロジー	2	休講
		細胞生物学第 3	2	
		システムバイオロジー	2	
		生体高分子科学	2	
		生命現象の物理学	2	
		生物統計学	2	
		発生生物学	2	
		学外実習第 2	2	定時外

4年生

種類・分野コード	学期	科目名	単位	備考
必修科目 04-02-02	通年	生命情報輪講	1	定時外
		卒業研究	6	定時外
選択科目 04-02-11	春	環境生物工学	2	休講
		生態環境論	2	休講
	秋	生命情報特別講義第 2	1	
	秋	生体材料工学	2	休講
		生命情報特別講義第 1	2	
		学外実習第 3	2	定時外

1. 4年進級条件

別項（p.27）の必要単位を取得していなければなりません。

必修科目4.5単位以上には、「生命情報実験 A」、「生命情報実験 B」、「生命情報実験 C」、および「生命情報実験 D」のうち 3 科目を含むこと。3 年生は、4 年生設置選択科目である「環境生物工学」、「生体材料工学」、「生命情報特別講義第 1」、「生命情報特別講義第 2」、「学外実習第 3」を履修することは可能です。

2. 卒業条件

別項（p.29）の必要単位を取得していなければなりません。

3. 学則改正

学則改正により以下の変更があります。

単位数変更 生命情報特別講義第 1 1単位→2単位（2018年度より）

〈参考〉 p.27、p.29より抜粋 生命情報学科

種類	〈2023年度3年生用〉 3年→4年 進級単位	〈2023年度4年生用〉 4年 卒業単位
総合教育科目	10	18
外国語科目	16	16
基礎教育科目	28	28
専門教育科目	専門基礎科目	28 (24)
	学科専門科目	24.5 (**4.5)
自主選択科目	—	8
計	106.5	138

() は内数で必修単位数を表わす

** 印には生命情報実験 A、生命情報実験 B、生命情報実験 C および生命情報実験 D のうち 3 科目を含むこと。

工場見学、学外実習について

○諸注意

休学中に活動を行った工場見学や学外実習は単位認定することができません。機械工学科の工場見学は例年2-3月頃の実施となるため、秋学期休学を取得する場合、翌年度の工場見学に参加してください。

1. 工場見学

大学で学んでいることが実際の生産現場や研究・開発の過程でどのように活用されているのか、見聞し体得することを目的として工場見学を実施しています。機械工学科以外の学科では必修科目ではありませんが、工場や研究所を見ることができるまたとない機会ですので、積極的に参加してください。

2. 3年生設置 学科専門科目「学外実習」の履修について

○生命情報学科以外の4年生は履修できません。

○学外実習は必ず夏季休校期間中に行ってください。

◎履修の手順

(1) ガイダンス

学科により、5月下旬までにガイダンスを実施します。学外実習の履修希望者は必ずガイダンスに出席してください。ガイダンスを実施する場合の日程は、シラバスまたは各学科の掲示で4月下旬までにお知らせします。

※学科によっては、3月下旬に行われる「3年生向けガイダンス」で説明がなされ、「学外実習」に特化したガイダンスを実施しない場合があります。

(2) 「学外実習」実習先の選択

化学科、生命情報学科の場合：履修希望者は以下の手順によらず、科目担当教員に相談してください。

生命情報学科以外の学科の場合：履修希望者は次のA、Bいずれかの方法で実習先を探してください。

※文中の様式1～3は、5月中旬より次のURLからダウンロードできます。

URL：<https://www.students.keio.ac.jp/yg/st/class/registration/off-campus.html>

A. 塾生サイトに掲載される学外実習受入れ企業の中から探す

①「企業名一覧」と「企業別実習明細書」の掲示（5月下旬～）

履修希望者は以下の掲示を確認し、早期に実習先を選定してください。

但し、掲示に「公募」と記載されている企業への申し込み方法は、「B. 自主応募により申し込む」の手順に従ってください。

・「企業名一覧」：理工学部が「学外実習」の受入れを依頼している企業名の一覧。受入れの可否や申込締切日等、最新の募集状況を発表します。

・「企業別実習明細書」：各企業の募集人数、実習内容、場所、期間、その他諸条件（宿舎、交通費支給の有無等）が記載されています。

②申込み方法

a. 仮申込み

希望する企業が見つかった場合は、履修案内または塾生サイトの手順に沿って学外実習仮申込みフォームよりエンタリーしてください。一部の企業に希望者が集中した場合は抽選となります。申込み結果はkeio.jpで発表します。抽選に漏れ、実習先が決まらなかった場合は、再度別の企業に仮申込みをしたり、公募制の企業（下記B参照）を探すことができます。

b. 本申込み

i. 指定の書類を求める企業：特定様式の書類の提出を求められることがあります。

ii. 上記以外の企業：学習実習申込書（様式1）と履歴書（様式2）に必要事項を記入し、学事担当に提出してください。

※実習先決定後の辞退および変更は一切認められません。

B. 自主応募により申し込む

Webサイト上などにおいて公募をしている企業もあります。希望する企業が見つかった場合は、上記A①の「企業名一覧」の掲載企業と重複していないか確認のうえ、その実習内容や期間が所属学科の授業科目として適切であるかを事前に科目担当教員に確認してください。担当教員より適切との判断が得られた場合は、「自主応募方式による学外実習確認票」（様式3）に

担当教員のサインをもらってください。この書類は、レポート提出時に貼付する必要があります（下記(6)参照）。

科目担当教員の了承を得たのは、企業の申込み要領に従って申込みをしてください。企業から受入れの許可を受けた場合は、すみやかに「自主応募方式による学外実習確認票」（様式3）のコピーを学事担当に提出してください。実習後に提出しても「学外実習」としての履修は認められません。

(3) 実習期間と定期試験日程が重なる場合

実習期間が定期試験日程と重なる場合、その企業には申込みできません。試験日程と重ならない企業を選んでください。

追加試験日程と重なってしまった場合も特別な措置はありませんので注意してください。

(4) 「出向状」の受取り

実習先が決定した方は、学事担当からの案内に従って「出向状」一式を受取ってください。

(5) 学外実習期間

原則として夏季休校期間中の実質10日以上。但し、学科により規定が異なりますので、各自が所属する学科の「学外実習」のシラバスを確認してください。

(6) レポート提出

指定された期間に、K-LMS を通じて提出していただきます。自主応募による実習をした場合は、「自主応募方式による学外実習確認票」（様式3）も合わせて提出してください。レポートの長さについて規定はありませんが、科目担当教員に学外実習の内容と成果が伝わるよう、その構成や記述方法を十分に考えて作成してください。提出期限は例年10月中旬ですが、改めて通知予定です。

(7) 履修申告について

学外実習は秋学期科目です。履修を希望する場合は9月～10月の履修申告期間に申告してください。夏季休校期間中に学外実習を行わなかった場合、当該科目は履修できません。

(8) 成績評価について

提出されたレポートと企業からの学外実習履修証明書をもとに、科目担当教員が成績を評価します。成績評価（S・A・B・C・D）は、学期末に他の科目的成績と共に通知されます。

(9) 学外実習科目担当教員

機 械 工 学 科：泰岡 顕治（内線42091、E-mail : yasuoka@mech.keio.ac.jp）
電 気 情 報 工 学 科：田邊 孝純（内線42285、E-mail : takasumi@elec.keio.ac.jp）
応 用 化 学 科：犀川 陽子（内線42342、E-mail : saikawa@appc.keio.ac.jp）
物 理 情 報 工 学 科：牧 英之（内線42584、E-mail : maki@appi.keio.ac.jp）
数 理 科 学 科：小林 景（内線42720、E-mail : kei@math.keio.ac.jp）
管 理 工 学 科：田中 健一（内線42686、E-mail : ken1tnk@ae.keio.ac.jp）
物 理 学 科：檜垣徹太郎（内線42872、E-mail : thigaki@phys.keio.ac.jp）
化 学 科：畠中 美穂（内線42947、E-mail : hatanaka@chem.keio.ac.jp）
シス テム デザイン工学科：嘉副 裕（内線43153、E-mail : kazoe@sd.keio.ac.jp）
情 報 工 学 科：杉本 麻樹（内線43284、E-mail : sugimoto@ics.keio.ac.jp）
生 命 情 報 学 科：荒井 緑（内線43356、E-mail : midori_arai@bio.keio.ac.jp）

3. 国外実習・研修

- (1) 海外研修などに参加し、授業に出席できない場合は、短期間であっても、事前に欠席、休学などの所定の手続をしなければなりません。
- (2) 海外旅行などで、授業、定期試験、実験・実習などを欠席した場合、特別な便宜は一切与えられません。授業に支障をきたさないよう十分注意してください。
- (3) IAESTE 留学で、学外実習を海外で行い、単位を取得したい場合には、事前に学習指導教員の承認が必要です。帰国後、実習先の実習証明書を提出しなければなりません。
- (4) 科目の運用などを、シラバスで確認してください。

電気主任技術者免状取得について

慶應義塾大学理学部電気情報工学科・システムデザイン工学科および慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程総合デザイン工学専攻に設置してある所定の学科目を履修し、卒業（大学院においては修了）した者で、取得学科目証明書および経済産業省令で定める他の必要書類を所轄の官公庁所定の規則に基づき申請し、法の定める条件に該当する場合には、主任技術者免状を経済産業大臣より受けることができる。（詳細は電気事業法第44条および主任技術者の資格等に関する省令等を参照）

1. 主任技術者の資格

主任技術者免状の種類に応じて、それぞれ交付を受けるために必要な学歴または資格および実務の経験は、下表にあげる通りである。

免状の種類	学歴又は資格	実務	
		内 容	経験年数
第一種電気主任技術者免状	1. 大学（短期大学を除く）であって、経済産業大臣の認定をうけたものの電気工学に関する学科において、経済産業大臣が指定する科目を修めて卒業（大学院においては修了）した者 2. 1. にあげる者以外の者であって第二種電気主任技術者免状の交付を受けている者	電圧 50,000 ボルト以上の電気工作物の工事、維持または運用	1. 卒業前の経験年数の 2 分の 1 と卒業後の経験年数との和が 5 年以上 2. 第二種電気主任技術者免状の交付を受けた後 5 年以上
第二種電気主任技術者免状	1. 第一種と同様 2. 1. にあげる者以外の者であって第三種電気主任技術者免状の交付を受けている者	電圧 10,000 ボルト以上の電気工作物の工事、維持または運用	1. 卒業前の経験年数の 2 分の 1 と卒業後の経験年数との和が 3 年以上 2. 第三種電気主任技術者免状の交付を受けた後 5 年以上
第三種電気主任技術者免状	1. 第一種と同様	電圧 500 ボルト以上の電気工作物の工事、維持または運用	1. 卒業前の経験年数の 2 分の 1 と卒業後の経験年数との和が 1 年以上

以上の規定にかかわらず電気主任技術者国家試験に合格した者も、その交付を受けることができる。

2. 主任技術者免状交付申請に必要な書類

主任技術者免状交付申請書、卒業証明書、単位取得証明書、実務経歴証明書、戸籍抄本又は住民票（本籍地の記載がある物）（必要な書類の正しい作り方は、最寄りの地方産業保安監督部担当部署や学事担当に問い合わせること。）

3. 書類の提出先

所轄の産業保安監督部電力安全課

<参考> 経済産業省 関東東北産業保安監督部 電力安全課

〒330-9715 埼玉県さいたま市中央区新都心 1 - 1

さいたま新都心合同庁舎 1 号館 11F TEL 048-600-0385～0388

4. 将来、電気主任技術者免状の交付を受けようとする者は、下表に示す授業科目を履修し単位を取得しておく必要がある。

授業科目の履修上の注意

- (1) *印科目は、所属学科における授業科目の必修科目を示す。
- (2) 注印科目は、電気主任技術者免状を取得する場合に、絶対に必要な科目となるので、必ず履修し単位を取得しておくこと。
- (3) ○印科目は、電気主任技術者免状取得の際の重要な科目であるため、定められた単位を取得しておくこと。
- (4) 大学院生は、下表中の「大学院設置科目」の授業科目を履修し、単位を取得することで、必要単位数に各々加算することができる。☆印科目は大学院設置科目の中で重要な科目である。

電気情報工学科

科目区分	必要単位数	該当授業科目及び単位数	
1. 電気工学又は電子工学等の基礎に関するもの	17単位以上 ただし、右のA・Bの科目群の中から1科目以上履修すること	【学部設置科目】 A { * ◎ 物理学C (2) * ◎ 物理学D (2) ◎ 電磁気学 (2) B { * ◎ 電気回路基礎 (2) ◎ 電気回路理論 (2) 注 電気電子計測 (2) * デジタル・アナログ回路 (2) * エレクトロニクス基礎 (2) 固体物性工学 (2) * エレクトロニクス・デバイス (2) LSI回路設計Ⅰ (2) LSI回路設計Ⅱ (2)	【大学院設置科目】 参考 (2023年度開講科目) 半導体デバイスの物理とモデリング (2) (2023年度休講) 電気・磁気機能物質 (2) ナノエレクトロニクス (2) (2023年度休講)
2. 発電、変電、送電、配電及び電気材料並びに電気法規に関するもの	8 単位以上	◎ 熱エネルギー工学 (2) 注 エネルギーネットシステム (2) 注 電力システム制御 (2) 注 電気法規及び施設管理 (2) 注 電気電子材料 (2)	熱流体システムデザイン論 (2) (2023年度休講) ☆ 熱エネルギーシステム論 (2) (2023年度休講) ☆ 有機電子材料・デバイス (2)
3. 電気及び電子機器、自動制御電気エネルギー利用並びに情報伝送及び処理に関するもの	10単位以上	注 * 制御工学 (2) 注 電気機器システム (2) 注 ◎ 線形制御理論 (2) 注 パワーエレクトロニクス (2) 光デバイス工学 (2) シグナルプロセッシング (2) * 情報学基礎 (2) * プログラム実習 (2) 画像工学 (2) 光・量子エレクトロニクス (2) ワイヤレスコミュニケーション (2) 計算機構成 (2) コミュニケーションシステム (2) コンピュータシミュレーション同実習 (2) アルゴリズム同演習 (2) 電磁エネルギー変換工学 (2) 通信ネットワーク工学基礎 (2)	画像工学特論 (2) 光情報計測 (2) (2023年度休講) ☆ 知的制御工学 (2) 光エレクトロニクス (2) システム制御設計論 (2)
4. 電気工学実験・電子工学実験又は電気工学実習・電子工学実習に関するもの	6 単位以上	* ◎ 自然科学実験(物理実験) (1) * ◎ 理工学基礎実験 (2) * ◎ 電気情報工学実験第1 (3) * ◎ 電気情報工学実験第2 (3) 学外実習 (2)	
5. 電気及び電子機器設計又は電気及び電子機器製図に関するもの	2 単位以上	注 電気機器設計法 (2)	

付記：①下記の科目はシステムデザイン工学科設置科目のため、自主選択科目として履修することになる。

- | | | | |
|---------------|------|----------------|------|
| 「熱エネルギー工学」 | 2 単位 | 「パワーエレクトロニクス」 | 2 単位 |
| 「電磁エネルギー変換工学」 | 2 単位 | 「線形制御理論」 | 2 単位 |
| 「電気機器システム」 | 2 単位 | 「エネルギーネットシステム」 | 2 単位 |

②大学院設置科目は総合デザイン工学専攻の設置科目である。

システムデザイン工学科

科目区分	必要単位数	該当授業科目及び単位数		【大学院設置科目】 参考 (2023年度開講科目)
		【学部設置科目】		
1. 電気工学又は電子工学等の基礎に関するもの	17単位以上 ただし、右のA・Bの中から1科目以上履修すること	A { * ◎ 物理学C (2) * ◎ 物理学D (2) * ◎ 電磁気工学 (2) B { * ◎ 回路とシステム第1 (2) ◎ 回路とシステム第2 (2) 注 システム計測 (2) エレクトロニクスデザイン (2) ダイナミカルシステム (2) システム工学 (2) 光学システム (2)	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	半導体デバイスの物理とモデリング (2) (2023年度休講) 電気・磁気機能物質 (2) ナノエレクトロニクス (2) (2023年度休講)
2. 発電、変電、送電、配電及び電気材料並びに電気法規に関するもの	8 単位以上 ただし、右のA郡の中から1科目以上履修すること	A { ◎ 热エネルギー工学 (2) ◎ 热機関システム (2) 注 注 エネルギーネットシステム (2) 電力システム制御 (2) 電気法規及び施設管理 (2) 注 工学材料 (2) 注 分散処理システム (2)	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	熱流体システムデザイン論 (2) (2023年度休講) ☆ 热エネルギーシステム論 (2) (2023年度休講) ☆ 有機電子材料・デバイス (2)
3. 電気及び電子機器、自動制御電気エネルギー利用並びに情報伝送及び処理に関するもの	10単位以上	注 ◎ 電気機器システム (2) 注 線形制御理論 (2) 注 制御システム設計論 (2) * パワーエレクトロニクス (2) メカトロニクス (2) 信号処理 (2) プログラミング演習 (2) * 情報学基礎 (2) 電磁エネルギー変換工学 (2) * 情報処理システム (2)	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	画像工学特論 (2) 光情報計測 (2) (2023年度休講) ☆ 知的制御工学 (2) 光エレクトロニクス (2) システム制御設計論 (2)
4. 電気工学実験・電子工学実験又は電気工学実習に関するもの	6 単位以上	* ◎ 自然科学実験(物理実験) (1) * ◎ 理工学基礎実験 (2) * ◎ システムデザイン工学実験第2 (2) * ◎ システムデザイン工学演習 (2)	(1) (2) (2) (2)	
5. 電気及び電子機器設計又は電気及び電子機器製図に関するもの	2 単位以上	注 ◎ 電気機器設計法 (2) * デザインリテラシー演習 (2)	(2) (2)	

付記：①下記の科目は電気情報工学科設置科目のため、自主選択科目として履修することになる。

「電気法規及び施設管理」 2 単位 「電気機器設計法」 2 単位

「電力システム制御」 2 単位

②大学院設置科目は総合デザイン工学専攻の設置科目である。

③「分散処理システム」、「情報処理システム」は2018年度以後に取得したもののみ必要単位数に加算できる。

電気情報工学科における第一級陸上無線技術士試験免除について

慶應義塾大学理 工学部電気情報工学科に設置されている授業科目のうち、下表にある授業科目を取得し卒業した者は、所定の手続きによって、第一級陸上無線技術士資格取得のための「無線工学の基礎」の試験を免除されます。

1. 「無線工学の基礎」試験免除に対応する設置授業科目

認定基準に規定する科目	卒業者が履修する科目等			備考
	科目名	時間数	単位数	
基礎教育専門科目	数学 1 A	30	2	9科目の中から210時間以上を履修すること
	数学 2 A	30	2	
	数学 1 B	30	2	
	数学 2 B	30	2	
	応用解析第 1	30	2	
	応用解析第 2	30	2	
	応用数学	30	2	
	複素解析	30	2	
	コンピュータシミュレーション同実習	30	2	
物理	物理学 A	30	2	105時間以上履修すること
	物理学 B	30	2	
	理工学概論	30	2	
	理工学基礎実験	60	2	
電気磁気学	物理学 C	30	2	120時間以上履修すること
	物理学 D	30	2	
	量子工学	30	2	
	電磁気学	30	2	
半導体及び電子管 並びに 電子回路の基礎	エレクトロニクス基礎	30	2	90時間以上を履修すること
	デジタル・アナログ回路	30	2	
	エレクトロニクス・デバイス	30	2	
電気回路	電気回路基礎	30	2	120時間以上履修すること
	電気回路理論	30	2	
	LSI回路設計 I	30	2	
	シグナルプロセッシング	30	2	
電気磁気測定	電気電子計測	30	2	180時間以上履修すること
	電気情報工学実験第 1	90	3	
	電気情報工学実験第 2	90	3	

2. 科目の履修について

上記の表の備考欄に指示されたとおりの科目を履修し、それを修得しなければなりません。

3. 受験に関する事項は管轄する総合通信局に問い合わせること

<参考> 総務省関東総合通信局

〒102-8795 東京都千代田区九段南 1 - 2 - 1 九段第 3 合同庁舎

問い合わせ先：無線通信部航空海上課 TEL 03-6238-1749

電気情報工学科における特殊無線技士国家試験免除について

下記の授業科目を卒業時までに修得しておけば、無試験で第一級陸上特殊無線技士および第三級海上特殊無線技士の免許を申請取得できます。

なお、詳細については学習指導副主任へお問い合わせください。

法令区分	第一級陸上特殊無線技士	第三級海上特殊無線技士
無線機器学その他無線機器に関する科目	情報通信工学基礎(2012年度より廃止) コミュニケーションシステム ※通信システム の3科目のうちいずれか1科目	情報通信工学基礎(2012年度より廃止) コミュニケーションシステム ※通信システム の3科目のうちいずれか1科目
電磁波工学その他空中線系及び電波伝搬に関する科目	ワイヤレスコミュニケーション	ワイヤレスコミュニケーション
電子計測その他無線測定に関する科目	電気電子計測	(履修を要しない)
電波法規その他電波法令に関する科目	電波法規	電波法規

1. 授業科目の履修上の注意

- 各法令区分の※印科目は情報工学科設置科目を示します。情報工学科設置科目を履修する場合は、自主選択科目または自由科目として履修申告してください。

2. 特殊無線技士の取り扱い内容

- 第一級陸上特殊無線技士について
 - ①陸上の無線局の空中線電力500ワット以下の多重無線設備（多重通信を行うことができる無線設備でテレビジョンとして使用するものを含む。）で30メガヘルツ以上の周波数の電波を使用するものの技術操作
 - ②前号に掲げる操作以外の操作で第二級陸上特殊無線技士の操作の範囲に属するもの
- 第三級海上特殊無線技士について
 - ①船舶に施設する空中線電力5ワット以下の無線電話（船舶地球局及び航空局の無線電話であるものを除く。）で25010キロヘルツ以上の周波数の電波を使用するものの国内通信のための通信操作及びその無線電話（多重無線設備であるものを除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作
 - ②船舶局及び船舶のための無線航行局の空中線電力5キロワット以下のレーダーの外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作

3. 履修内容証明書の発行について

申請に必要な履修内容証明書は、学生課学事担当窓口にて発行します。

4. 受験に関する事項は管轄する地方総合通信局に問い合わせること

<参考> 総務省関東総合通信局

〒102-8795 東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎

問い合わせ先：無線通信部航空海上課 TEL 03-6238-1749

情報工学科における特殊無線技士国家試験免除について

下記の授業科目を卒業時までに修得しておけば、無試験で第一級陸上特殊無線技士および第三級海上特殊無線技士の免許を申請取得できます。

なお、詳細については大槻知明教授へお問い合わせください。

法令区分	第一級陸上特殊無線技士	第三級海上特殊無線技士
無線機器学その他無線機器に関する科目	通信システム ※コミュニケーションシステムの2科目のうちから1科目	通信システム ※コミュニケーションシステムの2科目のうちから1科目
電磁波工学その他空中線系及び電波伝搬に関する科目	※ワイヤレスコミュニケーション	※ワイヤレスコミュニケーション
電子計測その他無線測定に関する科目	※電気電子計測	(履修を要しない)
電波法規その他電波法令に関する科目	※電波法規	※電波法規

1. 授業科目の履修上の注意

- 各法令区分の※印科目は電気情報工学科設置科目を示します。電気情報工学科設置科目を履修する場合は、自主選択科目または自由科目として履修申告してください。

2. 特殊無線技士の取り扱い内容

- 第一級陸上特殊無線技士について
 - ①陸上の無線局の空中線電力500ワット以下の多重無線設備（多重通信を行うことができる無線設備でテレビジョンとして使用するものを含む。）で30メガヘルツ以上の周波数の電波を使用するものの技術操作
 - ②前号に掲げる操作以外の操作で第二級陸上特殊無線技士の操作の範囲に属するもの
- 第三級海上特殊無線技士について
 - ①船舶に施設する空中線電力5ワット以下の無線電話（船舶地球局及び航空局の無線電話であるものを除く。）で25010キロヘルツ以上の周波数の電波を使用するものの国内通信のための通信操作及びその無線電話（多重無線設備であるものを除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作
 - ②船舶局及び船舶のための無線航行局の空中線電力5キロワット以下のレーダーの外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作

3. 履修内容証明書の発行について

申請に必要な履修内容証明書は、学生課学事担当窓口にて発行します。

4. 受験に関する事項は管轄する地方総合通信局に問い合わせること

<参考> 総務省関東総合通信局

〒102-8795 東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎

問い合わせ先：無線通信部航空海上課 TEL 03-6238-1749

システムデザイン工学科における一級建築士試験の受験資格取得について

理工学部システムデザイン工学科の学生は、主に学科に設置されている国土交通大臣の指定する建築に関する科目を所定単位数以上修めて卒業すると、一級建築士、二級建築士、木造建築士の受験資格を得ることができる。

また一級建築士に関しては、大学院理工学研究科開放環境科学専攻に設置されている国土交通大臣の指定する建築に関する科目を所定単位数以上修めて修了することで、1年または2年の実務経験（※）とみなすことができる。

※建築士資格の登録には所定の実務経験が必要。大学院科目の先取り履修で単位を取得した場合は、大学院に進学した際に、その科目の単位をインターンシップ関連科目の単位として認めない。

一級建築士の定義および試験内容

- 「一級建築士」とは、国土交通大臣の免許を受け、一級建築士の名称を用いて、建築物に関し、設計、工事監理その他の業務を行う者をいう。
- 一級建築士試験は、建築士法第13条の規定に基づいて国土交通大臣により行われる。試験の実施に関する事務は、建築士法第15条の2第1項の規定に基づき、国土交通大臣から中央指定試験機関の指定を受けた公益財団法人建築技術教育普及センターが行う。
- 一級建築士試験は、学科の試験（計画、環境・設備、法規、構造、施工）と設計製図の試験からなる。

受験資格要件

- 大学において、国土交通大臣の指定する建築に関する科目（指定科目）を修めて卒業しなければならない。指定科目は表1の通り。

免許登録要件

- 一級建築士試験に合格。
- 指定科目を修めて卒業後、建築に関する実務として国土交通省令で定めるものの経験を2年以上（※）有していなければならない。なお、指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数は表3による。
- 国土交通省令で定める建築に関する実務は表2の通り。

表1 指定科目

指定科目の分類（単位数）		科目名	履修学年	システムデザイン工学科必修科目	単位数
二級・木造	一級				
①建築設計製図 (5単位以上)	①建築設計製図 (7単位以上)	空間設計製図I※1	2年		4単位
		空間設計製図I※2	2年		2単位
		図学※2	2年		2単位
		空間設計製図II	3年		3単位
		空間設計製図III	4年		4単位
②～④ 建築計画、建築環境 工学又は建築設備 (7単位以上)	②建築計画 (7単位以上)	日本・東洋建築史	1年2年		2単位
		西洋建築史	1年2年		2単位
		近現代建築史	1年2年		2単位
		空間デザイン学	3年		2単位
		建築デザイン論	3年		2単位
		サステナブル建築・都市デザイン	3年		2単位
		建築空間論	3年4年		2単位
	③建築環境工学 (2単位以上)	建築熱・空気環境工学	3年		2単位
		音・光環境工学	3年		2単位
	④建築設備 (2単位以上)	居住設備デザイン工学	3年		2単位
⑤～⑦ 構造力学、建築一般 構造又は建築材料 (6単位以上)	⑤構造力学 (4単位以上)	力学的モデリング	2年	○	2単位
		力学的アーリシス	2年		2単位
		力学的シンセシス	3年		2単位
		構造システム工学	3年		2単位
		地震工学	4年		2単位
	⑥建築一般構造 (3単位以上)	空間構造力学	3年		2単位
		鉄骨構造工学	4年		2単位
		鉄筋コンクリート構造工学	4年		2単位
		建築構法	3年4年		2単位
	⑦建築材料 (2単位以上)	工学材料	2年		2単位
⑧建築生産 (1単位以上)	⑧建築生産 (2単位以上)	建築生産	4年		2単位
⑨建築法規 (1単位以上)	⑨建築法規 (1単位以上)	建築行政	4年		2単位
⑩その他（適宜）	⑩その他（適宜）	システムデザイン工学実験第1	3年	○	2単位
		グラフィック表現論	3年		2単位
		空間デザイン海外研修	3年		1単位
		建築・都市の社会・経済	4年		2単位
		都市インフラストラクチャシステム	4年		2単位
		都市工学	3年4年		2単位
		建築論	3年4年		2単位
		設計・計画の最適化数理	3年		2単位
		社会・経済・文化と工学	3年		2単位
		都市・建築レジリエンス概論※3	3年		2単位
		都市・建築のレジリエンス※4	3年		2単位
		アーバンルーラルリデザイン※5	1～4年		2単位
				設置総単位数	76単位

※1 2017年度より単位数変更のため廃止

※2 空間設計製図I(4単位)を取得済みの学生は、空間設計製図I(2単位)と図学(2単位)を履修する事はできません。

※3 2014～2016年度入学者対象科目

※4 2017年度以降入学者対象科目

2014～2016年度入学者で本科目を履修した場合、都市・建築レジリエンス概論に読み替える

※5 SFC設置科目

表2 国土交通省令で定める建築に関する実務

① 建築物の設計に関する実務
② 建築物の工事監理に関する実務
③ 建築工事の指導監督に関する実務
④ 建築物に関する調査又は評価に関する実務
⑤ 建築工事の施工上の技術管理に関する実務
⑥ 建築・住宅・都市計画行政に関する実務
⑦ 建築教育・研究・開発及びそのほかの実務 <ul style="list-style-type: none"> ・大学院の課程（建築に関するものに限る。）において、建築物の設計又は工事監理にかかる実践的な能力を培うこと目的として建築士事務所等で行う実務実習（インターンシップ）及びインターンシップに関連して必要となる科目の所定の単位数（30単位以上又は15単位以上）を修得した場合に実務の経験とみなされる2年又は1年の実務 ・建築物に係る研究（ただし査読を経て学会誌に掲載等されるなど、第三者による一定の審査を経て公表等されるものに限る。）、など

表3 指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数

指定科目の分類	一級建築士試験			二級・木造建築士試験					
①建築設計製図	7単位以上			5単位以上					
②建築計画	7単位以上			7単位以上					
③建築環境工学	2単位以上								
④建築設備	2単位以上			6単位以上					
⑤構造力学	4単位以上								
⑥建築一般構造	3単位以上								
⑦建築材料	2単位以上								
⑧建築生産	2単位以上			1単位以上					
⑨建築法規	1単位以上			1単位以上					
①～⑨の計（a）	30単位以上			20単位以上					
⑩その他（b）	適宜			適宜					
(a) + (b)	60単位以上	50～59単位	40～49単位	40単位以上	30～39単位	20～29単位			
必要な実務経験年数	2年	3年	4年	0年	1年	2年			

国際センター短期海外研修プログラムについて

全学部・研究科在籍生を対象に、夏季・春季休校期間中に開催されます。講義やディスカッションのほか大学内の寮生活をはじめとする多彩な諸活動を通して様々な異文化交流を体験することで国際性豊かな学生を育成することを目的としており、短期間で集中して国外学習を経験できる貴重な機会になっています。現地への出発前には事前研修を実施します。開催プログラムや実施形態等については、変更がある可能性があります。最新の情報は、国際センターのWebサイトをご確認ください。

〔問い合わせ先〕学生部国際交流支援グループ（三田キャンパス） URL : <https://www.ic.keio.ac.jp/>

「海外への留学」の「学内機関主催の短期プログラム」 詳細や変更は、随時ホームページ等で発表します。

〔募集時期予定〕

夏季講座：4月上旬頃

春季講座：10月上旬頃

① ノートルダム大学夏季講座（米国）

テーマ：日米ビジネス、現代米国の政治・経済・社会・文化

学部生へのビジネス教育と共にスポーツが盛んな大学としても有名なノートルダム大学で学びます。日米ビジネス、そして米国の政治・社会に重点を置いた講義と関連機関への郊外学習、シカゴへのフィールドトリップを通じて専門科目の知識および英語力の向上を目指します。

〔現地研修〕8月下旬～（2週間）

〔単位数〕2単位 ※本講座の科目の取得単位は、理工学部では自主選択科目として取り扱われます。

〔募集人数〕10名～16名（学部生のみ対象）

② ウィリアム・アンド・メアリー大学夏季講座（米国）

テーマ：米国の歴史・社会、日米比較

全米でハーバード大学に次ぐ歴史を誇り、独立宣言の起草者トマス・ジェファーソンら3名の大統領を輩出した東部の名門大学で、日米比較を通じ米国文化について幅広く学びます。グループワークやワシントンDCへのフィールドトリップ、数多くの現地学生との交流機会もあります。

〔現地研修〕8月上旬～（2週間）

〔単位数〕4単位 ※本講座の科目の取得単位は、理工学部では自主選択科目として取り扱われます。

〔募集人数〕25名

③ ケンブリッジ大学ダウニング・コレッジ夏季講座（英国）

テーマ：科学、国際関係論国際ビジネス（いずれか1つ／今後変更の可能性あり）

前半2週間は英語の集中研修、後半2週間は複数の系列の中からテーマを1つ選択して受講します。自分の専攻分野を超えて、知識の幅を広げることも可能です。ケンブリッジ大学の学生がTA（Teaching Assistant）として同じ寮に宿泊しながら講座をサポートします。

〔現地研修〕8月上旬～（4週間）

〔単位数〕4単位 ※本講座の科目の取得単位は、理工学部では自主選択科目として取り扱われます。

〔募集人数〕45名～60名

④ オックスフォード大学リンカーン・コレッジ夏季講座（英国）

テーマ：英国の歴史・政治・文化、シェークスピア演劇

800年もの伝統を持つオックスフォード大学で、20名という少人数で集中的に学ぶことができます。午前はディベートや関連トピックの講義、午後はプロの演劇ディレクターが指導する演劇のワークショップが行われます。プログラム最終日にはシェークスピア演劇を通して上演します。

〔現地研修〕8月下旬～（2週間）

〔単位数〕4単位 ※本講座の科目の取得単位は、理工学部では自主選択科目として取り扱われます。

〔募集人数〕20名

⑤ パリ政治学院春季講座（フランス）

テーマ：EU の政治・経済・社会・文化（使用言語：英語）

パリ中心部にある名門パリ政治学院で、EU の政治・経済・社会・文化および EU と諸外国との国際関係について学びます。授業は英語で行われますが、フランス語を学ぶ機会もあります。EU 関連機関の見学などのフィールドワークも組み込まれています。

〔現地研修〕 2 月下旬～（4 週間）

〔単位数〕 4 単位 ※本講座の科目の取得単位は、理工学部では自主選択科目として取り扱われます。ただし、次年度春学期設置科目として認定の為、参加時に最終学年の場合は単位は付与されません。

〔募集人数〕 10名～20名

⑥ シドニー大学春季講座（オーストラリア）

テーマ：グローバルビジネスマネジメント、異文化理解

オーストラリアで最も歴史のある名門シドニー大学で、主にグローバルビジネスマネジメントと異文化コミュニケーションを学びます。英語研修や豪文化を体感できるアクティビティ、さらに現地家庭でのホームステイなど、多角的にオーストラリア文化を体感できます。

〔現地研修〕 2 月下旬～（3 週間）

〔単位数〕 2 単位 ※本講座の科目の取得単位は、理工学部では自主選択科目として取り扱われます。ただし、次年度春学期設置科目として認定の為、参加時に最終学年の場合は単位は付与されません。

〔募集人数〕 20名

⑦ タツツ大学春季講座（米国）

テーマ：米国における対東アジア外交政策

世界的に有名なタツツ大学で、フレッチャースクールの講師等から米国の対東アジア外交政策について学べます。大きな転換期を迎えた米国を体感しながら、国際関係学の最高峰で学べるチャンスです。講義をより深く理解する助けとなるよう、講義内容に沿ったワークショップも受けられます。

〔現地研修〕 2 月下旬～（2 週間）

〔単位数〕 4 単位 ※本講座の科目の取得単位は、理工学部では自主選択科目として取り扱われます。ただし、次年度春学期設置科目として認定の為、参加時に最終学年の場合は単位は付与されません。

〔募集人数〕 10名～15名

⑧ シンガポールマネジメント大学春季講座（シンガポール）

テーマ：ソーシャル・イノベーション

アジア経済のハブであるシンガポールに滞在し、社会が抱える問題をどのように解決するか、その手法や社会的企業のモデルを学びます。シンガポールで理論を学んだ後、フィールドスタディのためアジアの第3国（2019年度はマレーシア）に数日間滞在し、再びシンガポールに戻ってまとめのグループプレゼンテーションを行います。

〔現地研修〕 2 月下旬～（3 週間）

〔単位数〕 4 単位 ※本講座の科目の取得単位は、理工学部では自主選択科目として取り扱われます。ただし、次年度春学期設置科目として認定の為、参加時に最終学年の場合は単位は付与されません。

〔募集人数〕 10名～15名

※諸情勢により、中止あるいは実施形態や期間が変わる可能性があります。

グローバルリサーチインスティテュート (KGRI) 設置講座

グローバルリサーチインスティテュート (KGRI) は、本学の関連する教育研究分野と密接に連携しながら、「長寿」「安全」「創造」の3つのクラスターにおいて文理融合研究や領域横断研究を推進しています。

このような研究活動を背景として、KGRI 所属の教員および各分野から招聘した専門家を講師として、最先端の課題を取り上げた講座を開設します。

1. 設置科目

【秋学期】リーダーシップ基礎（2単位）

【春学期】サイバー文明：レボリューションとエボリューション（2単位）

【秋学期】サイバー文明：レボリューションとエボリューション（2単位）

【春学期】プラットフォーム経済と持続可能社会1（2単位）

【秋学期】プラットフォーム経済と持続可能社会2（2単位）

【春学期】MUFG 寄附講座 持続可能社会に向けた「信頼」の再創造—「2040年」を超えて1（2単位）

【秋学期】MUFG 寄附講座 持続可能社会に向けた「信頼」の再創造—「2040年」を超えて2（2単位）

※各科目的講義要綱は次の URL から確認してください。<https://gslbs.adst.keio.ac.jp/login.html>

2. 履修上の取り扱いについて

慶應義塾大学の各学部、研究科の学生が対象です。

履修の扱いについては各学部、研究科の履修案内で確認のうえ、履修申告をする必要があります。

【『リーダーシップ基礎』の履修にあたって】

本講座は、リーダーシップに関する指導をアクティブラーニング形式で行います。そのため、原則として毎回の出席が求められます。

2023年度は、秋学期に日吉で開講します。講座の詳細については、下記から動画を視聴してください。なお、都合により各セッションの順番が入れ替わることもあります。

⟨<https://www.kgri.keio.ac.jp/endowed-courses/index.html>⟩

【『サイバー文明：レボリューションとエボリューション』の履修にあたって】

講座への参加に基づいて評価を行うため、毎回の出席を必要とする。概要説明は第1回の講義で行う。ゲスト講師の都合により、予定している講義の順番が入れ替わることもある。基本的にオンライン授業だが、三田に教室を配置する予定。

【『プラットフォーム経済と持続可能社会1・2』の履修にあたって】

講座への参加に基づいて評価を行うため、毎回の出席を必須とする（教室とオンラインの併用とする予定）。詳細について、説明はガイダンスにて行う。ゲスト講師の都合により、予定している講義の順番が入れ替わることもある。また、状況によってオンラインでの実施になることもある。

【『MUFG 寄附講座 持続可能社会に向けた「信頼」の再創造—「2040年」を超えて1・2』の履修にあたって】

講座への参加に基づいて評価を行うため、毎回の出席を必要とする（基本的に、Zoomを利用したリアルタイムのオンライン授業とする予定）。詳細はガイダンスにて説明する。

ゲスト講師の都合により、予定している講義の順番が入れ替わることもある。

3. ガイダンス

【秋学期】リーダーシップ基礎

4月1日より、下記からオンデマンドにてガイダンスを行います。

⟨<https://www.kgri.keio.ac.jp/endowed-courses/index.html>⟩

【春学期】【秋学期】サイバー文明：レボリューションとエボリューション

2023年度のガイダンスは実施いたしません。概要説明は第1回の講義で行います。

【春学期】【秋学期】プラットフォーム経済と持続可能社会1・2

4月4日（火）18:10～ 概要説明 オンライン（リアルタイムもしくはオンデマンド）※Zoom予定。

<https://www.kgri.keio.ac.jp/endowed-courses/index.html>

【春学期】【秋学期】MUFG 寄附講座 持続可能社会に向けた「信頼」の再創造—「2040年」を超えて1・2

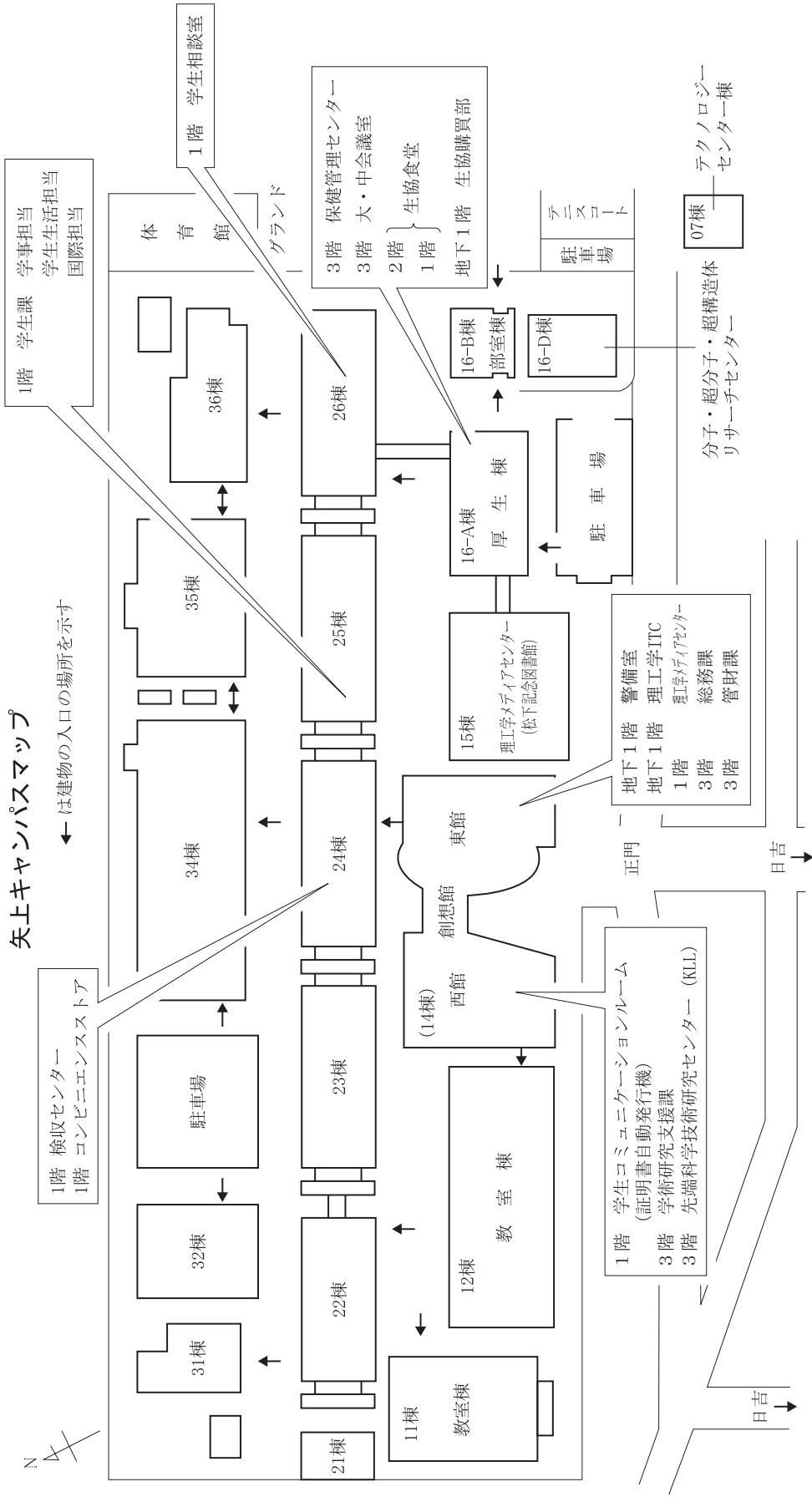
4月4日（火）13:00～ 概要説明 オンライン（リアルタイムまたはオンデマンド）※Zoom予定。

<https://www.kgri.keio.ac.jp/endowed-courses/index.html>

塾生、保護者・保証人の方々にかかる個人情報の取扱い

1. 義塾が取り扱う学生等（卒業後を含みます。）の個人情報の具体的な内容は、次のとおりです。
 - ① 塾生ないし塾員本人の氏名・住所・電話番号・生年月日・出身校等
 - ② 保護者・保証人の氏名・住所・電話番号（自宅および緊急連絡先）・塾生ないし塾員本人との続柄等
 - ③ 塾生ないし塾員の学籍・成績・健康診断・在学中のその他の活動履歴情報、寄付金・慶應カードの申し込みデータなど
2. 個人情報を取り扱うに当たっては、あらかじめ利用目的を特定し、明示いたします。特定した利用目的以外には利用しません。また、利用目的を変更する場合は、本人に通知するか、義塾のホームページへの掲載、所定掲示板への掲示等により公表いたします。
3. 個人情報は、以下の諸業務を遂行するために利用します。
 - ① 入学手続および学事に関する事務の処理、連絡および手続
 - ② 学生生活全般に関する事務の処理、連絡および手続
 - ③ 大学内の施設・設備利用に関する事務の処理、連絡および手続
 - ④ 寄付金・維持会・慶應カードの募集および評議員選挙等に関する書類ならびに義塾が発行する刊行物の発送
 - ⑤ 塾生ないし塾員本人および保護者・保証人に送付する各種書類の発送および諸連絡
 - ⑥ 上記①から⑤までに付随する事項
4. 上記3の業務のうち、一部の業務を慶應義塾から当該業務の委託を受けた受託業者において行います。業務委託に当たり、受託業者に対して委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、個人情報を提供することができます。
5. 三田会または同窓会から要請があったときは、当該三田会または同窓会に所属する者の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲で提供することができます。
6. 慶應義塾は、上記3～5の利用目的の他には、特にお断りする場合を除いて個人情報を利用もしくは第三者への提供をいたしません。ただし、法律上開示すべき業務を負う場合や、塾生ないし塾員本人または第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を保護するために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に第三者に個人情報を提供することができます。
7. 慶應義塾の個人情報保護に関する規程は、以下のURLでご覧頂くことができます。
URL (<https://www.keio.ac.jp/ja/privacy-policy/>)

矢上キャンパスマップ



教室棟		
11棟	12棟	創想館(14棟)
11-41 (2階)	12-202A~211 (2階) 12-101~110 (1階)	<西館> 14-201~204 (2階) <東館>
11-31 (1階)		
11-21~24 (地下1階)		
11-11~16 (地下2階)		

学科事務室
機械工学科事務室 24棟216B号室
電気情報工学科事務室 25棟404号室
応用化学科事務室 24棟502号室
物理情報工学科事務室 25棟502号室
管理工学科事務室 25棟602号室

数理科学科事務室 14棟506号室
物理学科事務室 22棟110号室
化学科事務室 22棟412B号室
システムデザイン工学科事務室 26棟402B号室
情報工学科事務室 26棟104号室
生命情報学科事務室 14棟420D号室

慶應義塾大学理工学部

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

(045) 563-1141 (代表) (045) 566-1463 (学生課学事担当)

慶應義塾Webサイト <https://www.keio.ac.jp/ja/>

理工学部・理工学研究科Webサイト <https://www.st.keio.ac.jp/>

理工学部	学科	学年
学籍番号		
氏名		

2023 年 9 月入学， 2024 年 4 月入学

慶應義塾大学大学院

理工学研究科

前期博士課程(修士課程)

入学試験要項

Keio University



個人情報の取扱いについて

慶應義塾では個人情報の取扱いに際して「慶應義塾個人情報保護基本方針」および「慶應義塾個人情報保護規程」を遵守し、適正かつ安全に管理します。

出願および入学手続、ならびに入学後にお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、慶應義塾各部門において、①入学試験実施(出願処理、試験実施、合格発表)、②入学手続、③学事(学生が関与する学術研究活動を含みます。)に関する管理、連絡および手続、④学生生活全般に関する管理、連絡および手續、⑤大学内の施設・設備利用に関する管理、連絡および手續、⑥寄付金、学校債、維持会および慶應カードの募集等に関する連絡、⑦本人および保証人宛に送付する各種書類の発送その他の連絡、⑧三田会(同窓会)に関する書類送付とこれらに付随する事項を行うために利用します。また、個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータは、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。

上記の業務は、その一部を慶應義塾より当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」といいます。)において行います。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

また、慶應義塾では三田会(同窓会)活動を支援する一環として、卒業後も三田会(同窓会)から要請があった場合は、所定の手続および審査の上で必要な範囲内において個人情報を提供することがあります。

その他、法律上開示すべき義務を負う場合や、学生本人または第三者の生命／身体／財産を保護するために必要であって本人の同意を得ることが困難な場合など、法令上の例外事由に該当する場合には、第三者に個人情報を開示することがあります。

慶應義塾は、以上の場合を除いて、同意なく、個人情報を第三者に開示いたしません。

各手続にお進みいただいた場合には、以上の点にご同意いただいたものと取り扱わせていただきます。予めご了承ください。

大規模自然災害(激甚災害)被災地の受験生に対する特別措置について

慶應義塾大学では、大規模自然災害(激甚災害)による被害が生じた場合、被害を受けた受験生の方々に対し、経済的な面で支援を図るため、被災の状況を考慮して、それに応じた特別な措置を講じることができます。その際の手続の詳細および申請書等は、慶應義塾大学ウェブサイト入学案内ページの新着・学部入試関連情報に掲載しますので、ご覧のうえ手続をお取りください。

アドレス: <https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/exemption/>

※大学院入試における特別措置についても、慶應義塾大学ウェブサイト入学案内ページの新着・学部入試関連情報に掲載します。

お電話での問い合わせ先: 03-5427-1566 (入学センター直通)

安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和および安全の維持を妨げることが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理(国外への貨物・技術の持ち出し・送付等、および国内での外国人等(外国人研究者・留学生等)への技術提供について、経済産業大臣の事前許可が必要かどうかの事前確認を含む)を行っています。それにより、<希望する教育が受けられない場合や研究ができない>場合があります。

※安全保障貿易管理の詳細については、以下の経済産業省のウェブサイトを参照してください。

《経済産業省ウェブサイト》<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

理工学研究科前期博士課程(修士課程)入学試験要項

一 目 次

ページ	ページ		
受験生の皆さんへ.....	4	合格発表について.....	18
入試制度について.....	4	合格証明書について.....	18
設置されている専攻と募集人員.....	4	入学手続き案内時期について.....	18
問い合わせ先.....	4		
6月入学試験・8月入学試験の流れ図.....	5		
6月入学試験			
出願資格.....	6	出願資格.....	19
出願期間, 試験日, 合格発表等の日程.....	6	出願期間, 試験日, 合格発表等の日程.....	19
入学試験要項と所定用紙等について.....	7	出願資格認定申請について.....	20
出願資格認定申請について.....	7	出願について.....	20
Webエントリーについて.....	7	提出書類について.....	20
指導教員の選択について.....	7	提出書類の宛先および郵送方法.....	21
出願について.....	8	考查料の支払いについて.....	21
提出書類について.....	8	選考方法・口述試問について.....	21
提出書類の宛先および郵送方法.....	9	合格発表について.....	21
考查料の支払いについて.....	9	合格証明書について.....	21
支払い方法の選択と入金.....	9	入学手続き案内時期について.....	21
受験票のPDF保管および印刷について.....	11		
書類審査について.....	11		
口述試問について.....	11		
合格発表について.....	11		
合格証明書について.....	11		
入学手続き案内時期について.....	11		
8月入学試験			
出願資格.....	12	試験当日について.....	22
出願期間, 試験日, 合格発表等の日程.....	12	公共交通機関(バス, タクシーを除く)の 乱れ・遅れによる遅刻の扱い.....	22
入学試験要項と所定用紙等について.....	13	事件・事故にあったとき, 気分が悪くなったとき 受験上の注意.....	22
出願資格認定申請について.....	13	学校保健安全法で出席の停止が定められて いる感染症に関する注意事項.....	23
Webエントリーについて.....	13	入学手続きについて.....	23
指導教員の選択について.....	13	手続期間・方法.....	23
出願について.....	14	入学手続きに必要な書類等.....	23
提出書類について.....	14	入学辞退・授業料の返還.....	24
提出書類の宛先および郵送方法.....	15	奨学金制度.....	24
考查料の支払いについて(新規出願者のみ).....	15	寄付金, 学校債について.....	24
受験票のPDF保管および印刷について.....	16	過年度の入学試験結果.....	24
試験科目.....	16	関連ウェブサイト.....	24
記述試問について.....	17		
英語スコアシートの提出について.....	17		
口述試問について.....	17		
矢上キャンパス案内図			

受験生の皆さんへ

時代が急速に変わりつつある中、科学技術の面から社会の未来を担う専門家の育成を目的として、慶應義塾大学大学院理工学研究科では、「基礎理工学専攻」、「総合デザイン工学専攻」および「開放環境科学専攻」の3専攻を設置し、つぎのアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）を掲げています。

理工学研究科アドミッション・ポリシー

21世紀のボーダレス時代に活躍できる創造的な科学者・技術者、社会のさまざまな分野の指導者になるべく、自らの頭で考えて行動する人材を広く受け入れます。ものづくりの基本となる数学、物理、化学などの理数系科目に特に興味があり、それらの科目の基礎学力を持っているとともに国際的舞台で活躍するためのコミュニケーション能力の習得に興味がある学生を求めます。特に次のような学生の入学を期待します。

- ① 科学及び技術に強い関心を持つ人
- ② 物事をじっくり考え、興味深い現象の発見や問題解決に意欲を持つ人
- ③ 新しいことへの興味を持つものづくりに挑戦したい人

大学学部で学んだ基盤を持ちながら、柔軟な教育研究環境のなかで専門分野を横断するトランスディシプリンアリな教育を行う組織において、学生一人ひとりが自ら問題を解決することを学んで頂きたいと思います。本研究科では、学生が自主的に学び、自らの進むべき道を自らの手により開いていくことを奨励し、それを支援していくシステムを作っています。

また、前期博士課程(修士課程)のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を明確にし、学生自身が、修了に値する学業業績を自ら判断できるようにしています。これにより、学生諸君の能力や努力により、早期に修了できることも私たちが期待しているところです。ディプロマ・ポリシーについてはこちらのホームページ <https://www.st.keio.ac.jp/about/policy.html> をご覧ください。

詳しい情報は、理工学研究科を紹介したハンドブック『Emerging 2024』(4月中旬に更新予定)
<https://www.st.keio.ac.jp/about/emerging.html> に記載されておりますので、これを熟読され、本研究科の趣旨としきみをご理解のうえ、ご自身の希望にあった専攻にご出願ください。多くの方々の出願をお待ちしています。

入試制度について

修士課程の入学試験には、**6月入学試験・8月入学試験と飛び級入学試験**があります。飛び級入学試験は他大学を含む大学3年生に限定されますが、6月入学試験・8月入学試験は、本大学在学生と卒業生だけでなく、外国の大学を含めた他大学の在学生と卒業生にも門戸が開かれています。また、それ以外の方でも出願資格が認定されれば受験することができます。さらに、**日本以外の大学を卒業した方には留学生入学試験**もあります。

留学生入学試験制度の詳細については、理工学研究科ウェブサイト <https://www.st.keio.ac.jp/en/admissions/index.html> を参照してください。

6月入学試験・8月入学試験を受験する方は、次ページの流れ図を参照して、まずは全体的なスケジュールを把握してください。ご自身に関する詳細は該当する部分を必ず熟読し、出願手続を行ってください。

設置されている専攻と募集人員

前期博士課程(修士課程)	
専 攻	募 集 人 員
基 础 理 工 学 専 攻	2 0 0 名
総 合 デ ザ イ ン 工 学 専 攻	2 0 0 名
開 放 環 境 科 学 専 攻	2 0 0 名

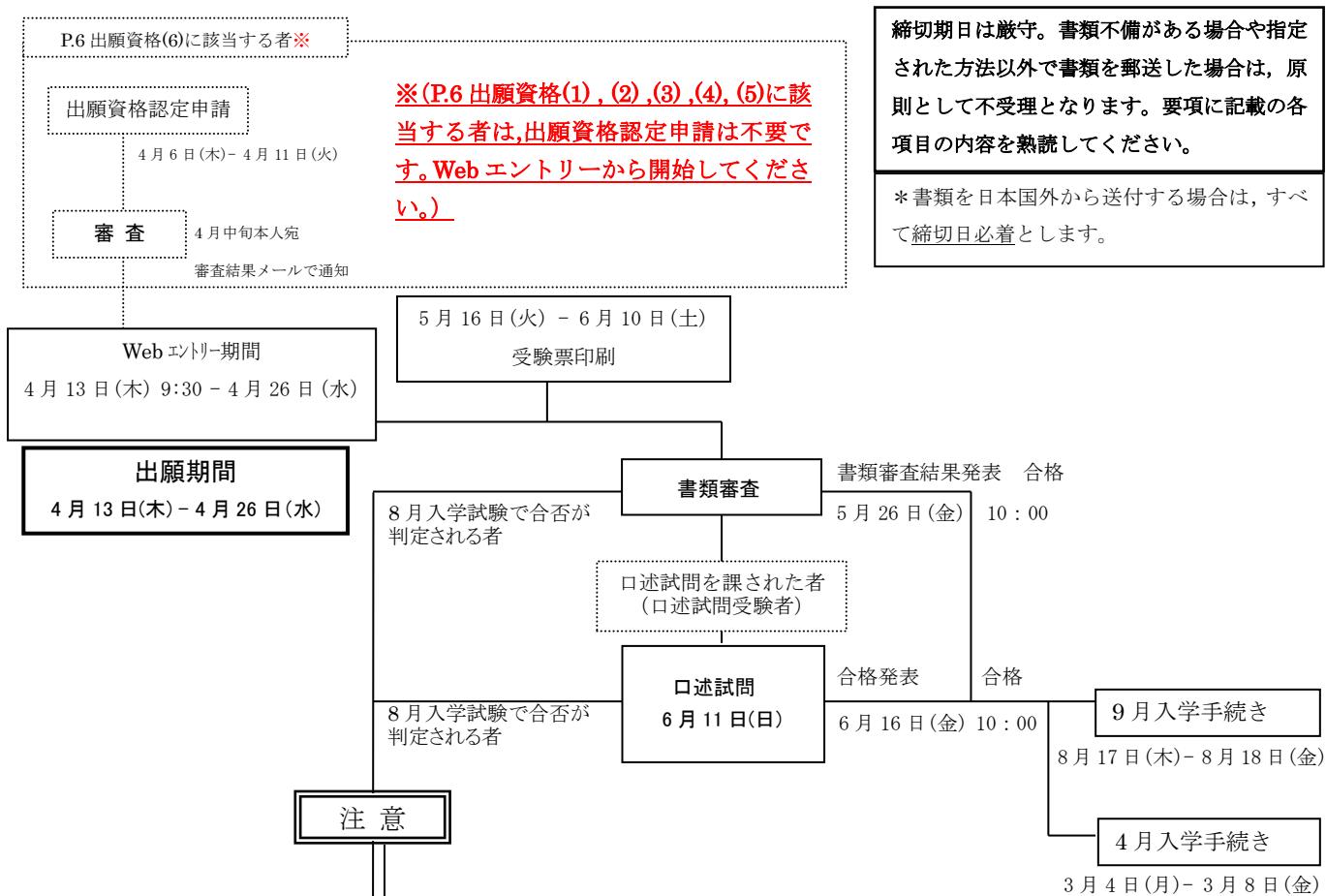
問い合わせ先

慶應義塾大学大学院理工学研究科では前期博士課程(修士課程)、後期博士課程とも様々な形態の入学試験、入学の機会を1年に複数回用意しています。それらを統括し、受験生の皆さんへの窓口になっているのがAdmissions Office(AOと略す)です。この要項をご覧になってわからないことがありましたら、遠慮なくAOにお問い合わせください。

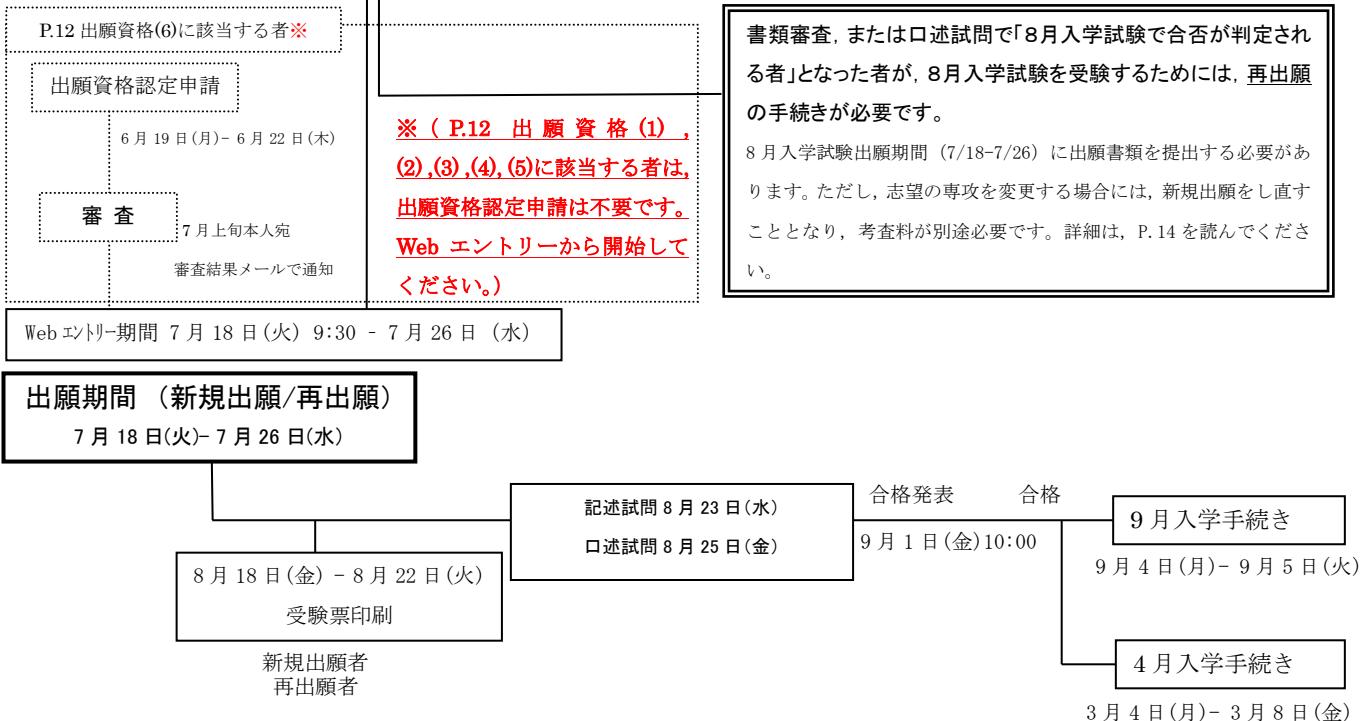
(理工学部学生課学事担当内 理工学研究科AO Tel: 045-566-1800, E-mail: ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp)

6月入学試験・8月入学試験の流れ図

6月入学試験



8月入学試験



6月入学試験は書類審査と口述試問で選考する試験です。慶應義塾大学大学院理工学研究科で学ぶことを強く希望する方々に早期に進路を決めていただいて、卒業研究等に安心して励んでいただきたいと考えて2000年度から取り入れた試験です。その趣旨を十分理解して受験していただきたいと思います。6月入学試験では、3つの専攻がそれぞれの教育理念にしたがって、志願者を、書類審査のみで入学が許可される者、書類審査に加え口述試問により勉学意欲と基礎ならびに専門分野の学力の審査を受け入学を許可される者、8月入学試験を改めて受験する必要がある者(再出願手続きが必要)に選別し、きめ細かに志願者の審査を行います。なお、6月入学試験合格者のうち既に大学を卒業している方、または9月卒業見込みの方は、9月に入学することも可能です。

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

ただし、2023年9月入学希望者は下記(1)～(3)と一つ目の※印において、2024年3月を2023年9月と読み替えるものとします。

- (1) 大学を卒業した者及び2024年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2024年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2024年3月までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- (5) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および授与される見込みの者
- (6) その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学大学院理工学研究科が認めた者で、入学時に22歳に達する者

※ 上記(4)に該当する者とは、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び2024年3月までに卒業見込みの者を指します。

※ 出願資格(6)については、出願手続きを行う前に出願資格の審査が必要ですので、AOに書類を提出してください。(P.7「出願資格認定申請について」参照)

出願期間、試験日、合格発表等の日程

入 学 試 験 要 項 所定用紙等の取得	https://www.st.keio.ac.jp/admissions/rikou-m.html のURLにて4月初旬より取得できます。	P.7「入学試験要項と所定用紙等について」参照。
出 願 資 格 認 定 申 請 期 間	出願資格(6)の認定申請書類は、メールに添付しAOへ提出してください。 2023年 4月6日(木)～4月11日(火) <書類提出先> ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp	P.7「出願資格認定申請について」参照
出 願 資 格 審 査 結 果 通 知	出願資格審査結果は、4月中旬頃に本人にメールで通知します。	
W e b エ ン ト リ ー	2023年 4月13日(木)9時30分～4月26日(水) ※ Webエントリーでは一部の出願書類の情報の入力・出力を行います。出力した書類を、他の出願書類と合わせて出願期間に郵送することで出願が完了します。出願期間に間に合うよう、余裕をもって登録してください。 <Webエントリーシステム> https://web-entry.st.keio.ac.jp/master/	P.7「Webエントリーについて」参照
考 察 料 支 払 い	2023年 4月13日(木)～4月26日(水) 金融機関・コンビニエンスストアの取扱時間にご注意ください。	P.9～10「考査料の支払いについて」参照
出 願 期 間	2023年 4月13日(木)～4月26日(水) 証明書類郵送受付 [締切日消印有効]*	P.8「出願について」参照
受 験 票 印 刷	2023年 5月16日(火)～6月10日(土) Webエントリーから印刷を行ってください。 ※書類審査結果発表準備のため5月23日(火)～5月26日(金)10時まではログインできません。	P.11「受験票のPDF保管および印刷について」参照
書 類 審 査		P.11「書類審査について」参照
書 類 審 査 結 果 発 表 期 間	2023年 5月26日(金)10時00分～6月11日(日)	P.11「合格発表について」参照
口 述 試 問 日	2023年 6月11日(日)	P.11「口述試問について」参照 P.22「試験当日について」参照
合 格 発 表 期 間	2023年 6月16日(金)10時00分～7月7日(金)	P.11「合格発表について」参照
2023年9月入学者の 入 学 手 続 き 期 間	2023年 8月17日(木)～8月18日(金) 郵送受付 [締切日消印有効]* ※ 6月入学試験合格者が9月入学する場合の手続きはこの期間に限られます。	P.23「入学手続きについて」参照
2024年4月入学者の 入 学 手 続 き 期 間	2024年 3月4日(月)～3月8日(金) 郵送受付 [締切日消印有効]*	P.23「入学手続きについて」参照

* 書類を日本国外から郵送する場合は、すべて締切日必着とします。

入学試験要項と所定用紙等について

<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/rikou-m.html>より取得できる要項および用紙等は以下のとおりです。

- 2023年9月入学、2024年4月入学理工学研究科入学試験要項
- 所定用紙

出願資格認定申請書

出願資格認定申請用履歴書

提出書類チェックリスト

考查料振込依頼書

単位修得証明書

出願書類宛先 (出願時、封筒に貼付する用紙)

- Webエントリーフォーム入力方法について(6月・8月入学試験共通)

(<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/files/web-entry-note-m2023.pdf> からも取得できます。)

以下の案内は次のURLで取得してください。

- 8月入学試験用 「出願書類として有効な慶應義塾大学内で実施された試験について」

<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/files/2023m8-e2.pdf>

出願資格認定申請について

P.6出願資格(6)については、出願手続きを行う前に出願資格の審査が必要ですので、AOに次の書類を提出してください。出願資格審査には考查料は必要ありません。

●出願資格認定申請受付期間

2023年4月6日(木)～4月11日(火)

●提出書類

- ① 出願資格認定申請書 (所定用紙※)
- ② 出願資格認定申請用履歴書 (所定用紙※ 学歴は中学卒業から記入してください。)
- ③ 最終学歴を証明する書類 (卒業証明書など)
- ④ 出願資格認定申請理由書 (書式は自由。研究歴、業績等がある場合にはそれも含めて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると考える理由を記述してください。なお、業績に関する参考資料があれば添付してください。)

※ ①②の所定用紙は、Webからダウンロードしてください。

※ 審査結果は2週間を目処にE-mailで本人にお知らせします。

●提出先

必要書類(PDF)をメールに添付しご提出ください。<書類提出先> ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp

Webエントリーについて

<https://web-entry.st.keio.ac.jp/master/>にてWebエントリーを行い、提出書類(**A**入学志願票、**B**履歴書、**C**入学志願者調書)を「郵送用に印刷する」から印刷してください(**B**履歴書はカラーで印刷すること)。「Webエントリーフォーム入力方法について(6月・8月入学試験共通)」で郵送用に印刷したサンプルを確認できます。Webエントリーに登録した受付番号、E-mailアドレス、パスワードと受験番号をメモし、入学手続きまで大切に保管してください。出願後にWebエントリーに登録された住所・電話番号・E-mailアドレス等を変更した場合は、速やかにAOに連絡をしてください。登録情報を変更したことが原因で本学からの連絡が届かなかったとしても、本学は一切の責任を負いません。

指導教員の選択について

指導教員は下記URLの教員リストに掲載されている教員から選択してください。同じ教育研究分野に限り、第2希望まで選択できます。その際、希望指導教員が所属する教育研究分野を確認し、間違いのないように申告してください。(原則として、同じ教育研究分野に限り合格後の指導教員の変更を認めます。指導を希望する教員には必ず事前に入学後の研究計画や、必要とされる基礎学力および研究内容等について相談の上、**C**入学志願者調書を作成してください。事前に相談をしていない場合は、配属において著しく不利になる場合があります。)

教員リスト:<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/files/st-faculty-list2023.pdf>

教員の連絡先(電話番号、E-mail)は、<https://www.st.keio.ac.jp/tprofile/>から検索できます。

出願について**提出書類について**

以下の①～③の手段で書類を作成し、郵送してください。

提出書類	備考
①Webエントリーにて入力した後、A4用紙に印刷し、郵送する書類	
A入学志願票	査定料を金融機関で支払った場合は「振込金受付証明書(査定料)」を、コンビニエンスストアで支払った場合は「収納証明書」を所定欄に貼付してください。(P.9～10「査定料の支払いについて」参照)
B履歴書	<p>カラーで印刷してください。顔写真データのアップロード項目があります。アップロードした顔写真と本人とを照合します。</p> <p>＜顔写真の条件＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近3ヶ月以内に撮影したもので、鮮明なカラー画像であること（白黒画像は不可） ・肩から上の上半身、正面、無帽で背景や枠がないもの ・背景は、白、青またはグレーを基調とした無地であること（背景が風景やカーテンなどは不可） ・写真加工アプリ等を用いて画像に修正を施していないこと ・画像形式:JPEG (.jpg/.jpeg), GIF (.gif), PNG (.png)/ファイルサイズ:100KB以上, 5MB以下
C入学志願者調書	
②Webエントリーにて原本をスキャンしたPDFデータをアップロードし、原本を郵送する書類	
成績証明書	<p>出身大学学部の成績証明書(大学学部に在学中の場合は前年度までの成績証明書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原本で提出してください。コピーの提出は認めません。 ・複数の大学を卒業(見込)の受験者は、それぞれの成績証明書を提出してください。 ・現在他大学院に在籍中、もしくは他大学院を修了した受験者は、大学院の成績証明書もあわせて提出してください。 ・編入等で複数の大学にまたがって在籍した(している)受験者は、それぞれの成績証明書を提出してください。(ただし、2年編入学試験を経て入学した本大学理工学部在学中の者については、他学部在籍時の成績証明書は不要です) ・日本語または英語で書かれたものを提出してください。それ以外は和訳または英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを出身大学または大学院で証明を受けて添付してください。
単位修得証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本大学理工学部に現在在籍していない受験者は提出が必要です。 ・所定用紙は、Webからダウンロードしてください。 ・出身大学にて、証明を受けてください。 ・原本で提出してください。コピーの提出は認めません。
大学卒業(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本大学理工学部に現在在籍していない受験者は提出が必要です。 ・原本で提出してください。コピーの提出は認めません。 ・日本語または英語で書かれたものを提出してください。それ以外は和訳または英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを出身大学または大学院で証明を受けて添付してください。 ・中国大陸の大学を卒業・修了した者は卒業証明書に加えて「教育部学歴証書電子注冊備案表」(英文)を提出してください(中国教育部のウェブサイト<www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>へ登録し、PDFファイルで入手し、印刷すること。提出時点でWeb認証の有効期限が6ヶ月以上残っていることを確認すること)。
③用紙をWebからダウンロードし、記入したうえで郵送する書類	
提出書類チェックリスト	

※ 一度提出した書類等は、いかなる理由があつても返還および変更はできません。ただし、再発行が不可能な書類は返却します。返却を希望する場合は、出願時に返還希望理由を明記したメモおよび、簡易書留分の切手を貼付し宛名を明記した返信用封筒を同封してください(書類の返還には1～2ヶ月程度かかります)。なお、成績証明書、公証書、推薦状等再発行可能なものは返却致しません。また、出願期間終了後の申し出は一切受け付けません。

※ 身体上の都合等により、受験時に特別な配慮を必要とされる方は、その旨を書面で出願書類に同封して提出してください。書式は自由です。

※ 試験や入学にあたり、新たにビザが必要な場合は出願前に必ずAOにお問い合わせください(ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp)。

入学時期までにビザの取得が間に合わない場合があります。

提出書類の宛先および郵送方法

宛先: 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学大学院理工学研究科AO宛

「出願書類宛先」(Webからダウンロード)を角形2号(240×332 mm)の封筒に貼付し、**簡易書留・速達**で郵送してください。簡易書留・速達は、郵便局の窓口で料金を確認し、郵便局の窓口から郵送する必要があります(郵便ポストやコンビニエンスストアからは郵送できません)。また、**簡易書留・速達**の文字は、朱色である必要があります。

<日本国外から出願する場合>

配達状況の確認ができる国際宅配便(EMS, FedEx, DHL等)で送付してください。日本国外からの送付は締切日必着です。

考查料の支払いについて

修士課程入学試験 : 35,000円

※ 修士課程の6月入学試験を受験した結果8月入学試験受験者となった者が、8月入学試験を受験する場合は、考查料は必要ありません。ただし、志望の専攻を変更する場合は、新たに出願することとなり、考查料が必要となります。

※ 出願資格審査には考查料は必要ありません。

※ 納入された考查料は、次の場合を除き、返還しません。

- A. 考査料を支払ったが、本学に出願しなかった(出願書類を郵送しなかった、または、出願が受理されなかった)場合
- B. 考査料を誤って二重に支払った場合

上記 A または B に該当する場合には、出願期日より1カ月以内にAOにご連絡ください。

支払い方法の選択と入金

考查料の支払い方法は、下記のいずれかを選ぶことができます。

いずれの場合も支払いはWebエントリー開始日より可能となります。

- ・金融機関窓口(銀行、信用金庫等。ただし、ゆうちょ銀行を除く。ATMからの振込みはできません。)
- ・コンビニエンスストア(「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」「セブン-イレブン」)

・金融機関窓口で支払う場合

所定の考查料振込依頼書(Webからダウンロード)を使用して金融機関窓口で振り込んでください(ゆうちょ銀行、ATM不可)。振込金受付証明書(考查料)を**A**入学志願票の所定欄に貼付してください。

・コンビニエンスストアで支払う場合

コンビニエンスストアでの支払いの場合、支払い前にスマートフォンまたはパソコンから登録を行い、支払いに必要な番号を取得する必要があります。番号の取得から店頭での支払いまでの手続きを次のページに示しますので、手順に従って準備してください。収納証明書を**A**入学志願票の所定欄に貼付してください。

※スマートフォンまたはパソコンから事前登録する際に、整理番号の入力が求められます。Webエントリー本登録時に発行された「受付番号」(4桁)を入力してください。(Webエントリーでは、本登録後も入学時期とメールアドレスを除き、すべての内容の修正が可能です)

受付番号入力用メモ

--	--	--	--

コンビニエンスストアでの支払いについて問い合わせる場合

E-サービスサポートセンター (インテックコールセンター)	0120-977-336(24時間対応) https://e-shiharai.net/
----------------------------------	---

上記以外については、理工学研究科AOへお問い合わせください。

Tel: 045-566-1800, E-mail: ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp

慶應義塾大学 大学院 理工学研究科 コンビニエンスストアでの入学試験考查料払込方法

1 Webで事前申込み

理工学研究科ホームページ

<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/aofee.html>

「コンビニエンスストアで支払う場合」の「事前登録はこちら」のリンクをクリック

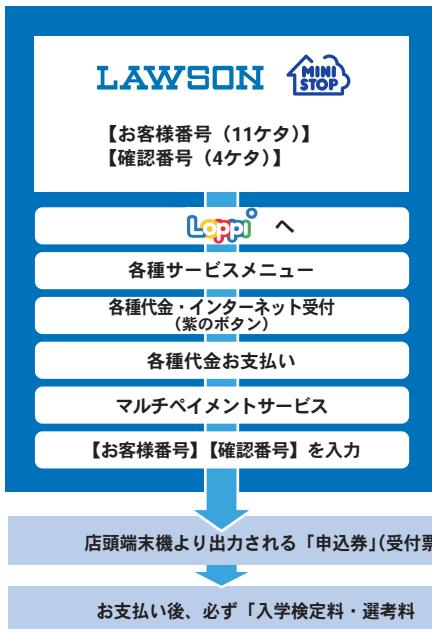
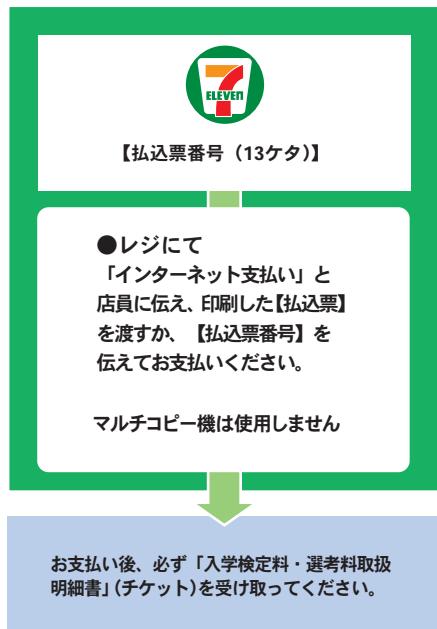
お支払時にはWebエントリーの受付番号が必要です。

画面の指示に従って必要情報を入力し、番号を取得 (番号はコンビニによって異なります)

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して新たな番号を取得してお支払ください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

2 コンビニでお支払い

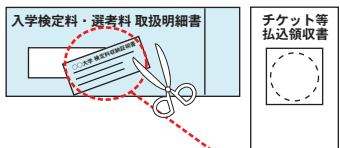
- 入学試験考查料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払ください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。



3 出願

「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、「A 入学志願票」の所定欄に貼り出願。

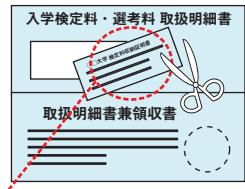
- セブン-イレブン ●ファミリーマート
「入学検定料・選考料取扱明細書」
の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込領収書」は保管。



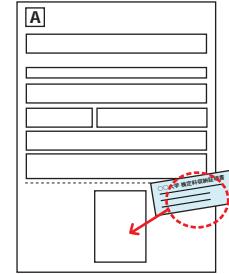
「A 入学志願票」に貼付する「収納証明書」部分

※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感压紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

- ローソン ●ミニストップ
「入学検定料・選考料取扱明細書」
の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



切り取った「収納証明書」を
「A 入学志願票」の所定の欄に貼付。



■注意事項

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払ください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。
- 一度お支払いされた入学試験考查料は、店頭では返金できません。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

- 入学試験考查料の他に事務手数料が別途かかります。
(全コンビニ共通) ※事務手数料は変更になる場合があります。



考査料が5万円未満	500円(消費税込)
考査料が5万円以上	720円(消費税込)

「入学試験考查料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭
ではお答えできません。詳しくはWebサイトでご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

受験票のPDF保管および印刷について

出願手続き完了後、所定の日よりWebエントリーページから受験票の印刷が可能です。受験票は入学手続き時まで必要ですので、PDFで保管してください。また、口述試問実施日においてはA4サイズの紙に印刷した受験票を持参する必要があります。

書類審査について

提出された書類により審査を行います。書類審査のみで入学が許可される者、書類審査に加え口述試問により勉学意欲と基礎ならびに専門分野の学力の審査を受ける者、8月入学試験を改めて受験する必要がある者(再出願手続きが必要)に選別されます。書類審査合格発表では、その結果を発表します。

口述試問について (書類審査の結果、口述試問が必要と判断された者が対象)

試験日	集合時刻	口述試問	試験場
2023年 6月11日(日)	9時00分	9時30分～12時00分* 13時00分～16時00分*	矢上キャンパス 試験会場については当日誘導 掲示板にて掲示する。

*終了時刻は口述試問の進行状況により前後することがある。

口述試問当日の注意事項

- (1) 集合時刻に遅れた場合は、原則として欠席扱いとなり、受験することができない。
- (2) 受験票を持参すること。
- (3) 口述試問は、原則として日本語で行われる。板書での回答を求める場合もある。
- (4) 開放環境科学専攻空間・環境デザイン工学分野への入学を希望する志願者は、口述試問時に建築図面等を持参してもよい。
ただし、A1サイズを超えないこと。
- (5) 集合時刻以降は集合場所、待機場所および口述試問会場で携帯電話やPC等の電子機器の使用は認めない。電源をオフにしてかばんにしまうこと。

合格発表について

合格発表はWebエントリーページで行います。

合否結果または受験番号の照会には応じられません。

合格証明書について

奨学金の申請等で合格証明書が必要な方は、学生課学事担当 Tel: 045-566-1463, E-mail:kym-yagami@adst.keio.ac.jp にお問い合わせください。

入学手続き案内時期について

Webエントリー時に登録したメールアドレスに案内をお送りします。

(2023年9月入学者) 2023年7月下旬

(2024年4月入学者) 2024年2月中旬

P.23「入学手続きについて」参照

8月入学試験では基礎・専門分野の学力を確認する記述試問ならびに口述試問を行い、総合的に審査します。記述試問は、希望指導教員が所属する教育研究分野の試問を受験します。8月入学試験だけを受験することもできます。また、6月入学試験で合格とならなかった方も、再出願の手続きを行えば、新たに~~参考~~料を納めることなく受験することができます。

なお、8月入学試験合格者のうち既に大学を卒業している方、または9月卒業見込みの方は、9月に入学することも可能です。

※8月入試においてはTOEFL・TOEICいずれかの試験のスコアシートの提出が必要です。詳細はP.17を確認してください。

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

ただし、2023年9月入学希望者は下記(1)～(3)と一つ目の※印において、2024年3月を2023年9月と読み替えるものとします。

- (1) 大学を卒業した者及び2024年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2024年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2024年3月までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- (5) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および授与される見込みの者。
- (6) その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学大学院理工学研究科が認めた者で、入学時に22歳に達する者

※上記(4)に該当する者とは、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び2024年3月までに卒業見込みの者を指します。

※出願資格(6)については、出願手続きを行う前に出願資格の審査が必要ですので、AOに書類を提出してください。(P.13「出願資格認定申請について」参照)

出願期間、試験日、合格発表等の日程

6月入学試験の結果で8月入学試験受験者となった者、6月入学試験を受験していない新たな受験希望者、ともに出願できます。

6月入学試験を受験している者は新たに~~参考~~料を納める必要はありませんが、再出願を行う必要があります。

入学試験要項 所定用紙等の取得	https://www.st.keio.ac.jp/admissions/rikou-m.html のURLにて4月初旬より取得できます。	P.13「入学試験要項と所定用紙等について」参照
出願資格認定申請期間	出願資格(6)の認定申請書類は、メールに添付しAOへ提出してください。 2023年 6月19日(月)～ 6月22日(木) <書類提出先> ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp	P.13「出願資格認定申請について」参照
出願資格審査結果通知	出願資格審査結果は、7月上旬頃に本人にメールで通知します。	
Webエントリー	2023年 7月18日(火)9時30分～7月26日(水) ※ Webエントリーでは一部の出願書類の情報の入力・出力をしています。出力した書類を、他の出願書類と合わせて出願期間に郵送することで出願が完了します。出願期間に間に合うよう、余裕をもって登録してください。 再出願者は、Webエントリーの再出願の入口からエントリーを行ってください。 <Webエントリーシステム> https://web-entry.st.keio.ac.jp/master/	P.13「Webエントリーについて」参照
考査料支払い (新規出願者のみ)	2023年 7月18日(火)～7月26日(水) 金融機関・コンビニエンスストアの取扱時間にご注意ください。	P.15「考査料の支払いについて(新規出願者のみ)」参照
出願期間 (新規・再出願期間)	2023年 7月18日(火)～7月26日(水) 郵送受付 [締切日消印有効]*	P.14～15「出願について」参照
受験票印刷	2023年 8月18日(金)～8月22日(火) Webエントリーから印刷を行ってください。	P.16「受験票のPDF保管および印刷について」参照
記述試問日	2023年 8月23日(水)	P.17「記述試問について」参照 P.22「試験当日について」参照
口述試問日	2023年 8月25日(金)	P.17「口述試問について」参照 P.22「試験当日について」参照
合格発表期間	2023年 9月1日(金)10時00分～9月29日(金)	P.18「合格発表について」参照
2023年9月入学者の 入学手続き期間	2023年 9月4日(月)～9月5日(火) 郵送受付 [締切日消印有効]* ※ 8月入学試験合格者が9月入学する場合の手続きはこの期間に限られます。	P.23「入学手続きについて」参照
2024年4月入学者の 入学手続き期間	2024年 3月4日(月)～3月8日(金) 郵送受付 [締切日消印有効]*	P.23「入学手続きについて」参照

*書類を日本国外から郵送する場合は、すべて締切日必着とします。

入学試験要項と所定用紙等について

<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/rikou-m.html>より取得できる要項および用紙等は以下のとおりです。

- ・ 2023年9月入学、2024年4月入学理工学研究科入学試験要項
- ・ 所定用紙
 - 出願資格認定申請書
 - 出願資格認定申請用履歴書
 - 提出書類チェックリスト
 - 考查料振込依頼書
 - 出願書類宛先 (出願時、封筒に貼付する用紙)
- ・ Webエントリーフォーム入力方法について(6月・8月入学試験共通)
 - (<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/files/web-entry-note-m2023.pdf> からも取得できます。)

以下の案内は次のURLで取得してください。

- ・ 8月入学試験用「出願書類として有効な慶應義塾大学内で実施された試験について」
 - <https://www.st.keio.ac.jp/admissions/files/2023m8-e2.pdf>

出願資格認定申請について

P.12出願資格(6)については、出願手続きを行う前に出願資格の審査が必要ですので、AOに次の書類を提出してください。出願資格審査には考查料は必要ありません。

●出願資格認定申請受付期間

2023年6月19日(月)～6月22日(木)

●提出書類

- ① 出願資格認定申請書 (所定用紙※)
 - ② 出願資格認定申請用履歴書 (所定用紙※ 学歴は中学卒業から記入してください。)
 - ③ 最終学歴を証明する書類 (卒業証明書など)
 - ④ 出願資格認定申請理由書 (書式は自由。研究歴、業績等がある場合にはそれも含めて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると考える理由を記述してください。なお、業績に関する参考資料があれば添付してください。)
- ※ ①②の所定用紙は、Webからダウンロードしてください。
 ※ 審査結果は2週間を目処にE-mailで本人にお知らせします。

●提出先

必要書類(PDF)をメールに添付しご提出ください。<書類提出先> ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp

Webエントリーについて

<https://web-entry.st.keio.ac.jp/master/>にてWebエントリーを行い、提出書類(A入学志願票、B履歴書、C入学志願者調書、D写真カード)を「郵送用に印刷する」から印刷してください(B履歴書、D写真カードはカラーで印刷すること)。「Webエントリーフォーム入力方法について(6月・8月入学試験共通)」で郵送用に印刷したサンプルを確認できます。Webエントリーに登録した受付番号、E-mailアドレス、パスワードと受験番号をメモし、入学手続きまで大切に保管してください。出願後にWebエントリーに登録された住所・電話番号・E-mailアドレス等を変更した場合は、速やかにAOに連絡してください。登録情報を変更したことが原因で本学からの連絡が届かなかったとしても、本学は一切の責任を負いません。**再出願者は、Webエントリーの再出願の入口からエントリーを行ってください。**

指導教員の選択について

指導教員は下記URLの教員リストに掲載されている教員から選択してください。同じ教育研究分野に限り、第2希望まで選択できます。その際、希望指導教員が所属する教育研究分野を確認し、間違いのないように申告してください。(原則として、同じ教育研究分野に限り合格後の指導教員の変更を認めます。指導を希望する教員には必ず事前に入学後の研究計画や、必要とされる基礎学力および研究内容等について相談の上、C入学志願者調書を作成してください。事前に相談をしていない場合は、配属において著しく不利になる場合があります。)

教員リスト:<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/files/st-faculty-list2023.pdf>

教員の連絡先(電話番号、E-mail)は、<https://www.st.keio.ac.jp/tprofile/>から検索できます。

出願について

- ・6月入学試験を受験した結果8月入学試験受験者となった者が、8月入学試験を受験する場合は、**考查料は必要ありません。**
- ・6月入学試験を受験し合格となった者が、志望の専攻を変更して8月入学試験に新規出願し、合格と判定された場合には、6月入学試験の結果を放棄したものとみなします。6月入学試験に合格した後、8月入学試験で他専攻に出願する場合には、事前にAOに連絡してください。(P.4「問い合わせ先」参照)

提出書類について

以下の①～③の手段で書類を作成し、郵送してください。

提出書類	備考
①Webエントリーにて入力した後、A4用紙に印刷し、郵送する書類	
A入学志願票	<p>考查料を金融機関で支払った場合は「振込金受付証明書(考查料)」を、コンビニエンスストアで支払った場合は「収納証明書」を所定欄に貼付してください。(P.15「考查料の支払いについて(新規出願者のみ)」参照)</p> <p>※再出願の場合、考查料は不要です。</p>
B履歴書	<p>カラーで印刷してください。顔写真データのアップロード項目があります。アップロードした顔写真と本人とを照合します。</p> <p>＜顔写真の条件＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近3カ月以内に撮影したもので、鮮明なカラー画像であること（白黒画像は不可） ・肩から上の上半身、正面、無帽で背景や枠がないもの ・背景は、白、青またはグレーを基調とした無地であること（背景が風景やカーテンなどは不可） ・写真加工アプリ等を用いて画像に修正を施していないこと ・画像形式:JPEG (.jpg/.jpeg), GIF (.gif), PNG (.png)/ファイルサイズ:100KB以上, 5MB以下
C入学志願者調書	
P写真カード	<p>履歴書でアップロードした顔写真データが使用されます。</p> <p>カラーで印刷してください。切り取らずA4サイズのまま提出してください。</p>
②Webエントリーにて原本をスキャンしたPDFデータをアップロードし、原本を郵送する書類	
T O E F L , T O E I C い ズ れ か の 試 験 の スコアシート(オリジナル)	<ul style="list-style-type: none"> ・提出する前に、P.17「英語スコアシートの提出について」の枠内を必ず読んでください。 ・スコアシートのオリジナル1枚を提出してください。コピーの提出は認めません。スコアシートの再発行が必要な者は、実施機関に問い合わせ、出願期間までにスコアシートを取得してください。 ・提出されたスコアシートの差し替えは認めません。 ・一度提出されたスコアシートの返却・コピーや点数照会には一切応じることはできません。
成績証明書	<p>出身大学学部の成績証明書(大学学部に在学中の場合は前年度までの成績証明書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原本で提出してください。コピーの提出は認めません。 ・複数の大学を卒業(見込)の受験者は、それぞれの成績証明書を提出してください。 ・現在他大学院に在籍中、もしくは他大学院を修了した受験者は、大学院の成績証明書もあわせて提出してください。 ・編入等で複数の大学にまたがって在籍した(している)受験者は、それぞれの成績証明書を提出してください。(ただし、2年編入学試験を経て入学した本大学理工学部在学中の者については、他学部在籍時の成績証明書は不要です。) ・日本語または英語で書かれたものを提出してください。それ以外は和訳または英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを出身大学または大学院で証明を受けて添付してください。
大学卒業(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・本大学理工学部に現在在籍していない受験者は提出が必要です。 ・原本で提出してください。コピーの提出は認めません。 ・日本語または英語で書かれたものを提出してください。それ以外は和訳または英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを出身大学または大学院で証明を受けて添付してください。 ・中国大陸の大学を卒業・修了した者は卒業証明書に加えて「教育部学歴証書電子注冊備案表」(英文)を提出してください(中国教育部のウェブサイト<www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>へ登録し、PDFファイルで入手し、印刷すること。提出時点でWeb認証の有効期限が6カ月以上残っていることを確認すること)。
③用紙をWebからダウンロードし、記入したうえで郵送する書類	
提出書類チェックリスト	

- ※ 一度提出した書類等は、いかなる理由があっても返還および変更はできません。ただし、再発行が不可能な書類は返却します。返却を希望する場合は、出願時に返還希望理由を明記したメモおよび、簡易書留分の切手を貼付し宛名を明記した返信用封筒を同封してください(書類の返還には1～2ヵ月程度かかります)。なお、成績証明書、公証書、推薦状等再発行可能なものは返却致しません。また、出願期間終了後の申し出は一切受け付けません。
- ※ 身体上の都合等により、受験時に特別な配慮を必要とされる方は、その旨を書面で出願書類に同封して提出してください。書式は自由です。
- ※ 試験や入学にあたり、新たにビザが必要な場合は出願前に必ずAOにお問い合わせください(ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp)。
入学時期までにビザの取得が間に合わない場合があります。

提出書類の宛先および郵送方法

宛先: 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学大学院理工学研究科AO宛
「出願書類宛先」(Webからダウンロード)を角形2号(240×332 mm)の封筒に貼付し、**簡易書留・速達**で郵送してください。簡易書留・速達は、郵便局の窓口で料金を確認し、郵便局の窓口から郵送する必要があります(郵便ポストやコンビニエンスストアからは郵送できません)。また、**簡易書留・速達**の文字は、朱色である必要があります。

<日本国外から出願する場合>

配達状況の確認ができる国際宅配便(EMS, FedEx, DHL等)で送付してください。日本国外からの送付は締切日必着です。

考查料の支払いについて(新規出願者のみ)

修士課程入学試験 : 35,000円

※ 6月入学試験を受験した結果8月入学試験受験者となった者が、8月入学試験を受験する場合は、考查料は必要ありません。ただし、志望の専攻を変更する場合は、新規に出願することとなり、考查料が必要となります。

※ 出願資格審査には考查料は必要ありません。

※ 納入された考查料は、次の場合を除き、返還しません。

- 考查料を支払ったが、本学に出願しなかった(出願書類を郵送しなかった、または、出願が受理されなかった)場合
- 考查料を誤って二重に支払った場合

上記 A または B に該当する場合には、出願期日より1ヵ月以内にAOにご連絡ください。

支払い方法については、P.9～10「考查料の支払いについて」を参照してください。

受験票のPDF保管および印刷について

出願手続き完了後、所定の日よりWebエントリーページから受験票の印刷が可能です。受験票は入学手続き時まで必要ですので、PDFで保管してください。また、記述試問および口述試問実施日においては、紙に印刷した受験票が必要です。A4サイズの紙に印刷し、点線に沿って切り取り、試験実施日に持参してください。

試験科目

(1) 記述試問：出願時に選択した希望指導教員が所属する教育研究分野の試問を受験することになります。教員の所属分野については次のURLを参照してください。<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/files/st-faculty-list2023.pdf>

専攻	教育研究分野	出題範囲・内容等
基礎理工学専攻	A) 数理科学	微分積分、線形代数、集合と位相の基礎、代数学の基礎を中心に出題(全問解答)。
	B) 物理学	物理学の諸分野、特に力学・解析力学・電磁気学、熱力学・統計力学、量子力学から出題(全問解答)。
	C) 分子化学	物理化学、無機化学および有機化学の各分野の基礎的な内容に関して各1問出題(全問解答)。
	D) 物理情報	電気・電子回路、電磁気学・量子力学、物理情報数学に関する学力ならびに論理的思考力を調査する論述問題を出題(全問解答)。
	E) 生物化学	有機化学および生物有機化学、高分子化学、あるいは分子細胞生物学の基礎的な内容に関して出題(1分野を選択)。さらに卒業研究*の内容に関する問題を出題。
	F) 生命システム情報	分子細胞生物学、生物有機化学および生化学、生物物理化学、情報の基礎およびバイオインフォマティクスの内容全般から出題(全問解答)。
総合デザイン工学専攻	G) マルチディシパリカル・デザイン科学	機械力学と材料力学の分野から各1問ずつ出題(どちらかの分野を選択して解答)。加えて、機械工学とデザイン科学に関する小論文形式の問題も各1問ずつ出題(どちらかの分野を選択して解答)。
	H) システム統合工学	卒業研究*に関連した学術分野に関する記述問題を出題。さらに、機械力学・材料力学、熱流体工学、ダイナミカルシステム、電磁気学、電気回路の各分野に関する基礎学力を確認する問題を出題(全問解答)。
	I) 電気電子工学	電気回路、情報工学、物性工学(量子力学の基礎を含む)、数学から各1問(全問解答)。
	J) マテリアルデザイン科学	マテリアルデザイン科学に関する① 化学系分野および② 物理情報工学系分野に関する問題を出題(いずれかの分野を選択)。それぞれの分野の出題範囲は、① 物理化学、無機化学の基礎的な内容に関して各1問出題(全問解答)、② 電磁気学、物性物理の基礎的な内容に関して各1問出題(全問解答)。さらに、卒業研究*に関連した学術分野に関する問題を1問出題。
開放環境科学専攻	K) 空間・環境デザイン工学	卒業研究*および理工学研究科に入学した際に展開する研究に関する記述問題を出題。
	L) 環境エネルギー科学	機械工学分野(反応流体、薄膜工学、材料科学、ソフトマテリアル、結晶物理化学、熱・物質輸送機構、反応性ガス力学、エネルギー変換工学など)および応用化学分野(環境化学、化学工学、有機システム化学など)に関する学力ならびに論理的思考力を問う問題を出題(いずれかの分野を選択)。さらに、卒業研究*の内容ならびに関連する学術分野に関する問題を出題。
	M) 応用力学・計算力学	機械力学、材料力学、熱力学、流体力学の分野から各1問出題(全問解答)。
	N) 情報工学	情報工学全般および情報工学に関連した産業、科学技術に関する問題、および卒業研究*の内容に関する問題を出題。
	O) オープンシステムマネジメント	管理工学用数学(確率を含む)、統計・オペレーションズリサーチ、経営・経済、ソフトウェア・コンピューティング、人間工学・インダストリアルエンジニアリングの分野から各1問出題(5問から3問選択)。

*「卒業研究」は卒業研究に相当する科目(特別研究、課題研究、特別実験、卒業演習など)を含みます。

※ 上記試験問題は、すべて日本語で出題されます。

(2) 口述試問：①記述試問の範囲に関する試問、②志望する専門分野に関する試問、③適性・意欲に関する試問、など。板書での解答を求める場合がある。なお、開放環境科学専攻空間・環境デザイン工学分野への入学を希望する志願者は、口述試問時に建築図面等を持参してもよい。

記述試問について

試験日	集合時刻	記述試問	試験場
2023年 8月23日(水)	9時30分	10時00分～12時00分	矢上キャンパス 試験会場については当日誘導掲示板にて掲示する。

記述試問当日の注意事項

- (1) 集合時刻に遅れた場合は、原則として欠席扱いとなり、受験することができない。
- (2) 受験票を持参すること。
- (3) 試験問題は、すべて日本語で出題される。
- (4) 筆記用具を除き、筆箱、電卓、辞書をはじめすべて持ち込み不可。
- (5) **携帯電話やPC等の電子機器の使用は認めない。**電源をオフにしてかばんにしまうこと。時計が必要な者は、時刻表示機能のみ有する時計を持参すること。
- (6) 試験時間中の途中退出は、原則として認められない。
- (7) 記述試問を未受験の者は、口述試問を受験することができない。

英語スコアシートの提出について

- (1) 出願時に本入学試験に有効なTOEFL®TestまたはTOEIC®Listening & Reading Testのスコアシート(オリジナル)を提出のこと*1。
出願書類にスコアシート(オリジナル)の同封がない場合、出願は不受理となる。

*1 TOEFL®TestのスコアはOfficial Score Report, Test Taker Score Report (またはExaminee Score Report) いずれの提出も認める。ETSから大学へ、直接Official Score Report を提出する場合、Institution Code は “0773, Keio University-Tokyo” を指定すること。また、送付依頼したスコアに対応する Examinee Score Report のコピーを出願書類に同封のこと。Official Score Reportは出願締切日必着とする。

- (2) 本入学試験に有効なスコアシートとは、出願時より2年以内に受験した(試験日が2021年7月18日以降)、以下のいずれかの試験の公式認定スコアシート(成績証明書)を指す。

・TOEFL®Test 　・TOEIC®Listening & Reading Test

- (3) なお、団体特別受験制度によって慶應義塾内で実施された特定*2のTOEIC®L&R-IPのスコアシート(オリジナル)をもって公式認定スコアシートに代えることができる。

*2 有効となる特定の試験については以下のファイル(PDF)を確認すること。

<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/files/2023m8-e2.pdf>

※一度提出された英語スコアシートの返却・コピーや点数照会には一切応じることはできない。

※スコアの発送・再発行には日数がかかるため、余裕を持って手配すること。

口述試問について

記述試問を未受験の者は、受験することができない。

試験日	集合時刻	口述試問	試験場
2023年 8月25日(金)	9時00分	9時30分～12時00分* 13時00分～16時00分*	矢上キャンパス 試験会場については当日誘導掲示板にて掲示する。

*終了時刻は口述試問の進行状況により前後することがある。

口述試問当日の注意事項

- (1) 集合時刻に遅れた場合は、原則として欠席扱いとなり、受験することができない。
- (2) 受験票を持参すること。
- (3) 口述試問は、原則として日本語で行われる。
- (4) 集合時刻以降は集合場所、待機場所および口述試問会場で携帯電話やPC等の電子機器の使用は認めない。電源をオフにしてかばんにしまうこと。

合格発表について

合格発表はWebエントリーページで行います。

合否結果または受験番号の照会には応じられません。

合格証明書について

奨学金の申請等で合格証明書が必要な方は、学生課学事担当 Tel: 045-566-1463, E-mail:kym-yagami@adst.keio.ac.jp にお問い合わせください。

入学手続き案内時期について

Webエントリー時に登録したメールアドレスに案内をお送りします。

(2023年9月入学者) 2023年9月上旬

(2024年4月入学者) 2024年2月中旬

P.23「入学手続きについて」参照

飛び級入学試験

飛び級入学試験は大学3年次に在籍する方が受験する試験です。在学時の成績が非常に優れている方、理工学に関する特定の分野で特に優れた能力を有する少数の方への入り口です。合格した場合には大学を卒業するより1年早く大学院に進学できますが、大学は中退になってしまいます*。このことを十分理解し、ご自身の将来の進路をきちんと考へて受験することをお勧めします。

飛び級入学試験では、Webエントリーは必要ありません。

* 本入学試験により、本研究科前期博士課程(修士課程)に入学した者は、学部の学籍上退学となり、学部卒業の資格(学士の学位)を得ることができません。したがって、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部卒業が要件となっているものについては、受験資格がないこととなりますので十分に留意してください。

※ 出願書類として、出願時より2年以内に受験した(試験日が2022年1月24日以降), TOEFL®TestまたはTOEIC®Listening & Reading Testの公式認定スコアシート(成績証明書)の提出が必要となります。出願を検討される場合には、出願期間に提出できるよう、事前に手配してください。慶應義塾内で実施されたTOEIC®L&R-IPの取扱いについては、8月入学試験に準じます(P.17「英語スコアシートの提出について」参照)。

出願資格

2024年3月31日で大学に在学している期間が3年以上となる者(またはこれに準ずる者)で、所定の単位を優れた成績で修得したと本大学大学院理工学研究科が認めた者。

※ 出願の目安は、3年次春学期修了時までの自然科学系の科目の成績が極めて優秀で、その時点までに取得した単位数と卒業に必要な単位数との差が概ね30単位以下である者。または、理工学に関する特定分野で、特に優れた能力を有する者。

※ 出願手続きを行う前に出願資格の審査が必要ですので、AOに書類を提出してください。

出願期間、試験日、合格発表等の日程

入 学 試 験 要 項 所定用紙等の取得	https://www.st.keio.ac.jp/admissions/rikou-m.htmlのURLにて4月初旬より取得できます。	P.7「入学試験要項と所定用紙等について」参照
出 願 資 格 認 定 申 請 期 間	出願資格認定申請書類は、メールに添付しAOへ提出してください。 2023年 11月24日(金) ~ 11月28日(火) <書類提出先> ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp	P.20「出願資格認定申請について」参照
出 願 資 格 審 査 結 果 通 知	出願資格審査結果は、12月中旬に本人に郵送で通知します。 出願資格を有する者には、出願期間に提出する書類を同封します。	
考 察 料 支 払 い	2024年 1月18日(木) ~ 1月24日(水) 金融機関・コンビニエンスストアの取扱時間にご注意ください。	P.21「考査料の支払いについて」参照
出 願 期 間	2024年 1月24日(水) ~ 1月25日(木) 郵送受付 [締切日消印有効]*	
口 述 試 問 日	2024年 2月16日(金)	P.21「選考方法・口述試問について」参照 P.22「試験当日について」参照
合 格 発 表 期 間	2024年 3月1日(金) 10時00分 ~ 3月8日(金)	P.21「合格発表について」参照
2024年4月入学者の 入 学 手 続 き 期 間	2024年 3月4日(月) ~ 3月8日(金) 大学窓口受付(学生課学事担当) 8時45分 ~ 16時45分(11時30分~12時30分は除く)	P.23「入学手続きについて」参照

*書類を日本国外から郵送する場合は、すべて**締切日必着**とします。

出願資格認定申請について

※ 出願手続きを行う前に出願資格の審査が必要ですので、AOに次の書類を提出してください。出願資格審査には考査料は必要ありません。

●出願資格認定申請受付期間

2023年11月24日(金)～11月28日(火)

●提出書類

なお、①～④は提出が必須であり、⑤については提出を任意とします。

提出書類	備考
① 出願資格認定申請書	所定用紙は、Webからダウンロードしてください。
② 出願資格認定申請用履歴書	所定用紙は、Webからダウンロードしてください。 学歴は中学卒業から記入してください。 写真(脱帽上半身正面、背景なし、縦4 cm×横3 cm、最近3ヵ月以内に撮影したもの1枚)の裏面に志望する専攻と氏名を書いてから履歴書の所定欄に貼付してください。
③ 出願資格認定申請理由書	本大学院修士課程に飛び級で入学したいと考える理由をA4版1枚、800字程度で記述してください(書式自由)。
④ 成績証明書	出身大学学部の前学期までの成績証明書 ・原本で提出してください。コピーの提出は認めません。 ・編入等で複数の大学にまたがって在籍した(している)受験者は、それぞれの成績証明書を提出してください。(ただし、2年編入学試験を経て入学した本大学理工学部在学中の者については、他学部在籍時の成績証明書は不要です。) ・日本語または英語で書かれたものを提出してください。それ以外は和訳または英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを出身大学または大学院で証明を受けて添付してください。
⑤ 特に優れた能力を有することを証明する資料	提出は任意。表彰状のコピー、推薦状等。

※ 審査結果は2週間を目処にE-mailで本人にお知らせします。

※ 一度提出した書類および論文は返還しません。

●提出先

必要書類(PDF)をメールに添付しご提出ください。<書類提出先> ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp

出願について

提出書類について

出願資格を有する者には、出願資格認定の審査結果とともに、出願期間に提出する書類を送付します。

提出書類	備考
入学志願票	出願資格審査結果通知に同封します。 考査料を金融機関で支払った場合は「振込金受付証明書(考査料)」を、コンビニエンスストアで支払った場合は「収納証明書」を所定欄に貼付してください。(P.21「考査料の支払いについて」参照)
入学志願者調書	出願資格審査結果通知に同封します。
在学証明書	本大学理工学部以外からの受験者は提出が必要です。
TOEFL, TOEIC いづれかの試験の スコアシート(オリジナル)	・スコアシートのオリジナル1枚を提出してください。コピーの提出は認めません。スコアシートの再発行が必要な者は、実施機関に問い合わせ、出願期間までにスコアシートを取得してください。 ・提出されたスコアシートの差し替えは認めません。 ・出願時より2年以内に受験した(試験日が2022年1月24日以降)、TOEFL®TestまたはTOEIC®Listening & Reading Testの公式認定スコアシート(成績証明書)が有効です。スコアの提出方法、慶應義塾内で実施されたTOEIC®L&R -IPの取扱いについては、8月入学試験に準じます(P.17「英語スコアシートの提出について(1),(3)」参照)。 ・一度提出されたスコアシートの返却・コピーや点数照会には一切応じることはできません。

- ※ 一度提出した書類は返還いたしません。
- ※ 身体上の都合等により、受験時に特別な配慮を必要とされる方は、その旨を書面で出願書類に同封して提出してください。
- 書式は自由です。
- ※ 試験や入学にあたり、新たにビザが必要な場合は出願前に必ずAOにお問い合わせください(ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp)。
- 入学時期までにビザの取得が間に合わない場合があります。

提出書類の宛先および郵送方法

宛先: 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学大学院理工学研究科AO宛
「出願書類宛先」(Webからダウンロード)を角形2号(240×332 mm)の封筒に貼付し、**簡易書留・速達**で郵送してください。簡易書留・速達は、郵便局の窓口で料金を確認し、郵便局の窓口から郵送する必要があります(郵便ポストやコンビニエンスストアからは郵送できません)。また、**簡易書留・速達**の文字は、朱色である必要があります。

<日本国外から出願する場合>
配達状況の確認ができる国際宅配便(EMS, FedEx, DHL等)で送付してください。日本国外からの送付は締切日必着です。

考查料の支払いについて

修士課程入学試験 : 35,000円
支払い期間 : 2024年 1月18日(木) ~ 1月24日(水)

- ※ 出願資格審査には考查料は必要ありません。
- ※ 納入された考查料は、次の場合を除き、返還しません。

- A. 考査料を納入したが、本学に出願しなかった(出願書類を郵送しなかった、または、出願が受理されなかった)場合
- B. 考査料を誤って二重に納入した場合

上記 A または B に該当する場合には、出願期日より1ヵ月以内にAOにご連絡ください。

支払い方法については、P.9～10「考查料の支払いについて」を参照してください。

ただし、飛び級入学試験では、コンビニエンスストアで支払う際の事前登録で整理番号を入力する必要はありません。

選考方法・口述試問について

事前の課題提出や、口述試問でのプレゼンテーションを課す場合があります。その場合には、出願受付後、個別にご連絡いたします。

試験日	集合時刻	口述試問	試験場
2024年 2月16日(金)	9時45分	10時00分～	矢上キャンパス 試験会場については当日 誘導掲示板にて掲示する。

口述試問当日の注意事項

- (1) 集合時刻に遅れた場合は、原則として欠席扱いとなり、受験することができない。
- (2) 集合時刻以降は集合場所、待機場所および口述試問会場で携帯電話やPC等の電子機器の使用は認めない。電源をオフにしてかばんにしまうこと。

合格発表について

合格発表はWebエントリーページで行います。合否結果または受験番号の照会には応じられません。

合格証明書について

奨学金の申請等で合格証明書が必要な方は、学生課学事担当 Tel: 045-566-1463, E-mail:kym-yagami@adst.keio.ac.jp にお問い合わせください。

入学手続き案内時期について

合格発表時に窓口で配付

P.23「入学手続きについて」参照。

すべての入学試験に共通する事項(全員)

試験当日について

公共交通機関(バス, タクシーを除く)の乱れ・遅れによる遅刻の扱い

試験会場周辺の公共交通機関に大幅な乱れ・遅れが生じ、試験当日、多くの受験生に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を繰り下げることがあります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。試験当日に開始時間変更がある際は、下記ウェブサイトでお知らせします。

慶應義塾大学大学院理工学研究科入学案内: <https://www.st.keio.ac.jp/admissions/rikou-m.html>

事件・事故にあったとき、気分が悪くなったとき

試験会場に向かう途中で、事件や事故にあつたり、気分が悪くなったりして集合時刻に間に合わなくなつた場合は、P.4に記載の問い合わせ先にご連絡ください。その際、警察や病院等の連絡先も併せてお知らせください。

受験上の注意

1. 試験場では、試験監督の指示に従ってください。
2. 試験時間中は退室を認めません。ただし、試験時間中に身体の具合が悪くなつた時または用便等やむを得ない場合には、手を挙げて試験監督の指示に従ってください(その分の試験時間の延長はありません)。
3. 試験時間中、受験票のほかに机の上に置けるものは、鉛筆(黒), シャープペンシル(黒), ペン(黒または青), ボールペン(黒または青), 消しゴム、鉛筆削り(電動式大型のもの・ナイフ類を除く), 時計(辞書や電卓等の機能があるもの・秒針音のするもの・大型のものを除く。ストップウォッチは不可), 眼鏡, マスクです。これ以外の所持品を机の上に置いてはいけません。ただし、この他のものでも試験監督から許可があつたものはこの限りではありません。
4. 時計は各自持参してください(試験場に時計はありません)。ただし、翻訳・計算機能等一般的な時刻表示以外の機能をもつ時計の持ち込みは認めません。また、時計のアラームを使用してはいけません。携帯電話・PHS 等を時計として使用することも認めません。
5. 携帯電話・スマートフォン・PHS・タブレット端末等の通信機器は身につけてはいけません。電源を切ってかばん等に入れてください。電源が切れることをあらかじめ確認しておいてください。電源を切れない通信機器の試験場への持ち込みはできません。また、アラーム機能等により鳴動する可能性がある通信機器は、鳴動しないように設定したうえで電源を切ってください。試験中にこれらの通信機器や時計等の音・振動等が発生し、発生源のかばん等が特定できた場合、持ち主の同意なく試験監督者が試験場外に持ち出すことがあります。
6. ハンカチ、ティッシュペーパー、座布団、ひざ掛け、点眼薬、点鼻薬等を使用したい場合は、手を挙げて試験監督者に申し出てください。
7. 「耳せん」は、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
8. 生活騒音(航空機、自動車、風雨、空調音、動物の鳴声、周囲の受験生の咳・くしゃみ・鼻をする音、携帯電話・携帯音楽プレーヤーの鳴動等)が発生した場合に、特別な措置は原則として行いません。
9. 以下に例示した行為をすると、不正行為となることがあります。不正行為の疑いがある場合には、試験監督が注意もしくは事情を聴取することがあります。その際に要した試験時間の延長はありません。不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなります。また、当該年度以降の本研究科のすべての入学試験の結果を無効とします。考查料は返還されません。
 - ・カンニング(カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること
 - ・使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと
 - ・試験開始の合図、もしくは試験監督者の試験開始の指示の前に問題冊子を開き、解答を始めること
 - ・試験終了の合図、もしくは試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたりすること
 - ・試験時間中に、答えを教えるなどの他の受験生を利するような行為をすること
 - ・試験時間中に、携帯電話や携帯音楽プレーヤーなどを身に付けていること
 - ・試験時間中に、携帯電話、時計、携帯音楽プレーヤーの音(着信、アラーム、振動音など)を鳴らすこと
 - ・試験場において、他の受験生の迷惑となる行為をすること
 - ・試験場において、試験監督者の指示に従わないこと
 - ・志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること
 - ・その他、試験の公平性を損なう行為をすること

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として追試験などの措置、考查料の返還は行いません。

入学手続きについて

入学試験合格者に対し、Webエントリーに登録しているメールアドレスに、入学手続の案内をお送りします。詳細は入学手続画面に掲載する「入学手続要項」をご確認ください。2024年4月入学者は2024年2月中旬(春学期入試合格者は合格発表後すぐ)より入学手続画面へログインが可能となります。本学からの入学手続書類の送付はありません。

手続期間・方法

入学手続は、次の3つの手続を済ませることにより完了します。指定の手続期間内に入学手続に必要な手続を部分的にしか行っていない場合、もしくは全く行っていない場合は、いかなる事情があつたとしても、既に入学意思を放棄したものとして入学手続は認められず、入学の資格を失うことになります。締切日には十分に注意してください。

- ・入学に必要な費用の振込み
- ・必要事項の入力
- ・手続書類の提出(郵送)

入学手続期間(※日本国内に限り、最終日消印有効)

(2023年9月入学)

6月入学試験合格者:2023年8月17日(木)～8月18日(金)

8月入学試験合格者:2023年9月4日(月)～9月5日(火)

(2024年4月入学)

2024年3月4日(月)～3月8日(金)

入学手続きに必要な書類等

- ① 授業料等振込受付証明書(B)(所定用紙)
- ② 住民票(本人のもののみ)
- ③ 卒業(修了)証明書・成績証明書(卒業見込または修了見込で受験した者のみ)
- ④ 退学証明書・成績証明書(飛び級制度利用者のみ)
- ⑤ パスポート、在留カードのコピー ※外国籍の方のみ

(参考) [2023年度の入学に必要な諸費用]

	全員	全員
	2023年4月入学	2023年9月入学
在籍基本料	60,000円	30,000円
授業料	1,060,000円	530,000円
学生健康保険互助組合費	2,600円	1,350円
合計 (分納の場合 春学期)	1,122,600円 (561,350円)	561,350円

- ① 学生健康保険互助組合加入費を除いた学費およびその他の費用は、春学期・秋学期に分けて分納できます。春学期に学費およびその他の費用を分納した場合、秋学期分の振込用紙を10月中旬までに原則保証人宛(保証人が海外に居住の場合は学生本人の国内住所)に送付します。秋学期分の学費の納付期限は10月末日です。なお、入学後の学費納入に関しては、慶應義塾経理部(TEL:03-5427-1528)にお問い合わせください。
- ② 学生健康保険互助組合費には加入費100円を含みます。ただし、本大学院研究科を修了し引き続き他研究科に入学する場合、および本大学院修士課程を修了し、1年を経過せずに後期博士課程に入学する者の加入費は不要です。
- ③ 在籍基本料、授業料については、在学中学則に定めるスライド制を適用し毎年定められた額を納入することとなりますので、あらかじめご承知おきください。なお、適用するアップ率はスライド率(前年度人事院勧告による国家公務員給与のアップ率等)を基準とします。

入学辞退・授業料の返還

やむを得ず入学辞退を希望する場合には、入学手続き書類に同封された入学辞退届を提出してください。

納入された費用は、原則として、返還しません。ただし、所定の期日までに入学辞退の手続を完了した場合は、全ての費用を返還します。具体的な日程に関しては入学手続要項に記載します。

奨学金制度

理工学研究科を紹介したハンドブック『Emerging 2024』(4月中旬に更新予定)<https://www.st.keio.ac.jp/about/emerging.html> の「奨学金と研究助成」の頁をご覧ください。

(4月入学者のみ)

日本学生支援機構「特に優れた業績による奨学金返還免除」修士課程内定制度については下記ウェブサイトをご参照ください。
<https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/mmenjo.html>

慶應義塾教育振興資金(寄付金)・慶應義塾債(学校債)について

(1) 慶應義塾教育振興資金

年額 一口3万円 (二口以上のご協力をお願いいたします。)

(2) 慶應義塾債

一口10万円 (三口以上のご協力をお願いいたします。)

大学院修了時または慶應義塾を離籍されるときに償還いたします。

いずれも任意ではありますが、教育充実のために多くの方々にご協力をいただいています。詳細につきましては、入学後に募集のご案内をお送りいたします。

過年度の入学試験結果

修士課程

実施年度 専攻	2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
基礎理工学	251	221	267	238	257	231	254	221
総合デザイン工学	246	226	247	238	230	207	263	246
開放環境科学	304	269	300	265	285	253	305	265
合 計	801	716	814	741	772	691	822	732

関連ウェブサイト

受験生向けページ <https://www.st.keio.ac.jp/admissions/>

慶應義塾ウェブサイト <https://www.keio.ac.jp/>

慶應義塾大学理工学部・理工学研究科ウェブサイト <https://www.st.keio.ac.jp/>

慶應義塾大学大学院理工学研究科在学生向けページ <https://www.st.keio.ac.jp/students/>

(履修案内、時間割、シラバス検索、奨学金情報など)

教員プロフィール <https://www.st.keio.ac.jp/tprofile/>

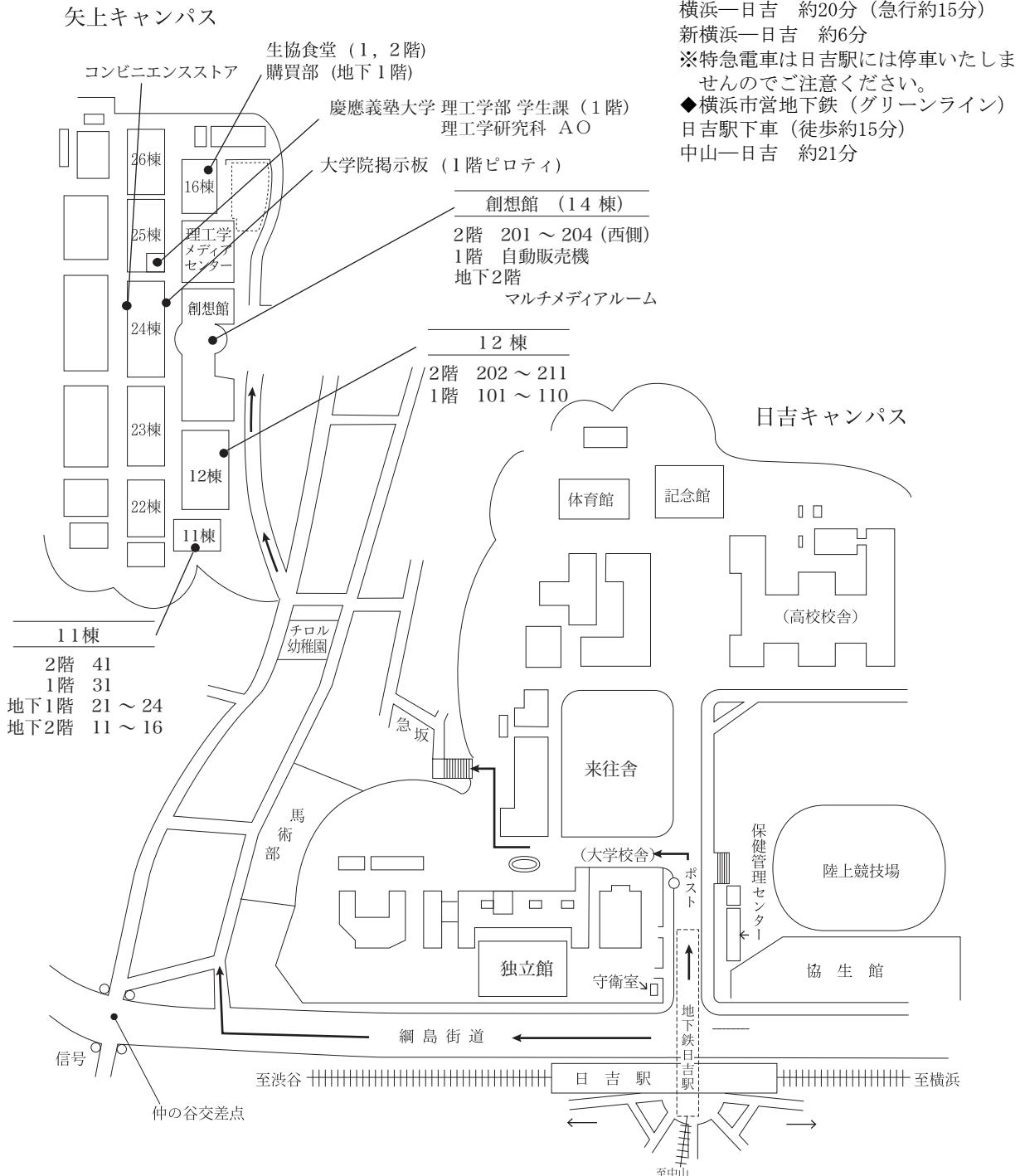
慶應義塾大学矢上キャンパス学生課国際担当 <https://www.st.keio.ac.jp/students/ic/>

お知らせ

社会情勢が大きく変化した場合には、要項に記載されている事項が変更される可能性があります。その場合には、ウェブサイト

(<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/rikou-m.html>) でお知らせいたします。ご了承ください。

矢上キャンパス案内図



慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程(6月・8月入学試験共通)

Web エントリーフォーム入力方法について

Web エントリー推奨環境(OS 及びブラウザ)

Windows の場合 : Windows 10 以上

- Microsoft Edge (最新版)
- Firefox (最新版)
- Google Chrome (最新版)

Macintosh の場合 : macOS X 10.12 以上

- Firefox (最新版)
- Safari (最新版)
- Google Chrome (最新版)

※お使いのブラウザで Javascript の設定が無効になっている場合は有効に設定してください。

※Mac 上で Safari 2.0 以下をお使いの場合、一部の環境で入力や印刷画面の表示が正しく行えないことがありますので、その場合には Firefox(無料)等、別のブラウザをインストールしてお使いください。

Web エントリーの諸注意

- ・Web エントリーの「*」がある項目は、必須項目ですので、必ず入力／選択をしてください。

・重複登録はできません。

- ・入力欄にスペース等を記入した場合、記入と見なされエラーができる場合があります。

- ・Web エントリー期間を確認し、出願期間に間に合うようにエントリーしてください。

・Web エントリーの入力内容は<印刷サンプル>で事前に確認できます。

- ・「郵送用に印刷する」書類は**片面印刷(A4 サイズ)**で行ってください (B 履歴書は必ずカラー印刷すること)。

- ・印刷物には改ページが設定されています。(うまく設定されない場合、ヘッダーとフッターを挿入するとスタイルシートが読み込まれ、改ページが設定されることもあります。)

- ・Web エントリーに登録した以下の項目をメモし、入学手続きまで大切に保管してください。

受験票印刷、合格発表の確認、また 8 月入学試験に再出願する場合に必要になります。

メモ欄

受付番号		E-mailアドレス	
パスワード		受験番号	

8 月入学試験に「再出願」する際の Web エントリーの諸注意

- ・必ず再出願の入口から行ってください。(「新規登録」の入口は「新規出願」される方の入口です。)

- ・英語スコアシート等の情報を入力し、6 月入学試験入力内容を編集した上、必要書類を再度印刷してください。

- ・受験票は 8 月入学試験用に再度印刷してください。

入力時の注意

■E-mail アドレスと入学時期は、仮登録後変更できませんので注意して入力してください。

携帯電話の E-mail アドレスでは、受信設定によってメールを受信できない場合がありますので、原則として PC の E-mail アドレスを登録してください。

■記述欄

入力内容は、Web エントリー本登録後にも編集ができます。Web エントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL 等、長いアルファベット文字列を記入すると印刷用フォームが崩れことがあります。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、添付図をアップロードしてください。

■氏名

漢字表記

- (1) 住民票に記載されている氏名を入力してください。
- (2) 日本国籍以外の者で、住民票に記載されている氏名が漢字でない場合、および日本国外からの出願者でこの登録手続きを行っていない者については、通称名等を使用せずに現地読みのカタカナを使用してください。
- (3) 本国で姓を先頭にしない場合は、姓の次に「,(カンマ)」をつけてください。
- (4) ミドルネーム欄に入力する場合は、頭文字1文字のみをアルファベット大文字で入力してください。
- (5) 日本国籍以外の者で通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。

カナ表記

- (1) 氏名の読みをカタカナで入力してください。ミドルネーム欄に入力する場合は、頭文字1文字のみをアルファベット大文字で入力してください。
- (2) 本国で姓を先頭にしない場合は、姓の次に「,(カンマ)」をつけてください。
- (3) 長音および長音と思われるものは「ー」を用いてください。なお、「オオ」と発音されるもの、大木・太田・大熊などはオオキ・オオタ・オオクマとし、その他の安藤・西郷などはアンドウ・サイゴウとします。
- (4) 拗音と促音の小文字は大文字で入力してください。
- (5) 本来「チ」「ツ」と発音するもので2語の連語によって生じた「ヂ」「ヅ」は、「ヂ」「ヅ」とします。その他は「ジ」「ズ」とします。
- (6) 「ヰ」「ヱ」「ヲ」は使用せず、イ・エ・オを使用します。

ローマ字表記

- (1) パスポート等、公的文書に基づく表記、あるいは氏名の「読み」に対応したアルファベット(ヘボン式)を半角大文字で入力してください。
- (2) 撥音について、B・M・Pの前はNの代わりにMをおきます。
(例) NAMBA 難波(なんば) HOMMA 本間(ほんま) SAMPEI 三瓶(さんペイ)
- (3) 促音・子音を重ねて示す場合は以下のようにします。
(例) HATTORI 服部(はつとり) KIKKAWA 吉川(きつかわ)
ただし、チ(CHI)、チャ(CHA)、チュ(CHU)、チョ(CHO)に限り、その前にTを加えます。
(例) HOTCHI 発地(ほっち) HATCHO 八丁(はっちょう)
- (4) 長音について、長音に対するローマ字は不要です。(前の母音で代用)
(例) KONO 河野(こうの) ONO 大野(おおの) TOYAMA 遠山(とおやま)

■現住所・電話番号

- (1) 住所はアパート名や団地名なども省略せずに入力してください。
- (2) 電話番号欄には自宅の電話番号を入力してください。現住所に電話回線を引いていない場合は、代わりに携帯電話番号を入力してください。また、日中連絡が取れるよう、携帯電話番号はできるだけ入力してください。

■指導教員の選択について

指導教員は下記URLの教員リストに掲載されている教員から選択してください。同じ教育研究分野に限り、第2希望まで選択できます。その際、希望指導教員が所属する教育研究分野を確認し、間違いのないように申告してください。(原則として、同じ教育研究分野に限り合格後の指導教員の変更を認めます。指導を希望する教員には必ず事前に入学後の研究計画や、必要とされる基礎学力および研究内容等について相談してください。事前に相談をしていない場合は、配属において著しく不利になる場合があります。)

教員リスト:<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/files/st-faculty-list2023.pdf>

教員の連絡先(電話番号、E-mail)は、<https://www.st.keio.ac.jp/tprofile/>から検索できます。

<印刷サンプル>修士課程 入学志願票、履歴書、入学志願者調書

次のページから6月入学試験の印刷サンプルを確認できます。8月入学試験もほぼ同様の内容になりますので、こちらのサンプルを参照してください。

A

2023年9月入学、2024年4月入学 慶應義塾大学大学院理工学研究科入学志願票

修士課程

受験番号	専攻	入学希望時期
V■■■■■	■■■■■専攻	2024年04月

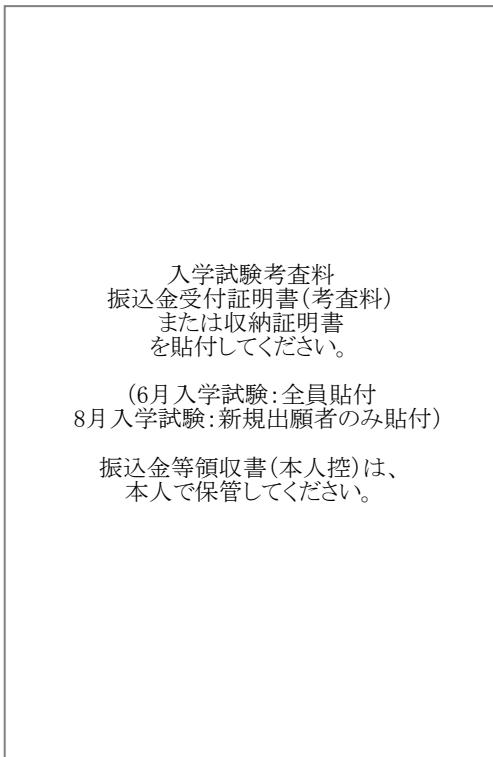
志望する分野	■)■■■■	希望する指導教員名	■■■■■	教員コード	■■-■■■
--------	--------	-----------	-------	-------	--------

志願者漢字氏名(フリガナ)	国籍コード	性別コード	生年月日
慶應 花子 (ケイオウ ハナコ)	392	02	2000年01月01日

塾内受験者最終学籍番号	学部出身校コード	学部離籍理由	大学院出身校コード	大学院離籍理由
11111111	2062	2024年3月卒業見込		

現住所 (受信場所)	〒223-8522 神奈川県 横浜市港北区日吉 3-14-1 E-mailアドレス: web-entry-yagami@adst.keio.ac.jp	電話番号 0123-45-6789 携帯番号 000-0000-0000
---------------	---	---

保証人氏名(フリガナ)	生年月日(西暦)	性別コード	続柄
慶應 一郎 (ケイオウ イチロウ)	1960年01月01日	01	父
保証人住所	〒223-8522 神奈川県 横浜市港北区日吉 3-14-1	電話番号 0123-45-6789	



印刷サンプル 修士課程6月入学試験 入学志願票, 履歴書, 入学志願者調書

履歴書と志願調書を重ねて
ホチキスでとめてください。

B 慶應義塾大学大学院

理物理学研究科

履歴書

修士課程

受験番号

V■■■■■



フリガナ	ケイオウ ハナコ	生年月日	2000年01月01日 生	性別
氏名	慶應 花子			

現住所	〒223-8522 神奈川県 横浜市港北区日吉3-14-1	電話番号	0123-45-6789	携帯番号	000-0000-0000	国籍	日本
-----	----------------------------------	------	--------------	------	---------------	----	----

学歴	2017年 03月	慶應義塾中学校 卒業
	2017年 04月	慶應義塾高等学校 入学
	2020年 03月	慶應義塾高等学校 卒業
	2020年 04月	慶應義塾大学理物理学部 入学
	2024年 03月	慶應義塾大学理物理学部■■■学科卒業見込み
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職歴	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
研究歴	■入力上の注意■入力内容は、Webエントリー登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れことがあります。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。	

C

2023年6月入学試験用

慶應義塾大学大学院理工学研究科前期博士(修士)課程入学志願者調書

フリガナ	ケイオウ ハナコ	2000年01月01日生 女(23歳)	受験番号: V■■■■
氏名	慶應 花子		
入学希望時期	4月入学希望		
現住所	〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1	電話番号 携帯番号	0123-45-6789 000-0000-0000
保証人	氏名 慶應 一郎 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1	続柄	父 電話番号 0123-45-6789

入学の目的について

本大学大学院理工学研究科を志望する理由を具体的に記入してください。
(400字以上500字程度にまとめてください)

■入力上の注意 ■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることができます。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

将来の進路希望とそれに対する大学院進学の意義について記入してください。
(400字以上500字程度にまとめてください)

■入力上の注意 ■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることができます。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

C

氏名: 慶應 花子

これまでの学業について

1. 学部の専門に関する科目で、わずかでも習得していると思えるものを3つあげてください。



2. 語学に関する自己評価(A:優 B:良 C:可 D:不可)、また検定試験の実績があれば記入してください。

2-1 英語

自己評価 Reading: A Writing: A Listening: A Speaking: A

検定試験結果 英検1級、TOEIC 850点

2-2 他の外国語

自己評価 Reading: Writing: Listening: Speaking:

検定試験結果

※国外の大学を卒業した志願者は必ず日本語について記入してください

3. 卒業研究について記入してください。なお、卒業研究を行っていない場合には、相当する内容を記入してください。

- 3-1 卒業論文の概要(具体的なテーマが決まっていない場合には、どのような卒業研究を行いたいか)をテーマ名、指導教員名とともに記入してください。(200字以上250字程度にまとめてください)

テーマ: ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

指導教員名: ■■■■■■■■

■ 入力上の注意 ■ 入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることができます。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

- 3-2 卒業研究に向けて現在まで行ったことを記入してください。
(200字以上250字程度にまとめてください)

■ 入力上の注意 ■ 入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることができます。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

- 3-3 卒業研究を行う上で必要と考えられる、専門に関する知識を3つ以内であげてください。



C

入学後の研究について

[志望する専攻: ■■■■■■ 専攻]

1. 入学後にどのような研究を行いたいか、またその理由、動機等を記入してください。
(400字以上500字程度にまとめてください)

■入力上の注意■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れことがあります。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

2. 上記の研究を行うために、希望する分野と指導教員の氏名を選択してください。(指導を希望する教員には必ず事前に入学後の研究計画や、必要とされる基礎学力および研究内容等について相談していること。)

[志望する分野: ■)■■■■]

教員名(第1希望)

■■■■■■

希望指導教員(第1希望)との連絡状況:

現在の指導教員であり、出願の了承を得ている。

教員名(第2希望)

■■■■■■

希望指導教員(第2希望)との連絡状況:

現在の指導教員ではないが、研究内容等について相談し、出願の了承を得ている。

3. 入学後の研究に必要と考えられる専門に関する知識を3つ以内であげてください。

■■■■■■

■■■■■■

■■■■■■

最終学歴が大学卒業以上の志願者は下記について記入してください。

1. 最終学歴卒業・修了以後の職歴、研究歴

■入力上の注意■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることができます。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

2. 発表論文(投稿中を含む)

著者・発表者名(連名者を含む)、題目、掲載誌・会議名、巻号、頁、年

原著論文、国際会議発表、国内学会発表等に分類して記入してください。記入欄が足りないときは、主要論文以外は論文数を記入してください。

■入力上の注意■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることができます。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

在学するにあたって留学ビザが必要な志願者は、以下の事項について記入してください。

留学に関わる費用の出所

氏名または団体名: _____

本人との関係: _____

住所: _____

電話番号: _____

現在の在留資格: (有効期限: 年 月 日)

P 慶應義塾大学大学院
修士 8月 入学試験 写真カード

2023年9月入学、2024年4月入学
慶應義塾大学大学院 写真カード

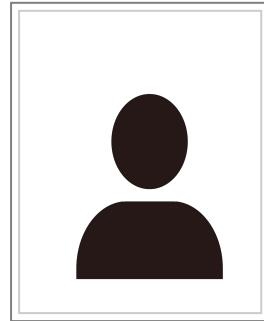
理工学研究科 修士 8月 入学試験

受験番号

V ■ ■ ■ ■

フリガナ ヤガミ ハナコ 性別
氏名 矢上 花子 女性
生年月日 1999年12月12日

写真カードは、切り取らず
このままA4サイズで提出してください。



印刷サンプル 修士課程8月入学試験 写真カード

2023年度実施

修士課程用

振込金受付証明書(考查料)

慶應義塾大学大学院
理工学研究科

○太枠内を記入して下さい。

入学時期	2023年9月・2024年4月		
受験番号 (※空欄可)			
課程	修士		
フリガナ			
受験生 氏名			
納入金額	¥35,000		

上記のとおり振込金を受け付けました。

(取扱店名)

取 納 印
ま た は
振 替 印

(提出用：志願票に貼付)

↑提出用
志願票に貼付

考查料振込依頼書

振込金等領収証(考查料)

依頼日	年 月 日					
金額	¥	3	5	0	0	0
振込先銀行	スルガ銀行 横浜日吉支店 普通預金 No. 436546					
受取人	慶應義塾 理工学研究科					
依頼人	入学時期	2023年9月・2024年4月				
	受験番号 (※空欄可)					
	フリガナ					
	受験生 氏名					
備考		手数料				円

上記の金額を領収いたしました。

(取扱店名)

取 入 印 紙

(本人控)

↑本人控え

電信扱

振込依頼書

他店券扱
不 可スルガ銀行本支店間
のときは手数料無料

依頼日	年 月 日			電 信 扱	手 数 料	円				
振込先銀行	スルガ銀行 横浜日吉支店			金額	¥	3	5	0	0	0
受取人	普通預金	番口 号座	436546	内 訳	現 金					
	口座名	ケイオウギジュク			当店券					
ご 依 頼 人	受験生 氏名	フリ ガ ナ	姓 名							
ご 連 絡 先	(おところ) (電話番号) — —									
	受納印または振替印									

○太枠内は必ず振込人が記入して下さい。

フリガナは濁点、半濁点も一字として記入して下さい。

○ATM(自動振込機)やインターネットによる振込は避けて下さい。

(取扱店保管)

必ず余白部分を切り取ったうえで金融機関にお持ちください。

考查料納入について

最寄りの金融機関(ATM・ゆうちょ銀行は不可)から指定口座宛にお振込みください

(〒223-8522)

横浜市港北区日吉3-14-1

慶應義塾大学理工学部

電話 045-563-1141(大代表)

重要・要同封

慶應義塾大学大学院理工学研究科 修士課程

<8月入学試験出願用>提出書類チェックリスト

受験番号		氏名	
------	--	----	--

↓提出する書類の□欄に✓印を付け、本紙も同封してください。

提出する書類の詳細については、入学試験要項を必ず確認してください。

チェック	提出書類	対象者	備考
①Webエントリーにて入力した後、A4用紙に印刷し、郵送する書類			
<input type="checkbox"/>	A 入学志願票	<u>【全員提出】</u>	Webエントリーから各自印刷してください。 (新規出願者は振込金受付証明書または収納証明書を貼付してください。) 「郵送用に印刷する」ボタンで登録内容を確定すると受験番号が挿入されます。 受験番号が挿入されたものを提出すること。
<input type="checkbox"/>	B 履歴書	<u>【全員提出】</u>	Webエントリーから各自カラー印刷してください。 「郵送用に印刷する」ボタンで登録内容を確定すると受験番号が挿入されます。 受験番号が挿入されたものを提出すること。
<input type="checkbox"/>	C 入学志願者調書	<u>【全員提出】</u>	Webエントリーから各自印刷してください。 BとCはホチキスで左上1箇所をとめてください。 「郵送用に印刷する」ボタンで登録内容を確定すると受験番号が挿入されます。 受験番号が挿入されたものを提出すること。
<input type="checkbox"/>	P 写真カード	<u>【全員提出】</u>	Webエントリーから各自カラー印刷してください。 切り取らずA4サイズのまま提出してください。
②Webエントリーに原本をスキャンしたPDFデータをアップロードし、原本を郵送する書類			
<input type="checkbox"/>	TOEICまたはTOEFLのオリジナルスコアシート	<u>【全員提出】</u>	各自で出願前までにオリジナルスコアシートを用意（取得）してください。WebエントリーにてPDFをアップロードし、原本を提出してください。 <u>スコアシートの同封のない出願は、受理できません。</u>
<input type="checkbox"/>	成績証明書	<u>【全員提出】</u>	WebエントリーにてPDFをアップロードし、原本を提出してください。コピーの提出は認めません。
<input type="checkbox"/>	大学卒業（見込）証明書	該当者のみ提出	※本大学理工学部に現在在籍していない受験者は提出が必要です。WebエントリーにてPDFをアップロードし、原本で提出してください。コピーの提出は認めません。
③用紙をWebからダウンロードし、記入したうえで郵送する書類			
<input type="checkbox"/>	<8月入学試験出願用> 提出書類チェックリスト（本紙）	<u>【全員提出】</u>	Webから所定用紙を各自印刷してください。

※以下は、事務使用欄です。記入しないでください。

--

重要・要同封

慶應義塾大学大学院理工学研究科 修士課程

<6月入学試験出願用>提出書類チェックリスト

受験番号		氏名	
------	--	----	--

↓提出する書類の□欄に✓印を付け、本紙も同封してください。

提出する書類の詳細については、入学試験要項を必ず確認してください。

チェック	提出書類	対象者	備考
①Webエントリーにて入力した後、A4用紙に印刷し、郵送する書類			
<input type="checkbox"/>	A 入学志願票	【全員提出】	Webエントリーから各自印刷してください。 (振込金受付証明書または収納証明書を貼付してください。) 「郵送用に印刷する」ボタンで登録内容を確定すると受験番号が挿入されます。 受験番号が挿入されたものを提出すること。
<input type="checkbox"/>	B 履歴書	【全員提出】	Webエントリーから各自カラー印刷してください。 「郵送用に印刷する」ボタンで登録内容を確定すると受験番号が挿入されます。 受験番号が挿入されたものを提出すること。
<input type="checkbox"/>	C 入学志願者調書	【全員提出】	Webエントリーから各自印刷してください。 BとCはホチキスで左上1箇所をとめてください。 「郵送用に印刷する」ボタンで登録内容を確定すると受験番号が挿入されます。 受験番号が挿入されたものを提出すること。
②Webエントリーに原本をスキャンしたPDFデータをアップロードし、原本を郵送する書類			
<input type="checkbox"/>	成績証明書	【全員提出】	WebエントリーにてPDFをアップロードし、原本を提出してください。コピーの提出は認めません。
<input type="checkbox"/>	単位修得証明書 (TRANSCRIPT REQUEST FORM)	該当者のみ提出	※本大学理工学部に現在在籍していない受験者は、提出が必要です。 Webから所定用紙を各自印刷し、出身大学で証明を受けてください。 外国の大学を卒業・卒業見込の受験者は、TRANSCRIPT REQUEST FORMを使用してください。なお、証明書はWebエントリーにてPDFをアップロードし、原本を提出してください。コピーの提出は認めません。
<input type="checkbox"/>	大学卒業（見込）証明書	該当者のみ提出	※本大学理工学部に現在在籍していない受験者は、提出が必要です。WebエントリーにてPDFをアップロードし、原本で提出してください。コピーの提出は認めません。
③用紙をWebからダウンロードし、記入したうえで郵送する書類			
<input type="checkbox"/>	<6月入学試験出願用> 提出書類チェックリスト（本紙）	【全員提出】	Webから所定用紙を各自印刷してください。

※以下は、事務使用欄です。記入しないでください。

--

修士課程：出願資格(6), 飛び級入学試験,
後期博士課程：出願資格(5), (6)に該当する出願者用

写真貼付

○寸法厳守

縦 4 cm

横 3 cm

○写真裏面に志望する
専攻と氏名を書いて
から貼付してください。

慶應義塾大学大学院
出願資格認定申請用履歴書

理 工 学 研 究 科	
修 士 ・ 後 期 博 士 ※注1	
受 験 番 号 (記入不要)	

フリガナ			生年 月日	年　月　日　生	男 ・ 女
氏　名					
現住所	〒 電　話　(　　)　- 携帯電話番号　(　　)　-			国　籍	
E-mail					
学 歴	年　月				
	年　月				
	年　月				
	年　月				
	年　月				
	年　月				
職 歴	年　月				
	年　月				
	年　月				
	年　月				
	年　月				
	年　月				
研 究 歴					

注：1. 修士、後期博士のいずれかを○で囲んでください。

2. 学歴は中学校卒業から記入すること。

2023年度

経済学部

目吉地区・三田地区設置

外国語科目履修案内

(英・独・仏・中・スペイン語・選択外国語)

Web上の「シラバス・時間割」では、各科目の「サブタイトル」「授業科目の内容」「成績評価方法」「教科書・参考書（指定がある場合）」「授業の計画」「担当者から履修者へのコメント」「質問・相談」が掲載されているので、確認してください。（なお、担当者により一部記載がない場合もあります）

- ・塾生サイト「履修案内・講義要綱・時間割」

<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/>



目 次

一部の項目については、各学生に適用されている学則によって内容が異なる場合がありますので注意してください。特に注記がないものは全学則共通の内容です。

外国語科目 履修申告までのスケジュール	2
日吉「英語セミナー（特別上級）」応募要領・履修上の注意	4
第1 外国語科目的履修について	5
1 外国語科目の履修チャート	5
2 進級および卒業必要科目・単位	7
第2 選択必修科目のエントリー	8
1 エントリー	8
2 エントリー方法	9
3 結果発表	10
4 履修クラスが未決定の学生	10
5 決定した履修クラスの取り消し	10
6 複数履修について	10
第3 外国語I（英語）の履修について	11
1 第1学年	11
2 第2学年	13
3 第3・4学年	14
4 段階的な履修について	14
5 外国語I（英語）ガイダンスについて	15
第4 外国語IIの履修について	16
1 第1学年で履修する必修科目	16
2 第2学年で履修する選択必修科目	16
3 第1学年必修科目の再履修	17
4 第3・4学年での履修	17
第5 外国語III・選択外国語・自主選択科目	18
1 外国語III	18
2 選択外国語（選択A）・自主選択科目	19

外国語科目 履修申告までのスケジュール

【春学期】

日時	時間	1年生	2・3・4年生	場所
3/10 (金)	15:00~		外国語II（独・仏・中・西）既習クラス 変更希望申請 →『第4 外国語IIの履修について』p.16 外国語III 履修希望申請 (第1学年で履修した外国語IIと別語種の履修を希望する学生) →『第5 外国語III・選択外国語・自主選択科目』p.18	
3/14 (火)	~12:30 締切		外国語II（独・仏・中・西）既習クラス 変更希望申請 外国語III 履修希望申請	
3/16 (木)	9:30		外国語II（独・仏・中・西）既習クラス 結果発表 外国語III 履修許可発表	※
	9:30~		「英語リーディング」「英語セミナー【春】(中級・上級)」 「独・仏・中・西」	
3/17 (金)	~9:30 締切		「英語リーディング」「英語セミナー【春】(中級・上級)」 「独・仏・中・西」	
3/20 (月)	9:30		「英語リーディング」「英語セミナー【春】(中級・上級)」 「独・仏・中・西」	※
	9:30 ~12:30 締切		「英語リーディング」「英語セミナー【春】(中級・上級)」 「独・仏・中・西」	
3/22 (水)	9:30		「英語リーディング」「英語セミナー【春】(中級・上級)」 「独・仏・中・西」	※
3/22 (水)	申請フォーム 公開 ~16:45締切	外国語II 第1学年必修科目 再履修クラス申請【1年原級者、2年生】 →『第4 外国語IIの履修について』p.17の表で履修クラスのルールについて確認すること		
			「英語リーディング」「英語セミナー【春】(中級・上級)」「独・仏・中・西」履修クラス未決定学生、「英語Study Skills」再履修者 →学習指導相談フォームへ申請	
3/28 (火)	午後		外国語III 履修クラス発表	※
3/29 (水)	15:00~	[新入生お知らせシステム] 履修語学発表 ※クラスガイダンス、外国語I【英語】全 体ガイダンス、英語セミナー(特別上級), 外国語II既習クラス変更についてのお知 らせなど、重要な情報が公開されます。必ず 公開日に確認してください。		
		外国語I 「英語セミナー(特別上級)」履修希望申請【申請期間: 3/29(水) 15:00~3/31(金) 11:00】 春学期履修希望者(「英語Study Skills」免除希望者含む)および秋学期履修希望者 →『日吉「英語セミナー(特別上級)」応募要領・履修上の注意』(p.4) →『第3 外国語I(英語)の履修について』p.11		
		外国語II(独・仏・中・西)既習クラス 変更希望申請 【申請期間: 3/29(水) 15:00~3/31(金) 11:00】 →『第4 外国語IIの履修について』p.16		
3/31 (金)	~11:00 締切	外国語II(独・仏・中・西)既習クラス 変更希望申請 【申請期間: 3/29(水) 15:00~3/31(金) 11:00】		
		外国語I 「英語セミナー(特別上級)」履修希望申請【申請期間: 3/29(水) 15:00~3/31(金) 11:00】		

日時	時間	1年生	2・3・4年生	場所
4/2 (日)	9:30	外国語I 「英語セミナー（特別上級）」履修希望申請 選抜・振分結果発表		※
		外国語II（独・仏・中・西）既習クラス 変更希望申請 結果発表		
	13:00集合	外国語I 「英語セミナー（特別上級）」履修許可者 学習指導相談 ※対面で実施します。 振り分けられた英語セミナー（特別上級）のクラスが、その他のクラス指定のある必修・選択必修科目の曜日時限と重複する場合、必ず参加してください。 ※学習指導相談を行わない場合、翌日からの履修申告で不利益が生じる可能性があります。		日吉独立館 D307~D311
4/3 (月)	12:30~	春学期 履修申告（一次申告）【申告期間：4/3（月）12:30～5（水）16:45】 Web履修申告画面を開くと、エントリーで決定した選択必修科目が表示されます。正しく表示されているか、履修申告期間内に必ず確認してください。 なお、エントリーを行わない必修科目（再履修除く）も自動的に履修登録されます。正しく表示されているか、履修申告期間内に必ず確認してください。		
4/7 (金)		春学期授業開始		

英語最上級アドバンスト英語の履修についてはp.19~20を確認してください。

【秋学期】

日時	時間	1年生	2・3・4年生	場所
9月中旬		【1・2年生のみ】 「英語Study Skills」再履修申請 春学期に履修した外国語I（英語）の必修科目が不合格だった学生が対象です。9月上旬ごろ、keio.jpのメッセージ等で該当者に通知します。 →『第3 外国語I（英語）の履修について』p.11		
9/11 (月)	9:30~	「英語セミナー【秋】（中級・上級・特別上級）」エントリー（1回目）		
9/12 (火)	~9:30 締切	「英語セミナー【秋】（中級・上級・特別上級）」エントリー（1回目）		
9/13 (水)	9:30	「英語セミナー【秋】（中級・上級・特別上級）」履修クラス発表（1回目）		※
	9:30~ 12:30締切	「英語セミナー【秋】（中級・上級・特別上級）」エントリー（2回目）		
9/14 (木)	9:30	「英語セミナー【秋】（中級・上級・特別上級）」履修クラス発表（2回目）		※
	申請フォーム 公開 ~16:45締切	「英語セミナー【秋】（中級・上級・特別上級）」履修クラス未決定学生 →学習指導相談フォームへ申請		
9/26 (火)		秋学期 履修申告（一次申告）【申告期間：9/26（火）12:30～28（木）16:45】 Web履修申告画面を開くと、エントリーで決定した選択必修科目が表示されます。正しく表示されているか、履修申告期間内に必ず確認してください。 なお、エントリーを行わない必修科目（再履修除く）は春学期に自動的に履修登録されています。正しく表示されているか、履修申告期間内に必ず確認してください。		
10/2 (月)		秋学期授業開始		

■ :『第2 選択必修科目的エントリー』p.8

※ :履修クラス発表 keio.jpのNews欄、メッセージ等で通知します。確認してください。

→『第2 選択必修科目的エントリー』p.8

日吉「英語セミナー（特別上級）」応募要領・履修上の注意

◆春学期開講の「英語セミナー（特別上級）」

履修希望申請期間^{*1}：3月29日（水）15:00～3月31日（金）11:00

選抜・振分結果発表^{*2}：4月2日（日）9:30 keio.jpのNews欄

学習指導相談^{*3}：4月2日（日）13:00集合 日吉第4校舎独立館D307～D311

※1 新入生：「新入生お知らせシステム」でクラス・学籍番号・履修語学等を発表する際に同時に申請方法を案内します。
在校生：keio.jpのNewsにて案内します。

※2 履修が許可された場合、許可されたクラスが自動的に履修登録されます。履修申告期間中に履修申告画面で登録されているクラスを必ず確認してください。
登録されているクラスが組ごとに指定されている必修・選択必修科目と曜日時限が重複していないかを確認してください。重複している場合、4月2日の学習指導相談に必ず参加してください。

※3 原則、対面により実施します。

▶履修者選抜およびクラス振り分けをおこないます。

▶履修者選抜は、2022年度以前に履修した経験がある学生も含めて、2023年度特別上級セミナー【春】の履修希望者全員が対象です。必ず期間中に申請してください。

▶履修希望申請では、履修したいクラスの申告をします。英語セミナー（特別上級）のシラバス・講義要綱を参考にして、履修したいクラスを3つ以上、あらかじめ考えておいてください。なお、選抜の過程で、第1希望以外のクラスを勧められることもあります。

◆秋学期開講の「英語セミナー（特別上級）」

秋学期開講科目は履修方法が異なります。『第2 選択必修科目のエントリー』(p.8) を確認し、指定された期間に履修希望クラスをエントリーしてください。

なお、希望する「英語セミナー（特別上級）」が組ごとに指定されている必修・選択必修科目と曜日時限が重複していないかを確認してください。

「英語セミナー（特別上級）」履修上の注意

●対象者：すでに高度な会話力・聴解力をもち、長文の英語を読むことに慣れている学生向けの科目です。授業内に英語でディスカッションできることが条件です。必要な能力をほぼ備えているものの、ライティングやオーラル・スキルなど、特定のスキルがやや弱い1年生向けには、“Bridging Course”が春学期に設置されています。

●科目的種類：第1学年の春学期に履修する場合は、「英語Study Skills」の代わりに必修科目として履修します。必修科目を取得済みの学生は、選択必修科目として履修します。※

※必修科目を取得済みの学生は、「英語最上級アドバンスト英語」（外国語教育研究センター設置科目）を選択必修科目として履修することもできます。

●クラス指定科目との重複について：選抜により履修が認められた英語セミナーの曜日・時限が、クラス指定科目と重複する場合、指定クラスの変更も可能です。ただし、外国語Ⅱとの重複など、一部、変更できない場合があります。詳しいことは、4月2日（日）の学習指導相談に参加し学習指導担当教員に相談してください。

なお、秋学期開講科目は、エントリー内容に基づいてシステムによる抽選を行います。組ごとに指定されている必修・選択必修科目と曜日時限が重複しないクラスにエントリーしてください。指定クラス変更の機会はありません。

●英語セミナー（特別上級）設置クラス一覧は、別途塾生サイトで公開予定です。

第1 外国語科目の履修について

この『経済学部 外国語科目履修案内』は、経済学部学生に対して適用される「学則」の外国語科目部分について解説したものです。学則に明示されていない細則もこの冊子で説明されていますので、よく読んで、履修申告してください。履修に関する事柄について詳細に説明されていますので、履修申告の時だけではなく、常に振り返って内容を確認するよう心がけてください。

履修についての質問・相談は、学習指導担当教員または学生部経済学部担当窓口に問い合わせてください。特にガイダンス動画・資料は必ず確認し、履修に関して不利にならないように気をつけてください。

学習指導上の注意事項や学生部からの連絡事項は、keio.jpのNews等で案内しますので、注意を向けてください。

なお、本冊子内に「組」という表記が出てきます。これは、皆さんの所属する組を示しています。所属する組は学生証の在籍確認シールに記載（新入生は“新入生お知らせシステム”で案内）されています。一方「クラス」という表記は皆さんのが履修する授業を示しています。

◆セット科目について

外国語科目名の末尾に小文字の a および b が付されている科目があります。末尾 a は春学期科目、末尾 b は秋学期科目を示し、春学期と秋学期で同一担当者、同一曜日時限の科目をセットで履修しなければなりません。これらの科目的成績は年度末に一括して通知します。したがって、春学期・秋学期の両方に出席していないと両学期ともに単位を取得することができませんので注意してください。（※一部半期集中科目あり）

1 外国語科目の履修チャート

授業科目の種類	日吉キャンパス				卒業必要単位	
	1年		2年			
	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
外国語科目	①外国語 I 英語Study Skills 2 単位				2	14
	②外国語 II 入学後に発表された語種 1 語種 ドイツ語・フランス語・中国語 ・スペイン語・（日本語） 6 単位				6	
		英語セミナー			2	6
	③外国語 I 英語リーディングa/b 2 年以上で履修可能 英語最上級 アドバンスト英語*				2	
		④外国語 II ②と同語種の場合 2 単位 ②とは別語種の場合 4 単位 [外国語 III]			2	
	⑤第 2 学年以上で取得すべき外国語 I または外国語 II ③・④とは別に 2 単位 (外国語 III を除く)				2	
卒業単位認定科目	⑥ 【全学則】選択外国語 (A) ⑦自主選択科目				卒業単位認定科目 [16単位] に数えられます。	

* 「英語Study Skills」または「英語セミナー（特別上級）」取得済の学生は選択必修科目として履修できます。（それ以外の学生が履修する場合、自主選択科目の単位になります。）

(1) 必修科目（外国語 I・外国語 II）(表内 ■)

決められた学年・組で履修する科目です。外国語科目的必修科目は、第1学年にのみ設置されています。これらの科目に不合格だった場合は、改めて履修しなければなりません。

① 外国語 I (英語) 2 単位

第1学年春学期に「英語Study Skills」または、「英語セミナー（特別上級）」（週2回授業、2単位）を履修します。

→『日吉「英語セミナー（特別上級）応募要領・履修上の注意』p.4

→『第3 外国語 I (英語) の履修について』p.11

② 外国語 II 6 単位

履修する語種は、必ず3月29日中に「新入生お知らせシステム」で確認し、控えておいてください。決定された語種は変更できません。

→『第4 外国語 II の履修について』p.16

(2) 選択必修科目

自分で履修する授業を選び、決められた単位を取得しなければならない科目です。

③ 外国語 I 2 単位

「英語セミナー（中級・上級・特別上級）」、「英語リーディングa/b」より、第1学年秋学期から卒業するまでに必ず2単位を取得しなければなりません。「英語セミナー」は「英語Study Skills」に合格した学生のみが履修できます。第1学年秋学期に「英語セミナー」の履修を希望する場合、1クラスのみ履修可能です。

（「英語Study Skills」または「英語セミナー（特別上級）」取得済の学生は、外国語教育研究センター特設科目「英語最上級アドバンスト英語」を外国語 I (英語) の選択必修科目として履修できます。（それ以外の学生が履修する場合、自主選択科目の単位になります。））

→『第2 選択必修科目のエントリー』p.8／『第3 外国語 I (英語) の履修について』p.11

④ 外国語 II 2 単位

第2学年以降、2単位を取得しなければなりません。

第1学年で履修した必修科目（前述②）と同語種を選択し、履修します。

→『第2 選択必修科目のエントリー』p.8／『第4 外国語 II の履修について』p.16

外国語III

語種変更許可を得て、第1学年で履修した必修科目（前述②）とは別語種を履修することができます。各語種の初修クラスを4単位履修します。合格すると2単位分は後述⑤に充当されます。

→『第5 外国語 III・選択外国語・自主選択科目』p.18

⑤ 第2学年以上で取得すべき外国語 I または外国語 II 2 単位

前述③・④の選択必修科目的単位以外に、さらに2単位を③または④から履修し合格しなければなりません。

(3) 選択科目

外国語科目の卒業・進級単位には含まれませんが、卒業単位認定科目（16単位）に含まれます。

⑥ 選択外国語（選択A）

時間割で「（選択A）」と記載されている科目は選択外国語（選択A）です。

経済学部設置科目のみです。

→『第5 外国語 III・選択外国語・自主選択科目』p.19

⑦ 自主選択科目

外国語教育研究センター特設科目（一部例外有）、オープン科目（他学部設置）は自主選択科目として履修できます。

→『第5 外国語 III・選択外国語・自主選択科目』p.19

(4) 自由科目

各学年における進級単位（第1学年24単位以上、第2学年60単位以上、第3学年28単位以上、第4学年12単位以上）には含まれますが、卒業単位には含まれません。履修上限には含まれます。自由科目として取り扱われる外国語科目は以下のものです。

外国語教育研究センター特設科目の一部

→『第5 外国語 III・選択外国語・自主選択科目』p.19

2 進級および卒業必要科目・単位

(1) 第1学年から第2学年への進級条件

外国語科目についての条件はありません。

(2) 第2学年から第3学年への進級条件

以下①・②を充足する必要があります。

①外国語I（英語）の必修科目2単位

②外国語IIの第1学年必修科目6単位

(3) 第3学年から第4学年への進級条件

外国語科目についての条件はありません。

(4) 卒業条件

以下①～⑤を充足する必要があります。

①外国語I（英語）の必修科目2単位

②外国語IIの必修科目6単位

③外国語I（英語）の選択必修科目2単位

④外国語IIの選択必修科目2単位（[外国語III]を履修した場合は4単位）

⑤前述③・④以外に取得した外国語Iまたは外国語IIの選択必修科目2単位

※ [外国語III]を履修し合格した学生は前述④で取得した4単位のうち2単位を⑤に充当することができます。

第2 選択必修科目のエントリー

1 エントリー

選択必修科目はクラス毎に履修定員が設定されています。これらの科目を履修するためには指定された期間に履修希望クラスをエントリーする必要があります。エントリー内容に基づいてシステムによる抽選を行います。

(1) エントリー対象科目と履修定員

・外国語 I (英語)

英語セミナー【春】 中級：30名程度
英語セミナー【秋】 上級・特別上級：20名程度 (日吉地区のみ)

英語リーディング 35名程度 (日吉・三田地区)

・外国語 II (ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語) 日吉地区「IVa/IVb」「XIa/XIb」、三田地区「IVa/IVb」 履修者数に応じて数名から20名程度

未習者は未習クラス、既習者は既習クラスを履修してください。第1学年で既習クラスを履修した学生が第2学年で未習クラスを履修し単位を取得しても外国語の卒業必要単位には含まれませんので注意してください。

ただし三田地区で開講されるクラスは未習・既習の区別なく、すべて「IVa/IVb」となります。

PEARL生対象の外国語IIは、2023年度はドイツ語、中国語（授業は英語で行う）のみ若干名の履修を受け付けます。履修形態は半期集中型です。

(2) エントリーのスケジュール

	春学期		秋学期
	外国語 I	外国語 II	外国語 I
	英語セミナー【春】 (中級・上級) 英語リーディング	ドイツ語・フランス語 中国語・スペイン語	英語セミナー【秋】 (中級・上級・特別上級)
ガイダンス	ガイダンスはありません。 Web上の「講義要綱・シラバス」を参考にして、 履修希望クラスを選択してください。		外国語 I (英語) 全体ガイダンス 3月29日(火) 新入生お知らせシステムにて案内予定
1回目	登録	3月16日(木) 9:30～3月17日(金) 9:30	9月11日(月) 9:30～9月12日(火) 9:30
	発表	3月20日(月) 9:30	9月13日(水) 9:30
2回目	登録	3月20日(月) 9:30～12:30	9月13日(水) 9:30～12:30
	発表	3月22日(水) 9:30	9月14日(木) 9:30
発表方法	keio.jpのNews欄で確認してください。		

(3) 注意事項

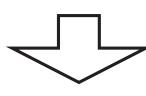
- ① 第1学年は「英語セミナー【秋】」のみエントリーできます。
第1学年原級者で英語必修科目取得済の学生は「英語セミナー【春】」も履修できます。
- ② 抽選で決まったクラスは自動的に履修登録されます。組ごとに指定されている必修・選択必修科目と曜日時限が重複しないように注意してください。誤ってこれらの科目と重複したクラスを選択した場合は、学習指導担当教員の指示に従い、抽選で決定したクラスを取り消す必要があります。
- ③ 同じ科目・学期で2クラスの履修を希望する場合は、1回目と2回目の両方にエントリーしてください。3クラス以上の履修を希望する場合は2回目の抽選結果発表後、速やかに学生部へ相談してください。
- ④ 2回目の抽選は、1回目の抽選に漏れた学生および1回目の抽選で決定したクラスに追加して別のクラスの履修を希望する学生（上記③）が対象となります。1回目の抽選で決定したクラスを変更するためのものではありません。
- ⑤ 英語セミナーは春学期と秋学期それぞれの学期開始前にエントリーを受け付けます。従って第1希望「英語セミナー【春】」、第2希望「英語セミナー【秋】」というエントリーはできません。春学期と秋学期に「英語セミナー」、更に「英語リーディング」の履修を希望する場合、春学期開始前に「英語セミナー【春】」と「英語リーディング」、秋学期開始前に「英語セミナー【秋】」にエントリーする必要があります。
- ⑥ 「英語セミナー」の授業は週2回です。週2回の曜日時限が組ごとに指定された授業と重ならないように注意してください。
- ⑦ 外国語IIについては、秋学期開講の半期集中科目も3月にエントリーします。9月にはエントリーできないので注意してください。

2 エントリー方法

「シラバス・時間割」で授業内容や時間割を確認してください。
<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/>



Web エントリーシステムにアクセス
keio.jpよりアクセスしてください。



エントリーする科目を選択

登録された
内容確認

取り消す科目を選択
取り消したい科目的受付締切
日時までに行ってください。

希望順に講座を選択（※）

受付期間中であれば何度
でも登録内容を確認でき
ます。

取り消す内容を確認

登録する内容を確認

受付期間中（締切日時前）であれ
ば、何度でも登録内容を修正する
ことができます。

取り消し完了

エントリー完了

受付締切日時
エントリー登録・取り消しは一切不可。登録内容は表示されなくなります。



抽選結果の確認

keio.jp の News で確認してください。

※希望順位について

英語セミナー【春】

英語セミナー【秋】

英語リーディング

} 第4希望まで選択

ドイツ語

フランス語

中国語

スペイン語

} 第3希望まで選択

2回目のエントリーで、指定の希望順位まで選択できない場合は、
選択可能な順位まで選択してください。

3 結果発表

エントリーの結果はkeio.jpのNewsにて発表します。結果発表の日時はエントリーのスケジュールを参照してください。

抽選で決定したクラスは自動的に履修登録されます。履修申告期間中にkeio.jpポータルの「授業」カテゴリにある「履修申告」画面を開くと、抽選で決定したクラスが表示されます。正しく表示されているか必ず確認してください。

4 履修クラスが未決定の学生

2回のエントリーで抽選に漏れた学生はkeio.jpのNewsで案内するオンライン相談フォームから学習指導担当教員に相談してください。

履修定員に達していないクラスの中から履修クラスを決定します。決定した履修クラスは自動的に履修登録されます。履修申告期間中にkeio.jpポータルの「授業」カテゴリにある「履修申告」画面に表示される履修クラスを確認してください。

面接日時・場所

	英語セミナー【春】 (中級・上級) 英語リーディング	ドイツ語・フランス語 中国語・スペイン語	英語セミナー【秋】 (中級・上級・特別上級)
日吉地区設置科目	3月22日（水）公開～16：45	9月14日（木）公開～16：45	keio.jpのNewsにてオンライン相談フォームを案内します。
三田地区設置科目	面接はありません。三田学生部経済学部担当にて確認してください。		

5 決定した履修クラスの取り消し

エントリーおよびオンライン相談フォームからの申請により決定した科目を履修申告期間中に取消すことはできません。履修を取り消したい場合は、各学期に定められた履修登録取消期間に取消すことができます。詳細は『2023年度 経済学部履修案内（日吉キャンパス 第1・2学年）』、『2023年度 経済学部履修案内（三田キャンパス 第3・4学年）』を参照してください。

〈参考〉

『2023年度 経済学部履修案内（日吉キャンパス 第1・2学年）』抜粋

履修登録取消期間、対象科目、手続き方法および上限単位数

期間	対象科目	手続き方法	履修取消上限単位数
4月27日（木）10：00～28日（金）16：45	通年科目（セット科目含む）・春学期科目・春学期前半科目	Webシステムで申告	8単位
10月23日（月）10：00～24日（火）16：45	秋学期科目・秋学期前半科目	Webシステムで申告	8単位

6 複数履修について

外国語I・外国語IIの科目では、同一担当者で同一もしくは類似サブタイトルのクラスを複数履修した場合、重複履修と見なされて履修の修正（取り消し）が必要です。エントリーの際には注意してください。なお、外国語I（英語）については、『第3 外国語I（英語）の履修について』(p.11) の下線部の注意をよく読んでください。

第3 外国語Ⅰ（英語）の履修について

外国語Ⅰの卒業必要単位数は必修科目2単位、選択必修科目2単位の合計4単位で、その内訳は以下の表のとおりです。なお、英語を十分に習得したい学生は、外国語の卒業必要単位14単位を超える卒業単位認定科目として、外国語Ⅰ（英語）の選択必修科目を履修することができます。

ただし、同一担当者による同一もしくは類似サブタイトルのクラスを複数履修した場合、重複履修とみなされて、履修の修正が必要です。たとえ担当者が異なっても、シラバスに「(同じサブタイトルの授業の重複履修不可)」と記載がある場合は、科目的レベルや科目名（例：英語セミナーと英語リーディング）が異なっても履修は不可となります。また、特にシラバスに「(同じサブタイトルの授業の重複履修不可)」という記載がなく、担当者が異なっていても、サブタイトルが同一もしくは類似している授業や同じテキスト（教科書）を使う授業など内容の重複がある場合には、必ず履修申告の前に、学習指導担当教員に相談してください。

科目種類	科目名/注意点	履修申告
必修科目 (2単位)	(1) 英語Study Skills 第1学年春学期に履修します。授業は週2回です。 (または必修科目として履修する「英語セミナー（特別上級）」)	新入生は自動的に履修登録されるので、時間割で指定されているクラスが正しく登録されているか、履修申告期間中に必ず確認してください。
選択必修科目 (2単位以上 取得すること)	(2) 英語セミナー ①外国語Ⅰ必修科目「英語Study Skills」に合格すると、「英語セミナー」の履修資格が得られます。 ②中級・上級・特別上級の3段階のレベルが用意されています。 ③第1学年秋学期から履修できます。第1学年秋学期には1クラスのみ履修できます。 ④PCPプログラムへの参加を希望する学生は、第2学年終了時までに「英語セミナー（上級）」または「英語セミナー（特別上級）」を履修しておくことが好ましいです。 ⑤日吉地区のみに設置されており、全て半期集中科目、週2回の授業です。 (3) 英語リーディングa/b 第2学年より履修できます。授業は週1回、春学期と秋学期を継続して履修しなければならない春秋セット科目です。 外国語Ⅰ必修科目（上記(1)）に合格していないても履修できます。 (4) 英語最上級 アドバンスト英語（I）（II） (外国語教育研究センター特設科目) 「英語Study Skills」または「英語セミナー（特別上級）」取得済の学生は選択必修科目として履修できます。（それ以外の学生が履修する場合、自主選択科目の単位になります。）	エントリーに基づく抽選で履修クラスが決定し、自動的に履修登録されます。 履修申告期間中にkeio.jpポータルの「授業」カテゴリーにある「履修申告」画面を開くと、抽選で決定した履修クラスが表示されます。正しく表示されているか、必ず確認してください。 選択必修科目として履修を希望する学生は、外国語教育研究センターのガイダンスに出席し、必要な手続きを行ったうえで、指定された方法で履修申告が必要です。詳細はp.19, 20を確認してください。

経済学部英語クラスWebページも参考にしてください。<http://econeng.hc.keio.ac.jp/>

1 第1学年

(1) 春学期の履修申告

①「英語Study Skills」を履修します。授業は週2コマの春学期集中科目です。新入生は自動的に履修登録されるので、時間割で指定されているクラスが正しく登録されているか、履修申告期間中に必ず確認してください。

②「英語Study Skills」の履修免除について※

「英語Study Skills」の代わりに「英語セミナー（特別上級）」を必修科目として履修することができます。外国語Ⅰ必修科目として「英語セミナー（特別上級）」の履修を希望する学生は、申請を行い、許可される必要があります。『日吉「英語セミナー（特別上級）」応募要領・履修上の注意』(p.4) 参照。

「英語セミナー（特別上級）」履修者選抜

履修希望申請期間^{*1}：3月29日（水）15:00～3月31日（金）11:00

選抜・振分結果発表^{*2}：4月2日（日）9:30 keio.jpのNews欄

学習指導相談^{*3}：4月2日（日）13:00集合 日吉第4校舎独立館D307～D311

※1 新入生：「新入生お知らせシステム」でクラス・学籍番号・履修語学等を発表する際に同時に申請方法を案内します。

在校生：keio.jpのNewsにて案内します。

※2 履修が許可された場合、許可されたクラスが自動的に履修登録されます。履修申告期間中に履修申告画面で登録されているクラスを必ず確認してください。

組ごとに指定されている必修・選択必修科目と曜日時限が重複していないかを確認してください。重複している場合、4月2日の学習指導相談に必ず参加してください。

※3 学習指導相談は原則、対面により実施します。

※「英語Study Skills」の履修によって得ることを目標としている英語能力を既に備え、また「英語セミナー（特別上級）」の授業テーマに意欲的に取り組みたい学生が対象となります。海外における勉学経験の有無は問いません。ただし、英語圏の中学校・高等学校で1年以上の学習経験を持ち、英会話や聴解に不自由がなく、英語でディスカッションが十分できる学生は、全員選抜試験に申し込んでください。授業における使用言語および配布される資料は全て英語です。

(2) 秋学期の履修申告

① 「英語Study Skills」の再履修

春学期に履修した外国語I（英語）必修科目「英語Study Skills」または必修科目として履修した「英語セミナー（特別上級）」が不合格だった学生を対象に、「英語Study Skills（再履修）」が開講されています。

再履修対象者へは、9月上旬の成績発表時にkeio.jpメッセージ等で通知します。案内に従い手続きを行ってください。

② 「英語セミナー」

春学期の外国語I必修科目「英語Study Skills」に合格した学生は、秋学期設置の選択必修科目「英語セミナー」を履修することができます。履修クラスは、エントリーに基づく抽選によって決定します。なお、第1学年秋学期に履修できる「英語セミナー」は1クラスのみです。

③ 英語最上級アドバンスト英語（I）（II）（外国語教育研究センター特設科目）

必修科目を取得済の学生は、選択必修科目として履修できます。（それ以外の学生が履修する場合は自主選択科目の単位になります。）

選択必修科目として履修を希望する学生は、外国語教育研究センターの案内に従い、必要な手続きを行ったうえで、指定された方法で履修申告が必要です。詳細はp.19, 20を確認してください。

2 第2学年

(1) 必修科目

①春学期

必修科目を未取得のまま第2学年に進級した学生は、再履修しなければなりません。原則「英語Study Skills」を再履修することとなります。再履修申請を行い、再履修クラスを決定してください。

申請日：3月22日（水）公開～16:45

申請方法：keio.jpのNewsにてオンライン相談フォームを案内します。

②秋学期

第3学年への進級には、外国語I必修科目に合格していることが条件になります。

第2学年春学期に不合格だった学生は、必ず第2学年秋学期に再履修してください。

再履修に関する詳細は、『1 第1学年 (2) 秋学期 外国語I 必修科目の再履修』(p.12) を参照してください。

(2) 選択必修科目

①英語セミナー

必修科目を取得済の学生は、「英語セミナー」を選択必修科目として履修することができます。

選択必修科目「英語セミナー（中級）・（上級）」の履修クラスは、エントリーに基づく抽選によって決定します。「英語セミナー（特別上級）」の履修希望者は、『日吉「英語セミナー（特別上級）」応募要領・履修上の注意』(p.4) を参考して下さい。

なお、第3・4学年でPCPプログラムへの参加を希望する学生は、第2学年終了時までに「英語セミナー（上級）」または「英語セミナー（特別上級）」を履修しておくことが好ましいです。

②英語リーディングa/b

第2学年から履修できる選択必修科目です。履修クラスは、3月に実施するエントリーに基づく抽選によって決定します。なお、必修科目に合格していなくても履修できます。

③英語最上級アドバンスト英語（I）（II）（外国語教育研究センター特設科目）

必修科目を取得済の学生は、選択必修科目として履修できます。（それ以外の学生が履修する場合は自主選択科目の単位になります。）

選択必修科目として履修を希望する学生は、外国語教育研究センターの案内に従い、必要な手続きを行ったうえで、指定された方法で履修申告が必要です。詳細はp.19, 20を確認してください。

3 第3・4学年

卒業に必要な選択必修科目を未取得の場合、および卒業に必要な選択必修科目を取得した上でさらに英語の履修を希望する場合は、日吉地区設置の「英語セミナー」および日吉地区・三田地区双方に設置された「英語リーディングa/b」を履修することができます。

詳細は『第2 選択必修科目的エントリー』(p.8) を参照してください。

(1) 英語セミナー

日吉地区設置の「英語セミナー」を履修できます。ただし、「英語セミナー（特別上級）」の履修希望者は必ず『日吉「英語セミナー（特別上級）」応募要領・履修上の注意』(p.4) を参照して下さい。

(2) 英語リーディング

日吉地区・三田地区双方に設置された「英語リーディングa/b」を履修できます。

(3) 英語最上級 アドバンスト英語

必修科目を取得済の学生は「英語最上級 アドバンスト英語（I）（II）」（外国語教育研究センター特設科目）も選択必修科目として履修可能ですが（それ以外の学生が履修する場合は、自主選択科目的単位になります）。選択必修科目として履修を希望する学生は、外国語教育研究センターのガイダンスに出席し、必要な手続きを行ったうえで、指定された方法で履修申告が必要です。詳細はp.19, 20を確認してください。

4 段階的な履修について

(1) 英語セミナーの受講レベルと位置付け

レベルの選定は、各自が責任を持って行ってください。基本的には第1学年で履修した「英語Study Skills」または秋学期に履修した「英語セミナー」の成績を基準にして選定します。次の表Aを参考にしてください。

表A. 成績別による望ましい履修進路

第1学年の履修科目	成績	第2学年以降で履修するのが望ましい科目
英語Study Skills	S	英語セミナー（上級）
	A	英語セミナー（上級）、英語セミナー（中級）
	B	英語セミナー（上級）、英語セミナー（中級）
	C	英語セミナー（中級）
英語セミナー（中級）	S	英語セミナー（上級）
	A	英語セミナー（上級）、英語セミナー（中級）
	B	英語セミナー（上級）、英語セミナー（中級）
	C	英語セミナー（中級）
	D	英語セミナー（中級）
英語セミナー（上級）	S	英語セミナー（特別上級）
	A	英語セミナー（特別上級）、英語セミナー（上級）
	B	英語セミナー（上級）
	C	英語セミナー（中級）
	D	英語セミナー（中級）

なお、第3・4学年でPCPプログラムへの参加を希望する学生は、第2学年終了時までに「英語セミナー（上級）」または「英語セミナー（特別上級）」を履修しておくことが好ましいです。

(2) 段階的な学習例

表Aで選定した履修レベルを念頭に入れながら、段階的に履修することを勧めます。

以下の表B, Cは英語の段階的な学習例です。履修計画の参考にしてください。これらは様々に組み合わせられる学習パターンの数例にすぎません。自分の興味と時間割に即して自由に組み合わせを考えてください。

表B. 〈英語セミナー集中型〉(計16単位)

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
春 Study Skills	春 英語セミナー (中級)	英語セミナー (上級・特別上級), その他, 任意の英語科目	
秋 英語セミナー (中級)	秋 英語セミナー (上級)		

表C. 〈読解基礎力充実型〉(計10単位)

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
春 Study Skills	英語リーディングa/b	英語リーディングa/b	英語リーディングa/b
秋 英語セミナー (中級)			

(3) 外国語I (英語) 科目のトピック (テーマ) の分類について

「英語セミナー」と「英語リーディングa/b」の各授業には、特定のトピック (テーマ) が定められています。それらのトピック (テーマ) は次の4つのカテゴリーに分類されています。

- 1) 文学・芸術・思想
- 2) 言語・文化
- 3) 社会・経済・歴史
- 4) その他

これらの分類を参考にして段階的に履修することにより、特定の分野における知識を深めることも可能です。

別途「英語セミナー・英語リーディングのトピック (テーマ) 別一覧表」を3月中旬頃に塾生サイトにて公開予定です。

5 外国語I (英語) ガイダンスについて

全体ガイダンス (新入生対象)

3月29日 (水) 新入生お知らせシステムで案内します。

「英語セミナー」および「英語リーディングa/b」は、同一担当者による同一もしくは類似サブタイトルのクラスを複数履修した場合、重複履修とみなされて、履修の修正が必要です。たとえ担当者が異なっても、シラバスに「(同じサブタイトルの授業の重複履修不可)」と記載がある場合は、科目のレベルや科目名 (例:英語セミナーと英語リーディング) が異なっていても履修は不可となります。また、特にシラバスに「(同じサブタイトルの授業の重複履修不可)」という記載がなく、担当者が異なっていても、サブタイトルが同一もしくは類似している授業や同じテキスト (教科書) を使う授業など内容の重複がある場合には、必ず履修申告の前に学習指導担当教員に相談してください。

第4 外国語Ⅱの履修について

1 第1学年で履修する必修科目

(1) 第1学年の「外国語Ⅱ」は全て必修科目です。

必修科目は春学期3科目および秋学期3科目（各1単位計6単位）です。時間割表で所属する組ごとに未習・既習が指定されており、新入生は自動的に履修登録されています。履修すべきクラス全てが正しく登録されているかを履修申告期間中に必ず確認してください。未習クラスの「I a/I b」と「II a/II b」は同一担当者によって授業が行われます。

語種	科目名	
ドイツ語	未習	ドイツ語 I a/I b, II a/II b, III a/III b
	既習	ドイツ語 VII a/VII b, IX a/IX b, X a/X b
フランス語	未習	フランス語 I a/I b, II a/II b, III a/III b
	既習	フランス語 VII a/VII b, IX a/IX b, X a/X b
中国語	未習	中国語 I a/I b, II a/II b, III a/III b
	既習	中国語 VII a/VII b, IX a/IX b, X a/X b
スペイン語	未習	スペイン語 I a/I b, II a/II b, III a/III b
	既習	スペイン語 VII a/VII b, IX a/IX b, X a/X b
日本語	留学生用の授業です。国際センターのガイダンスに必ず出席してください。	

(2) 既習クラスへの変更

これまでに学習経験があり、未習クラスから既習クラスへ変更を希望する場合は、必ず以下の申請を行い、担当教員から履修の許可を得てください。

変更希望申請期間^{*1}：3月29日（水）15:00～3月31日（金）11:00

結果発表表^{*2}：4月2日（日）9:30 keio.jpのNews欄

※1 「新入生お知らせシステム」でクラス・学籍番号・履修語学等を発表する際に同時に申請方法を案内します。
オンライン面談を実施する場合があります。連絡が取れるようにしておいてください。

※2 履修が許可された場合、許可されたクラスが自動的に履修登録されます。履修申告期間中に履修申告画面で登録されているクラスを必ず確認してください。

2 第2学年で履修する選択必修科目

(1) 第2学年で履修する「外国語Ⅱ」は選択必修科目です。

第1学年で既習クラスを履修した学生は、必ず既習クラスを履修しなければなりません。未習クラスを履修し、単位を取得しても卒業に必要な外国語の単位には含まれません。

語種	科目名	
ドイツ語	未習	ドイツ語 IV a/IV b
	既習	ドイツ語 XI a/XI b
フランス語	未習	フランス語 IV a/IV b
	既習	フランス語 XI a/XI b
中国語	未習	中国語 IV a/IV b
	既習	中国語 XI a/XI b
スペイン語	未習	スペイン語 IV a/IV b
	既習	スペイン語 XI a/XI b
日本語	留学生用の授業です。国際センターのガイダンスに必ず出席してください。	

(2) 履修クラスの選択

選択必修科目「外国語Ⅱ」を履修するためには、エントリーする必要があります。エントリー方法や抽選発表日等の詳細については『第2 選択必修科目のエントリー』(p.8) を参照してください。なお、時間割、Web上の「経済学部時間割」、「シラバス・時間割」を参考にして、組ごとに指定されている他の必修・選択必修科目と曜日時限が重複しないようにクラスを選択してください。誤って重複したクラスを選択した場合は、学習指導担当教員の面談を受け、抽選で決定したクラスを取り消す必要があります。

「外国語Ⅱ」の選択必修科目は半期セット科目（春学期1単位/秋学期1単位）もしくは半期集中科目（2単位）となり、さらに実力を伸ばしたい学生は2クラス以上履修することもできます。

(3) 既習クラスへの変更

変更希望申請期間^{*1}：3月10日（金）15:00～3月14日（火）12:30

結果発表表：3月16日（木）9:30 keio.jpのNews欄

※1 keio.jpのNewsにてオンライン申請フォームを案内します。オンライン面談を実施する場合があります。連絡が取れるようにしておいてください。

3 第1学年必修科目の再履修

(1) 第1学年に留まった学生の再履修

第1学年に留まった学生は、次の表で示すルールに従って再履修してください。再履修するクラスは、全て履修申告期間中に履修申告が必要です。

学習指導相談が必要な場合：申請日3月22日（水）公開～16:45 keio.jpのNewsにてオンライン相談フォームを案内します。

	前年度までの取得状況	再履修クラス
既習クラス	【スペイン語】 履修申告期間中に組ごとに指定されている第1学年設置の【既習クラス】のうち、前年度までに不合格だった科目（Ⅷa/Ⅷb・Ⅸa/Ⅸb・Ⅹa/Ⅹb）と同一科目を履修申告してください。 【ドイツ語・フランス語・中国語】 オンライン相談フォームから申請して、再履修クラスを決定してください。	
未習クラス	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」「Ⅱa/Ⅱb」「Ⅲa/Ⅲb」すべてに不合格だった場合	履修申告期間中に組ごとに指定されている「Ⅰa/Ⅰb」「Ⅱa/Ⅱb」「Ⅲa/Ⅲb」すべてを履修申告
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」と「Ⅱa/Ⅱb」が不合格だった場合	履修申告期間中に組ごとに指定されている「Ⅰa/Ⅰb」と「Ⅱa/Ⅱb」を履修申告
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」または「Ⅱa/Ⅱb」のいずれかと、「Ⅲa/Ⅲb」が不合格だった場合	オンライン相談フォームから申請して、再履修クラスを決定してください。
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」または「Ⅱa/Ⅱb」のいずれかが不合格だった場合	履修申告期間中に組ごとに指定されている「Ⅲa/Ⅲb」を履修申告
	第1学年で履修した「Ⅲa/Ⅲb」が不合格だった場合	履修申告期間中に組ごとに指定されている「Ⅲa/Ⅲb」を履修申告

(2) 第2学年での再履修

第2学年において、第1学年の必修科目を再履修する場合は、次の表で示すルールに従ってください。再履修するクラスの曜日時間が他の必修・選択必修科目と重複している場合は、必ずオンライン相談フォームから申請してください。再履修するクラスは、全て履修申告期間中に履修申告が必要です。

学習指導相談が必要な場合：申請日3月22日（水）公開～16:45 keio.jpのNewsにてオンライン相談フォームを案内します。

	前年度までの取得状況	再履修クラス
既習クラス	【スペイン語】 履修申告期間中に組ごとに指定されている第1学年設置の【既習クラス】のうち、前年度までに不合格だった科目と同一科目を履修申告してください（第1学年の時間割で確認してください）。組が時間割上に記載されていない場合はオンライン相談フォームから申請して履修クラスを決定してください。 【ドイツ語・フランス語・中国語】 オンライン相談フォームから申請して、再履修クラスを決定してください。	
未習クラス	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」「Ⅱa/Ⅱb」「Ⅲa/Ⅲb」すべてに不合格だった場合	履修申告期間中に組ごとに指定されている第1学年設置「Ⅰa/Ⅰb」「Ⅱa/Ⅱb」「Ⅲa/Ⅲb」すべてを履修申告
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」と「Ⅱa/Ⅱb」が不合格だった場合	履修申告期間中に特修クラス「Ⅷa/Ⅷb」2クラスを選択して履修申告 【ドイツ語】 オンライン相談フォームから申請して、再履修クラスを決定してください。
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」または「Ⅱa/Ⅱb」のいずれかと、「Ⅲa/Ⅲb」が不合格だった場合	履修申告期間中に特修クラス「Ⅷa/Ⅷb」2クラスを選択して履修申告 【ドイツ語】 オンライン相談フォームから申請して、再履修クラスを決定してください。
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」または「Ⅱa/Ⅱb」のいずれかが不合格だった場合	履修申告期間中に特修クラス「Ⅷa/Ⅷb」1クラスを選択して履修申告
	第1学年で履修した「Ⅲa/Ⅲb」が不合格だった場合	履修申告期間中に特修クラス「Ⅷa/Ⅷb」1クラスを選択して履修申告

4 第3・4学年での履修

卒業に必要な選択必修科目を未取得の場合は、日吉地区に設置された選択必修科目を履修するようにしてください。

卒業に必要な選択必修科目を取得した上で更に履修を希望する場合、日吉地区・三田地区双方に設置された選択必修科目を履修することができます。エントリーが必要になりますので『第2 選択必修科目のエントリー』(p.8) を参照してください。なお、三田地区では未習・既習の区別なく、「Ⅳa/Ⅳb」が開講されています。

第5 外国語Ⅲ・選択外国語・自主選択科目

1 外国語Ⅲ

- (1) 今年度開講の『外国語Ⅲ』は以下のとおりです。全て日吉地区に設置されています。
ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、韓国朝鮮語、イタリア語

- (2) 履修クラス
いずれの語種も初級から始まります。

語種	履修クラス
ドイツ語 フランス語 中国語 スペイン語	日吉地区設置の第1学年必修科目「外国語Ⅱ」(原則として未習クラス)のうち「Ia/Ib」・「IIa/IIb」の4科目(各1単位、合計4単位)を履修します。
ロシア語 韓国朝鮮語 イタリア語	日吉地区に設置されている「外国語Ⅲ」(○○語a/b、各1単位、合計4単位)を履修します。

- (3) 『外国語Ⅲ』の履修希望者は必ず履修希望申請を行う必要があります。履修クラス決定のため、学習指導教員による面談を実施する場合があります。

履修には第1学年の必修科目『外国語Ⅱ』の単位をすべて取得していることが必要となり、『外国語Ⅱ』の成績を基準に選抜します。

原則、日本語からの語種変更は認められません。ただし、ボッコーニ大学とのダブルディグリー・プログラムを希望する場合には、学習指導担当教員が変更を検討するので、申請フォームにて相談してください。

日本語に加えて他語種のクラスを履修することは認められています。

履修希望申請期間^{*1}：3月10日（金）15:00～3月14日（火）12:30

履修許可者発表^{*2}：3月16日（木）9:30 keio.jpのNews欄

履修クラス発表^{*3}：3月28日（火）午後 keio.jpのメッセージ

*1 keio.jpのNewsにてオンライン申請フォームを案内します。

*2 条件付許可となった場合、履修が認められない場合があります。条件付許可者は必ず現在履修している語種の第2学年選択必修科目のエントリーに参加してください。

*3 イタリア語履修希望者は別途説明会が実施されます。

(4) 履修申告

決定した履修クラスは、自動的に履修登録されます。履修申告期間に履修申告画面で確認してください。

2 選択外国語（選択A）・自主選択科目

（1）選択外国語（選択A）

- ① 選択外国語（選択A）は、経済学部設置科目です。これらの科目を履修し合格すると、各学年の進級単位（第1学年24単位以上、第2学年60単位以上、第3学年28単位以上、第4学年12単位以上）に含まれます。また卒業単位認定科目（16単位）にも含まれます。
- ② 今年度、開講が予定されている『選択外国語（選択A）』の科目は次のとおりです。
日吉地区・三田地区のいずれかに設置されています。

[経済学部設置科目]

語種	科目名
ドイツ語	ドイツ語Va/Vb
フランス語	フランス語Va/Vb
中国語	中国語Va/Vb, 中国語V
スペイン語	スペイン語Va/Vb
ロシア語	ロシア語a/b

（2）自主選択科目

[外国語教育研究センター特設科目]

外国語教育研究センター特設科目を受講するためにはガイダンスに出席し、必要な手続きを取らなければなりません。
詳細は外国語教育研究センターの履修案内を確認してください。

外国語教育研究センターの登録番号で履修登録してください。

自主 選 択 科 目	英語最上級 アドバンスト英語（I）（II）*	ロシア語表現技法1（I）（II）
	英語異文化トレーニング（I）（II）	ロシア語表現技法2（I）（II）
	英語ドラマ（I）（II）	ロシア語聴解（I）（II）
	英語翻訳（I）（II）	中国語表現技法1（I）（II）
	英語聴解（I）（II）	中国語表現技法2（I）（II）
	英語留学準備（I）（II）	中国語表現技法3（I）（II）
	英語アカデミック・ライティング（I）（II）	中国語表現技法4（I）（II）
	英語スピーチとディベート（I）（II）	中国語表現技法5（I）（II）
	ドイツ語表現技法1（I）（II）	中国語表現技法6（I）（II）
	ドイツ語表現技法2（I）（II）	スペイン語表現技法1（I）（II）
	ドイツ語表現技法3（I）（II）	スペイン語表現技法2（I）（II）
	ドイツ語表現技法4（I）（II）	スペイン語表現技法3（I）（II）
	ドイツ語表現技法5（I）（II）	インドネシア語ベーシック（I）（II）
	フランス語表現技法1（I）（II）	アラビア語（I）（II）
	フランス語表現技法2（I）（II）	イタリア語表現技法1（I）（II）
	フランス語表現技法3（I）（II）	イタリア語表現技法2（I）（II）
	フランス語表現技法4（I）（II）	朝鮮語表現技法1（I）（II）
	フランス語表現技法5（I）（II）	朝鮮語表現技法2（I）（II）
自由 科 目	英語オーラル・プレゼンテーション（I）（II）・英語初級（I）（II）	

履修年度によっては、休講となる場合があります。

* 「英語Study Skills」または「英語セミナー（特別上級）」取得済の学生は選択必修科目として履修できます。
(それ以外の学生が履修した場合は、自主選択科目の単位となります。)

- ① 外国語教育研究センター特設科目（一部の科目を除く。下記④参照）、オープン科目（他学部設置）は自主選択科目（諸研究所設置科目）（分野番号50-50-01）です。これらの科目を履修し合格すると、各学年の進級単位（第1学年24単位以上、第2学年60単位以上、第3学年28単位以上、第4学年12単位以上）に含まれます。また卒業単位認定科目（16単位）にも含まれます。
- ② 科目リスト、詳細は「外国語教育研究センター履修案内・講義要綱」で確認してください。
- ③ 外国語教育研究センター特設科目を受講するためにはガイダンスに出席し、必要な手続きを取らなければなりません。詳細は外国語教育研究センターの履修案内を確認してください。
外国語教育研究センターの登録番号で履修登録してください。ただし、オープン科目のうち、経済学部が設置する科目は（1）選択外国語（選択A）として経済学部の登録番号（経済学部時間割に記載）で履修登録してください。
- ④ 外国語教育研究センター設置科目（特設科目）のうち、以下のものは科目の扱いが異なるので注意してください。

英語最上級 アドバンスト英語（Ⅰ）（Ⅱ）	<p>履修に関する詳細を必ず外国語教育研究センターの履修案内で確認してください。</p> <p>原則、春学期の「英語最上級 アドバンスト英語（Ⅰ）」は春学期に、秋学期の「英語最上級 アドバンスト英語（Ⅱ）」は秋学期に履修申告を行います。</p> <p>「英語Study Skills」または「英語セミナー（特別上級）」取得済の学生は選択必修科目として履修できます。履修申告時に、登録番号とともに「B欄分野番号：20」を選択してください。</p> <p>（それ以外の学生が履修した場合は、自主選択科目の単位となります。A欄で履修申告してください。）</p>
英語オーラル・プレゼンテーション（Ⅰ）（Ⅱ） 英語初級（Ⅰ）（Ⅱ）	自由科目（自主選択科目にはなりません。）

慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程(6月・8月入学試験共通)

Web エントリーフォーム入力方法について

Web エントリー推奨環境(OS 及びブラウザ)

Windows の場合 : Windows 10 以上

- Microsoft Edge (最新版)
- Firefox (最新版)
- Google Chrome (最新版)

Macintosh の場合 : macOS X 10.12 以上

- Firefox (最新版)
- Safari (最新版)
- Google Chrome (最新版)

※お使いのブラウザで Javascript の設定が無効になっている場合は有効に設定してください。

※Mac 上で Safari 2.0 以下をお使いの場合、一部の環境で入力や印刷画面の表示が正しく行えないことがありますので、その場合には Firefox(無料)等、別のブラウザをインストールしてお使いください。

Web エントリーの諸注意

- ・Web エントリーの「*」がある項目は、必須項目ですので、必ず入力／選択をしてください。

・重複登録はできません。

- ・入力欄にスペース等を記入した場合、記入と見なされエラーができる場合があります。

- ・Web エントリー期間を確認し、出願期間に間に合うようにエントリーしてください。

・Web エントリーの入力内容は<印刷サンプル>で事前に確認できます。

- ・「郵送用に印刷する」書類は**片面印刷(A4 サイズ)**で行ってください (B 履歴書は必ずカラー印刷すること)。

- ・印刷物には改ページが設定されています。(うまく設定されない場合、ヘッダーとフッターを挿入するとスタイルシートが読み込まれ、改ページが設定されることもあります。)

- ・Web エントリーに登録した以下の項目をメモし、入学手続きまで大切に保管してください。

受験票印刷、合格発表の確認、また 8 月入学試験に再出願する場合に必要になります。

メモ欄

受付番号		E-mailアドレス	
パスワード		受験番号	

8 月入学試験に「再出願」する際の Web エントリーの諸注意

- ・必ず再出願の入口から行ってください。(「新規登録」の入口は「新規出願」される方の入口です。)

- ・英語スコアシート等の情報を入力し、6 月入学試験入力内容を編集した上、必要書類を再度印刷してください。

- ・受験票は 8 月入学試験用に再度印刷してください。

入力時の注意

■E-mail アドレスと入学時期は、仮登録後変更できませんので注意して入力してください。

携帯電話の E-mail アドレスでは、受信設定によってメールを受信できない場合がありますので、原則として PC の E-mail アドレスを登録してください。

■記述欄

入力内容は、Web エントリー本登録後にも編集ができます。Web エントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL 等、長いアルファベット文字列を記入すると印刷用フォームが崩れことがあります。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、添付図をアップロードしてください。

■氏名

漢字表記

- (1) 住民票に記載されている氏名を入力してください。
- (2) 日本国籍以外の者で、住民票に記載されている氏名が漢字でない場合、および日本国外からの出願者でこの登録手続きを行っていない者については、通称名等を使用せずに現地読みのカタカナを使用してください。
- (3) 本国で姓を先頭にしない場合は、姓の次に「,(カンマ)」をつけてください。
- (4) ミドルネーム欄に入力する場合は、頭文字1文字のみをアルファベット大文字で入力してください。
- (5) 日本国籍以外の者で通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。

カナ表記

- (1) 氏名の読みをカタカナで入力してください。ミドルネーム欄に入力する場合は、頭文字1文字のみをアルファベット大文字で入力してください。
- (2) 本国で姓を先頭にしない場合は、姓の次に「,(カンマ)」をつけてください。
- (3) 長音および長音と思われるものは「ー」を用いてください。なお、「オオ」と発音されるもの、大木・太田・大熊などはオオキ・オオタ・オオクマとし、その他の安藤・西郷などはアンドウ・サイゴウとします。
- (4) 拗音と促音の小文字は大文字で入力してください。
- (5) 本来「チ」「ツ」と発音するもので2語の連語によって生じた「ヂ」「ヅ」は、「ヂ」「ヅ」とします。その他は「ジ」「ズ」とします。
- (6) 「ヰ」「ヱ」「ヲ」は使用せず、イ・エ・オを使用します。

ローマ字表記

- (1) パスポート等、公的文書に基づく表記、あるいは氏名の「読み」に対応したアルファベット(ヘボン式)を半角大文字で入力してください。
- (2) 撥音について、B・M・Pの前はNの代わりにMをおきます。
(例) NAMBA 難波(なんば) HOMMA 本間(ほんま) SAMPEI 三瓶(さんペイ)
- (3) 促音・子音を重ねて示す場合は以下のようにします。
(例) HATTORI 服部(はつとり) KIKKAWA 吉川(きつかわ)
ただし、チ(CHI)、チャ(CHA)、チュ(CHU)、チョ(CHO)に限り、その前にTを加えます。
(例) HOTCHI 発地(ほっち) HATCHO 八丁(はっちょう)
- (4) 長音について、長音に対するローマ字は不要です。(前の母音で代用)
(例) KONO 河野(こうの) ONO 大野(おおの) TOYAMA 遠山(とおやま)

■現住所・電話番号

- (1) 住所はアパート名や団地名なども省略せずに入力してください。
- (2) 電話番号欄には自宅の電話番号を入力してください。現住所に電話回線を引いていない場合は、代わりに携帯電話番号を入力してください。また、日中連絡が取れるよう、携帯電話番号はできるだけ入力してください。

■指導教員の選択について

指導教員は下記URLの教員リストに掲載されている教員から選択してください。同じ教育研究分野に限り、第2希望まで選択できます。その際、希望指導教員が所属する教育研究分野を確認し、間違いのないように申告してください。(原則として、同じ教育研究分野に限り合格後の指導教員の変更を認めます。指導を希望する教員には必ず事前に入学後の研究計画や、必要とされる基礎学力および研究内容等について相談してください。事前に相談をしていない場合は、配属において著しく不利になる場合があります。)

教員リスト:<https://www.st.keio.ac.jp/admissions/files/st-faculty-list2023.pdf>

教員の連絡先(電話番号、E-mail)は、<https://www.st.keio.ac.jp/tprofile/>から検索できます。

<印刷サンプル>修士課程 入学志願票、履歴書、入学志願者調書

次のページから6月入学試験の印刷サンプルを確認できます。8月入学試験もほぼ同様の内容になりますので、こちらのサンプルを参照してください。

A

2023年9月入学、2024年4月入学 慶應義塾大学大学院理工学研究科入学志願票

修士課程

受験番号	専攻	入学希望時期
V■■■■■	■■■■■専攻	2024年04月

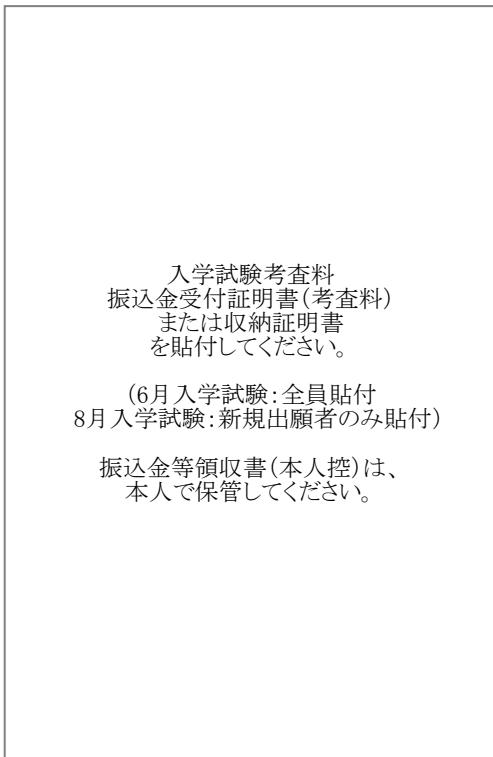
志望する分野	■)■■■■	希望する指導教員名	■■■■■	教員コード	■■-■■■
--------	--------	-----------	-------	-------	--------

志願者漢字氏名(フリガナ)	国籍コード	性別コード	生年月日
慶應 花子 (ケイオウ ハナコ)	392	02	2000年01月01日

塾内受験者最終学籍番号	学部出身校コード	学部離籍理由	大学院出身校コード	大学院離籍理由
11111111	2062	2024年3月卒業見込		

現住所 (受信場所)	〒223-8522 神奈川県 横浜市港北区日吉 3-14-1 E-mailアドレス: web-entry-yagami@adst.keio.ac.jp	電話番号 0123-45-6789 携帯番号 000-0000-0000
---------------	---	---

保証人氏名(フリガナ)	生年月日(西暦)	性別コード	続柄
慶應 一郎 (ケイオウ イチロウ)	1960年01月01日	01	父
保証人住所	〒223-8522 神奈川県 横浜市港北区日吉 3-14-1	電話番号 0123-45-6789	



印刷サンプル 修士課程6月入学試験 入学志願票, 履歴書, 入学志願者調書

履歴書と志願調書を重ねて
ホチキスでとめてください。

B 慶應義塾大学大学院

履歴書

理工学研究科



修士課程

受験番号

V■■■■■

フリガナ	ケイオウ ハナコ	生年月日	2000年01月01日 生	性別
氏名	慶應 花子			

現住所	〒223-8522 神奈川県 横浜市港北区日吉3-14-1	電話番号	0123-45-6789	携帯番号	000-0000-0000	国籍	日本
-----	----------------------------------	------	--------------	------	---------------	----	----

学歴	2017年 03月	慶應義塾中学校 卒業
	2017年 04月	慶應義塾高等学校 入学
	2020年 03月	慶應義塾高等学校 卒業
	2020年 04月	慶應義塾大学理工学部 入学
	2024年 03月	慶應義塾大学理工学部■■■学科卒業見込み
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職歴	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
研究歴	■入力上の注意■入力内容は、Webエントリー登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れことがあります。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。	

C

2023年6月入学試験用

慶應義塾大学大学院理工学研究科前期博士(修士)課程入学志願者調書

フリガナ	ケイオウ ハナコ	2000年01月01日生 女(23歳)	受験番号: V■■■■
氏名	慶應 花子		
入学希望時期	4月入学希望		
現住所	〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1	電話番号 携帯番号	0123-45-6789 000-0000-0000
保証人	氏名 慶應 一郎 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1	続柄	父 電話番号 0123-45-6789

入学の目的について

本大学大学院理工学研究科を志望する理由を具体的に記入してください。
(400字以上500字程度にまとめてください)

■入力上の注意 ■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることができます。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

将来の進路希望とそれに対する大学院進学の意義について記入してください。
(400字以上500字程度にまとめてください)

■入力上の注意 ■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることができます。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

C

氏名: 慶應 花子

これまでの学業について

1. 学部の専門に関する科目で、わずかでも習得していると思えるものを3つあげてください。



2. 語学に関する自己評価(A:優 B:良 C:可 D:不可)、また検定試験の実績があれば記入してください。

2-1 英語

自己評価 Reading: A Writing: A Listening: A Speaking: A
検定試験結果 英検1級、TOEIC 850点

2-2 他の外国語

自己評価 Reading: Writing: Listening: Speaking:
検定試験結果

※国外の大学を卒業した志願者は必ず日本語について記入してください

3. 卒業研究について記入してください。なお、卒業研究を行っていない場合には、相当する内容を記入してください。

3-1 卒業論文の概要(具体的なテーマが決まっていない場合には、どのような卒業研究を行いたいか)をテーマ名、指導教員名とともに記入してください。(200字以上250字程度にまとめてください)

テーマ: ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

指導教員名: ■■■■■■■■

■入力上の注意■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。
Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることがあります。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

3-2 卒業研究に向けて現在まで行ったことを記入してください。
(200字以上250字程度にまとめてください)

■入力上の注意■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。
Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることがあります。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

3-3 卒業研究を行う上で必要と考えられる、専門に関する知識を3つ以内であげてください。



C

入学後の研究について

[志望する専攻: ■■■■■■ 専攻]

1. 入学後にどのような研究を行いたいか、またその理由、動機等を記入してください。
(400字以上500字程度にまとめてください)

■入力上の注意■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れことがあります。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

2. 上記の研究を行うために、希望する分野と指導教員の氏名を選択してください。(指導を希望する教員には必ず事前に入学後の研究計画や、必要とされる基礎学力および研究内容等について相談していること。)

[志望する分野: ■)■■■■]

教員名(第1希望) ■■■■■■

希望指導教員(第1希望)との連絡状況:

現在の指導教員であり、出願の了承を得ている。

教員名(第2希望) ■■■■■■

希望指導教員(第2希望)との連絡状況:

現在の指導教員ではないが、研究内容等について相談し、出願の了承を得ている。

3. 入学後の研究に必要と考えられる専門に関する知識を3つ以内であげてください。

■■■■■■

■■■■■■

■■■■■■

最終学歴が大学卒業以上の志願者は下記について記入してください。

1. 最終学歴卒業・修了以後の職歴、研究歴

■入力上の注意■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることができます。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

2. 発表論文(投稿中を含む)

著者・発表者名(連名者を含む)、題目、掲載誌・会議名、巻号、頁、年

原著論文、国際会議発表、国内学会発表等に分類して記入してください。記入欄が足りないときは、主要論文以外は論文数を記入してください。

■入力上の注意■入力内容は、Webエントリー本登録後にも編集ができます。Webエントリーの入力欄の幅に合わせて改行を挿入する必要はありません。ただし、URL等、長いアルファベット文字列を入力すると印刷用フォームが崩れることができます。その場合には、本登録後に「登録内容を編集する」のボタンから、該当部分の途中に改行を入れて調整してください。化学式などが入力できない場合は、注意2)に従い、添付図をアップロードしてください。

在学するにあたって留学ビザが必要な志願者は、以下の事項について記入してください。

留学に関わる費用の出所

氏名または団体名: _____

本人との関係: _____

住所: _____

電話番号: _____

現在の在留資格: (有効期限: 年 月 日)

P 慶應義塾大学大学院
修士 8月 入学試験 写真カード

2023年9月入学、2024年4月入学
慶應義塾大学大学院 写真カード

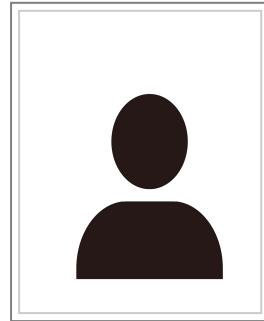
理工学研究科 修士 8月 入学試験

受験番号

V ■ ■ ■ ■

フリガナ ヤガミ ハナコ 性別
氏名 矢上 花子 女性
生年月日 1999年12月12日

写真カードは、切り取らず
このままA4サイズで提出してください。



印刷サンプル 修士課程8月入学試験 写真カード

TRANSCRIPT REQUEST FORM

To the applicant: Please send this form to the registrar of your home institution.

Applicant Name : _____ , _____
Legal family name (surname) First name (given name) Middle name

I hereby authorize the release of my academic record to the Graduate School of Science and Technology at Keio University.

Signature of the Applicant: _____ **Date (Day/Month/Year):** _____

To the registrar: The above person is applying to the Keio University Graduate School of Science and Technology. This form is to provide us with supplementary information about the applicant's academic records from hone University. Please fill out the required information below and submit it with the official transcript online.

Should you have any questions, please contact the Admissions Office at: ao_st_inquiry@info.keio.ac.jp

THIS PART TO BE COMPLETED BY THE REGISTRAR

What is the language of instruction at your school? _____

Applicant's cumulative grade point average: _____

(Grade point values are A or A+ = 4.0, A- = 3.7, B+ = 3.3, B = 3.0, B- = 2.7, C+ = 2.3, C = 2.0, C- = 1.7, D+ = 1.3, D = 1.0, D- = 0.7, F = 0.0)

Degrees (to be) awarded: _____

Applicant's cumulative rank in course: _____ Number of students attending the course: _____

Highest possible grade in your school: _____ Lowest passing or satisfactory grade in your school: _____

Name of person completing this form: _____

Position or Title: _____

Address: _____

Postal code

Country

Telephone Number: _____ Fax Number: _____

Email: _____ Website: _____

Authorized Signature: _____ **Date (Day/Month/Year):** _____

Official school seal or stamp